第8章　まとめ

虫内Ⅰ遺跡では、既述のように縄文時代後期後葉から晩期前葉にかけて周辺遺跡も包括した大規模な墓域が展開し、言うならば遺跡の最盛期を迎える。遺跡の主な変遷については、紙数が限られることと第2章第1節および第3章第1節で略述したことから、ここでは割愛する。また、土器を中心とした出土遺物についても充分に比較検討するだけの準備がないことから、そのまとめは省略し、本章では、縄文時代後期後葉から晩期前葉の土坑墓を中心とした遺構群に限定して若干の検討を加え、まとめとする。なお、以下において単に虫内遺跡群あるいは遺構群などと記す場合は、縄文時代後期後葉から晩期前葉のそれを指すこととする。

土坑墓

今回の調査で、形態・覆土の特徴、出土遺物等から縄文時代後期後葉～晩期前葉の土坑墓もしくはその可能性がある土坑と認定した遺構は総計171基である(第57～60表)。表には、土坑墓出土遺物のうち、出土状況から土坑墓に意図的に配置したと認定できる遺物と石鏃等のいわゆる定型的な剥片石器、大形の礫石器、石製品や土製耳飾などの土製品を便宜的に共伴遺物として掲載した。ただし、石製品・土製品のほとんどは小破片であり、これらは遺物包含層中にも一定量存在することから、一律に共伴遺物とするには問題が残る。また、土器出土例ではその土坑墓の上限時期を推定できるにとどまる場合が大半で、帰属時期をより限定できる例は少ない。ただし、遺跡の主たる継続期間が大勢としてⅣa期～Ⅳc期の間におさまると判断することから、以下の検討では、出土土器からⅣc期が上限時期と推定できる土坑墓については、さしあたってⅣc期をその推定時期としておく。

土坑墓の形態には変異があり、平面形も円形・楕円形・隅丸方形など多様である。ここでは、まずその規模を土坑墓平面形の長幅分散で検討する(第60図)。この分散図では、まず、長径1.0m前後以上で、長幅比(短径/長径)0.7前後を境として大きく二つのまとまりを認定できる。一方、長径1.0m前後以下では長幅比による分布の偏りは不明瞭で、ほぼ連続的な分散状況を示していると判断する。ここでは、この一群も一つのまとまりとして認め、さらに前二者のまとまりから、特に長大な長幅分布を示す4例を分離し、土坑墓平面の長幅分散全体で四つのまとまりを認定する。以下、ここで認定したまとまりを基準に土坑墓を分類することとし、長径1.0m前後以下のまとまりに属する土坑墓を1類、大形の4基を4類、残りのうち、長幅比0.7以上のまとまりに属する土坑墓を2類、0.7未満のまとまりに属する土坑墓を3類とする。

一部のみの確認にとどまった土坑墓のうち、分類可能例を加えると、土坑墓の最終的な内訳は1類60例、2類56例、3類36例、4類4例、不明15例となった。

次に、各類ごとに特徴を概観する。

1類

本類には平面形長径が0.9m近いものから0.5m以下のものまでの大きさの変異がある。覆土は単一の埋め戻し土であることが一般的であるが、中には円礫を充填した例がある(SK225・250・421・3222)。このほか、上面に大形礫を伴う例を少なからず認めることができる(SK67・248・278・482・2111など)。また、魚を入れた壺を副葬したSK61、打製石斧・石槍・石匙・石剣類や壺口縁部破片を副葬したSK546など、まとまった副葬品を伴う例がある点は次の2類との類似を認めることができる。さらに、本類土坑墓は、その平面形長幅比そのものは、0.7以上が過半を占め、2類土坑墓のそれと近似し、総体として両者の違いは相対的な規

番号	地区	大群	平面形	分類	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	長軸方位	共伴遺物	報告時期	備　考
SK03	LJ49	F	円形	1	0.76	0.76	0.42	−	壺破片	Ⅳc期	
SK09	LJ48	F	円形	1	0.60	不明	0.15	−		不明	底面直上に礫
SK10	LJ48	F	不整円形	2	1.30	1.19	0.46	N−40°−E		Ⅳa1期以降	上～中位に大形円礫
SK11	LI・LJ48	F	不整円形	2	1.53	1.21	0.84	N−17°−W	石錐1　凹石類3	Ⅳc期以降	盛土伴う
SK15	LI47	F	不整円形	1	0.86	0.65	0.27	N−5°−W		Ⅳa期以降	立石伴うか
SK56	LK46	F	円形	2	1.03	0.95	0.15	N−86°−E		Ⅳc期以降	南西部に赤色顔料　南西頭位か
SK60	LJ・LK46	F	楕円形	2	1.36	1.09	0.46	N−67°−E	有孔土製品1　石剣類破片1	Ⅳc期以降	
SK61	LK46	F	楕円形	1	0.95	0.69	0.40	N−29°−E	魚骨含む壺1	Ⅳc期	壺は底面直上から横倒しで出土 SK62・142を切る
SK62	LK46	F	円形	2	1.41	1.20	0.47	N−44°−E		Ⅳc期	SK142を切り、SK61に切られる
SK67	LJ45	F	楕円形	1	0.80	0.55	0.43	N−62°−W	凹石類1	Ⅳc期以降	上面に大形円礫
SK76	LJ・LK37 LK38	C	楕円形	3	1.86	0.71	0.35	N−54°−W	石錐2	Ⅳb期	南東端両壁に円礫　南東頭位か SK143と並列　SR39に切られる
SK103	LK・LL46	F	円形	2	1.43	1.37	0.53	N−77°−W	凹石類1	Ⅳb～Ⅳc期	大形円礫充填
SK108	LK36	C	楕円形?	3	1.72	0.75	0.12	N−18°−E		不明	東半部削平
SK109	LJ・LK36	C	楕円形	3	1.64	0.81	0.18	N−74°−W		Ⅳa期以降	西北西端に大形円礫と赤色顔料 西北西頭位か　SK151と並列
SK110	LJ36	C	楕円形	2	1.61	1.30	0.24	N−67°−W	香炉形土器1　ひすい製小玉1	Ⅳc期	香炉形土器と小玉は土坑北西半側の上面と底面直上とから出土 北西頭位か
SK136	LK45・46	A	円形	2	1.50	1.46	0.43	N−65°−W	石匙1　凹石類2	Ⅳa1期以降	
SK137	LK46	F	楕円形	不明	0.87	不明	0.20	N−44°−E		不明	
SK138	LH・LI46・47	F	円形	2	0.96	0.87	0.35	N−50°−E	鉢1	Ⅳc期	鉢は北側上位で横倒しで出土 SK139を切る
SK139	LH・LI46	F	円形	2	0.92	不明	0.32	−		Ⅳc期以前	SK138に切られる
SK142	LK46	F	円形	不明	不明	不明	0.40	−		Ⅳa1～Ⅳc期	SK61・62に切られる
SK143	LK37	C	隅丸方形	3	1.65	0.70	0.21	N−62°−W	スクレイパー1　凹石類1	Ⅳb～Ⅳc期	北西端に大形円礫　北西頭位か SK76と並列
SK151	LJ・LK36・37	C	隅丸方形	3	1.53	0.73	0.16	N−81°−W		Ⅳa2期以降	
SK155	LJ37	C	隅丸方形	3	不明	0.70	0.16	N−63°−W		Ⅳa2期以降	盛土伴う可能性
SK167	LL・LM38	C	長楕円形	3	1.64	0.68	0.20	N−40°−E		不明	SK335・411と並列
SK173	LF46	E	円形	2	不明	不明	0.27	−	スクレイパー1	Ⅳa2期以降	底面中央に礫
SK186	LI46	F	不整楕円形	2	1.12	0.90	0.26	N−54°−W	縄文土器破片	Ⅳb期	焼土塊・円礫・土器破片伴う
SK194	LE・LF45	E	円形	2	1.49	1.30	0.54	N−75°−W	スクレイパー2　凹石類3	Ⅳa期以降	円礫充填
SK202	LK41	D	円形	1	0.72	0.70	0.25	N−66°−E	凹石類1　円盤状石製品1	Ⅳa～Ⅳb期以降	
SK203	LI45	F	円形?	2	1.00	1.00	0.40	−	凹石類1　石皿1	Ⅳc期	SR36に切られる
SK213	LJ35	C	楕円形	3	1.05	0.65	0.29	N−69°−W		Ⅳc期以降	SK150Aを切る
SK215	LG45	E	楕円形	2	1.30	1.10	0.27	N−84°−E	線刻礫1	不明	礫充填
SK224	LF・LG44	E	楕円形	1	0.85	0.60	0.12	N−12°−E		不明	上面に大形円礫
SK225	LG44・45	E	方形	1	0.75	0.75	0.14	N−52°−E		Ⅳa期以降	礫充填
SK226	LG44	E	楕円形	2	1.08	0.93	0.45	N−35°−W	石皿1	不明	礫充填
SK231	LF43・44	E	円形	2	1.10	1.05	0.41	N−70°−W	凹石類1	Ⅳc期以降	礫充填
SK233	LH43	D	円形	2	1.07	0.96	0.45	N−14°−E	スクレイパー1	Ⅳa期以降	
SK234	LJ38・39	C	不整隅丸方形	3	1.40	0.90	0.40	N−43°−E		Ⅳa2期以降	SK334と隣接
SK235A	LJ38	C	楕円形	3	1.35	0.78	0.34	N−44°−E		Ⅳa期以降	SK235Bに切られる
SK236	LI・LJ38	C	長楕円形	3	1.45	0.76	0.32	N−46°−E		不明	
SK237	LI37・38	C	隅丸方形	3	1.45	0.78	0.27	N−8°−E		不明	
SK240	LI37・38	C	長楕円形	3	1.52	0.66	0.32	N−31°−E		Ⅳb期以降	
SK245	LJ・LK39	C	長楕円形	3	1.10	0.52	0.10	N−64°−W		不明	
SK246	LG42・43	D	円形	2	1.41	1.30	0.45	N−86°−W		Ⅳc期以前	礫充填　SK469に切られる
SK248	LH42	D	楕円形	1	0.72	0.58	0.22	N−43°−W		不明	上面に大形礫
SK250	LG・LH42	D	円形	1	0.62	0.60	0.33	N−73°−E	線刻礫1	不明	大形礫充填　底面直上に焼土粒
SK251	LG・LH42	D	楕円形	2	1.50	1.38	0.43	N−23°−W	石匙1	Ⅳb期以降	SK421を切る
SK252	LG42	D	楕円形	2	1.16	0.98	0.32	N−35°−W		Ⅳb期以降	
SK253	LI38	C	楕円形	3	1.19	0.73	0.26	N−74°−W		不明	
SK264	LK39・40	C	楕円形	2	1.25	0.93	0.15	N−49°−E		Ⅳb～Ⅳc期	頭部に土器破片?　南西頭位か SR171に切られる
SK267	LG41	D	不整円形	2	1.50	1.30	0.59	N−17°−W	凹石類1	Ⅳa2期以降	上面に円礫
SK268	LH40	D	円形	2	1.00	1.00	0.52	N−15°−E	礫器3　凹石類2	Ⅳa2期以降	円礫充填　上面に円礫
SK269	LH47	F	楕円形	3	1.30	0.76	0.27	N−22°−E		不明	
SK274	LG41	D	楕円形	1	0.95	0.76	0.33	N−57°−E	石匙1　スクレイパー1　打製石斧1 凹石類2	Ⅳc期	SK357に切られる
SK277	LG43	D	円形	2	1.12	1.02	0.34	N−58°−E		Ⅳc期以降	SK452に切られる

第57表　土坑墓一覧表(1)

番号	地区	大群	平面形	分類	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	長軸方位	共伴遺物	報告時期	備　　考
SK278	LG43	D	円形	1	0.69	0.60	0.34	N－80°－W		不明	上面東端に大形円礫
SK280	LI・LJ45	F	不明	不明	0.80	不明	0.20	－	凹石類2	Ⅳb期以降	上部に配石
SK290	LH39	D	円形	2	0.94	0.91	0.24	N－32°－W	深鉢破片　凹石類2	Ⅳb期	中位に土器破片集中
SK296	LG44	E	楕円形	2	1.40	1.14	0.24	N－10°－W		不明	SK295・810に切られる
SK297	LK45	A	円形	2	1.16	1.07	0.35	N－10°－E	土製耳飾破片2　打製石斧1　凹石類1 線刻礫1　有孔礫1	Ⅳa2～Ⅳc期	南南西頭位か　SK302を切り、SR144に切られる
SK298	LJ・LK38	C	楕円形	3	1.24	0.60	0.24	N－60°－E		Ⅳa2期以降	
SK301	LJ45	A	楕円形	1	0.70	0.61	0.20	N－84°－E	土製耳飾破片1　凹石類1	Ⅳa1期以降	
SK303	LJ39	D	楕円形	1	0.82	0.68	0.43	N－62°－W		Ⅳa期以降	南東側に大形円礫　SK362を切る
SK326	LH43	D	円形	1	0.54	0.48	0.12	N－56°－E	土器破片　線刻礫1	Ⅳc期	東側に土器破片集中
SK334	LJ38・39	C	隅丸方形か	3	1.00	0.58	0.30	N－65°－E		不明	SK234と隣接
SK335	LM38	C	楕円形	3	1.52	0.90	0.36	N－45°－E		Ⅳa2期以降	南西側に赤色顔料　南西頭位か SK167・411と並列
SK347	LF42・43	E	楕円形	1	0.94	0.66	0.35	N－75°－E		不明	
SK357	LG41	D	円形	2	1.16	1.00	0.60	N－34°－W	石鏃1	Ⅳc期	SK274を切り、SR256に切られる
SK358	LJ43	D	不明	不明	不明	不明	0.33	－	土製耳飾破片1　凹石類2　石皿1	Ⅳa2期以降	上部に配石
SK359	LF・LG43	E	楕円形	4	2.24	1.45	0.26	N－65°－E		不明	2基の切り合い?
SK360	LI47	F	円形	1	0.51	0.42	0.13	N－50°－E		不明	土坑墓関連施設か
SK362	LJ39	D	楕円形か	2	不明	0.80	0.31	－		Ⅳc期以前か	盛土伴う　SK303・393に切られる
SK364	LH47	F	楕円形	3	1.05	0.60	0.24	N－18°－E		不明	
SK383	LH・LI47	F	楕円形	1	0.90	0.65	0.20	N－50°－E		不明	SK384・389に切られる
SK387	LJ42	A	不整円形	2	1.19	1.06	0.45	N－47°－W	縄文土器破片　石鏃1　石匙1　スクレイパー4　打製石斧破片1　磨製石斧破片1　凹石類2	Ⅳa2期	上面深鉢破片敷く　盛土伴う可能性
SK389	LI47	F	不整円形	1	0.46	0.38	0.10	N－10°－W		不明	南端に2個の大形円礫 SK383・384を切る
SK390	LI46	F	楕円形	2	1.32	1.04	0.31	N－5°－W	土器破片　土偶破片1	Ⅳb期	中央に立石
SK392	LJ36・37	C	楕円形か	3	1.50	不明	0.15	－		不明	
SK393	LJ39・40	D	円形	2	1.15	1.05	0.61	N－81°－W	スクレイパー1	Ⅳa2～Ⅳc期	SK362を切り、SR506Aに切られる
SK395	LG・LH39・40	D	楕円形	2	1.63	1.41	0.46	N－64°－E	打製石斧2	Ⅳb期以降	打製石斧は上面から出土
SK397	LG40	D	不整円形	2	1.43	1.30	0.65	N－32°－W		Ⅳc期以降	
SK400	LJ40・41	A	円形	2	1.08	1.00	0.65	N－20°－W	礫器1	Ⅳa期以降	SK475に切られる
SK403	LJ・LK40	D	円形	4	1.71	1.58	0.78	N－28°－W	石匙2　スクレイパー6　線刻礫2	Ⅳc期	明赤褐色土塊含む　盛土伴う
SK404	LJ45	A	楕円形	不明	不明	不明	0.06	－		Ⅳa1期以前	北壁際に大形円礫　SK500に切られる
SK409	LJ41	A	楕円形	2	1.20	1.00	0.20	N－20°－E	深鉢1　凹石類1	Ⅳa2期	
SK411	LL37・38 LM37	C	楕円形	3	1.56	0.96	0.27	N－35°－E		Ⅳa2期以降	SK167・335と並列
SK413	LJ45	F	円形	1	0.83	0.74	0.21	N－52°－W		Ⅳb～Ⅳc期	
SK421	LG42	D	円形	1	0.70	0.70	0.28	－		Ⅳb期以降	円礫充填　SK251に切られる
SK422	LJ45・46	A	円形	2	1.19	1.13	0.45	N－86°－E	石匙1	Ⅳa1～Ⅳc期	
SK452	LG43	D	楕円形	3	1.02	0.65	0.35	N－86°－E	石匙1	Ⅳc期以降	両端に円礫　SK277を切る
SK468	LG・LH42・43	D	円形	2	1.29	1.13	0.62	N－50°－W		不明	上位に円礫集中
SK469	LG42・43	D	円形	1	0.64	0.55	0.16	N－58°－E	打製石斧1	Ⅳc期以降	SK246を切る
SK475	LJ40・41	D	円形か	2	0.90	0.90	0.48	－	スクレイパー1	Ⅳb期以降	SK400を切る
SK477	LJ41	D	円形か	1	0.80	0.80	0.40	－	円盤状石製品1	Ⅳb期以降	SK377を切る
SK481	LH46	F	円形	1	不明	不明	0.39	N－35°－W		不明	SK525・636に切られる
SK482	LH46	F	楕円形	1	0.54	0.42	0.24	N－4°－W		不明	南東端に立石
SK495	LI・LJ43	A	円形か	1	0.70	0.70	0.30	－	凹石類3　石皿1	Ⅳa2期以前か	上部に集石　明褐色土塊含む
SK496	LI・LJ43	D	楕円形	1	0.84	0.68	0.24	N－1°－E	石鏃1　石篦1　凹石類1　石皿1	Ⅳb期以降	
SK500	LJ・LK44・45	A	楕円形	2	1.55	1.36	0.35	N－37°－E	線刻礫1	Ⅳa1期	SK404を切る
SK524	LH46	F	円形	2	不明	不明	0.75	N－75°－W	土偶破片1　石錐1　凹石類1　円盤状石製品1	Ⅳc期以降	SK525・636を切る
SK529	LJ45	F	円形	1	0.71	0.71	0.25	－	凹石類1	不明	上面に円礫　炭化種子多量 SK547に切られる

第58表　土坑墓一覧表(2)

番号	地区	大群	平面形	分類	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	長軸方位	共伴遺物	報告時期	備考
SK546	LJ44	F	短楕円形	1	0.93	0.80	0.42	N−84°−W	壺口縁　土製耳飾破片3　石槍1　石匙2　スクレイパー1　打製石斧1　石剣類破片1	Ⅳc期	
SK547	LJ45	F	円形	1	0.45	0.45	0.25	−	石剣類破片1	Ⅳa2期以降	SK529を切る
SK552	LI43	D	短楕円形	2	0.99	0.88	0.35	N−54°−E	石核1　凹石類2	Ⅳc期	底面直上に明褐色微砂質土と大形円礫
SK553	LJ43	D	楕円形	1	0.73	0.66	0.16	N−4°−E	凹石類破片1	Ⅳa2期以降	
SK555	LJ46	F	不整円形	2	1.25	1.12	0.24	N−78°−E	スクレイパー2　石錐1　凹石類2	Ⅳc期以降	上面中央に大形円礫2
SK558	LI·LJ42	D	楕円形	2	1.50	1.21	0.45	N−79°−E	石鏃2　石錐2　スクレイパー1　小玉1	Ⅳc期以降	盛土伴う　SK548に切られる
SK576	LK44	A	楕円形?	不明	不明	不明	0.25	−		Ⅳa1期以降	
SK589	LK42	A	不明	不明	1.30	不明	0.36	−		Ⅳa1期以降	上面に配石
SK591	LJ44	A	円形	1	0.48	0.45	0.11	N−85°−E	壺2	Ⅳa1期	葬送関連遺構か
SK656	LJ43	D	楕円形	1	0.57	0.38	0.30	N−87°−E		Ⅳa2期以降	
SK659	LH·LI45	F	不明	不明	不明	不明	0.19	−		Ⅳb～Ⅳc期	SK660に切られる
SK660	LH45	F	楕円形?	不明	不明	不明	0.25	−	線刻礫1	Ⅳb～Ⅳc期	SK659を切り、SK661に切られる
SK661	LH45	F	円形?	不明	不明	不明	0.21	−		Ⅳc期以降	SK660を切る
SK810	LG44	E	円形	1	0.73	0.65	0.10	N−73°−W		不明	上面中央に3個の円礫　SK296を切る
SK2001	LQ54		円形	2	1.32	1.24	0.48	N−2°−E	凹石類1　石皿1	Ⅳa2～Ⅳb期	底面近くに石皿と大形円礫
SK2002	LR54		円形	1	0.70	0.63	0.31	N−13°−W		Ⅳa2期	
SK2006	LQ55		楕円形	3	1.23	0.74	0.71	N−27°−W	凹石類1　石皿1	Ⅳb期以降	
SK2011	LS56		楕円形	1	0.90	0.56	0.26	N−66°−W		Ⅳa期以降	
SK2013	LT56		不整楕円形	1	0.70	0.50	0.30	N−5°−W		不明	上位に大形亜角礫2個伴う
SK2018	MA58·59		円形	2	0.94	0.87	0.61	N−9°−W		不明	
SK2032	LL50		円形?	不明	0.90	不明	0.21	−		不明	円礫充填
SK2040	LS57		不整楕円形	1	0.82	0.62	0.38	N−52°−E		Ⅳc期	上部に配石
SK2042	LS57		不整楕円形	1	0.61	0.50	0.26	N−31°−E	凹石類1	不明	上面に大形円礫
SK2046C	LR54·55		不整楕円形	1	0.72	0.50	0.20	N−50°−W		Ⅳa2期以降	SK2046Lを切り、SK2046Bに切られる
SK2046L	LR54·55		楕円形	4	1.80	1.54	0.65	N−71°−E	石鏃1　スクレイパー1　砕片2	Ⅳa2期	埋め戻し当初に柱2基設置　その後上面で焚き火　さらに石鏃等副葬し、盛土　SK2046Cに切られる
SK2059	LR56		楕円形	1	0.59	0.37	0.24	N−82°−E		不明	SK2060と並列
SK2060	LR56		不整楕円形	1	0.56	0.45	0.22	N−65°−E		不明	SK2059と並列
SK2075	LL50		円形	1	0.69	0.58	0.20	N−80°−E		不明	葬送関連施設か　SK2076を切る
SK2088	LS57		不整楕円形	1	0.68	0.43	0.38	N−66°−E		Ⅳa期以降	
SK2105A	LR54		不整楕円形	1	0.66	0.53	0.16	N−84°−W	石鏃1　石核3　石皿破片1	Ⅳc期以降	上部に配石
SK2111	MB58		楕円形	1	0.70	0.54	0.16	N−52°−W		Ⅳc期以降	上部に大形円礫
SK2112	MB58·59		楕円形	3	1.23	0.81	0.28	N−2°−E		不明	
SK2116	LN52		円形	1	0.68	0.61	0.41	N−68°−W	石剣類破片1	Ⅳa2期以降	上部に円礫
SK2118	LN·LO52		楕円形	1	0.81	0.71	0.35	N−7°−E		Ⅳc期以降	上部に礫
SK2128	LM·LN51		不整円形	2	0.93	0.87	0.38	N−8°−E	スクレイパー1　凹石類1	Ⅳc期以降	
SK2150	LQ53·54		円形	1	0.84	0.80	0.38	N−83°−W	スクレイパー1	不明	
SK2226	MC61		不整楕円形	1	0.86	0.68	0.23	N−57°−W		不明	
SK3013	LM49	G	楕円形	3	1.66	0.88	0.61	N−80°−E	石鏃1　石匙1	Ⅳc期以降	盛土伴う　SR3011·3012を切る
SK3019	LO47		円形	2	1.03	1.00	0.51	N−37°−E		Ⅳa2期以降	底面中央に大形礫
SK3026	LL49		円形?	不明	不明	不明	0.67	−	凹石類1	不明	
SK3030	LL·LM48·49	G	楕円形	3	1.93	1.07	0.52	N−89°−E	土製耳飾破片2　スクレイパー1	不明	
SK3032	LM50·51		円形	2	1.10	1.10	0.40	−		Ⅳc期	
SK3036	LM49	G	楕円形	不明	不明	不明	不明	−	打製石斧1	不明	
SK3037	LL·LM50		円形	2	0.96	0.89	0.82	N−30°−W		Ⅳc期	廃絶後に石囲土器埋設炉構築か
SK3062	LN49	G	円形	2	0.99	0.98	0.21	N−50°−W	土製耳飾破片1　スクレイパー3	Ⅳa1期以降	SK3063を切る
SK3063	LN49	G	円形	1	0.70	0.65	0.20	N−44°−E	スクレイパー1	不明	上位に円礫群と焼土　SK3062·3064に切られる
SK3110	LM48	G	楕円形	2	1.44	1.12	0.20	N−88°−W	石槍1　スクレイパー1	Ⅳa1期以降	
SK3126A	LN48	G	円形	2	1.01	0.97	0.33	N−10°−E	石鏃1　スクレイパー1　凹石類1	Ⅳc期以降	
SK3127	LN48	G	隅丸方形	3	1.76	0.83	0.63	N−88°−W		Ⅳc期以降	上面に大形円礫設置後盛土
SK3128	LM47·48	G	円形	1	0.82	0.82	0.45	−	土製耳飾破片1	Ⅳa1期以降	SK3129を切る

第59表　土坑墓一覧表(3)

番号	地区	大群	平面形	分類	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	長軸方位	共伴遺物	報告時期	備　　考
SK3129	LM48	G	楕円形	3	1.38	0.76	0.20	N－87°－W	凹石類1	不明	SX3130を切り、SK3128に切られる
SK3135	LL･LM48	G	円形?	2	不明	不明	0.4	N－54°－E		Ⅳa2期以降	
SK3140	LQ40		楕円形	3	1.09	0.62	0.26	N－80°－W		不明	
SK3147	LS43	H	楕円形	3	1.56	0.77	0.20	N－75°－W		不明	SK3172と並列
SK3149	LM47	G	隅丸方形	3	1.59	0.89	0.24	N－82°－W	土製耳飾破片1	Ⅳa1期以降	
SK3171	LM47	G	円形	1	0.70	0.60	0.14	N－31°－E		Ⅳa1期以降	
SK3172	LS43	H	楕円形	3	1.82	0.95	0.47	N－85°－W		Ⅳa2期以降	SK3147と並列
SK3180	LQ･LR45		楕円形	3	1.92	1.10	0.64	N－78°－E		Ⅳa2期以降	
SK3208	LN42	B	楕円形	1	0.90	0.76	0.29	N－37°－W		不明	貯蔵穴を土坑墓に転用か
SK3219	LN42	B	円形	1	0.83	0.83	0.26	－		不明	貯蔵穴を土坑墓に転用か
SK3220	LN42	B	不整円形	1	0.58	0.56	0.16	N－40°－E		不明	
SK3222	LM47	G	不整円形	1	0.96	0.75	0.47	N－25°－W		不明	礫充填
SK3225	LN41	B	円形	1	0.83	0.77	0.25	N－4°－W		不明	貯蔵穴を土坑墓に転用か
SK3251	LO･LP47･48		不明	不明	不明	不明	0.62	－		Ⅳb期以降	
SK3255B	LL46･47		不整方形	1	0.70	0.60	0.22	N－83°－W		Ⅳa1期以降	
SK4004	MK52		楕円形	2	1.54	1.28	0.30	N－77°－E	石核2　凹石類3	Ⅳc期以降	
SK4021	MA･MB42	H	隅丸方形	3	1.35	0.92	0.18	N－79°－W		Ⅳa2期以降	西端に2個の円礫　SB4086と重複
SK4022	MB42･43	H	円形	1	0.86	0.80	0.14	N－26°－W		不明	東端に頁岩分割礫
SK4036	MJ50･51		楕円形	4	2.43	1.32	0.23	N－12°－W		Ⅳa期以降	盛土伴う
SK4041	MH48･49		不明	不明	不明	不明	不明	－	石皿2	Ⅳc期以降	上面に大形円礫　SR4009を切る
SK4050	MB43	H	楕円形	3	1.10	0.70	0.24	N－52°－E		不明	

第60表　土坑墓一覧表(4)

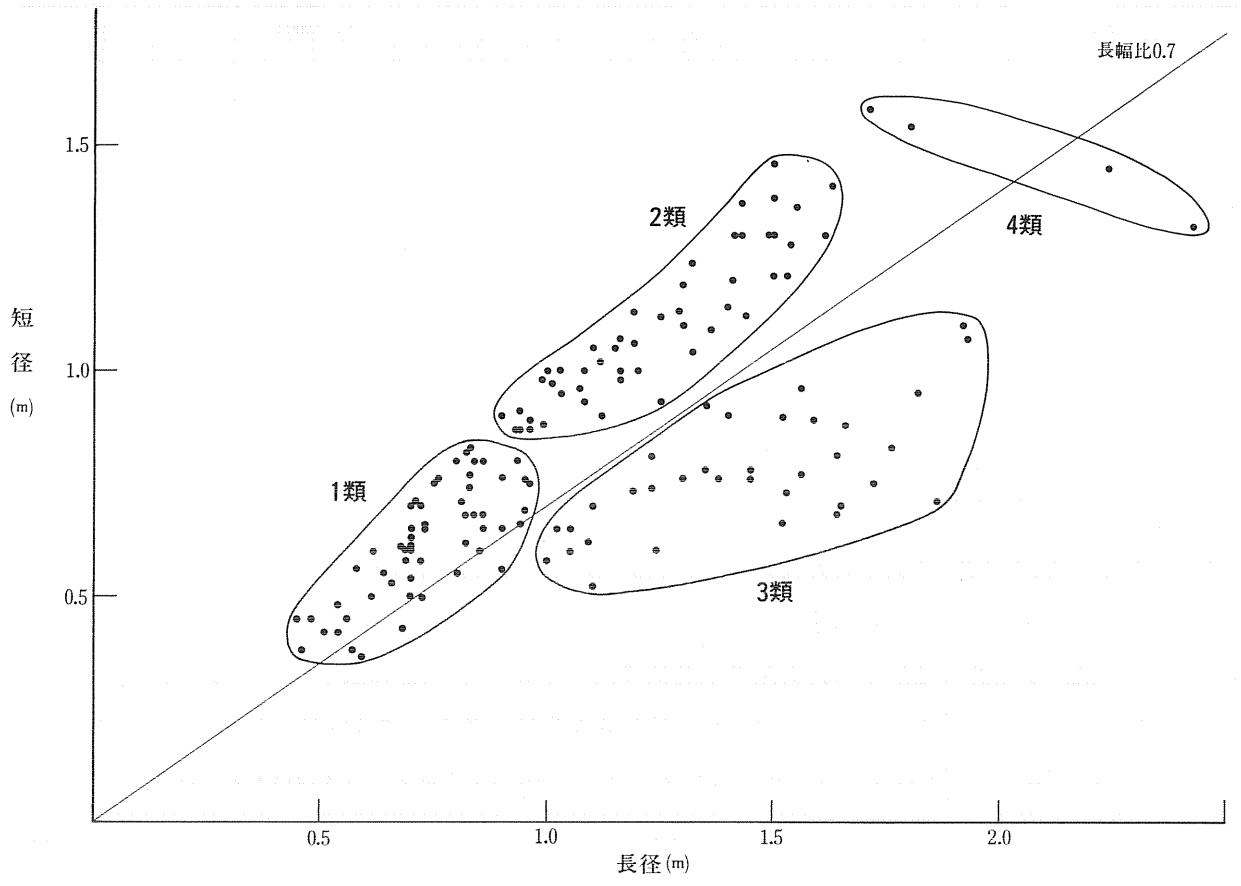
模の差、おそらくは被葬者の体格の差ととらえることも可能かもしれない。これらのことから、後述する2類土坑墓と共通する葬制を想定すると、本類土坑墓には、多様な死亡年齢の遺体を比較的強く屈曲させて直接埋葬したものと想定しておく。

2類

本類はその平面形長径が最大で1.6m程度を測り、典型的な円形平面基調の土坑墓に相当すると言える。覆土が単一の埋め戻し土で、顕著な特徴を指摘し難い例以外に、円礫を充填する例(SK103・194・215・226・231など)、上面や底面に大形円礫を伴う例(SK173・390・2001など)も比較的目立つ。また、覆土上位中央に地山土が堆積する特徴から、本来、上面に盛土が存在したと推定できる例(SK11・362・558)、上面に石囲土器埋設炉を構築した例(SK3037)などもあり、比較的変異に富む。

2類には、確実な共伴遺物検出例は必ずしも多くはない。しかし、打製石斧・凹石類・線刻礫など比較的副葬品の豊富な例(SK297)のほか、打製石斧・小玉などの出土例も複数存在し(SK110・387・395・558)、本類は、総体として後述する3類よりも副葬品の出現頻度が高い傾向を認めることができる。このほか、赤色顔料はSK56のみで確認した。

本類土坑墓はその規模から、基本的に成人もしくはそれに順じる死亡年齢の遺体を比較的強く屈曲させて直接埋葬したものと推定しておく。また、複雑な構成を示す例も少なくないことから、埋葬に際して重層化した葬送儀礼が執り行われた場合も推定できよう。なお、SK215には底面直上まで円礫を充填しており、本例は遺体を直接埋葬したのではなく、骨化した遺体もしくは一部の骨を埋葬した二次葬墓であった可能性も想定できよう。ただし、二次葬の存在を認める場合、現状では、それに対応する確実な一次葬の施設を虫内遺跡群の調査例に認めることはできない(註1)。後述するように、通年の住居と共同墓地とが分離した状態を想定すると、死者の発生の時期等によっては住居近辺で一次葬を行い、その後に共同墓地で二次葬を執り行った



第60図　土坑墓長幅分散図

とする想定もあり得ようか。

3類

本類は長楕円形平面基調の土坑墓である。平面形長径が1m前後のものから2m近いものまでを包括し、2類よりも長大な例が存在している。上面に盛土が存在したと推定できる例(SK155・3013・3127)、内部もしくは上面に円礫を据えた例(SK109・143・452)などもあるが、多くは土坑掘削後特別な施設等を設けずに、一気に埋め戻したものと判断できる。現状の覆土の特徴などからは、埋葬に際して重層化した葬送儀礼の存在などは認定し難いと言えよう。ただし、後述する配置の規則性から、地表には土坑墓の存在とその長軸方向とを示す墓標状の施設が存在した可能性が強い。

また、本類は1・2類と比べて共伴遺物が乏しいことが一つの特徴である。本類のうちで出土状況から副葬品を伴った可能性が高い例としては、SK76(石鏃2点)をあげることができる程度である。このほか、石鏃や土製耳飾破片を出土した例などもあるが、遺物包含層と重複することもあり、副葬品や遺体の装着品であったとは断定し難い。なお、赤色顔料の確認例はSK109とSK335の2例のみである。

本類土坑墓には、その形態から、遺体を強く屈曲させることなく直接埋葬したものと推定する。おそらく遺体の膝を曲げる程度であったと推測でき、2類土坑墓とはその埋葬姿勢は相当異なっていた可能性があろう。ここで推測した遺体の埋葬姿勢と土坑墓の規模とを勘案すると、土坑墓の被葬者には成人から小児までを想定できよう。

4類

本類は例数が乏しいため、特徴を抽出し難い。平面形態上は円形平面のものと楕円形平面のものの両者がある。ただし、4基中3基には盛土が存在した可能性があることは注目すべきであろう[註2]。盛土を伴うと推定できる例は本遺跡では171例中10例ときわめて稀であり、さらに本類のうちのSK2046Lでは第4章で触れたように重層化した葬送儀礼が執り行われたと推定できることから、大形であることを根拠にして、本類が複数遺体の埋葬施設であったと単純に判断し難い面もあろう。

ここで、各類土坑墓の特徴をまとめると、まず、1・2類ではその構成などには変異があるものの、平面長幅比や相対的に豊富な副葬品を伴う例が存在する点などに共通性を認めることができる。3類は形態や副葬品の僅少性などの点で斉一性が強く、後述するように特定地点に排他的に集中分布する傾向もある。また、4類は相対的に複雑化した構造を有する可能性があろう。これらのことから、ここでの分類は、土坑墓の性格を考える上で、ある程度の有効性をもつものとしておく。

既述のように、1類土坑墓と2類土坑墓は合計で116例と検出土坑墓の過半数を占め、これに対し、3類土坑墓は36例存在するに過ぎない。現状の虫内Ⅰ遺跡での1・2類土坑墓と3類土坑墓の検出数には大きな開きがある。しかし、虫内Ⅲ遺跡で確認された60基の土坑墓の大半はここでの3類に属し[註3]、虫内遺跡群全体では大きな格差は存在しない可能性もあろう。また、土坑墓の時期を特定できる例は少ないが、総体として1・2・4類はⅣa期以降Ⅳc期までの各時期に存在したと判断できる。3類はⅣa期にその帰属時期を特定できる例を指摘できないが、少なくともⅣb期からⅣc期に帰属する例を認めることができる。後述する土器埋設遺構の各時期ごとの分布状況も勘案すると、土坑墓各類は大勢として、各時期に併存していた可能性が強い。少なくともⅣb期～Ⅳc期にかけては2・3類土坑墓が併存して営まれていたことは確実であろう。土坑墓の分布状況については、後述する。

なお、石鏃出土土坑墓9例のうちの4例が本来盛土を伴ったと推定できる。盛土を伴ったと推定できる土坑墓そのものは全体の5%程度に過ぎないことから、その石鏃出土頻度の高さはこの種の土坑墓の性格を考える上で注目すべきであろう。

土器埋設遺構

今回の調査で当該期の土器埋設遺構は153基確認した。虫内遺跡群の調査全体では200基近く確認しており、その数は縄文時代後期後葉から晩期前葉の東北地方では有数のものであろう。この土器埋設遺構は、東北地方では当該遺構からの嬰児骨検出例があることから、基本的に嬰児の遺体を納めた土器棺墓と判断しておく[註4]。

虫内遺跡群検出の土器埋設遺構の大半は器高30～45cm前後の粗製深鉢を棺身とする。ここでは、以下のように、その構造を主に埋設土器設置の向きからⅠ～Ⅳ類に大別し、Ⅰ～Ⅲ類については細部の特徴をもとにさらに細分する。

Ⅰ類　深鉢を正位に埋設するもの

a　特徴的な構造を認め難いもの(SR1038など)

b　2個体の深鉢を正位で入れ子にするもの(SR2066)

c　深鉢内に土器破片の内蓋を入れるもの(SR75など)

d　深鉢内に礫を入れるもの(SR3061)

e　深鉢上面に石蓋を置くもの(SR123など)

f　深鉢内に土器破片の内蓋を入れ、さらに礫を充填もしくは石蓋を置くもの(SR3173など)

g　深鉢内に別個体の深鉢を逆位で入れ子にするもの(SR3020など)

h　その他特異な例(SR238・256など)

Ⅱ類　深鉢を斜めに埋設するもの

a　特徴的な構造を認め難いもの(SR228など)

b　2個体の深鉢を正位で入れ子にするもの(SR53)

Ⅲ類　深鉢を逆位に埋設するもの

a　底部まで残るもの(SR3178など)

b　底部を欠くもの(SR117など)

Ⅳ類　土器破片を組み合わせるなどその他の特異な例(SR300・3242など)

なお、このほかの特徴を見ると、底部穿孔は5例に、覆土中に赤色顔料を含む例は1例にそれぞれ認めることができるに過ぎない。さらに、副葬品と推定できる遺物としては土製耳飾破片(SR3258)、石剣類破片(SR3231)、盲孔石製品(SR4007)をあげることができる程度である。いずれも例数が乏しいこともあり、ここでの分類基準には採用しない。

上記各類の時期別の例数を第61表に集計した。

これによると、Ⅳa期～Ⅳc期を通して、Ⅰa類が58～65%、Ⅰc類が10～15%前後を占め、主体を占めるものについては時期による大きな変化は認め難い。ただし、Ⅳa1期に特定した例ではⅡ～Ⅳ類が8例中4例を占め、Ⅳa期全体でも20%を越えるのに対し、Ⅳc期ではこれらは5%を占めるに過ぎない点は注意すべきであろう。Ⅳa期では深鉢を正位に埋設する例以外の変異が比較的多く、時期が下るにつれて、正位埋設例に収斂してゆくという傾向を認めることができよう。

	Ⅳa1期	Ⅳa2期	Ⅳa期(計)	Ⅳb期	Ⅳc期	計
Ⅰa類	2	19	34	17	38	89
Ⅰb類	0	1	1	0	0	1
Ⅰc類	1	5	6	4	8	18
Ⅰd類	0	0	0	0	1	1
Ⅰe類	0	1	2	0	1	3
Ⅰf類	1	1	3	1	4	8
Ⅰg類	0	1	1	0	2	3
Ⅰh類	0	0	0	1	2	3
Ⅱa類	1	0	1	2	0	3
Ⅱb類	0	0	1	0	0	1
Ⅲa類	2	0	2	0	0	2
Ⅲb類	0	0	3	1	1	5
Ⅳ類	1	4	6	1	2	9
計	8	32	60	27	59	146

(細別時期不明例を除く)

第61表　土器埋設遺構集計表

次に土器埋設遺構の分布を見る(付図参照)。北調査区では、現状で、北西端側とⅠ区中央部周辺には土器埋設遺構は未確認である。それらの地域以外にはほぼ全域に存在するが、その分布には疎密がある。また、南調査区では、南西端側を除き、ほぼ全域に分布する。土坑墓の分布密度の低い調査区中央部で遺物包含層と重複して分布するほか、現状では土坑墓群間の空閑地にも比較的密に分布する傾向を認めることができる。

時期別の分布を見ると、特定時期の土器埋設遺構が排他的に集中するという状況は明確には指摘し難い。現状では南調査区中央部に比較的Ⅳa期例が集中する(第62図参照)。しかし、Ⅳa期例は調査区のほぼ全域に認めることができることから、これは、南調査区中央部では後の土坑墓等の構築が少なかったことで削平を免れたことによる見かけの集中分布の可能性があろう。ただし、これらの分布状況は、Ⅳa期には土坑墓の分布に直接対応することなしに土器埋設遺構を構築した可能性があること、Ⅳb期以降には土坑墓群に隣接して土器埋設遺構を構築した可能性があることを示唆するかもしれない。ただし、時期を特定できる土坑墓が乏しく、土坑墓と土器埋設遺構との細かな変遷を追跡し難いため、この可能性を検証することは困難である。

遺構群の構造

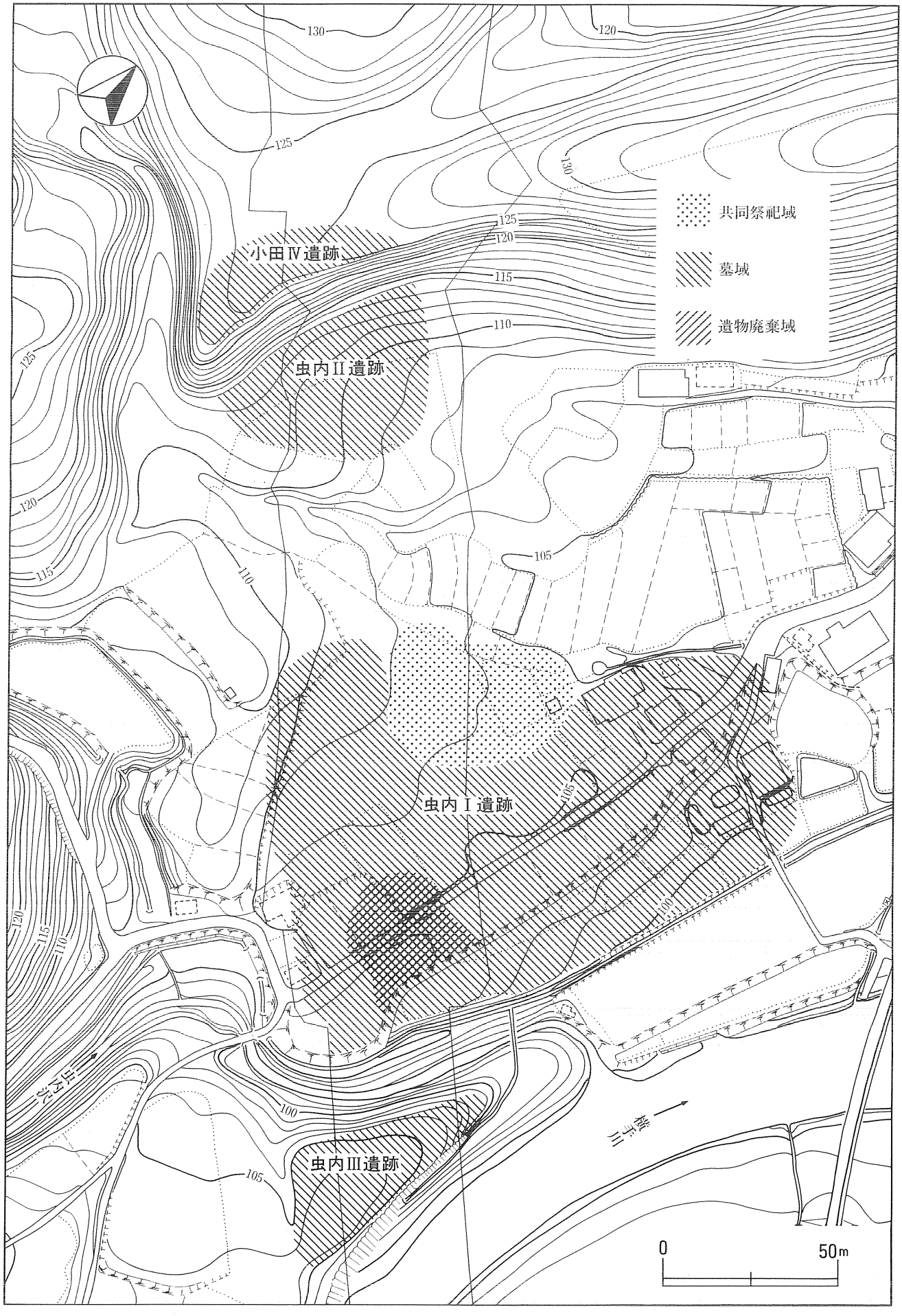
今回の調査範囲は虫内Ⅰ遺跡の中央から南西半側に相当すると推定できる。虫内遺跡群全体としても、東北横断自動車道建設関係の一連の事前調査によってその中央付近を発掘したものと推測できよう。現状での調査結果をもとに、まず、縄文時代後期後葉から晩期前葉の遺跡全体の構造を推測する。

北調査区では調査範囲が狭小なため詳細な性格が判然としないが、現状では、北調査区Ⅰ区中央から北西側にかけて大形建物や柱穴群がまとまって分布している。ここでは土坑墓と推定できる例も少数存在するが、明瞭な分布のまとまりは認め難く、また土器埋設遺構は存在しない。北調査区Ⅱ区のⅠ区寄りの地域でも土器埋設遺構を確認していないことを勘案すれば、北調査区中央部を中心に大形建物や大形の柱状施設が集中する区域が存在したことを推測できよう。遺構の推定規模と分布位置も考慮すると、これらは虫内遺跡群造営集団全体の共同利用施設であったものと推定する。このうち、大形建物(SB2025)は、南調査区Ⅰ区に位置する小規模な竪穴住居1軒と併存する可能性が強いことから、通常の居住施設であったとは想定し難い。季節的な共同居住施設とする想定などもあり得ようが、既述のように遺構全体の削平が著しく、かつ、一部の調査にとどまっているため、その性格は特定し難い。ここでは、当該区域の大形柱穴には、柱を抜き取ったあとに礫を充填するなどの廃絶儀礼の痕跡を認めることができる例が少なからず存在し、また、柱状施設が単独で存在した場合も予想できることから、大形建物を含めたこれらの施設は祭祀施設的性格をもっていたものと想定し、当面、これらが集中する北調査区Ⅰ区中央部を中心とした区域は、共同祭祀域であったとしておきたい。

さらに、北調査区Ⅱ区からⅢ区にかけての土器埋設遺構の分布状況および南調査区の土坑墓・土器埋設遺構の分布状況、そして虫内Ⅰ遺跡の周囲に位置する虫内Ⅱ・Ⅲ遺跡・小田Ⅳ遺跡の土坑墓・土器埋設遺構の分布状況から、上述した共同祭祀域の周囲には、疎密はあるものの、土坑墓、土器埋設遺構などからなる墓域がめぐるものと推定する。また、南調査区中央部にはこれら遺構群と時間的空間的に重複する遺物包含層が存在し、大規模な遺物廃棄域となっている。ここで推定した虫内遺跡群の構造を模式的に示すと第61図のようになろう。

虫内遺跡群全体では未調査範囲も大きく、また、調査範囲においては遺構群の時期的な変遷も明瞭ではないため、ここで想定した構造は必ずしも確実とは言えない。ただし、虫内Ⅰ遺跡が立地する低位段丘面の中央付近が共同利用施設域として区分され、この区域に対峙するように周囲に墓域が形成されるという傾向は認めることができるであろう。また、虫内Ⅲ遺跡と小田Ⅳ遺跡には、Ⅳa期からⅣc期におよぶ土器埋設遺構が分布することから、虫内遺跡群の基本的な構造はおそらくⅣa期にはすでに確立し、Ⅳc期まで持続したものと判断できよう。

ここで、墓域を検討する前に、他の主な遺構について概観しておく。まず、竪穴住居は南調査区Ⅰ区で遺物廃棄域に隣接して単独で立地する。Ⅳa期からⅣc期までの累積で3軒存在し、その位置は時期が下るにつれて、大きくは南から北に向かって移動している。これは遺物廃棄域の拡大と対応した変化の可能性もあるが、遺物廃棄域の時間的変遷が明瞭ではないため、断定できない。また、この竪穴住居と一部重複して比較的大形の6本柱からなる建物1棟(SB430)が存在している。建物は遺物包含層とは空間的時間的に重複し、また、大半の柱穴には柱材抜き取り後円礫を充填して埋め戻す廃絶儀礼の痕跡を認めることができる。これらの特徴を勘案すると、周辺に位置する竪穴住居とは同時に存在しないが、本建物が竪穴住居に代わる居住施設であったとは想定し難い。遺物廃棄域中に存在することから、葬送儀礼もしくは遺物廃棄儀礼に関連する施設であったと推測しておく。



第61図　虫内遺跡群の構造模式図

一方、小規模の柱穴群は大勢として土坑墓もしくは土器埋設遺構の集中域に隣接して分布する傾向を認めることができる。その分布傾向から、その多くは墓の付属施設もしくは葬送儀礼と係わった施設の痕跡であったと判断する。単独の柱穴としたものの中にはSB419・420・4086のような建物状の構造物を構成していたものも存在する可能性も高く、また、墓標もしくは境界標識のような施設の痕跡例もあるものと想定しておく。

このほか、南調査区中央に位置する遺物廃棄域からは膨大な粗製深鉢のほか、廃棄時には完形であった可能性がある精製土器、完形の石器なども多量に出土している。しかし、調査では意図的な配置を認定し得るような特徴的な出土状況は顕著ではなく、焼土遺構・配石遺構等の儀礼的行為との関連を推定し得る遺構の確認例もわずかである。現状では、個々の廃棄行為の具体的な目的を特定することは困難である。ここではこの遺物廃棄域の形成を、虫内遺跡群を営んだ集団が多量の余剰を集約することが可能であったことを示すとともに、その余剰が特定個人もしくは特定系譜の個別集団に帰属し、財として墓に副葬もしくは蓄積・伝世されるのではなく、共同の遺物廃棄域においておそらくは共同の儀礼的行為のもとで消費されたことも示しているものと評価しておく。

墓域の分析

ここでは土坑墓の分布状況を中心に検討する(第62図参照)。土坑墓の分布には疎密があり、北調査区Ⅰ区・Ⅲ区・南調査区Ⅱ区南半などでは相対的に分布密度が低い。これに対し、南調査区Ⅰ区からⅡ区北半にかけては土坑墓が多数分布する。中でも南調査区Ⅰ区南端では、22基の土坑墓が集中する。しかも、22基の土坑墓のうちの21基が3類に属し、きわめて特徴的なまとまりを形成する。これらの土坑墓はほとんど切り合わず、その長軸方位が大きくは直交する二方向にまとまるのが一つの特徴である。この南調査区Ⅰ区南端部ほど顕著ではないが、3類土坑墓分布には、ほかでも、いくつかのまとまりを認めることができる。さらに虫内Ⅲ遺跡及び小田Ⅳ遺跡の南東端部も3類土坑墓が集中する同様のまとまり、もしくはその集合と認定できよう。

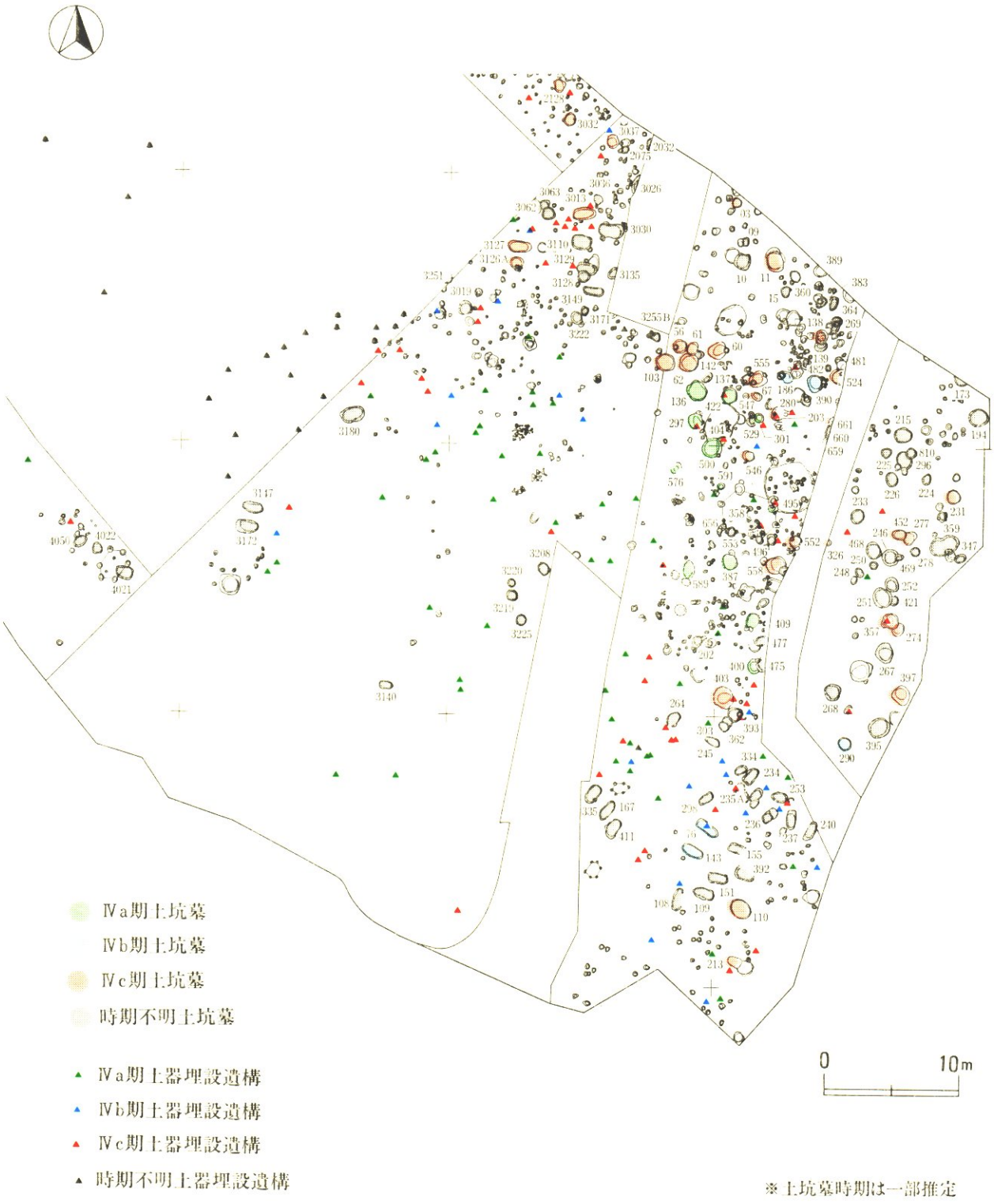
一方、1・2類土坑墓でも、3類土坑墓ほど明瞭ではないが、やはりいくつかのまとまりを認定できると判断する。例えば、1・2類土坑墓が集中する南調査区Ⅰ区東端部では、次のように土坑墓のまとまりを認定した。

まず、当該地区周辺の遺構分布を見ると、その南西側に土坑墓分布の空白域を認めることができる。この空白域に隣接するSK274と357はいずれもⅣc期に帰属すると推定でき、かつ両者は切り合い関係を有する。周囲に空閑地が存在し、相互に大きな構築時期の差を想定し得ないにもかかわらず、切り合うほどに接近して位置するという状況は、両者が土坑墓分布の一つの単位となることを示すものと考えることができよう。さらに先の空白域に注目すると、これらの2基の土坑墓のように、相互に切り合うかもしくは密接した2～3基前後の土坑墓、もしくは単独の土坑墓がこの空白域の周囲に一部二重の環状にめぐるようなまとまりを想定できる。

このように、結果として土坑墓群はいくつかの土坑墓のまとまりの集合体と判断でき、墓域全体もいくつかの細分された区域から構成されているものと予想する。

ここでは、南調査区の土坑墓を対象にして、現状で単独で分布すると判断するものを除いて、最終的にA～Hの8つのまとまりを認定した(第63図)。以下、土坑墓群のまとまりを大群A、その分布区域をA地点のように呼ぶこととする。

これらの大群のうち、大群Aと大群Bは、Ⅳa期に帰属時期を限定し得る例のほか、出土遺物もしくは確認面・切り合い関係などからⅣa期に属する可能性がある土坑墓をまとめて設定した。大群Aは1類3基、2類7基など合計13基の土坑墓、大群Bは4基の1類土坑墓からそれぞれなる。大群AにはSK387のように盛土を有



第62図　南調査区の遺構分布

し、共伴遺物が比較的豊富な特徴ある土坑墓も存在する。しかし、当該期に確実に比定できる例が乏しいため、大群全体の特徴は判然としない。現状では、これらの土坑墓群は環状の分布を示さず、また、周辺の大群との関係も明瞭ではない。ただし、大群Aとした土坑墓群は、それぞれ大群Dと大群Fの一部を構成した可能性を必ずしも否定できない。残りの大群C～Hは、時期を特定できる例が乏しい。大群が継起的に形成された場合も想定し得るが、大勢として、少なくともⅣb期～Ⅳc期の間、複数の大群が併存したものと判断できる。現状では、これらの大群のうち、大群C・Hは3類土坑墓を、大群D～Fは1・2類土坑墓をそれぞ

第63図　南調査区土坑墓の群別

れ主体とし、大群Gでは1～3類の土坑墓が混在する。

以下では、他の遺構や遺物包含層との重複が少なく、土坑墓配置の検討が比較的容易な大群Cと大群Dを主に取り上げて、その土坑墓分布構造と性格について考える。

大群Cでは、既述のように22基の土坑墓のうち21基までが3類に分類できる。また、唯一、2類土坑墓としたSK110は、その幅広で大形の小判形平面をなす形態から合葬例と推定し、3類土坑墓の変異と考えることもできよう(註5)。

この大群内での土坑墓の長軸方位を見ると、全体としては北東－南西方向と北西－南東方向のほぼ直交する二方向にまとまる傾向を指摘できる。さらにC地点北側の土坑墓群は前者の方向をとるものが13例中9例と大半を占めるのに対し(註6)、南側では北西－南東方向の例が逆に9例中7例を占め、その主体となる方位が南北で逆転している。北側にはⅣb～Ⅳc期に帰属する土坑墓が、南側にはⅣb期とⅣc期に帰属する土坑墓がそれぞれ存在することから、必ずしも確実ではないが、南北の土坑墓群は並行して営まれた可能性が高い。

さらに長軸方位を細かく見ると、隣接する2～3基前後で、長軸方位がよりそろって並列する例(SK76・143、SK167・335・411)、あるいは長軸方位がほぼ直交して「L」字形に並ぶ例(SK108・109)などの相対的により規則的な配置の単位を認めることができる。その規則的な配置の特徴から、これらの土坑墓群は相対的により密接な関係があると判断してよかろう。ここでは、この判断をもとに、大群は、このより小規模の単位(以下、小群と呼ぶ)が累積した集合体と想定し、大群内に土坑墓単独のものもあわせて合計11の小群を認定した(第63図)。

次にこの小群の性格を考える。本大群の土坑墓は被葬者の性格等を判断する資料を欠く。そこで、本群と相同の大群もしくはその集合を形成していると想定し得る虫内Ⅲ遺跡を参考にする。

虫内Ⅲ遺跡検出土坑墓のうち、SK102とSK104は両者の土坑墓長軸が直交した「L」字形の配置をなし、SK112・126とともに小群を構成すると判断できる。そして、SK102からは石鏃が、SK104からは櫛が出土し、それぞれ被葬者への副葬品もしくは被葬者の装着品と推定できる(註7)。類例は乏しいものの、虫内遺跡群の土坑墓では石鏃と櫛とは排他的な出土状況を示すと判断できることから、それらの伴出土坑墓被葬者をそれぞれ男性と女性とに対比しても矛盾しないと考える。

この考えを前提とし、さらに個々の小群は、その土坑墓配列のより強い規則性から比較的短期間で形成されたと想定し、かつ土坑墓の規模も勘案すると、小群を構成する土坑墓の被葬者群は、本来、成人を含む男女2～4人程度からなる集団を構成すると推定する。このような構成の集団は、現状では1竪穴住居居住集団に対比することが最も妥当であると考える。当該期の主たる居住形態は小規模の竪穴住居が単独で点在するものであった可能性が高く、竪穴住居居住集団の相対的な独立性の高まりを予想できることは、竪穴住居居住集団が独自に土坑墓小群を形成したとする考えの傍証となろう(註8)。

なお、土器埋設遺構は、C地点内やその周辺に30基余り分布している。Ⅳa期からⅣc期まで各期の例が存在し、大勢として土坑墓と併存したと判断できる。SR39のように土坑墓と切り合う例など小群に隣接する例もある一方で、小群分布の空閑地に比較的集中する例もある。現状では、土坑墓の詳細な時期が不明な例が多いこともあり、小群に土器埋設遺構が伴うかは判然としない。

次に主に1・2類土坑墓からなる大群Dの構造を見る。

上述したように、本大群は土坑墓が一部二重となる環状配置をなすものと認定した。D地点西側は水路による未調査部分が存在するため、詳細は不明な部分が大きい。現状で、本大群は、1類14基、2類17基、3類・4類各1基など、計34基の土坑墓からなる。先の大群Cと対比すると、土坑墓の配置、その主体となる土坑墓

形態などに顕著な相違を認めることができるほか、本大群では土坑墓同士の切り合いが存在するという点も大群Cとの違いの一つとなっている。先に触れたように、近接した時期の土坑墓同士でも切り合い関係をもつことから、切り合い関係をもつ土坑墓もしくは近接する土坑墓数基程度を密接した関係のある単位と認めて小群とし、その小群の集合として大群をとらえると、本大群は大群Cとの一定の共通性を認めることができよう。しかし、ここでの小群の構成集団が大群C内小群について想定したように、1竪穴居住集団に対比可能かは、現状では判断し難い。

ただし、例えばSK251・252・421からなる小群のように、1類でも小形の土坑墓は、それらのみで小群を形成することは少なく、2類土坑墓とともに小群を構成する傾向を認めることができる。この種の小形の1類土坑墓被葬者を小児と想定するならば、同一小群内の2類土坑墓被葬者にはその親が含まれている可能性が強いものと推測する。この推測が妥当であるならば、ここでの小群は血縁紐帯原理によって形成されている可能性が強く、その構成集団には1竪穴住居居住集団もしくはその一部を含むものと推測できよう。

また、土器埋設遺構は、土坑墓の環状配置内にはほとんど存在せず、現状では土器埋設遺構が小群に伴う状況は認定し難い(註9)。同じく1・2類土坑墓が環状にめぐると認定した大群E・Fでも、小群に土器埋設遺構が伴う状況を認めることはできない。現状からは、土器埋設遺構は土坑墓の環状配置外に分布する可能性が強い。このことから、これらの大群では土坑墓を排他的に環状配置する強い規制が働いていたと評価することも可能かもしれない。

なお、大群Gでは、1～3類土坑墓が混在した配置を示す。3類土坑墓はその長軸方位が東－西方向にまとまり、現状ではこれに直交する例が存在しない。これに対し、2類土坑墓が3類土坑墓に近接して位置する例や1類土坑墓と3類土坑墓がかすかに切り合う例があり、そのうち、2類のSK3126Aと3類のSK3127はともにⅣc期に帰属する可能性が強い。これらのことから、本大群では、2類土坑墓と3類土坑墓とで小群を構成する可能性を想定すべきかもしれない。

虫内遺跡群の評価

上記の土坑墓とその分布の検討において、1・2類土坑墓と3類土坑墓とでは、遺体の埋葬姿勢や副葬品出土頻度、あるいは葬送儀礼の重層化の程度に差があると推定できること、両者が原則としてその集中域を異にすること、そして、それぞれの集中域は1竪穴住居居住集団構成員もしくは直系の血縁集団構成員を被葬者とする数基程度の土坑墓の累積で形成された可能性があることなどを想定した。これらのことから、縄文時代後期後葉から晩期前葉にかけての虫内遺跡群では、墓制を異にする複数の集団群が大勢として地点を別にしながら、中央部の共同祭祀域の周囲に土坑墓を造営することを大きな特徴とする共同墓地が成立していたと想定する。

ここでは、若干の補足とともに、共同墓地の造墓集団全体の性格について考える。この造墓集団全体の性格を検討するに当たっては、大群相互の関係や大群個々の構成など、より詳細に分析すべき点は多い。しかし、ここでは、議論を簡潔にするため、1・2類土坑墓造営集団と3類土坑墓造営集団とをそれぞれ墓制を異にしながら併存した二つの集団として対照的に取り上げて、主に両者の関係を検討することを造墓集団全体の性格の検討に替えたい。

既述のように、共伴遺物の出現頻度は1・2類土坑墓の方が高く、2類土坑墓には重層化した葬送儀礼の存在を示唆する例も認めることができる。その一方、3類土坑墓である虫内Ⅲ遺跡SK91からは虫内遺跡群では唯一の完形石剣類が装身具とともに出土し、副葬品の面からは卓越した存在となっている。このことを重視

すれば、1・2類土坑墓と3類土坑墓の共伴遺物の出現頻度の差や葬送儀礼重層化の有無などをそれぞれの造墓集団の優劣に単純に置き換えることはできないと判断する。

また、盛土の有無に注目すると、盛土を伴ったと推定できる土坑墓(以下、盛土土坑墓と呼ぶ)は2類と3類の両者に存在する。第4章で報告した4類に属する盛土土坑墓SK2046Lで顕著であるが、盛土土坑墓では、ほかよりも、相対的に複雑でかつ示威的な葬送儀礼が執り行われた可能性が強い。また、大群Dでは西側に3基の盛土土坑墓が分布し、このうちSK362・403は同一小群に属する。この小群の認定とその性格の評価が妥当だとすれば、盛土を伴う特徴的な墓制は特定の血縁集団内で継続的に採用された場合も存在したことを想定できるかもしれない。さらに、前述したように石鏃が出土した9例の土坑墓中4例が盛土土坑墓であることは、盛土土坑墓被葬者が男性であったことを示唆するものであろう。

これらの盛土土坑墓の特徴を重視すれば、虫内遺跡群造墓集団群にはおそらくは男性の有力者が顕在化しつつあり、その有力者の優位性が血縁関係に沿って継承された場合も想定し得るかもしれない。しかし、現状では盛土土坑墓は各大群に散在し、特定の大群のみに排他的に分布することはない(註10)。また、盛土土坑墓からの出土遺物や土坑墓の規模そのものについては、他の土坑墓と極端な格差を指摘し難く、土坑墓造営に際して投入された財や労働力自体は他の土坑墓の場合とそれ程大きな違いはなかったであろう。これらのことから、大群を構成した集団間である種の階層分化が成立していたとは考え難く、虫内遺跡群の外観は当時の集団関係の優劣を反映したものではないであろう。

ここでの1・2類土坑墓群と3類土坑墓群との違いは、それぞれの造墓集団のいわば他界観の相違に求めるべきと考える。

次に、1・2類土坑墓と3類土坑墓の分布状況をあらためて見ておく。3類土坑墓主体の大群は、大群Cや虫内Ⅲ遺跡、あるいは小田Ⅳ遺跡のように、遺跡群のより周辺部に位置するものが目につくものの、その一方で、大群Gのように中央部付近にも存在する。現状では、1・2類土坑墓と3類土坑墓が大勢としてそれぞれ別個に構成する分布集中域相互には、有意な分布状況を読みとることはできない。このことは、個別の土坑墓造営集団が任意に共同祭祀域の周囲に造墓地点を選定することが可能であったことを意味しているかもしれない。

ここまでの議論をあらためてまとめると、虫内遺跡群全体の造墓集団は他界観を異にする複数の集団が、外観上は遺跡中心部の共同祭祀域とおそらくは遺物廃棄域とを結節点として結びついたものと言えよう。他界観は基本的に血縁関係によって伝達されると考えることができることから、それぞれ別個の血縁紐帯で結びついていた複数の集団が地縁紐帯による結び付きを強めていった姿を虫内遺跡群の構造から読みとることができる(註11)。また、土坑墓群については時期的な変化が明らかではないが、土器埋設遺構では、時期が下るにつれて正位埋設例に収斂する傾向を認めることができることは、地縁紐帯による規制が虫内遺跡群造墓集団全体に対して強まった結果と解釈することもできよう。

この言わば集団関係の変質の背景には多様な要因が錯綜して存在しているであろう。ここでは、特に生業形態との相関を重視し、必ずしも充分な根拠は提示できないが、当該期には焼畑農耕が一定の確立をみたことを想定し、これが先の地縁紐帯にもとづく集団関係への変化の大きな要因となったという推論を提出したい。

今回の調査においては、農耕の存在を示唆する栽培植物の出土や栽培植物花粉の検出例はない。しかし、虫内Ⅰ遺跡出土Ⅳa2群(大洞B1式)土器の胎土中からイネ様の植物珪酸体が検出されている(第7章第7節)。㈱古環境研究所による分析結果報告では、慎重な表現ではあるが、縄文時代晩期前葉において畑作による稲

栽培が存在した可能性を示唆している。イネ様の植物珪酸体が検出された当該試料そのものは、胎土および文様表出技法等の器面の特徴から在地産と判断しても矛盾しないこと[註12]、さらに、近年の栽培植物の検出や花粉分析結果を踏まえて、縄文時代に農耕が存在したとする考えがあらためて提示されていること[註13]も勘案すると、作業仮説として、当時、虫内遺跡群周辺に稲作を含む農耕が導入されていたと想定することも可能であろう。

また、本遺跡の石器組成を見ると、当該期は石鏃等の狩猟具および凹石類等の植物質食料加工具がその中心となるが、これに加えて、いわば手グワ状の打製石斧が新たな生産用具として出現している。量的に卓越することはないが、第6章第3節で触れたように土坑墓への副葬例が目につくこともあり、生産用具の中では、相当の重要性を評価すべきものと考える。同じく第6章第3節ではこの種の打製石斧は基部側縁の敲打痕の存在などから、基本的に手持ちの軽作業用具と判断したが、ここでは一歩進めて畑作における除草具であったと推定する[註14]。

その一方で、開墾具とみなし得る遺物をほとんど認めることができないことから、ここで想定する畑作は、当時斑状に存在したであろう疎林あるいは草原のような大規模な開墾を必要としない土地を耕作地とした焼畑農耕であったと考える。なお、石器組成では石鏃や凹石類などが卓越することから、ここでの焼畑農耕は従来からの狩猟や植物採集なども包括した多角的な生業活動のうちの一つとして採用されたものであったろう。

この焼畑農耕の耕作単位は、虫内遺跡群における竪穴住居跡確認状況を勘案し、1軒程度の竪穴住居居住集団であったと判断する。さらに、当該期には一定規模の竪穴住居集中域が未確認であることから、各集団は耕作適地の近辺に分散居住し、かつ、耕作地の疲弊にともなって、頻繁に移動を重ねるような居住－生業形態を想定しておきたい。

ここで焼畑農耕の採用を認めると、多角的な生業活動のうちの一部を占めるに過ぎないとしても、土地を対象に一定量の労働力を投下することから、その結果として、その土地に対する当該集団の占有欲求を以前よりも高めたものと予想できる。これに伴って、諸集団間の土地占有に関する利害調整、さらには従来からの種々の集団階層に応じた領域に関する諸関係の再編成が不可欠となるであろう。この集団諸関係の再編成は、総体として、より領域占有を中心とした関係、おそらくはより地縁紐帯を中心とした関係への再編成であったと推測する。

この地縁紐帯を中心に集団関係が再編成される具体的な場として、虫内遺跡群が成立したと考える。そこでは、集団の結束を強化すべく、共同墓地を形成するとともに、共同で多様な儀礼的行為を執り行ったと推定できる[註15]。それらのうち、大規模な遺物包含層形成をもたらした共同の儀礼的行為は、膨大な量の財の消費活動を集団の内外に示威的に明示することによって、虫内遺跡群造営集団の結束を強化するだけでなく、その集団全体の占有領域を維持する役割も果したであろう。また、ここでは触れることはできなかったが、儀器交換・生活物資交換・婚姻による人の交換なども、周囲の集団との利害調整装置として機能・盛行したと考えることができよう[註16]。

結論として、大規模な墓域を中心とした虫内遺跡群の景観は、焼畑農耕導入に起因する土地占有欲求の強化を主たる動機として、集団関係が地縁関係にもとづいて再編統合化される動向を表徴すると総括しておきたい。

上記の解釈は仮説にとどまるが、これをもって縄文時代後期後葉から晩期前葉にかけての虫内遺跡群についての現時点での評価としておく[註17]。

註1　なお、後述する2類土坑墓の集中地点に分布する性格不明の2基の土坑SK283・284は、土坑墓群の環状配列内に位置し、SK284がSK283を大きく掘り込んだ状態となっている。あるいは、SK283が一次葬の土坑墓、SK284が二次葬のために遺体をSK283内から取り上げた掘り込みであったと推定できるかもしれない。

註2　4類のうち盛土を伴わないSK359は、調査時には確認できていないが、円形平面の土坑墓2基の切り合ったものの可能性もあろう。

註3　以下、本章での虫内Ⅰ遺跡以外の虫内遺跡群(虫内Ⅱ・Ⅲ遺跡、小田Ⅳ遺跡)に関する記述は、基本的に以下の報告書にもとづく。

秋田県教育委員会『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書ⅩⅣ－虫内Ⅱ遺跡－』秋田県文化財調査報告書第234集　1993(平成5年)

秋田県教育委員会『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書ⅩⅦ－虫内Ⅲ遺跡－』秋田県文化財調査報告書第242集　1994(平成6年)

秋田県教育委員会『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書ⅩⅧ－小田Ⅳ遺跡－』秋田県文化財調査報告書第243集　1994(平成6年)

註4　例えば、宮城県気仙沼市田柄貝塚では後期末葉から晩期前中葉にかけての5基の土器埋設遺構(報告書では甕棺墓)が検出され、そのうちの4基から人骨が出土している。鑑定を行った2体は新生児あるいは胎児、未鑑定の残り2体もほぼ同胎齢であろうと報告されている。

宮城県教育委員会『田柄貝塚』宮城県文化財調査報告書第111集　1986(昭和61)年

なお、山田康弘は、胎児・新生児の埋葬例を集成し、少なくとも東北地方では早期死亡の新生児が土器棺(山田論文では甕棺)に埋葬された可能性が高いとしている。

山田康弘「甕棺葬の条件」『史境』第28号　1994(平成6)年

註5　なお、土坑墓以外の土坑のうち、SK165はC地点周辺では最も古いⅣa1期に属する遺構の一つで、これを避けるようにして周囲に土坑墓が分布している。新たな土坑墓集中域設定時などを契機に、当該集団祖先の遺骨を集めて収めた土坑のような性格も想定できようか。SK150Aも時期は下るものの、類似した性格を想定できるかもしれない。このほか、SK220は単独で存在した大形の柱穴の可能性がある。あるいは集団の象徴となるようなトーテムポール様の柱を立てた遺構であろうか。

註6　ほぼ北－南方向の長軸方位を示すSK237は、北東－南西方向方位をとるものの変異のうちに含めることができると考えるが、ここでは北東－南西方向例から省いた。

註7　一方の土坑形態が未確認であるため確実ではないが、同じく虫内Ⅲ遺跡SK26とSK42もそれぞれ石鏃と櫛とを伴う小群を構成する可能性が強い。

註8　小群における土坑墓長軸方位の差は当該集団内の出自差もしくは性差を、南北での主たる土坑墓長軸方位の差は双分原理あるいは外婚単位をそれぞれ表徴する可能性なども想定できようが、現時点では推論の具体的な根拠を欠く。

なお、ここで認定した小群のうち、SK76・143・298からなる小群は、大群を優勢長軸方位で南北に分けた場合、二分されることとなる。この小群は、大群Cのほぼ中心に位置し、かつ相対的に古い時期に帰属する可能性が高い。あるいは、これらのことから、当該小群が本地点に最初に出現し、以後この小群の集団構成とそれを反映した土坑長軸方位が基準となって、他の小群が展開し、最終的に現状の構成の大群が成立したとの想定も可能かもしれない。

註9　SK357を掘り込んで構築されているSR256は、SK357造営時の一連の葬送儀礼にかかわる上部施設の可能性もあろう。

註10 個別の土坑墓の変遷が不明なため確実ではないが、大群Dでは、西側に盛土土坑墓が、東側に円礫を充填した土坑墓が分布しており、あるいは本大群も、大群Cで想定したように大きく二つに分かれるのかもしれない。

註11 大群Gでは、2類土坑墓と3類土坑墓とが小群を形成すると認めると、これは、地縁紐帯の強化のもとで墓制を異にした集団間に新たな婚姻関係が成立したことを示していると想定することもできようか。

註12 分析結果報告では、当該試料は、現在東北地方の日本海側にほとんど分布しないネザサ節(型)の植物珪酸体が多量に含まれることから、搬入品であった可能性を示唆している。しかし、秋田県内の遺跡採取土壌の植物珪酸体分析では、ネザサ節検出例も少なくない(例えば大館市寒沢遺跡での分析例)。よって、ネザサ節(型)の植物珪酸体検出を根拠に当該試料を(東北地方南部からの)搬入品と断定することはできないであろう。

秋田県教育委員会『曲田地区農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ－寒沢遺跡－』秋田県文化財調査報告書第254集　1995(平成7)年

註13 例えば下記の吉崎昌一文献。

吉崎昌一「縄文時代の栽培植物」『第四紀研究』第36巻第5号　1997(平成9)年

なお、秋田県内では、西仙北町上野台遺跡などで縄文時代晩期前後の層準からソバ属花粉が検出されている。

秋田県教育委員会『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅲ－上野台遺跡・寺沢遺跡・半仙遺跡－』秋田県文化財調査報告書第180集　1989(平成元)年

註14 石篦の一部は、その刃部使用痕が打製石斧のそれと類似することから、除草具として使用された可能性を想定しておきたい。

註15 先に触れた大形建物は、複数の世帯がそこに集合して擬制的な単一世帯を形成し、集団の結束強化を図るための住居を象徴化した施設であったと想定できるかもしれない。規模と主柱穴配置の点では類似する青森県大森勝山遺跡の大形の竪穴住居跡が中央に1基の炉しかもたず、当時一般的な小形の竪穴住居跡をそのまま拡大した構造を示すことは暗示的である。

村越潔ほか「第15節　大森勝山遺跡」『岩木山』岩木山刊行会　1968(昭和43)年

註16 本章で推定した焼畑農耕による栽培植物も、当該集団にとっては多角的な生業活動によって獲得する植物質食料の一部との位置付けにとどまっているとすると、食料全体に余剰があれば、生産量そのものはわずかであっても交換の対象となり得よう。

註17 ここでの虫内遺跡群についての評価は、縄文時代後期から晩期にかけて北海道西南部～東北地方北部全域で顕著となる大規模墓址遺跡すべてに当てはまるとは考え難い。ここで取り上げた打製石斧の多寡や土坑墓形態の斉一性の程度、墓域の構造、竪穴住居の分布状況などは、地域によって、あるいは遺跡によってもかなり変異がある。例えば、林謙作は北海道西南部の縄文時代後期後葉に出現する周溝墓を首長制の形成と関連づけ、瀬川拓郎は同じく北海道西南部の縄文時代後期～続縄文期において、後期の区画墓から晩期以降の多副葬墓への変遷を認めて、晩期には首長の隔絶化と部族組織の結合強化を想定する。両者の論旨は必ずしも整合するものではないが、縄文後期後葉以降に首長の顕現化を墓制から予想している点は共通する。少なくとも、区画墓・多副葬墓の存否等から、虫内遺跡群と北海道西南部とでは異なる集団関係が存在したことは予想できよう。

このように、地域、場合によっては遺跡ごとに特徴ある生業形態やこれに規制された多様な集団関係が成立していた可能性が強く、大規模墓域出現の契機やその性格もまた多様であったものと想定すべきであろう。

なお、ここである種の農耕集団と想定した虫内遺跡群造営集団は、「農業共同体」成立の先駆けとなり、以後、段

階的に階級社会を形成するに至ったとは想定し難い。東北地方北部～北海道では基本的に前方後円墳が分布せず、いわゆる前方後円墳体制に組み込まれないことがこのことの一端を明示している。地域・時期によって変異はあるものの、縄文時代前期以降には一定規模の共同労働が一般化していたと判断できる東北地方北部～北海道における当該期の労働編成および財の交換・分配と結びついたイデオロギーと、水田経営が爆発的に拡散し、階層～階級差が顕在化する西日本弥生のそれとは、総体としてとらえるとかなり異質なものであったろう。おそらく、このイデオロギーの異質性こそが、農耕採用後の階級社会成立時期の南北差をもたらした重大な要因であろう。

林謙作「柏木B第1号環状周提墓の構成と変遷」『北海道考古学』第19輯　1983(昭和58)年

瀬川拓郎「縄文後期～続縄文期墓制論ノート」『北海道考古学』第19輯　1983(昭和58)年

番　号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆　土	遺　物	時　期	備　考
SKP2004	LQ55	円形	(52)	48	55	105.06	図版21参照	縄文土器2	Ⅳa期(縄文晩期前葉)?	
SKP2005	LQ55	円形?	66	(48)	52	105.07	図版6参照	縄文土器2 凹石類1 石皿1 有孔礫1		SK2006に切られる
SKP2008	LR55	楕円形	159	80	94	104.75	図版21参照	縄文土器4	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	SK2046A・Bを切る
SKP2009	LS55	楕円形	140	65	60	105.20	図版21参照	縄文土器4	縄文晩期前葉?	
SKP2021	LT56	楕円形	108	65	104	104.77	図版6参照	凹石類2		SK2013に切られる
SKP2022	MA59	円形	22	22	5	105.83	図版6参照			SK2018を切る
SKP2024	LR・LS56・57	楕円形	136	82	86	104.85	図版21参照	縄文土器10 RF1 UF1 F7 石核1 凹石類1	Ⅲa期(十腰内第I群)	SB2025に切られる
SKP2036	LQ54	楕円形	53	40	50	105.11	図版21参照	縄文土器7 石核1 凹石類3	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	SKP2038・2068を切る
SKP2038	LQ54	円形	23	22	20	105.42	図版21参照	縄文土器1		SKP2036に切られる
SKP2043	LS56・57	円形	23	22	20	105.49				
SKP2044	LT・MA57	楕円形	121	73	65	105.18	図版22参照	縄文土器8		
SKP2045	LT57	不整楕円形	97	67	94	104.83	図版22参照	縄文土器16 F2 石核1 凹石類1	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	
SKP2046D	LR55	楕円形	42	31	41	105.24	黒色土単一層		Ⅳa2期(大洞B1式)以降	SK2046Lを切る
SKP2046E	LR55	楕円形	54	36	64	105.00	図版8参照	Ⅳa1群深鉢1 Ⅳb群鉢1 縄文土器底部1 UF1 F3	Ⅳb期(大洞B2式)以降	SK2046Lを切る 柱抜き取り埋め戻し 大形円礫あり
SKP2046F	LR55	円形	32	29	36	105.28	図版8参照		Ⅳa2期(大洞B1式)以降	SKP2046H・SK2046Lを切る コナラ節の一種の炭化材出土
SKP2046H	LR55	円形?	20	(14)	(33)	(105.36)	図版8参照	縄文土器1		SKP2046Fに切られる
SKP2046I	LR55	楕円形	31	24	18	105.45	塊状地山土	縄文土器1 UF1	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	SK2046Lを切る
SKP2047	LS57	不整楕円形	22	15	5	105.73	図版7参照	F1		SK2042を切る
SKP2049A	MB59・60	円形	47	47	17	105.73	暗褐色土単一層			SKP2049Bを切る
SKP2049B	MB60	方形	50	(25)	9	105.80	地山土塊を含む暗褐色土			SKP2049Aに切られる
SKP2050	MA58	不整楕円形	142	92	100	104.80	図版22参照	縄文土器9 SC1 F1	Ⅳc期(大洞BC式)	SB2025を切る
SKP2053	LT58	楕円形	91	78	70	105.08	図版22参照	縄文土器約50 RF1 F3 凹石類2 石皿1 骨2	Ⅳc期(大洞BC式)	SB2025に切られる
SKP2054	MC61	楕円形	139	114	88	105.09	図版23参照	縄文土器40 SC1 RF1 F16	Ⅳc期(大洞BC式)	SKP2264を切る
SKP2068	LQ54	円形	23	(14)	10	105.51	黒色土単一層			SKP2036に切られる
SKP2071	MA59	円形	26	23	34	105.50	地山土塊含む黒褐色土			
SKP2079	LT57	楕円形	65	40	89	104.93	図版23参照		Ⅳc期(大洞BC式)以降	SB2025P7を切る
SKP2080	MA59	不整形	125	78	85	104.97	図版23参照	縄文土器10 F2 凹石類1		
SKP2082	LT56	隅丸方形	70	60	70	105.09	図版23参照	縄文土器1		
SKP2085	LS57	不整形	132	113	88	104.87	図版24参照	縄文土器22		SK2136を切る
SKP2087B	LS・LT58	楕円形	82	(52)	83	104.93	図版24参照	縄文土器15 F5 凹石類1	Ⅳc期(大洞BC式)	SB2025P26に切られる
SKP2089	LS57	楕円形	(41)	30	6	105.70	図版9参照		Ⅳa2期(大洞B1式)以前?	SK2088に切られる
SKP2090	LT57・58	不整形	78	72	102	104.80	図版24参照	縄文土器4	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	
SKP2091	LT58	不整形	32	32	27	105.54	図版24参照	縄文土器1		
SKP2092	LT58	不整円形	48	40	28	105.55	図版24参照	縄文土器1 礫器1	Ⅳc期(大洞BC式)以降	SB2025P29・SKP2101を切る
SKP2094A	MA57	楕円形	24	16	13	105.73	図版24参照		Ⅳc期(大洞BC式)以前	SKP2094Bを切る SB2025P37に切られる
SKP2094B	MA57・58	楕円形	50	44	32	105.54	図版24参照	石皿2	Ⅳc期(大洞BC式)以前	SKP2094Aに切られる
SKP2096	LQ55	不整形	52	50	37	105.24	図版25参照	凹石類1		
SKP2097	LQ55	不整楕円形	65	46	43	105.09	図版25参照	凹石類2		
SKP2101	LT58	円形	42	(32)	12	105.66	図版24参照	縄文土器1		SKP2092に切られる
SKP2105B	LR54	楕円形	18	(11)	(26)	105.39	図版9参照	F1		SKP2105Cを切る SK2105Aに切られる
SKP2105C	LR54	楕円形	(30)	24	20	105.43	図版9参照	縄文土器3 F3		SK2105A・SKP2105Bに切られる
SKP2108	MA59	円形	39	36	45	105.42	図版25参照	縄文土器2		SKP2488を切る?
SKP2109	MA59	円形	26	22	17	105.71	褐色土単一層			

第62表　北調査区柱穴一覧表(1)

番　号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆　土	遺　物	時　期	備　考
SKP2110	MA59	楕円形	47	37	10	105.78	地山土塊を含む暗褐色土			
SKP2113	LS55	楕円形	46	36	72	105.02	図版25参照	縄文土器8		
SKP2115	LO52	楕円形	45	40	40	104.64	黒色土単一層			SKP2213を切る
SKP2126	LM·LN·51·52	楕円形	106	(84)	117	103.82	図版25参照	縄文土器17　石匙1　UF2　F1　石核1　凹石類1　石皿1	Ⅳc期(大洞BC式)以降	SKP2127を切る
SKP2127	LM·LN51	不明	32		40	104.60	黒褐色土単一層			SKP2126に切られる
SKP2131	MA57	円形	30	(16)	87	105.10	図版25参照		Ⅳc期(大洞BC式)以前	SKP2216を切る　SB2025P9に切られる
SKP2133A	LP52	楕円形	(32)	29	42	104.70	図版25参照	縄文土器3　凹石類1	Ⅳa2期(大洞B1式)	SKP2133Bを切る　SR2066の下位に位置する
SKP2133B	LP52	楕円形	46	35	62	104.48	図版25参照	縄文土器4　石錘1	Ⅳa2期(大洞B1式)	SKP2133Aに切られる　SR2066の下位に位置する
SKP2134	LP53	楕円形	68	59	80	104.45	図版26参照	縄文土器4　凹石類1	Ⅳd期(大洞C2式)以降?	
SKP2137	LS57	不整形	38	31	23	105.46	図版26参照	縄文土器2		
SKP2138	LO53	不整楕円形	62	38	31	104.96	黒色土単一層	縄文土器2		
SKP2139	LO53	楕円形	34	24	13	104.99	黒色土単一層			
SKP2143	LP54	円形	26	23	24	105.16	黒色土単一層			
SKP2145	LM51	円形	40	38	7	104.64	黒褐色土単一層			
SKP2146	LO53	円形	(42)	42	33	105.00	図版26参照	縄文土器8　F3		
SKP2147	LQ53	楕円形	72	(50)	20	105.25	図版26参照	縄文土器2　F1		SKP2148に切られる
SKP2148	LQ53	楕円形	42	28	21	105.24	図版26参照			SKP2147を切る
SKP2149	LQ53	楕円形	53	(27)	30	105.32	図版26参照			
SKP2151	LQ54	円形	32	28	29	105.28	図版26参照	縄文土器4　石槍1　凹石類1　焼骨1	Ⅳb～c期(大洞B2～BC式)	
SKP2152	LQ54	楕円形	73	60	56	104.93	図版26参照	縄文土器1　RF1　F4　凹石類1	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	
SKP2153	LQ54	円形	40	37	35	105.13	図版26参照			
SKP2154	LQ54	円形	20	20	10	105.40	暗褐色土単一層			杭痕か
SKP2155	LQ54	円形	54	45	74	104.74	図版27参照	縄文土器1　F2		
SKP2156	LO52·53	円形	46	41	43	104.63	図版27参照	縄文土器2　F6		
SKP2157	LO52	楕円形	32	26	33	104.73	図版27参照	縄文土器4	Ⅳd期(大洞C2式)以降	
SKP2158A	MA58	円形	18	18	16	105.66	図版11参照			SK2158Bを切る
SKP2159	LQ54	円形	32	28	36	105.23	図版27参照	縄文土器1		
SKP2160	LQ54	不整楕円形	28	26	50	105.10	図版27参照	縄文土器1　凹石類1		
SKP2161	LS57	不整円形	31	28	9	105.70	黒色土単一層			
SKP2162	LS57	円形	27	25	13	105.61	黒色土単一層	縄文土器2		底面グライ化　土器は覆土中位から出土
SKP2163	LS57	楕円形	43	34	61	105.06	図版27参照	縄文土器3		
SKP2166	MB·MC60	円形	24	23	13	105.84	黒色土単一層		Ⅳc期(大洞BC式)以降か	SK2167Aを切る
SKP2167B	MC61	円形	18	(14)	25	105.72	図版11参照	縄文土器2	Ⅳc期(大洞BC式)以前か	SK2167Aに切られる
SKP2168	LO51	円形	16	16	4	104.84	黒色土単一層			
SKP2169	LO51	円形	19	18	4	104.84	黒色土単一層	F1		
SKP2170	LO51	円形	19	18	7	104.78	黒色土単一層			
SKP2171	LO51	円形	23	23	23	104.78	黒色土単一層	F1		剥片は覆土中位から出土
SKP2172	LO51	楕円形	25	(22)	9	104.64	黒色土単一層			
SKP2173	LO51	円形	32	29	17	104.66	黒色土単一層	縄文土器2		SKP2174と切り合う
SKP2174	LO51	円形	26	26	7	104.75	黒色土単一層			SKP2173と切り合う
SKP2175	LO51	円形	18	18	17	104.67	黒褐色土単一層			
SKP2176	LO51	円形	14	14	4	104.78	黒褐色土単一層			
SKP2178	LO52	楕円形	63	45	11	104.97	黒色土単一層			SKP2179と切り合う

第63表　北調査区柱穴一覧表(2)

番　号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆　土	遺　物	時　期	備　考
SKP2179	LO52	円形	19	19	5	105.01	黒色土単一層			SKP2178と切り合う
SKP2180	LO52	楕円形	39	30	19	104.86	黒褐色土単一層	F(黒曜石)1		SKP2181と切り合う
SKP2181	LO52	楕円形	28	20	12	104.95	黒色土単一層			SKP2180と切り合う
SKP2182	LO52	円形	22	20	11	104.97	黒色土単一層			
SKP2183	LT56	円形	36	32	66	105.14	図版27参照			
SKP2184	MA58	円形	44	40	33	105.56	黒色土・地山土混合			
SKP2185	LR55	円形	21	18	11	105.50	図版27参照			SKP2186を切る
SKP2186	LR55	円形	32	(25)	52	105.06	図版27参照			SKP2185に切られる
SKP2187	LS57	楕円形	21	18	22	105.46	黒色土・地山土混合			杭痕
SKP2188	LS57	楕円形	18	14	19	105.51	黒色土・地山土混合			杭痕
SKP2189	LN51	楕円形	32	23	5	104.63	黒色土単一層			
SKP2190	LN51	円形	19	17	5	104.65	黒色土単一層	縄文土器2		土器は小破片　覆土中位から出土
SKP2191	LN51	楕円形	30	22	10	104.59	黒色土単一層	凹石類1		凹石類は覆土上位から出土
SKP2192	LN51	円形?	20	(9)	4	104.69	黒色土単一層			
SKP2193	LN51	楕円形	31	23	10	104.60	黒色土単一層			
SKP2194	LN51	楕円形	24	17	9	104.61	黒色土単一層	縄文土器1		
SKP2195	LN51	円形	27	26	21	104.51	黒色土単一層			
SKP2196	LN51	円形	22	21	17	104.54	黒色土単一層	縄文土器1		土器は小破片　覆土中位から出土
SKP2197	LN51	円形	26	26	8	104.64	黒色土単一層			
SKP2198	LN51	円形	34	31	49	104.24	黒色土・地山土混合			
SKP2199	LN51	円形	33	30	32	104.41	黒色土・地山土混合			
SKP2200	LN51	不整円形	24	23	21	104.51	黒色土単一層			
SKP2201	LN51	円形	22	22	16	104.56	黒色土単一層			
SKP2202	LN51	円形	15	14	6	104.69	黒色土単一層			
SKP2203	LN51	不整形	44	33	33	104.42	黒色土単一層	縄文土器1 SC1 UF1 F1		遺物は覆土上位から出土
SKP2204	LN51	楕円形	31	23	16	104.59	黒色土単一層	縄文土器2		土器は小破片　覆土下位から出土
SKP2205	LO52	楕円形	39	30	17	104.81	黒色土単一層			
SKP2206	LO52	円形	19	18	8	104.89	黒色土単一層			
SKP2207	LN51	楕円形	32	26	11	104.59	黒色土単一層			
SKP2208	LN51	不整形	41	30	36	104.38	黒色土単一層			
SKP2210	LQ54	不整形	54	47	50	105.06	図版27参照	F1	Ⅳb期(大洞B2式)以前	SKP2211に切られる
SKP2211	LQ54	楕円形	37	26	22	105.27	図版28参照	縄文土器(台付鉢口縁部～胴部破片)	Ⅳb期(大洞B2式)	SKP2210を切る
SKP2212	LO52	円形	32	34	22	104.72	黒色土単一層			
SKP2213	LO52	円形	24	24	8	104.83	黒色土単一層			SKP2115に切られる
SKP2214	LO52	円形	19	18	5	104.97	黒色土単一層			
SKP2215	LO52	円形	23	22	18	104.80	黒色土単一層			
SKP2216	MA57	楕円形	68	(44)	76	104.98	図版28参照	縄文土器1	Ⅳc期(大洞BC式)以前	SKP2131・SB2025P9に切られる
SKP2218	LO52	円形	28	28	19	104.87	黒色土単一層			
SKP2219	MA58	不整楕円形	42	26	21	105.69	黒色土・地山土混合	縄文土器1		土器は小破片　覆土中位から出土
SKP2220	LT57	楕円形	39	33	60	105.17	図版28参照			
SKP2221	LO52	楕円形	26	22	39	104.59	図版28参照	石皿1		SKP2222を切る 杭痕
SKP2222	LO52	円形	46	42	50	104.48	図版28参照	石篦1		SKP2221に切られる

第64表　北調査区柱穴一覧表(3)

番　号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆　土	遺　物	時　期	備　考
SKP2227	LT57	楕円形	48	30	14	105.68	黒色土単一層			
SKP2229	LT58	楕円形	14	(8)	18	105.58	黒色土単一層			杭痕
SKP2230	LT58	楕円形	14	11	17	105.62	黒色土単一層			杭痕
SKP2231	LT58	楕円形	23	18	22	105.56	黒色土・地山土混合			
SKP2232	LT58	円形	22	21	15	105.67	黒色土単一層			杭痕
SKP2233	LT58	楕円形	25	17	13	105.67	黒色土単一層			
SKP2234	LT58	円形	20	20	20	105.62	黒色土・地山土混合			
SKP2235	LT58	円形	21	19	16	105.68	黒色土・地山土混合			
SKP2236	LO52	楕円形	36	29	8	104.88	黒色土単一層			
SKP2238	LO52	楕円形	58	49	11	104.89	黒色土単一層			
SKP2240	LO52	楕円形	32	25	11	104.95	黒色土単一層			
SKP2241	LO52	円形	30	30	30	104.81	黒色土単一層			
SKP2242	LO52	円形	26	26	37	104.73	黒色土単一層			
SKP2243	LO52	円形	24	23	13	104.99	黒色土単一層			
SKP2244	LO52	円形	28	25	14	104.85	黒褐色土単一層			SKP2245を切る
SKP2245	LO52	円形	(30)	28	24	104.77	黒褐色土単一層			SKP2244に切られる
SKP2246	MB・MC61	円形	28	28	13	105.84	黒色土単一層			
SKP2247	MB・MC61	円形	21	20	13	105.85	黒色土単一層			
SKP2248	MC61	円形?	24	(17)	9	105.88	黒色土単一層			
SKP2249	MC61	楕円形	38	30	59	105.45	黒色土単一層			
SKP2250	MC60	円形	27	26	15	105.89	黒色土単一層			
SKP2251	MC60	円形	22	22	13	105.93	黒色土単一層			
SKP2252	MC60	楕円形	48	36	50	105.57	黒色土単一層	縄文土器3		土器は著しく摩滅覆土上位から出土
SKP2253	MC・MD61	楕円形	33	27	18	105.74	黒色土単一層			
SKP2254	MD61	楕円形	29	22	12	105.78	黒色土単一層			
SKP2255	MD60・61	楕円形	36	28	39	105.49	黒色土単一層			
SKP2256	LR55	円形	28	26	38	105.27	黒色土・地山土混合	縄文土器1　F1		土器は著しく摩滅遺物は覆土中位から出土
SKP2257	LR55	円形	19	19	18	105.47	黒色土単一層			杭痕
SKP2258	LR55	円形	24	22	12	105.53	黒色土単一層			
SKP2259	LR55	円形	36	32	11	105.51	黒色土単一層			
SKP2260	LR55・56	楕円形	22	18	15	105.47	黒色土単一層			
SKP2261	LR56	不整楕円形	22	17	18	105.46	黒色土単一層			
SKP2262	LR55	円形	19	18	13	105.50	黒色土・地山土混合			
SKP2263A	LR54	楕円形	12	10	14	105.46	図版28参照			SKP2263B・D・Eを切る　杭痕
SKP2263B	LR54	楕円形	18	14	34	105.26	図版28参照			SKP2263Aに切られる
SKP2263C	LR54	楕円形	39	30	29	105.32	図版28参照	縄文土器1　UF1		SKP2263E・Fを切る
SKP2263D	LR54	楕円形	32	23	21	105.35	図版28参照	縄文土器12		SKP2263Aに切られる　SKP2263Eを切る
SKP2263E	LR54	楕円形	(50)	50	52	105.01	図版28参照			SKP2263A・C・Dに切られる SKP2263Fを切る
SKP2263F	LR54	楕円形	(38)	30	55	105.02	図版28参照	縄文土器1		SKP2263C・Eに切られる

第65表　北調査区柱穴一覧表(4)

番　号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆　土	遺　物	時　期	備　考
SKP2264	MC61	楕円形	(39)	24	49	105.50	黒色土単一層	縄文土器1	Ⅳc期(大洞BC式)以前	SKP2054に切られる 土器は覆土上位から出土
SKP2266	LS56	不整形	68	54	90	104.80	図版29参照	縄文土器1 UF1 F1 石皿1	Ⅳa1期(縄文後期後葉)以降	
SKP2267	LQ53	楕円形	52	(33)	40	104.97	柱痕:黒色土 根固め土:地山土	縄文土器1 凹石類1		SKP2269を切る 柱痕あり 土器は柱痕中位から、凹石類は根固め土中位から出土
SKP2268	LQ53	楕円形	28	23	17	105.26	褐色土単一層			SKP2269・2494を切る
SKP2269	LQ53	楕円形	54	(33)	11	105.31	褐色土単一層	縄文土器1		SKP2267・2268・2494に切られる 土器は覆土中位から出土
SKP2270	LO52	楕円形	52	43	10	104.84	黒色土単一層			
SKP2272	LO53	楕円形	34	25	21	105.00	黒色土単一層			SKP2316を切る SN2073の下位に位置する
SKP2273	LO53	楕円形	38	28	12	105.14	黒色土単一層			SN2073の下位に位置する
SKP2274	LO53	円形	36	36	61	104.74	黒褐色土単一層	縄文土器7 F3 磨製石斧1		磨製石斧は底面直上から出土
SKP2275	LO53	楕円形	42	24	30	104.91	黒色土単一層			
SKP2276	LO53	楕円形	25	16	9	105.09	黒色土単一層			SN2073の下位に位置する
SKP2277	LO・LP52	楕円形	28	24	14	104.83	黒色土単一層			
SKP2278	LO52	楕円形	36	32	12	104.84	黒色土単一層	縄文土器3 石槍1 RF1 F5		土器は著しく摩滅 遺物は覆土上位から出土
SKP2279	LP52	楕円形?	22	(10)	5	104.93	黒色土単一層			
SKP2280	LP52	楕円形	27	19	11	104.88	黒色土単一層	縄文土器1		
SKP2281	LP52	楕円形	(24)	22	10	104.88	黒色土単一層			
SKP2282	LO・LP52	円形?	(15)	15	19	104.78	黒色土単一層			
SKP2283	LO52	楕円形	22	16	5	104.94	黒色土単一層			
SKP2284	LO・LP52	楕円形	25	21	10	104.90	黒色土単一層	縄文土器2		土器は覆土中位から出土
SKP2285	LO52	楕円形	19	16	7	104.94	黒色土単一層	縄文土器1		土器は覆土上面から出土
SKP2286	LP52	円形	24	23	7	104.94	黒色土単一層	縄文土器5		土器は覆土上位から出土
SKP2287	LO・LP52	楕円形	30	24	19	104.87	黒色土単一層	F1		剥片は覆土上位から出土
SKP2288	LP52	円形	19	19	11	104.93	黒色土単一層			
SKP2289	LP52	楕円形	23	20	34	104.74	黒色土単一層	縄文土器1		土器は覆土中位から出土
SKP2290	LP52	円形	36	35	53	104.72	図版29参照	縄文土器8 RF2 F18 凹石類2 骨9		SQ2065の下位に位置する
SKP2291	LP52	円形	26	25	11	105.00	黒色土単一層			SQ2065の下位に位置する
SKP2292	LP52	楕円形?	22	(11)	5	105.01	黒色土単一層			
SKP2293	LP52	円形	17	16	15	104.93	黒色土単一層			
SKP2294	LP52	円形	18	18	6	105.04	黒色土単一層			
SKP2295	LP52	円形	33	28	26	104.89	図版29参照	縄文土器4 凹石類1		
SKP2296	LS56	楕円形	41	34	70	105.09	図版29参照			
SKP2297	LQ53	楕円形	25	21	30	105.17	黒色土単一層			
SKP2298	LQ53	楕円形	20	18	11	105.34	黒色土単一層			
SKP2299	LQ53	円形	31	28	15	105.17				
SKP2300	LR55	円形	13	13	4	105.61	塊状地山土			
SKP2301	LR55	円形	11	11	12	105.52	暗褐色土単一層			
SKP2302	LR55	円形	16	16	9	105.56	暗褐色土単一層			SKP2303を切る
SKP2303	LR55	楕円形	(20)	18	10	105.55	暗褐色土単一層			SKP2302に切られる

第66表　北調査区柱穴一覧表(5)

番　号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆　土	遺　物	時　期	備　考
SKP2304	LR55	円形	18	17	10	105.54	暗褐色土単一層	F1　石核1		石核は遺構中央から出土
SKP2305	LR55	円形	18	17	5	105.63	暗褐色土単一層			
SKP2306	LR55	円形	19	18	25	105.43	暗褐色土単一層			
SKP2307	LR55	円形	19	19	16	105.52	暗褐色土単一層			
SKP2308	LR55	円形	22	22	6	105.65	暗褐色土単一層			
SKP2309	LR56	不整円形	22	20	9	105.58	暗褐色土単一層			
SKP2310	LR56	円形	18	18	15	105.53	暗褐色土単一層			
SKP2311	MA58	楕円形	37	32			黒色土・地山土混合			
SKP2312	LT58	楕円形	29	18	31	105.45	黒色土単一層			杭痕
SKP2313	LO53	楕円形	24	21	13	105.06	黒色土単一層			
SKP2314	LO・LP53	円形	18	18	8	105.12	黒色土単一層			SN2073の下位に位置する
SKP2315	LO52・53	楕円形	37	23	15	104.96	黒色土単一層			SN2073の下位に位置する
SKP2316	LO53	円形	24	21	34	104.85	黒色土単一層			SKP2272に切られる SN2073の下位に位置する
SKP2317	LP53	楕円形	72	54	13	105.14	黒色土単一層	縄文土器4　F1		遺物は覆土上位から出土
SKP2319	MC60	円形	32	30	41	105.73	黒色土単一層			
SKP2320	MC61	楕円形	24	20	21	105.80	黒色土単一層			
SKP2321	MC61	楕円形	29	22	21	105.93	黒色土単一層			
SKP2322	LP53	円形	36	34	11	105.14	黒色土単一層			
SKP2323	LP53	楕円形	60	44	20	105.01	黒色土単一層			
SKP2324	LQ55	円形	17	16	15	105.45	黒色土・地山土混合			
SKP2325	LR55	円形	20	19	7	105.57	塊状地山土			
SKP2326	LR55	円形	25	24	12	105.51	暗褐色土単一層			
SKP2328	LR55	楕円形	21	15	15	105.50	暗褐色土単一層			
SKP2329	LR55	不整楕円形	20	15	4	105.61	暗褐色土単一層			
SKP2330	LR56	円形	14	14	6	105.57	暗褐色土単一層			
SKP2331	LT58	不整形	17	9	8	105.68				
SKP2335	MC・MD61	楕円形	50	35	18	105.67	黒色土単一層			
SKP2336	MC61	楕円形	35	25	20	105.70	黒色土単一層			
SKP2337	MC61	楕円形	33	22	11	105.95	黒色土単一層			
SKP2338	MC60	不整円形	38	36	47	105.59	黒色土単一層			
SKP2339	MC60	不整形	46	39	22	105.84	黒色土単一層			
SKP2340	MC60	円形?	30	(13)	18	105.93	黒色土単一層			
SKP2341	MC60	楕円形?	54	(20)	14	105.96	黒色土単一層			
SKP2342	MC60	不整円形	20	18	9	105.99	黒色土単一層			
SKP2343	MC60	楕円形	(20)	18	15	105.92	黒色土単一層			
SKP2344	MC60	不整形	44	39	15	105.94	黒色土単一層			
SKP2345	MC60	楕円形	34	22	7	106.00	黒色土単一層			
SKP2346	MC60	不整楕円形	29	22	10	105.97	黒色土単一層			
SKP2347	MC60	楕円形	26	15	5	106.02	黒色土単一層			
SKP2348	MB60	円形	35	33	23	105.79	黒色土単一層			

第67表　北調査区柱穴一覧表(6)

番　号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆　土	遺　物	時　期	備　考
SKP2349	MB60	円形	20	19	7	106.01	黒色土単一層			
SKP2350	MB60	楕円形	34	21	10	105.95	黒色土単一層			
SKP2351	MB60	楕円形	27	22	7	105.98	黒色土単一層			
SKP2352	MB60	円形	21	19	6	105.98	黒色土単一層			
SKP2353	MB60	楕円形	22	16	5	105.97	黒色土単一層			
SKP2354	MC60	円形	26	24	8	106.00	褐色土単一層			
SKP2355	LN52	不整形	30	24	8	104.72	黒色土単一層			
SKP2356	LN52	円形	22	22	10	104.68	黒色土単一層			
SKP2357	LN52	楕円形	26	19	15	104.64	黒色土単一層			
SKP2358	LN52	楕円形	17	14	10	104.71	黒色土単一層			
SKP2359	LN52	楕円形	24	17	15	104.66	黒色土単一層			
SKP2360	LN52	円形	15	14	9	104.75				
SKP2361	LN52	楕円形	35	23	26	104.61	黒色土単一層	石核1		石核は覆土下位から出土
SKP2362	LN52	楕円形	36	30	14	104.74				SKP2363に切られる
SKP2363	LN52	楕円形	19	16	28	105.47				SKP2362を切る
SKP2364	LN52	楕円形	20	16	19	104.66				
SKP2365	LN52	円形	27	25	10	104.72	黒色土単一層			SKP2366を切る
SKP2366	LN51・52	隅丸方形	42	38	13	104.70	黒色土単一層			SKP2365・2367に切られる
SKP2367	LN51・52	楕円形	24	17	23	104.59	黒色土・地山土混合			SKP2366を切る
SKP2368	LN52	楕円形	24	20	39	104.47	黒色土単一層			
SKP2369	LN51・52	楕円形	22	17	8	104.77	黒色土単一層			
SKP2370	LP52	円形	19	18	7	105.00	黒色土単一層			SQ2065の下位に位置する
SKP2371	LP53	楕円形	22	16	9	105.04	黒色土単一層			
SKP2372	LP53	不整方形	65	43	10	105.07	黒色土単一層			大形礫あり
SKP2373	LP53	楕円形	41	32	22	104.96	黒色土単一層			
SKP2374	LP53	楕円形	31	23	21	105.05	黒色土単一層			
SKP2375	LP53	円形	23	23	8	105.15	黒色土単一層			
SKP2376	LP53	円形	28	27	10	105.16	黒色土単一層			
SKP2377	LP53	楕円形	54	43	12	105.19	黒色土単一層			
SKP2378	LQ54	円形	22	20	25	105.32	黒色土単一層			
SKP2379	LQ・LR54	楕円形	20	17	8	105.52	暗褐色土単一層			
SKP2380	LQ54	円形	24	22	28	105.30	暗褐色土単一層	縄文土器1	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	土器は覆土中位から出土
SKP2381	LQ54	楕円形	20	14	25	105.29	暗褐色土単一層			
SKP2382	LQ54	楕円形	36	22	12	105.46	暗褐色土単一層			SKP2383を切る
SKP2383	LQ54	楕円形	34	21	21	105.36	暗褐色土単一層			SKP2382に切られる
SKP2384	LQ54	楕円形	17	13	16	105.42	暗褐色土単一層			
SKP2385	LQ54	円形	16	14	17	105.41	暗褐色土単一層			
SKP2386	LQ54	楕円形	28	20	18	105.38	暗褐色土単一層			SKP2387に切られる
SKP2387	LQ54	楕円形	30	18	27	105.27	暗褐色土単一層			SKP2386を切る
SKP2388	LQ54	楕円形	24	19	16	105.39	暗褐色土単一層			SK2001と切り合う
SKP2389	LQ54	楕円形	26	18	8	105.44	暗褐色土単一層			
SKP2390	LQ54	楕円形	17	12	11	105.40	暗褐色土単一層			

第68表　北調査区柱穴一覧表(7)

番　号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆　土	遺　物	時　期	備　考
SKP2391	LQ54	楕円形	22	18	8	105.40	暗褐色土単一層			
SKP2392	LQ53・54	円形	21	20	36	105.03	暗褐色土単一層			
SKP2393	LQ54	円形	22	21	6	105.41	暗褐色土単一層			
SKP2394	LQ54	楕円形	28	20	7	105.43	黒色土単一層			SKP2395を切る
SKP2395	LQ54	楕円形	31	19	11	105.42	黒色土単一層			SKP2394に切られる
SKP2396	LQ・LR54	円形	19	18	23	105.37	暗褐色土単一層			
SKP2397	LQ54	円形	16	16	8	105.51	暗褐色土単一層			
SKP2398	LQ54	楕円形	19	15	14	105.46	暗褐色土単一層	縄文土器1		土器は覆土中位から出土
SKP2399	LN52	円形？	(21)	34	44	104.52	黒色土単一層			
SKP2400	LN52	楕円形	21	18	11	104.80	黒色土単一層			
SKP2401	L051	楕円形	30	23	12	104.64	黒色土単一層			
SKP2402	LR54	円形?	26	(10)	8	105.57	暗褐色土単一層			
SKP2403	LR54	楕円形	20	18	9	105.54	暗褐色土単一層			
SKP2404	LR54	円形	20	19	10	105.57				
SKP2405	LR54	方形	29	23	34	105.33	暗褐色土単一層	F1		剥片は覆土上位から出土
SKP2406	LR54	円形	19	19	4	105.64	暗褐色土単一層			
SKP2407	LR54	楕円形	26	21			暗褐色土単一層	縄文土器1		
SKP2408	LR54	円形	18	18	7	105.61	暗褐色土単一層			
SKP2409	LR54	円形	13	13	18	105.47	暗褐色土単一層			
SKP2410	LR54	隅丸方形	37	23	29	105.38	暗褐色土単一層	縄文土器4　F1		遺物は覆土上位から出土
SKP2411	LR54	方形	17	17	6	105.62	暗褐色土単一層			
SKP2412	LR54	楕円形	14	11	9	105.54	暗褐色土単一層			
SKP2413	LR54	円形	16	15	6	105.55	暗褐色土単一層			
SKP2414	LR54	楕円形	21	16	22	105.40	暗褐色土単一層			
SKP2415	LR54	楕円形	19	15	14	105.52	暗褐色土単一層			
SKP2416	LR54・55	円形	23	23	34	105.27	暗褐色土単一層			
SKP2417	LR54	円形	14	13	8	105.54	暗褐色土単一層			
SKP2433	LQ54	円形	34	31				縄文土器1		
SKP2434	MD61	円形	36	35	42	105.40	黒色土単一層			
SKP2435	LS55	円形	24	23	43	105.27	黒色土単一層			
SKP2440	LS55	円形	13	12	5	105.71	黒色土単一層			
SKP2445	LS56	楕円形	19	14	13	105.66	黒色土単一層			
SKP2446	LS56	不整形	19	14	17	105.61	黒色土単一層			
SKP2447	LS56	円形	23	20	10	105.65	黒色土単一層			
SKP2448	LS56	円形	19	19	7	105.67	黒色土単一層			
SKP2449	LS56	楕円形	22	18	13	105.64	黒色土単一層			
SKP2450	LS56	楕円形	24	20	13	105.61	黒色土単一層			
SKP2451	LS56	楕円形	16	13	9	105.66	黒色土単一層			
SKP2452	LS56	楕円形	26	18	12	105.63	黒色土単一層			
SKP2453	LS56	円形	16	16	13	105.64	黒色土単一層			
SKP2454	LS56	円形	14	14	6	105.71	黒色土単一層			

第69表　北調査区柱穴一覧表(8)

番　号	区	平面形	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	底面標高 (m)	覆　土	遺　物	時　期	備　考
SKP2455	LS56	円形	16	14	8	105.71	黒色土単一層			
SKP2456	LS56	方形	22	20	6	105.77	黒色土単一層			
SKP2457	LS56	円形	16	15	8	105.72	黒色土単一層			
SKP2458	LS56	楕円形	14	11	7	105.74	黒色土単一層			
SKP2459	LS56	円形	19	(16)	12	105.67	黒色土単一層			SB2025P4と切り合う
SKP2460	LS57	楕円形	28	21	14	105.64	黒色土単一層			
SKP2461	LS57	楕円形	(26)	(10)	9	105.69	黒色土単一層			SK2042に切られる
SKP2462	LS・LT57	楕円形	21	16	12	105.70	黒色土単一層			
SKP2463	LT57	楕円形	22	18	19	105.66	黒色土単一層			
SKP2464	LT57	楕円形	22	16	14	105.72	黒色土単一層			
SKP2467	LR56	円形	16	15	19	105.43	暗褐色土単一層			
SKP2468	LR56	楕円形	19	11	12	105.48	暗褐色土単一層			
SKP2469	LR56	円形	14	12	5	105.68	黒色土単一層			
SKP2470	LR56	不整円形	18	17	10	105.63	黒色土単一層			
SKP2471	LS56	楕円形	17	12	7	105.76	黒色土単一層			
SKP2472	LS56	楕円形	26	16	15	105.68	黒色土単一層			
SKP2474	LP54	楕円形	20	18	13	105.33	暗褐色土単一層			
SKP2475	LP54	円形	19	18	9	105.37	暗褐色土単一層			
SKP2476	LP53	楕円形	22	16	15	105.17	暗褐色土単一層			
SKP2477	LP53・54	楕円形	23	18	12	105.28	暗褐色土単一層			
SKP2478	LR56	円形	23	23	22	105.39	暗褐色土単一層			
SKP2483	MA58	楕円形	30	21	13	105.75	暗褐色土単一層			
SKP2484	LS56	楕円形	13	10	13	105.56	黒色土単一層			
SKP2486	MA59	楕円形	26	18	9	105.78	暗褐色土単一層			
SKP2487	MA59	楕円形	18	15	12	105.77	暗褐色土単一層			
SKP2488	MA59	円形	31	29	12	105.73	暗褐色土単一層			SKP2108に切られる？
SKP2489	MA59	楕円形	45	21	13	105.71	暗褐色土単一層			
SKP2490	LQ53	楕円形	20	18	13	105.33	暗褐色土単一層			
SKP2491	LQ53	楕円形	17	12	8	105.38	暗褐色土単一層			
SKP2492	LS55	円形	12	10	7	105.73	黒色土単一層			
SKP2493	LS55	楕円形	15	10	12	105.68	黒色土単一層			
SKP2494	LQ53	楕円形	41	32	20	105.25	黒色土・地山土混合	F1		SKP2268に切られる SKP2495を切る 剥片は覆土中位から出土
SKP2495	LQ53	楕円形	(23)	21	8	105.40	黒色土単一層			SKP2494に切られる
SKP2496	LQ53・54	楕円形	68	31	10	105.34	黒色土単一層			SK2150に切られる
SKP2497	LR54	楕円形	35	26	18	105.43				
SKP2498	LM51	不明			28	104.56	黒色土単一層			断面のみ確認
SKP3049	LM・LN50	楕円形	26	23	18	104.41	図版29参照	縄文土器8 SC1 F1		
SKP3050	LN50	円形?	30	(20)	5	104.64				
SKP3051	LN50	楕円形	19	15	7	104.57				
SKP3052	LN50	円形	19	19	12	104.53				
SKP3053	LM・LN50	円形	19	19	11	104.49				
SKP3054	LN50	円形	11	10	7	104.55				

第70表　北調査区柱穴一覧表(9)

番　号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆　土	遺　物	時　期	備　考
SKP3055	LM50	不整形	19	17	12	104.48	黒褐色土単一層			
SKP3056	LM50	円形	24	23	8	104.53	黒色土・地山土混合			
SKP3057	LM50	楕円形	25	22	20	104.39	黒褐色土単一層			
SKP3058	LM50	楕円形	30	26	8	104.51	黒褐色土単一層	縄文土器1		
SKP3079	LM51	不整楕円形	18	13	11	104.54		縄文土器1		
SKP3084	LM51	楕円形	22	19	12	104.54	塊状地山土			
SKP3085	LM51	円形	20	18	4	104.62	黒色土・地山土混合			
SKP3086	LM51	楕円形	24	18	26	104.42	黒色土単一層			SR2104に切られるSKP3087と切り合う
SKP3087	LM51	楕円形	31	28	29	104.41	黒色土・地山土混合			SR2104に切られるSKP3086と切り合う
SKP3088	LM51	楕円形	24	16	18	104.51	黒色土・地山土混合			
SKP3089	LM51	円形	23	23	20	104.44	黒色土・地山土混合			
SKP3090	LM51	円形	37	35	9	104.55	黒色土・地山土混合	縄文土器3 SC1 F1		
SKP3091	LM51	楕円形	28	20	7	104.55	黒色土単一層			
SKP3092	LM51	楕円形	28	19	34	104.28	黒色土単一層			
SKP3093	LM51	楕円形	24	21	6	104.57	黒色土単一層			
SKP3094	LM51	楕円形	23	18	14	104.55		縄文土器1		
SKP3095	LM51	円形	18	18	6	104.62				
SKP3096	LM51	楕円形	29	23	9	104.61				
SKP3097	LM50	楕円形	22	16	7	104.55			Ⅳc期(大洞BC式)以前か	SK3032の下位で検出
SKP3098	LM50・51	円形	15	15	7	104.56			Ⅳc期(大洞BC式)以前か	SK3032の下位で検出
SKP3099	LM50・51	楕円形	25	18	8	104.52				
SKP3100	LM50・51	楕円形	19	14	8	104.55				
SKP3101	LM50・51	楕円形	12	9	5	104.61				
SKP3102	LM51	円形	26	24	8	104.55				
SKP3103	LM51	楕円形	24	19	21	104.41				
SKP3104	LM51	円形	23	23	5	104.68				
SKP3105	LM51	円形	15	15	6	104.69				
SKP3106	LN50	楕円形	16	13	8	104.57				
SKP3122	LM51	不整形	51	42	22	104.46		縄文土器1		上位でSN2100検出
SKP3124	LM51	不整楕円形	24	18	9	104.57	黒色土単一層			
SKP4031	MC43	円形	41	39	2	105.73				攪乱の可能性あり
SKP4033	MK51	円形	31	29	35	109.09				
SKP4035	MJ51	楕円形	37	28	17	108.73	黒褐色土単一層			
SKP4038	MC43	円形	29	27	16	105.84	黒褐色土単一層	C1		
SKP4044	MC41	円形	43	38	17	106.05	黒色土単一層			
SKP4045	MB・MC42	円形	35	32	15	105.82	黒褐色土単一層			
SKP4046	MB42	円形	26	22	13	105.77	黒色土単一層			
SKP4052	MB43	楕円形	50	33	13	105.70	黒褐色土単一層			SK4050と重複する
SKP4055	MI50	楕円形	40	35	3	106.98	黒褐色土単一層			
SKP4057	MG49	楕円形	24	18	9	106.75	黒褐色土単一層			
SKP4058	MG48	方形	25	21	5	106.70	黒褐色土単一層			
SKP4059	MG48	楕円形	22	18	12	106.66	黒褐色土単一層			
SKP4060	MG48	楕円形	21	16	5	106.88	黒褐色土単一層			杭痕
SKP4061	MG48	楕円形	27	19	6	106.84	黒褐色土単一層			
SKP4062	MG48	楕円形	42	28	19	106.76	黒褐色土単一層			柱穴

第71表　北調査区柱穴一覧表(10)

番　号	区	平面形	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	底面標高 (m)	覆　土	遺　物	時　期	備　考
SKP4063	MG48	円形	32	31	15	106.77	黒褐色土単一層			柱穴
SKP4064	MF48	楕円形	16	13	15	106.61	黒褐色土単一層			杭痕
SKP4065	MH48	円形	18	16	7	106.94	黒褐色土単一層			
SKP4066	MF47	円形	24	23	15	106.56	黒褐色土単一層			杭痕
SKP4067	MF46・47	円形	27	26	22	106.43	黒褐色土単一層			杭痕
SKP4068	MF46	円形	31	28	10	106.63	黒褐色土単一層			
SKP4069	MF・MG47	不整円形	37	32	5	106.73	黒褐色土単一層			
SKP4070	MG47	円形	29	26	10	106.65	黒褐色土単一層			
SKP4071	MC43	不整円形	35	33	4	105.82	黒褐色土単一層			
SKP4072	MC43	不整円形	47	41	14	105.73	黒褐色土単一層			
SKP4073	MB43	円形	30	27	3	105.81	黒褐色土単一層			
SKP4074	MB43	楕円形	30	25	31	105.61	黒褐色土単一層			
SKP4075	MB43	楕円形	51	43	16	105.66	黒褐色土単一層			
SKP4077	MK52	円形	21	19	7	109.08	褐色土単一層			攪乱の可能性あり
SKP4078	MJ52	楕円形	18	13	1	108.72	褐色土単一層			
SKP4079	MJ52	円形	19	16	18	108.66	暗褐色土単一層			
SKP4080	MJ51	円形	19	17	3	109.15	褐色土単一層			
SKP4081	MJ51	円形	15	14	7	108.89	暗褐色土単一層			
SKP4082	MJ50	楕円形	23	20	10	109.80				攪乱の可能性あり
SKP4083	MD46	円形?	(20)	23	28	106.32	黒褐色土単一層			

第72表　北調査区柱穴一覧表(11)

番号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土	主な遺物	時期	備考
SKP01	LJ49	円形	52	51	57	103.50	図版158参照	土器34 SC1 F7 C6	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	
SKP02	LJ49	不明	68	(22)	67	103.46	図版158参照	土器21 SC1 F5 C1	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	
SKP05	LJ48・49	楕円形	41	32	37	103.72		土器4	Ⅳc期(大洞BC式)以降	
SKP07	LK48	不整楕円形	65	56	75	103.32	図版158参照	土器23	Ⅳc期(大洞BC式)以降	根固めに礫
SKP18	LK47	不整円形	40	34	25	103.82	図版158参照			
SKP30	LK48	円形	42	35	63	103.49	図版158参照	土器1 F1		
SKP31	LJ49	円形?	55	(30)	50	103.48	図版158参照	土器4 UF1 石核1		
SKP33	LJ49	円形	36	32	48	103.53	図版158参照	土器1 SC1 RF1 UF1	Ⅳb(大洞B2式)以降	柱痕跡明瞭
SKP50	LJ49	楕円形	63	40	53	103.60	図版158参照			
SKP54	LK47	円形	24	21	25	103.12	図版158参照	土器2 F1		
SKP59	LK46	楕円形	42	35	22	103.66	暗褐色土・黒褐色土			SK56に切られる
SKP65	LJ・LK49	円形	45	40	64	103.33	図版159参照	土器2 F6		根固めに礫
SKP68	LI47	楕円形	43	26	57	103.03	暗褐色土	骨片多数	後期後半以降	SK16A・Bを切る
SKP69	LJ45	楕円形	53	45	48	102.98	図版159参照	縄文土器 石核2 F3 石剣類1	Ⅳc期(大洞BC式)以降	柱痕跡あり
SKP70	LJ48	楕円形	(68)	(63)	53	103.37	黒褐色土			SK10に切られる
SKP73	LJ47	不整円形	47	42	46	103.39	図版159参照	土器5		
SKP77	LJ46・47	円形	30	29	59	103.21		土器5		SKP84を切る
SKP78	LJ47	楕円形	54	39	59	103.19	図版159参照	土器5 UF2		
SKP79	LJ47	円形	22	20	30	103.48	図版159参照	土器9		
SKP81	LJ47	円形	31	23	27	103.58	暗褐色土			
SKP82	LJ47	楕円形	23	19	36	103.43	柱痕:暗褐色土 掘方:黒褐色土	土器1 F2		
SKP84	LJ46・47	楕円形	43	29	28	103.51				SKP77に切られる
SKP96	LI47	楕円形	48	37	31	103.36	暗褐色土 褐色土	土器23		
SKP106	LH46・47	楕円形	58	50	38	102.92	図版159参照	骨片1		
SKP107	LI45	楕円形?	(26)	23	12	103.20	黒褐色土単一層	縄文土器1 F1		
SKP118	LI46	円形	29	26	39	103.18	黒褐色土 暗褐色土	土器2		
SKP126	LF46	円形	32	31	15	102.14	黒褐色土	土器8	Ⅳc期(大洞BC式)以前	
SKP140	LI46・47	楕円形	60	50	35	103.00	図版159参照	土器12		
SKP141	LI47	円形	62	56	42	102.85	図版159参照	土器12	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	SKP177を切る
SKP150B	LJ35	楕円形	(33)	25	27	103.47	黒褐色土・地山土混合土		Ⅳc期(大洞BC式)以前	SK150Aに切られる
SKP156	LK48	円形	39	35	73	103.38	図版160参照	土器1		
SKP157	LK48	楕円形	31	28	31	103.81	黒褐色土	土器7	Ⅳc期(大洞BC式)?	
SKP158	LJ48	楕円形	35	27	45	103.47	図版160参照	土器6 F1		
SKP161	LJ49	円形	34	33	50	103.51	黒褐色土	土器2 石核1 F2		
SKP162	LI47	円形	27	26	35	103.30		土器1		
SKP163	LI47・48	円形	23	20	35	103.31				
SKP164	LI48	円形	26	24	40	103.33				
SKP166	LI46	不整楕円形	102	80	63	102.64	図版160参照	縄文土器14 RF1 UF1 F5	Ⅳb期(大洞B2式)以降	柱痕跡あり SKP184に切られる
SKP176	LI37	楕円形	50	38	28	103.41	図版160参照	縄文土器	Ⅳa2期(大洞B1式)か	
SKP177	LI47	楕円形	69	(52)	42	103.05	図版159参照			SKP141に切られる
SKP178	LI46・47	楕円形	55	48	34	103.06	図版159参照			
SKP181	LG46	円形?	53	(37)	46	102.00	図版161参照			
SKP184	LI46	楕円形	70	55	76	102.74	図版160参照	縄文土器11 石核1 F3 凹石類1	Ⅳb期(大洞B2式)か	SR42・SKP185に切られる SKP166を切る
SKP185	LI46	不整楕円形	99	77	70	102.61	図版160参照	縄文土器約40 F12 凹石類1	Ⅳc期(大洞BC式)か	SK186・SKP184を切る
SKP188	LG45	楕円形	44	40	51	101.96	図版161参照	土器10 F1 石製品1		
SKP189	LF45	楕円形	48	36	24	102.16		SC1		
SKP190	LG45	円形	23	20	12	102.33		凹石類1		
SKP191	LF45	円形	25	22	15	102.22	黒褐色土	SC1 石核1		
SKP192	LF45	楕円形	26	20			黒褐色土			
SKP193	LF45	楕円形	32	27	14	102.20	図版161参照	SC1		SKP809を切る
SKP198	LF45	楕円形	50	42	38	101.95	図版161参照	土器3		
SKP199	LF45	楕円形	60	40	16	102.20	黒褐色土			
SKP205	LF・LG45	不整楕円形	60	54	46	101.90	図版161参照			
SKP207	LG45	楕円形	35	28	13	102.27	黒褐色土			
SKP208	LF45	円形	33	31	19	102.13	褐色土	凹石類1		
SKP209	LF45	楕円形	27	23	10	102.10	褐色土	土器1		
SKP210	LF45	楕円形	49	35	30	102.31		土器1		
SKP211	LF45	円形	30	28	26	102.06	図版161参照	土器1		
SKP212	LF45	円形	32	30	20	102.12	褐色土	F2		
SKP214	LF46	円形	43	39	43	101.92	図版161参照	土器6		根固めに礫

第73表　南調査区柱穴一覧表(1)

番号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土	主な遺物	時期	備考
SKP216	LH45	楕円形	27	22	27	102.32	黒褐色土			
SKP217	LG・LH45	円形	35	31	21	102.27	黒褐色土			
SKP218	LH45	不整形	52	39	29	102.17	黒褐色土	土器1		
SKP219	LG45	楕円形	32	29	31	102.16	図版161参照			
SKP221	LI45	円形?	(60)	(60)	47	102.84	図版161参照	縄文土器約40 SC1 UF1 F13 凹石類1	Ⅳc期(大洞BC式)	SN122に切られる
SKP229	LH44	円形	55	54	59	101.98	図版162参照	土器17 RF1 凹石類1	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	根固めに礫
SKP230	LF43	円形	54	54	58	101.74	図版162参照	土器7 石核1		
SKP241	LG44	楕円形	65	40	60	101.89	暗褐色土	土器5 F2		SKP296を切る
SKP244	LJ46	円形?	(36)	(20)	35	103.36	黒褐色土・地山土混合土	縄文土器10 F1 C1		覆土上～中位に大形～中形礫充填
SKP249	LH42	楕円形	56	35	44	101.97	暗褐色土			
SKP258	LJ46	円形?	(52)	(26)	39	103.28	黒褐色土・地山土混合土	縄文土器16 F2 石剣類1		上位に大形礫あり
SKP259	LJ45	楕円形	33	23	40	102.94	黒褐色土単一層	縄文土器16 F6		
SKP260	LH41	円形	42	39	37	102.07	黒褐色土	土器4 F3	Ⅳa1期以降	
SKP261	LH41	円形	35	33	37	102.07	暗褐色土			
SKP266	LJ46	円形?	(31)	(30)	44	103.17	黒褐色土(柱痕跡?)・地山土(柱根固め土?)	縄文土器2 F3 磨製石斧1		柱痕跡遺存?
SKP272	LH47	楕円形	48	(28)						
SKP273	LL45	楕円形?	(46)	(36)	(37)	103.44	暗褐色混礫土単一層			多量の地山礫充填
SKP275	LG41	楕円形	49	(39)	54	101.74	図版109参照	土器1 SC1		SK357を切る
SKP282	LK41	楕円形	86	61	33	102.88	黒褐色土(柱痕跡)・黒褐色土(柱根固め土)	縄文土器 UF1 凹石類2	Ⅳa期以降	柱痕跡あり
SKP285	LH43	円形	47	46	34	102.13	暗褐色土	土器3 F2		
SKP287	LH40	楕円形	(46)	30	17	102.17	暗褐色土			SK284に切られる
SKP289	LI46	不整楕円形	62	60	47	102.88	図版162参照	縄文土器20 F3	Ⅳb期(大洞B2式)か	柱痕跡あり SK186に切られる
SKP293	LH46・47	円形	47	40	45	102.80	図版162参照	土器3 SC1		
SKP294	LH47	不整楕円形	48	38	31	102.05				SK269を切る
SKP299	LH47	楕円形	54	43	66	102.64	図版162参照	土器1		SK269を切る
SKP304	LI45	楕円形	19	14	20	102.88	暗褐色土単一層		Ⅳc期(大洞BC式)以前	SK203に切られる
SKP305	LH47	円形	27	26	12	102.64				SKP314を切る
SKP309	LF43	楕円形	69	40	52	101.82	図版162参照	SC1 凹石類1		SKP443・444・811を切る
SKP312	LH47	円形	17	16	14	103.13				
SKP314	LH47	楕円形	(21)	17	7	103.10				SKP305に切られる
SKP318	LI46	円形	20	19	10	103.23				
SKP319	LI46	円形	22	22	12	103.29				
SKP320	LI46	円形	17	16	24	103.26				
SKP321	LI46	楕円形	52	35	32	103.13		土器1		
SKP322	LI46	楕円形	26	22	15	103.26	黒褐色土			SKP323を切る
SKP323	LI46	円形	37	35	26	103.14	暗褐色土			SKP322に切られる
SKP324	LI46	楕円形	51	36	48	102.89	暗褐色土			
SKP325	LI46	円形	34	33	16	103.06				
SKP327	LI46	楕円形	37	31	25	103.23	暗褐色土			
SKP328	LI46	円形	27	27	24	103.24	黒褐色土			
SKP329	LI46	円形	(26)	25	50	103.04		RF1		SKP330に切られる
SKP330	LI46	円形	22	22	19	103.30				SKP329を切る
SKP331	LI47	円形	30	28	52	103.06		土器13 UF1 剥片2		斜めに落ち込む
SKP332	LI46	楕円形	37	32	52	103.06	黒褐色土			
SKP348	LI47	楕円形	30	25	12	103.35	暗褐色土			SKP367を切る
SKP350	LI47・48	円形	33	29	30	103.12	黒褐色土			
SKP351	LI48	円形	20	20	20	103.34	暗褐色土	土器5	Ⅳc期(大洞BC式)	
SKP352	LI47・48	楕円形	49	31	54	103.07	暗褐色土			
SKP353	LI47	楕円形	26	21	40	103.07				SK16Aを切る
SKP354	LI47	円形	23	23	10	103.43				
SKP361	LI47・48	楕円形	61	60	48	103.08	図版114参照			SK360に切られる
SKP366	LI47	円形	20	20	10	103.31	暗褐色土			
SKP367	LI47	円形	27	(27)	10	103.40	黒褐色土			SKP348に切られる
SKP368	LI47	円形	24	22	11	103.29	黒褐色土			
SKP370	LH47	楕円形	37	22	23	103.15				
SKP371	LH47	楕円形	36	25	14	103.20				
SKP386	LI47	楕円形	30	17		103.83				SK360を切る
SKP399	LI48	楕円形	33	25	30	103.35				
SKP402	LI46	円形	37	30	16	103.13	黒褐色土			
SKP407	LJ40	円形	36	35	31	102.60				
SKP408	LJ41	円形	23	23	8	102.72	黒褐色土単一層			
SKP412	LF44	楕円形	25	21	32	102.09	図版163参照	土器6		
SKP415	LJ41	円形	27	25	6	102.70				
SKP416	LJ41	円形	33	29	7	102.68				
SKP418	LJ40	円形	30	28	17	102.81	黒褐色土・地山土混合土			
SKP423	LH46	楕円形	28	23	34	102.77				
SKP424	LH46	楕円形	24	18	33	102.73		土器5		
SKP436	LH・LI46	楕円形	27	21	10	102.69	暗褐色土			
SKP437	LH・LI46	楕円形	20	17	11	102.67	暗褐色土			SKP439を切る

第74表　南調査区柱穴一覧表(2)

番号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土	主な遺物	時期	備考
SKP438	LH・LI46	円形	36	32	24	102.64	暗褐色土			
SKP439	LI46	不整円形	35	(27)	12	102.73	暗褐色土			SK390に切られる SKP441と切り合う
SKP441	LH・LI46	円形	17	15	9	102.68	暗褐色土			SKP439を切る
SKP443	LF43		15	15	32	101.98	図版162参照	土器1　打製石斧1		SKP309に切られる
SKP444	LF43		26	26	40	101.85	図版162参照			SKP309に切られる
SKP445	LI46	円形	25	23	15	102.67	暗褐色土			SK390に切られる
SKP451	LG44	楕円形	28	18	27	102.18	図版163参照			
SKP453	LG43	不整楕円形	39	33	47	101.97	黒褐色土			
SKP454	LH41	円形	42	38	34		暗褐色土			
SKP455	LI・LJ37	楕円形	35	30	25	103.39		F1　磨製石斧1		底面から磨製石斧出土
SKP458	LI43	楕円形	26	20	39	102.60	黒褐色土(柱痕跡)・黒褐色土・地山土混合土(柱根固め土)	縄文土器16　F1	Ⅳa1期以降Ⅳc期(大洞BC式)以前	SR427に切られる
SKP459	LI43	楕円形	24	18	17	102.71	黒褐色土単一層	縄文土器7　F2		
SKP460	LI43	円形	21	19	38	102.60	暗褐色土単一層			
SKP462	LH44	楕円形	41	31	25	102.27	黒褐色土	土器2　F1		
SKP463	LH44	楕円形	42	29	33	102.24	暗褐色土	土器10　F1		
SKP464	LJ44	円形	33	32	28	102.94	黒褐色土	土器10　RF1　F3		SKP626を切る
SKP465	LJ44	円形	18	16	20	103.07	黒褐色土			SK500を切る
SKP466	LJ44	楕円形	47	40	21	103.04	図版163参照			
SKP471	LI45	楕円形	55	45	13	102.68	図版163参照			SK394に切られる
SKP472	LI45	楕円形	19	16	14	102.72	黒褐色土			SK394に切られる
SKP476	LJ40・41	円形	30	29	9	102.69				SK400・475を切る
SKP478	LK41	楕円形?	(38)	(31)	21	102.89	図版105参照			SK202に切られる
SKP479	LJ44	楕円形	23	19	6	102.90	黒褐色土単一層	縄文土器6　F1	Ⅳa1期(縄文後期後葉)以降	
SKP483	LJ41	円形?	(25)	(20)	12	102.62	黒褐色土単一層			
SKP484	LJ41	円形?	21	(16)	21	102.53	黒褐色土単一層			
SKP485	LJ41	円形	20	19	9	102.65				
SKP486	LJ41	楕円形	17	15	7	102.66			Ⅲa期以前	SR385に切られる
SKP487	LJ41	円形	24	20	5	102.67				
SKP488	LJ41	円形	13	13	6	102.68				
SKP489	LJ40	円形	19	16	10	102.76				
SKP490	LJ40	不整円形	23	20	15	102.74				
SKP491	LJ40	円形	26	23	33	102.61				
SKP492	LJ39・40	不整楕円形	32	25	17	102.74				
SKP493	LJ40	楕円形	26	23	12	102.80				
SKP494	LJ41	円形	39	33	18	102.56				
SKP501	LK44	円形	17	16	18	103.09	黒褐色土			
SKP502	LK44	楕円形	19	15	14	103.13	黒褐色土	土器5		
SKP503	LK44	不整円形	22	18	19	103.09	黒褐色土	土器5		
SKP506B	LJ39・40	楕円形	26	19	24	102.21	図版143参照			SR506A・SK393に切られる
SKP511	LJ45	楕円形	24	20	23	103.05	黒褐色土	土器6　F3		
SKP513	LI44	円形?	20	(11)	19	102.50	図版163参照			
SKP514	LI45	楕円形	22	18	19	102.51	図版163参照			
SKP518	LJ41	円形	22	21	28	102.72		UF1		
SKP523	LI43	楕円形?	39	(22)	14	102.82	黒褐色土単一層	縄文土器2		SK496に切られる
SKP526	LJ41	円形	25	23	6	102.71	黒褐色土単一層		Ⅳb期(大洞B2式)以前	SR53に切られる
SKP527	LJ41	楕円形	21	18	14	102.62	黒褐色土単一層			
SKP528	LJ45	円形?	(33)	(27)	23	103.00	図版163参照	土器3　円盤状石製品1	Ⅳa期以降	
SKP532	LK41	楕円形	24	(20)	8	102.80	黒褐色土単一層			
SKP533	LK41	円形	20	20			黒褐色土単一層			
SKP534	LK41	楕円形	25	19	8	102.79	黒褐色土単一層			
SKP535	LK41	円形	18	17	11	102.77	黒褐色土単一層			
SKP536	LK41	円形	22	22	9	102.79	黒褐色土単一層			
SKP537	LL41	楕円形?	52	(30)	15	102.87				
SKP538	LL41・42	円形	45	42	15	102.84				
SKP539	LJ41	楕円形	24	21	12	102.63	黒褐色土単一層			
SKP540	LL41	不整形	60	35	15	102.75	黒褐色土単一層			
SKP541	LK40	楕円形	22	20	11	102.80	暗褐色土単一層			
SKP549	LI・LJ42	円形	29	26	25	102.80				SK572を切る
SKP556	LJ41	楕円形	27	23	6	102.70	黒褐色土単一層			
SKP557	LJ41	円形	23	20	13	102.61	黒褐色土単一層			
SKP559	LJ43	楕円形	17	14	7	102.83	暗褐色土単一層	縄文土器1　F1		
SKP560	LJ43	不整楕円形	25	18	5	102.85	暗褐色土単一層	縄文土器3　F1	Ⅱ期以降	
SKP561	LJ43	楕円形	21	17	15	102.75	暗褐色土単一層	縄文土器2　UF1		オニグルミ殻・クリ子葉出土
SKP562	LJ43	楕円形	16	14	5	102.77	暗褐色土単一層	縄文土器1　RF1　磨製石斧1		SI431と重複
SKP563	LJ43	楕円形	17	13	7	102.84	黒褐色土単一層			SK358に切られる
SKP566	LJ43	円形	28	26	51	102.79	図版113参照	縄文土器11　石核1　F4	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	SI431・SK358・SK567を切る
SKP569	LJ41	不整形	34	29	17	102.57	黒褐色土単一層			
SKP571	LI43	楕円形	26	20	34	102.60	図版121参照	縄文土器3　F1	Ⅳd期(大洞C1式)以降	SK552を切る

第75表　南調査区柱穴一覧表(3)

番号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土	主な遺物	時期	備考
SKP577	LJ44	円形	33	32	18	102.89	暗褐色土			
SKP578	LK45	楕円形	32	21	11	103.20	黒褐色土	土器11　F3	Ⅳa1期以降	
SKP581	LK41・42	円形?	23	(23)	19	102.95		縄文土器　凹石類1		
SKP583	LK41	円形	28	27			黒褐色土単一層			
SKP584	LK42	楕円形	33	26	27	103.36		縄文土器	Ⅳc期(大洞BC式)以降	SKP596に切られる
SKP585	LI・LJ43	円形	22	(22)	41	102.70	図版163参照	縄文土器6　F1	Ⅳa2期以降	SB430P2・SK495を切る。
SKP590	LJ42	楕円形	40	32	9	102.53				
SKP592	LJ46	楕円形	30	24	34	103.04	図版163参照			SQ152に切られる
SKP593	LJ46	不整円形	35	30	24	103.06	図版163参照	土器5		
SKP594	LJ46	円形?	(24)	(17)	21	103.07	黒褐色土			SK422に切られる
SKP595	LJ46	楕円形	20	17	13	103.30	暗褐色土			
SKP596	LK42	楕円形	27	23	21	103.31			Ⅳc期(大洞BC式)以降	SKP584・620を切る
SKP597	LK41	円形	(37)	31						SK202・SKP622に切られる
SKP599	LJ46	楕円形	19	14	13	103.15	暗褐色土			
SKP600	LJ46	円形	21	21	12	103.24	黒褐色土			
SKP601	LJ46	楕円形	23	18	15	103.15	黒褐色土	土器4		SKP602を切る
SKP602	LJ46	楕円形	35	21	14	103.22	黒褐色土	土器2　石鏃1　F1		SKP601に切られる
SKP603	LJ46	不整円形	49	44	20	103.31	黒褐色土	土器5　F1		
SKP604	LJ46	楕円形	(25)	25	18	103.28	黒褐色土			SK555に切られる
SKP605	LJ46	楕円形	35	28	15	103.25	黒褐色土	土器7		SK555に切られる
SKP608	LJ42	楕円形	24	19	8	102.63				
SKP609A	LK41	楕円形	69	42	37	102.79	黒褐色土単一層	縄文土器　RF1 凹石類1	Ⅳa1期以降	SKP609Bを切る
SKP609B	LK41	楕円形	50	45	48	102.68	暗褐色土単一層			SKP609Aに切られる
SKP610	LI43	不明	(15)	(5)	(12)	(102.85)	暗褐色土単一層			
SKP611	LK43	楕円形	32	29	0.32	102.61	黒褐色土・地山土混合土	縄文土器7　UF1 F1	Ⅳc期以降	
SKP612	LJ43	楕円形	21	16	6	102.82	黒褐色土単一層			SK553に切られる
SKP613	LK42	円形	27	26	13	103.29	黒褐色土単一層	縄文土器　SC1　UF1	Ⅳa1期以降	
SKP614	LJ41・42	円形	21	20	7	102.74	黒褐色土単一層		Ⅳa期以前	SR442に切られる
SKP615	LK41	円形	25	24	10	102.73	黒褐色土単一層			
SKP616A	LK42	不明		37	5	102.89			Ⅳa2期(大洞B1式)以降	SKP616Bを切る
SKP616B	LK42	不明		52	8	102.87		縄文土器	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	SKP616Aに切られる
SKP618	LI43	楕円形?	(12)	12	8	102.82	黒褐色土単一層	縄文土器2	Ⅳc期(大洞BC式)以前	SR406に切られる
SKP620	LK42	円形	22	(21)	5	103.22				SKP596に切られる
SKP621	LK42	円形	20	20	6	102.77	黒褐色土・地山土混合土	縄文土器	Ⅳa1期以降	
SKP622	LK41	円形	(25)	(23)	6	103.05	黒褐色土単一層			SKP597を切る
SKP623	LI42・43	円形?	23	(22)	61	102.51	暗褐色土単一層	縄文土器7　UF1 F2		底面グライ化
SKP625	LJ46	円形	37	37	18	103.04	暗褐色土			SQ152に切られる SK555を切る
SKP626	LJ44	円形?	24	(12)	15	103.03	黒色土	土器6		SKP464に切られる
SKP627	LK41	円形	19	18	6	103.33	黒褐色土単一層			
SKP628	LK41	円形	26	25	11	102.78				
SKP630	LK42	円形	27	26	8	102.64				
SKP637	LI43・44	円形	42	41	(58)	102.38	図版164参照	縄文土器約40 UF1　F5　C約40 凹石類1	Ⅳb期(大洞B2式)以降	SI617・SKP670を切る
SKP640	LJ42	円形?	36	(12)	14	103.19				
SKP641	LK42	円形	22	(19)	13	102.78	黒褐色土単一層			
SKP648	LI44	楕円形	21	18	12	102.74	暗褐色土単一層	縄文土器1　RF1 F1	Ⅳa2期(大洞B1式)以降か	
SKP649	LI44	楕円形	29	22	14	102.72	黒褐色土単一層	縄文土器10　F1	Ⅳa1期以降	
SKP650	LK41・42	楕円形	38	27	22	103.05	黒褐色土(柱痕跡?)・暗褐色土(柱根固め土?)	縄文土器　SC1	Ⅳa1期以降	
SKP655	LI43	楕円形	32	28	27	102.57	黒褐色土単一層	縄文土器17　石匙1 F5	Ⅳd期(大洞C1式)以降	SK552を切る
SKP662	LH45				41	102.57	図版123参照	土器5	Ⅳa1期以降か	
SKP665	LH46	円形?	21	(14)	63	102.66	図版164参照	土器7	Ⅳc期(大洞BC式)以降	SK524を切る
SKP667	LK43・44	楕円形	58	35	34	102.53	図版91参照			柱痕跡あり SI565柱穴?
SKP668	LI44	円形	30	27	18	102.66	暗褐色土単一層			
SKP669	LI44	円形	17	16	4	102.80	黒褐色土単一層			
SKP670	LI43・44	円形	25	23	(12)	102.67	黒褐色土単一層	縄文土器4	Ⅳa期以降	SKP637に切られる SI617を切る
SKP674	LJ43	楕円形	35	30	28	102.63	地山土塊含む黒褐色土	縄文土器12　F2 C3　凹石類1	Ⅳa1期(縄文後期後葉)以降	
SKP675	LK40	楕円形	41	30	43	102.85		縄文土器	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	
SKP678	LJ43	楕円形	25	19	11	102.76	黒褐色土単一層	縄文土器2　F1 C3		SKP679を切る
SKP679	LJ43	円形	19	18	18	102.69	暗褐色土単一層	縄文土器7		SKP678に切られる
SKP680	LJ43	不整円形	21	21	12	102.79	黒褐色土単一層	F3		SKP681を切る
SKP681	LJ43	不整円形	28	22	19	102.72	黒褐色土単一層	F6　C1		SKP680に切られる

第76表　南調査区柱穴一覧表(4)

番号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土	主な遺物	時期	備考
SKP682	LJ43	不整円形	35	34	28	102.64	黒褐色土単一層	F1		SK567に切られる
SKP683	LJ43	楕円形	29	21	19	102.69	黒褐色土・地山礫混合土	縄文土器2　F5　凹石類1		
SKP684	LI43	円形	15	15	11	102.79	暗褐色土単一層			
SKP685	LI43	楕円形	27	19	7	102.86	暗褐色土単一層			
SKP686	LI43	楕円形	29	23	11	102.79	暗褐色土単一層			
SKP687	LI43	楕円形	32	20	13	102.73	暗褐色土単一層	F1		
SKP688	LI43	楕円形	23	21	12	102.73	黒褐色土単一層	縄文土器3		
SKP689	LJ43	楕円形	25	18	7	102.83	黒褐色土単一層			
SKP691	LI43	円形	22	20	11	102.79	黒褐色土単一層	縄文土器2　F1		
SKP692	LJ43	楕円形	18	16	6	102.78	黒褐色土単一層			SK656に切られる
SKP694	LJ43	楕円形	31	22	11	102.81	暗褐色土単一層	図版91参照		SI431P1と切り合う
SKP695	LJ43	円形	23	22	10	102.80	黒褐色土単一層			
SKP696	LJ43	楕円形	18	15	9	102.84	黒褐色土単一層	縄文土器1		
SKP697	LJ43	楕円形	21	19	11	102.81	暗褐色土単一層	縄文土器1　F2		炭化物多量
SKP699	LI43	円形?	(53)	(10)	50	102.64	黒褐色土・地山土混合土	石核1		
SKP700	LI44	不明	(21)	(11)	39	102.54	図版92参照		Ⅳa1期以前	SI617に切られる
SKP701	LI44	楕円形?	(16)	(13)	(16)	102.60	黒褐色土単一層	縄文土器1		
SKP702	LJ43	不整楕円形	26	19	10	102.81	黒褐色土単一層	F2		
SKP704	LJ42	楕円形	43	26	20	102.51				
SKP705	LJ42	不整形	36	22	18	102.54			Ⅳa期以前	SR442に切られる
SKP706	LJ42	円形	25	22	4	102.67				
SKP709	LK41	楕円形	34	30	47	102.77	図版124参照			SK676に切られる
SKP711	LK42	楕円形	27	(20)	21	102.52				
SKP712	LJ43	隅丸方形	52	48	17	102.60		SC1　RF1		
SKP714	LK43	円形	21	18	19	102.63				
SKP715	LJ43	楕円形?	(31)	(23)	18	102.81				
SKP717	LJ42	円形?	28	(20)	9	102.57				SK572に切られる
SKP718	LJ42	円形?	20		10	102.60				SK598と切り合う
SKP719	LJ43	楕円形	32	26	18	102.64				SKP741を切る
SKP720	LJ43	楕円形	29	22	30	102.50		凹石類1		
SKP721	LJ43	円形?	(28)	(20)	22	102.76		縄文土器　石製耳飾1	Ⅳa1期以降	
SKP722	LI42	楕円形?	(20)	(26)	56	102.50	図版121参照			SK548を切る
SKP723	LJ42	円形?	31	(14)	14	103.19				
SKP724	LJ42	楕円形	22	17	11	102.45				
SKP728	LK43	楕円形	61	41	20	102.62				
SKP729	LK43	円形	(16)	15	9	102.72				
SKP730	LJ42	不整形	64	57	32	101.90		縄文土器　SC1　凹石類1	Ⅳb期(大洞B2式)以降?	
SKP731	LJ42・43	円形	24	22	7	102.58				
SKP732	LJ41	円形	(18)	15	14	102.56				
SKP733	LJ41・42	円形	(27)	23	9	102.60	黒褐色土単一層			SK586に切られる
SKP734	LJ42	不整楕円形	35	23	8	102.54				SK572に切られる
SKP735	LJ42	円形	19	18	6	102.56				
SKP736	LJ・LK42	円形	22	22	28	102.45				
SKP737	LK42	円形	23	(20)	26	102.46				
SKP738	LK42	円形	23	21	7	102.67				
SKP739	LJ43	円形	25	23						SKP740を切る
SKP740	LJ43	楕円形?	(25)	(21)						SKP739・741に切られる
SKP741	LJ43	楕円形	42	27						SKP719に切られる SKP740を切る
SKP743	LJ38	円形	20	18	29	103.35		縄文土器3		
SKP744	LJ37	円形	16	16	10	103.60				
SKP745	LJ37	円形	23	23	13	103.59				
SKP746	LJ35・36	不整円形	26	21	19	103.59				
SKP747	LJ35・36	楕円形	31	25	11	103.70				
SKP748	LJ・LK36	楕円形	30	26	28	103.59				
SKP749	LJ・LK36	楕円形	36	28	27	103.60				
SKP750	LK35・36	円形	31	30	21	103.66				
SKP751	LK36	不整円形	33	31	29	103.58				
SKP752	LK36	円形	30	30	24	103.64				
SKP753	LK36	円形	28	26	23	103.65				
SKP754	LK37	円形	22	20	14	103.67		縄文土器4		
SKP755	LK37	楕円形	25	22	17	103.61				
SKP756	LK37	不整楕円形	26	18	15	103.67				
SKP758	LI36	楕円形	(34)	30	30	103.40				SKP759と切り合う
SKP759	LI36	円形?	30	(27)	20	103.51				SKP758・760と切り合う
SKP760	LI36	円形?	(25)	26	20	103.50				SKP759と切り合う
SKP761	LI36	円形	26	26	20	103.47				
SKP762	LI37	不整形	52	51	32	103.38				
SKP764	LI37	楕円形	30	22	10	103.55				
SKP765	LI37	不整形	36	29	16	103.51				
SKP766	LI37	楕円形	31	25	20	103.46				
SKP767	LI37	円形	25	23	21	103.47				
SKP768	LI37	円形	27	26	18	103.50				
SKP769	LI37	楕円形	58	48	18	103.46				
SKP770	LI・LJ37	楕円形	59	46	24	103.45				

第77表　南調査区柱穴一覧表(5)

番号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土	主な遺物	時期	備考
SKP771	LJ37	不整楕円形	37	31	35	103.36				
SKP772	LJ34	円形	47	44	19	103.60	黒褐色土単一層	縄文土器2		
SKP773	LJ34	円形	31	29	11	103.66	周辺部に地山土が混入する黒褐色土			覆土中心部は柱痕跡か
SKP774	LJ34	楕円形	42	30	18	103.59	黒褐色土単一層			
SKP775	LK34	楕円形	32	25	11	103.65	黒褐色土・地山土混合土			
SKP776	LK34	円形	20	18	20	103.67	黒褐色土単一層			
SKP777	LK34	円形	36	34	44	103.44	黒褐色土・地山土混合土			
SKP778	LJ35	円形	35	35	32	103.47	黒褐色土単一層			
SKP779	LJ35	不整形	32	26	14	103.63	黒褐色土単一層			
SKP780	LJ35	楕円形	28	22	13	103.64				
SKP781	LJ35	楕円形	34	27	26	103.49				
SKP782	LK35	楕円形	34	30	22	103.64				
SKP783	LK35	楕円形	30	26	22	103.65	黒褐色土単一層			
SKP784	LK35	楕円形	33	29	20	103.67	周辺部に地山土が混入する黒褐色土			覆土中心部は柱痕跡か
SKP785	LK35	円形	28	26	20	103.61	周辺部に地山土が混入する黒褐色土			覆土中心部は柱痕跡か
SKP786	LK35	円形	35	35	19	103.61				
SKP787	LK35	円形	31	30	20	103.59	黒褐色土単一層			
SKP788	LK35	楕円形	25	21	20	103.68	黒褐色土・地山土混合土			
SKP789	LL35	楕円形	37	31	11	103.83	黒褐色土単一層			
SKP790	LL35	楕円形	40	30	20	103.68	地山土粒含む黒褐色土			
SKP791	LL35	楕円形	35	31	20	103.73	黒褐色土単一層			
SKP792	LL35	楕円形	37	33	13	103.76	黒褐色混礫土単一層			
SKP793	LM35	円形	27	25	15	103.76	黒褐色土単一層			
SKP794	LM35	円形	38	36	20	103.78	地山土粒含む黒褐色土			
SKP795	LM35	楕円形	30	19	11	103.80	黒褐色土単一層			
SKP796	LM35	楕円形	46	31	25	103.76	黒褐色混礫土単一層			
SKP797	LM35	円形	36	36	26	103.66	黒褐色混礫土単一層			
SKP798	LM34	不整楕円形	36	31	21	103.72	黒褐色混礫土単一層			
SKP799	LM34	楕円形	54	30	20	103.74	黒褐色土単一層	縄文土器1	Ⅲb期(縄文後期中葉)?	
SKP800	LI36	楕円形	40	33						
SKP801	LI36	円形	29	27						
SKP802	LI36	楕円形	35	25						
SKP803	LI36	楕円形	40	31						
SKP804	LI36	円形	25	25						
SKP805	LL39	円形	20	20	12	103.06				
SKP806	LL36	不整円形	23	21	13	103.75				
SKP807	LL37	円形	36	35	21	103.63				
SKP808	LJ48	楕円形	63	52	40	103.62	図版97参照			SK09を切る
SKP809	LF45	円形?	(16)	30	21	102.12	図版161参照			SKP193に切られる
SKP811	LF43	円形	26	26	15	101.84	図版162参照			SKP309に切られる
SKP812	LJ46	円形	28	28	48	103.27	黒褐色土			SK60を切る
SKP2034	LL49・50	円形	47	43	58	104.07	図版164参照			SKP2035に切られる
SKP2035	LL50	円形	33	32	23	104.47	図版164参照			SKP2034を切る
SKP2048	LL50	円形	32	30	30	104.39	暗褐色土			
SKP2051	LL50	円形	35	31	43	104.22	図版164参照			SKP2052に切られる
SKP2052	LL50	円形	31	27	29	104.34	図版164参照			SKP2051を切る
SKP2055	LL50	円形	27	27	12	104.61	暗褐色土			
SKP2057	LL50	楕円形	(50)	(19)	28	104.47	黒褐色土			
SKP2058	LL50	円形	27	26	18	104.43	暗褐色土			
SKP2074	LL50	円形	26	25	12	104.40	柱痕跡:暗褐色土 根固め土:褐色土			SK2076を切る
SKP2077	LL50	円形	27	24	24	104.40	暗褐色土			
SKP2083	LL50	円形	37	36	11	104.50	暗褐色土			SK2075を切る
SKP3021	LL49	円形	42	40	20	104.43	黒褐色土	土器2　F1		
SKP3022	LL49	円形	31	30	12	104.52	黒褐色土			
SKP3024	LL49	円形	32	30	37	104.30	黒褐色土	土器1　F1		
SKP3029	LM48	不整円形	40	38	50	104.22	図版125参照	縄文土器		柱痕跡あり SK3030を切る
SKP3031	LP47	円形	(90)	(87)	71	104.09	図版164参照	縄文土器　RF1　石核1	Ⅳa期前後	SR3006に切られる
SKP3033	LM49・50	楕円形	41	34	44	104.15	図版164参照	F3		SKP3041を切る
SKP3034	LM49・50	円形	33	30	25	104.36	図版164参照	F1		
SKP3035	LM50	楕円形	56	35	54	104.01	図版164参照	F2		

第78表　南調査区柱穴一覧表(6)

番号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土	主な遺物	時期	備考
SKP3038	LM49	楕円形	36	29	15	104.47	黒褐色土			
SKP3039	LM49	円形	36	35	13	104.51				
SKP3040	LM49	円形	30	27	9	104.54	黒色土	土器17		
SKP3041	LM49・50	楕円形	42	(30)	25	104.34	図版164参照			SKP3033に切られる
SKP3043	LM50	円形	30	28	14	104.45	図版164参照			
SKP3044	LM49	円形	25	21	30	104.32	暗褐色土			
SKP3045	LM49	不整円形	33	30	68	103.99	図版164参照			
SKP3046	LM49	円形	26	25		104.40	黒褐色土			
SKP3047	LM49	楕円形	21	(16)	33	104.17	暗褐色土			
SKP3048	LM49	円形	(30)	26	25	104.23	黒褐色土			
SKP3065	LL49	楕円形	37	31	56	104.03	図版165参照	土器5　F1		SKP3075を切る
SKP3066	LL49	楕円形?	(37)	(20)	30	104.31	暗褐色土			
SKP3068	LL49	楕円形	48	37	20	104.10	暗褐色土			
SKP3070	LM49	不整円形	48	42	31	104.29	暗褐色土	土器30　F4　C2		SKP3108を切る
SKP3071	LM49	楕円形?	(45)	(23)	20	104.35				SK3030に切られる
SKP3072	LL48・49	不整楕円形	42	33	35	104.50	図版125参照			SK3030に切られる
SKP3073	LL49	不整形	36	26	27	104.31				
SKP3074	LL48	円形	36	32	44	104.10				
SKP3075	LL49	不整円形	(42)	39	33	104.28	図版165参照			SKP3065に切られる
SKP3077	LL49	円形	22	21	30	104.28	図版165参照			
SKP3080	LL49	円形	21	20	32	104.30		土器9		
SKP3081	LL49	円形	25	24	16	104.46				
SKP3082	LL49	楕円形	25	22	22	104.38				SK3026を切る
SKP3083	LL49	楕円形	28	24	14	104.47				
SKP3107	LL・LM49	楕円形	27	21	22	104.35				SKP3108を切る
SKP3108	LM49	楕円形?	(30)	25	22	104.37				SKP3070・3107に切られる
SKP3111	LM48	円形	(34)	31	20	104.34	黒色土			SK3110に切られる
SKP3112	LM49	円形	18	17	12	104.45	黒色土			
SKP3113	LM49	円形	24	21	22	104.35	黒褐色土	土器1		
SKP3114	LN48	円形	26	26	6	104.41	黒褐色土	C1		
SKP3115	LM48	楕円形	23	18	7	104.45		土器1		
SKP3116	LN48	円形	22	22	7	104.43				
SKP3117	LM48	円形	26	25	24	104.42	黒褐色土			
SKP3118	LM48	円形	28	26	30	104.25		土器1　F1		
SKP3119	LN49	円形	36	33	11	104.49	黒褐色土	土器1		
SKP3120	LN49	円形	19	19	20	104.47	黒褐色土			
SKP3121	LM49	円形	20	19	5	104.49	黒褐色土	土器1		
SKP3123	LM48	楕円形	23	18	7	104.45		土器3		
SKP3126B	LN48	楕円形	40	25	(17)	104.25	図版126参照			SK3216Aに切られる
SKP3131	LM48	円形	33	32	20	104.26	黒褐色土	土器1　C1		
SKP3132	LN49	楕円形	(20)	23	16	104.33	暗褐色土	土器10		
SKP3138	LN48	円形	22	20	15	104.28				
SKP3143A	LO46	楕円形?	(85)	(60)	53	104.06	図版165参照	縄文土器　石皿1	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	柱材抜き取り痕あり SKP3143Bを切る
SKP3143B	LO46	円形?	(70)		51	104.08	図版165参照	縄文土器	Ⅳa1期以降	SKP3143Aに切られる
SKP3144	LM48	円形	23	18	26	104.25	暗褐色土			
SKP3153	LO47	円形	73	71	55	104.13	図版165参照	縄文土器　UF1	Ⅳa2期(大洞B1式)以降	
SKP3155	LQ46	楕円形	32	28			黒褐色土単一層		Ⅳc期(大洞BC式)以前	SR3154に切られる
SKP3158	LP47	楕円形	(38)	38	11	104.45				
SKP3159	LP47	円形	48	43	15	104.41				
SKP3160	LP47	円形	25	23	18	104.46				
SKP3161	LP47	円形	30	28	12	104.47				
SKP3162	LP47	不整楕円形	38	29	36	104.34				斜めに落ち込む
SKP3163	LP47	不整円形	27	19	19	104.53				
SKP3164	LP46	円形	18	16	18	104.57				
SKP3165	LP46	円形	29	26	17	104.61				
SKP3166	LQ46	不整円形	26	24	10	104.70				
SKP3167	LQ46	楕円形	(18)	20	13	104.68				
SKP3168	LP46	楕円形?	(44)	(35)	38	104.30				
SKP3170	LM47	楕円形	39	38	29	104.12	暗褐色土			
SKP3175	LP41	楕円形	(40)	41	16	103.20	黒色土	土器10　F4　C3		
SKP3176	LP41	楕円形	57	47	28	103.07	黒褐色土	土器25　RF1　F5	Ⅳa期以降か	
SKP3179	LO46	円形	50	48	39	104.22	黒褐色土単一層	縄文土器　SC1	Ⅳa1期以降	
SKP3182	LO47	円形	57	54	45	103.99				SKP3299を切る
SKP3191	LS・LT42	楕円形	36	19	23	105.31	黒褐色土			
SKP3193	LS42	楕円形	43	32	17	105.29	黒褐色土			
SKP3195	LS42	円形	33	31	15	105.31	黒褐色土			
SKP3196	LS42	不整円形	30	29	13	105.32	黒褐色土			
SKP3197	LS42	楕円形	46	29	21	105.22	黒褐色土	土器2　F1　C1		
SKP3198	LS42・43	楕円形	31	15	28	105.18	黒褐色土	土器3		
SKP3199	LT42	円形	37	34	17	105.50	黒褐色土			
SKP3200	LT42	楕円形	39	33	18	105.50	黒褐色土			
SKP3201	LT42	楕円形	34	26	16	105.44	黒褐色土			
SKP3204	LT42	楕円形	35	26	16	105.47	黒褐色土			
SKP3209	LQ45	円形	22	21	13	105.76	黒褐色土	土器3		

第79表　南調査区柱穴一覧表(7)

番号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土	主な遺物	時期	備考
SKP3210	LQ45	楕円形	29	25	20	105.75	暗褐色土			
SKP3211	LQ45	不整円形	27	24	22	105.75	黒褐色土	土器1		
SKP3214	LP・LQ45	楕円形	23	19	19	105.47	黒褐色土			
SKP3218	LN46・47	円形?	112	102	55	103.87	図版165参照	縄文土器　石篦1　凹石類1	Ⅳa1期か	SR3217に切られる
SKP3223	LM47	楕円形	43	(28)	16	104.16	図版129参照	土器4　F2　C2		SK3222に切られる
SKP3224	LM47	円形	34	30	11	104.18	黒褐色土	土器3		
SKP3233	LM47	楕円形	22	17	8	104.30				
SKP3234	LM47	楕円形	24	20	9	104.23				
SKP3235	LM47	楕円形	37	21	8	104.19				
SKP3237A	LL46	不整楕円形	49	43	10	104.09	図版130参照	縄文土器1		SK3237Bを切る
SKP3238	LL46	楕円形	39	31	14	104.18	暗褐色土単一層	縄文土器10　凹石類1		
SKP3239A	LL47	不整楕円形	54	48	70	103.64	図版165参照	縄文土器3　UF1		SKP3239Bを切る 柱痕跡あり
SKP3239B	LL46・LL47	不整楕円形	(25)	(23)	16	104.17	図版165参照	縄文土器2		SKP3239Aに切られる SKP3261を切る
SKP3246	LL46	不整楕円形	46	43	40	103.79	図版165参照	縄文土器1		柱痕跡あり 底面グライ化
SKP3247	LL46	楕円形	42	36	10	104.00	暗褐色土単一層			
SKP3248	LL46	不整楕円形	30	26	32	103.94	暗褐色土単一層			
SKP3249	LL47	楕円形	23	18	5	104.32	暗褐色土単一層			SKP3250を切る
SKP3250	LL・LM47	楕円形	(23)	22	12	104.27	暗褐色土単一層			SKP3249に切られる
SKP3254	LL・LM47	楕円形?	(39)	(49)	50	104.09	図版165参照	縄文土器1　凹石類1		
SKP3255A	LL46・47	円形	37	35	27	103.97	図版130参照	縄文土器5　F1		SK3255B・SKP3255Cを切る
SKP3255C	LL47	楕円形	(24)	20	14	104.13	黒褐色土単一層	縄文土器1		SKP3255Aに切られる SK3255Bを切る
SKP3260	LL47	楕円形	29	22	24	104.22	黒褐色土単一層	F1		
SKP3261	LL46・47	方形?	(34)	33	6	104.26	暗褐色土単一層	縄文土器9　C1		SKP3239Bに切られる
SKP3264	LO・LP42・43	円形	44	38	14	102.97	黒色土			
SKP3267	LP43	円形	28	27	17	103.10	黒色土			
SKP3268	LP44	楕円形	29	22	21	103.32	黒色土			
SKP3271	LP43	円形	20	18	11	103.21	黒褐色土			
SKP3277	LM42・43	円形?	62	(42)	13	102.85				
SKP3295	LO・LP47	楕円形	32	28	10	104.41				
SKP3296	LN45	円形	15	14	13	103.74				
SKP3297	LN43	楕円形	(52)	56	17	103.67				
SKP3298	LO47	不整円形	50	41	48	103.70				
SKP3299	LO47	円形	23	21	20	104.01				SKP3182に切られる
SKP3300	LO47	円形	22	19	9	104.22				SKP3301を切る
SKP3301	LO47	円形	25	22	7	104.23				SKP3300に切られる
SKP3302	LO・LP47	不整円形	24	21	9	104.43				
SKP3303	LO47	楕円形	25	18	6	104.36				
SKP3304	LO47	円形	24	22	11	104.05				
SKP3305	LO47	円形	18	18	9	104.15				
SKP3306	LN49	円形	20	20	5	104.37				
SKP3307	LN48	円形	11	11	8	104.30				
SKP3308	LN48	楕円形	(33)	27	6	104.25				SKP3310に切られる SKP3309と切り合う
SKP3309	LN48	楕円形	36	(30)	3	104.26				SKP3308と切り合う
SKP3310	LN48	円形	18	16	1	104.25				SKP3308を切る
SKP3311	LN・LO48	楕円形	30	27	7	104.21				
SKP3312	LO48	楕円形	31	25	18	104.15				
SKP3313	LO48	円形	23	17	14	104.22				
SKP3314	LP46	不整楕円形	27	23	12	104.51				
SKP3315	LP46	不整円形	31	26	16	104.38				
SKP3316	LP46	円形	36	34	14	104.44				
SKP3317	LO46	円形	18	17	7	104.13				
SKP3318	LO46	円形	23	20	11	104.17				
SKP3319	LO46	楕円形	25	22	12	104.21				
SKP3320	LN・LO46	楕円形	32	24	7	104.19				
SKP3321	LO46	不整円形	38	30	10	104.16				
SKP3322	LO46	円形	24	24	9	104.17				
SKP3323	LO46	楕円形	32	17	17	104.13				
SKP3324	LO46	楕円形	25	21	22	104.07				
SKP3325	LO46	不整円形	21	18	16	104.10				
SKP3326	LO46	楕円形	25	24	10	104.22				
SKP3327	LO46	円形	20	17	17	104.20				
SKP3328	LO45	楕円形	25	18	8	104.05				
SKP3329	LO45	不整円形	28	22	17	103.88				
SKP3330	LP44	楕円形	33	21	12	103.69				
SKP3331	LP43	円形	22	22	14	103.03				
SKP3332	LP42	楕円形	33	30	17	102.96				
SKP3333	LN48・LO47・48	円形	38	36	20	104.00				

第80表　南調査区柱穴一覧表(8)

番号	区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土	主な遺物	時期	備考
SKP3334	LN46	楕円形	27	18	15	103.63				
SKP3335	LN45・46	楕円形	55	53	35	103.42				
SKP3336	LN45	楕円形	19	14	6	104.03				
SKP3337	LN45	円形	22	22	8	103.90				
SKP3338	LN45	楕円形	22	17	11	103.75				
SKP3339	LN45		22	20	19	103.67				
SKP3340	LN44	楕円形	32	28	12	103.37				
SKP3341	LN44	円形	28	25	48	103.25				斜めに落ち込む
SKP3342	LM45	楕円形	28	23	8	103.55				
SKP3343	LM44・45	楕円形	47	31	14	103.36				
SKP3345	LM44	楕円形	32	23	25	103.14				斜めに落ち込む
SKP3346	LL・LM44	楕円形	26	22	45	102.64				
SKP3347	LN44	円形	20	17	15	103.50				
SKP3348	LM43	円形	32	27	5	102.84				
SKP3350	LL46・47	楕円形	32	23	24	104.04				
SKP3351	LM47	円形	30	28	19	104.16				
SKP3352	LM46	不整楕円形	60	55	36	103.57				
SKP3353	LM46	楕円形	31	26	14	103.86			Ⅳa期以前	SR3243の下位で検出
SKP3354	LM46	楕円形	30	27	14	103.92				
SKP3355	LM47	楕円形	25	21	9	104.33				
SKP3356	LM47	楕円形	31	27	12	104.21				
SKP3357	LM47	不整形	40	28	24	104.26				
SKP3358	LN46	楕円形	26	22	11	103.88				
SKP3359	LN46	不整円形	23	22	7	104.07				
SKP3360	LN46	不整円形	16	16	10	104.00				
SKP3361	LN46	楕円形	19	14	6	104.00				
SKP3362	LN46	円形	19	18	8	103.98				
SKP3363	LN47	円形	24	22	21	103.75				
SKP3364	LN47	円形	23	20	11	103.88				
SKP3365	LN47	楕円形	32	25	13	103.91				
SKP3366	LN47	不整円形	25	22	8	103.93				
SKP3367	LN47	楕円形	33	26	16	103.84				
SKP3368	LN47	円形	18	16	11	103.88				
SKP3369	LN47	円形	20	17	21	103.76				
SKP3370	LN47	円形	22	19	7	104.08				
SKP3371	LN47	円形	26	23	8	104.12				
SKP3372	LN47	円形	24	22	13	104.08				
SKP3373	LN47	円形	26	24	13	104.17				
SKP3374	LN47	楕円形	22	18	12	103.95				
SKP3375	LN47	楕円形	31	24	14	103.95				
SKP3376	LN47	楕円形	29	24	10	104.05				
SKP3377	LN47	楕円形	29	25	14	104.01				
SKP3378	LN47	円形	26	24	7	104.13				
SKP3379	LN47	円形?	(21)	(8)	(11)	(104.16)				
SKP3380	LN47	楕円形	35	26	15	104.03				
SKP3381	LL46	楕円形	27	20	1	104.10				

第81表　南調査区柱穴一覧表(9)

観察表凡例

土器類および石器類観察表は原則として以下の要項で記載する。ただし、担当者間で用語・表現等を統一するだけの時間的余裕がなかったため、一部に不整合がある。

土器類観察表

器面調整

器面調整は、調整痕の形状によって以下のA～Iに分類し、さらに調整面に光沢があるものにはPを付加して表記する。

A：多条の不整擦痕もしくは細かな不整凹凸のあるもの

「雑なナデ」・「指ナデ」などと従来呼ばれている調整に近い。ほとんど光沢をもたない。多くは胎土の乾燥があまり進行していない段階での指もしくは軟質調整具による調整痕であった可能性を想定しておく。

B：比較的平滑で、少条の平行擦痕のあるもの

光沢をもつものともたないものの両者が存在する。若干の砂粒の移動擦痕を伴う例もある。作業部位がやや不整形の板状の硬質調整具による調整痕であった可能性を想定しておく。

C：調整痕が断面半円状にくぼみ、内部に多条の平行擦痕あるもの

例数は少ない。板状工具でない、硬質調整具による調整痕の可能性を想定しておく。

D：調整痕が断面半円状にくぼみ、内部に擦痕のないもの

例数は少ない。小円礫のような硬質調整具による調整痕の可能性を想定しておく。

E：比較的平滑で、多条の平行擦痕あるもの

光沢あるものは少なくない。単位幅は10～20mm前後のものが多い。いわゆる「ハケメ」と同一の調整痕と認定できる例もある。大半が板の端部による調整痕と判断できる。

F：擦痕やくぼみなどの明瞭な特徴を認めることができないもの

一般に調整方向は不明瞭である。また、器表が平滑なもの、胎土中の砂粒が器表から突出するものなど変異がある。これらの変異は調整具の違いだけでなく、胎土中の砂粒の混入度の相違や調整時の胎土の乾燥状態が必ずしも一定ではなかったことなどにも起因する可能性もあろう。光沢がないものは、大きく言っていわゆる「ナデ」の範疇に含め得る。平滑なものには若干の光沢をもつものも少なくなく、これらは「ミガキ」の一種ととらえ得る。まれに硬質調整具のアタリ痕を伴う例がある。

G：砂粒移動擦痕のあるもの

一定量の器表粘土の掻き取りを伴ういわゆる「ケズリ」痕である。光沢あるものとないものの両者があることから、調整時の器表面の乾燥状態にはある程度の変異があったものと推定できる。

H：単位幅が相対的に狭く、平滑なもの

ほとんどが光沢をもち、いわゆる「ミガキ」痕の一部にほぼ対応する。単位幅は5mm程度のものが多く、多条の平行擦痕を伴う例もある。ヘラ状の硬質調整具による調整痕の可能性を想定しておく。

I：単位幅が狭小で、浅い沈線状をなすもの

ほとんどが光沢をもち、いわゆる「ミガキ」痕の一部にほぼ対応する。単位幅は2～3mm程度のもの

が多く、擦痕は顕著でない。擦痕が顕著でないことを重視すれば、多くは会田容弘の言う「棒状骨角器」[註1]のような非木製調整具による調整痕の可能性があろう。

縄文

縄文原体の撚りの表記は山内清男に準じ、一部簡略化する[註2]。山内が符号を特に明確に示してはいない結節回転文は、1単位の圧痕が「Z」字状のもの(Z)と「S」字状のもの(S)とに分け、条の撚り符号と組み合わせて、R-Zのように表記する。さらに前段の条を撚り紐本体に結びつけ、撚り紐本体の回転圧痕と結節の回転圧痕とが同時に残るものはLR+R-Zのように組み合わせて表記する[註3]。

方向

調整の方向および縄文原体の回転方向は以下の略記号を調整痕もしくは縄文原体表記の後に「-」をつけて付記することによって表す。

Y：横方向

T：縦方向

N：斜め方向

なお、縄文原体の斜め方向回転施文では、条が横走するものをNO、縦走するものをNJと表記する。

S：その他

不整のものなどを包括する。

各方向が混在する例では、場合によって優勢なものから順に列記する。

文様

施文される文様意匠は便宜的に以下のようにまとめる。

(刻み目)入組帯状文

山形三叉文

入組三叉文

玉抱三叉文

渦巻文

羊歯状文

刻み目文

連珠文

雲形文

ただし、資料によっては上記以外の名称を用いた場合もある。

順序

調整および施文の各工程を古い順に「B-T→LR-NO」のように列記する。先後関係が不明なものは「・」の後に並記する。なお、文様施文は器面への文様の下描きまでを一工程ととらえ、その後の縄文の磨り消しや文様部分への「ミガキ」などは別工程として記載する。

部位表記

遺物の表裏・上下・左右の指示は、特に断りのない場合実測図左面を表面とし、この左面を基準とする。

二次加工

剥片石器の二次加工は、場合によって、以下のように表記した。

両(片・表・裏)縁(二次)加工：素材の表裏両面(片面・表面・裏面)の縁辺部のみに剥離を施し、素材面を大きく残す二次加工

両(片・表・裏)面(二次)加工：素材の表裏両面(片面・表面・裏面)の全面に剥離を施し、素材面を残さない二次加工

打面

剥片の打面形態は、自然面打面、単剥離面打面、複剥離面打面、点状打面、線状打面に分けた。

註1　会田容弘　「棒状骨角器考」『考古学研究』第41巻第3号　考古学研究会　1994(平成6)年

註2　縄文原体の符号は基本的に下記の文献による。ただし、多条など特殊な例以外は$L\begin{Bmatrix}R\\r\end{Bmatrix}$をLRのように略記する。

山内清男　『日本先史土器の縄紋』　先史考古学会　1979(昭和54)年

註3　結節回転文の符号表記は一部下記の文献による。

鮫島和大　「南関東弥生後期における縄文施文の二つの系統」『東京大学文学部考古学研究室研究紀要』　第12号　東京大学文学部考古学研究室　1994(平成6)年

なお、「S」字状の結節回転文原体表記(例えばL-S)は、後述する調整・回転方向表記のS(その他)と一部重複するが、前者は、「L-S-T」のように原体表記の後に回転方向記号が付加される点で後者と区別する。

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
40-1	⑰-1	SI4054	深鉢	口～胴	口:F 胴:RL-S	口～胴上:RL-NJ 胴下:E-Y	繊維・赤色粒含む 口縁端部かすかに肥厚 口唇部丸み 焼成良 I群
40-2	⑱-1	SI4054	深鉢	胴	縄文?	縄文?	繊維含む 焼成不良 I群
40-3	⑰-2	SI4054	深鉢	口～胴	口:RL?側面圧痕2条 胴:RL-NJ?	F	繊維含む 口縁端部かすかに肥厚 口唇部丸み 焼成不良 I群
40-4	⑱-2	SI4054	深鉢	口～胴	口:LR-Y 胴:LR-NO	F	繊維含む 口唇部丸み 縄文原体は0段多条か 焼成良 I群
40-5	⑱-3	SI4054	深鉢	口	口:RL-Y 胴上:RL-NO	F	繊維・雲母含む 口唇部丸み 焼成普通 I群
40-6	⑱-4	SI4054	深鉢	胴	RL-Y	摩滅	繊維含む 焼成普通 I群
40-7	⑱-5	SI4054	深鉢	胴	LR?-NJ	器表凹凸著しい	繊維含む 焼成普通 I群
40-8	⑱-6	SI4054	有孔円盤状土製品		摩滅	下半条痕調整?	繊維含む 焼成普通 内面炭化物付着 I群土器片加工品 表面から穿孔施す
40-9	⑲-1	SB2025 P1	鉢?	口	平行沈線	摩滅	白色針状物質含む 口唇部丸み
40-10	⑲-2	SB2025 P2	鉢	口	羊歯状文? 下端に連珠文?	摩滅	白色針状物質含む 口唇部丸み 口唇部施文なし
40-11	⑲-4	SB2025 P2	深鉢	胴上	LR-Y→水平沈線	F	
40-12	⑲-5	SB2025 P3	深鉢	口	RL?-S	F	口唇部平坦
40-13	⑲-6	SB2025 P3	深鉢	胴	RL-NJ?	FP	
40-14	⑲-9	SB2025 P3	深鉢	胴	LR-S	F	内面黒色物質付着?
40-15	⑲-10	SB2025 P3	深鉢	胴	LR-NO?	F	
40-16	⑲-11	SB2025 P3	鉢	底	摩滅	摩滅	平底
40-17	⑲-3	SB2025 P4	鉢	胴下	RL-S	F	金雲母含む
40-18	⑲-8	SB2025 P4	深鉢	胴	LR-Y?	F	40-19と同一個体か
40-19	⑲-7	SB2025 P4	深鉢	胴下	LR-Y	F	40-18と同一個体か
40-20	⑲-12	SB2025 P6	深鉢	口	LR-Y	摩滅	口唇部丸み
40-21	⑲-13	SB2025 P6	鉢	胴上	LR-Y→沈線2条→FP	F	白色針状物質含む
40-22	⑲-14	SB2025 P8	深鉢	胴	LR?	摩滅	
40-23	⑲-15	SB2025	深鉢	口	口:LR-Y 胴:LR-T	F	口唇部丸み
40-24	⑲-16	SB2025	壺	胴上	頸:F→沈線1条 胴:F→沈線3条	F	
41-1	⑳-1	SK2001	深鉢	胴上	不整入組帯状文→RL-Y?→HP-S	E-F-Y	
41-2	⑳-2	SK2001	深鉢	胴上	LR-Y→帯状文?	F	
41-3	⑳-3	SK2001	深鉢	胴	LR-S	F	41-4と同一個体か
41-4	⑳-4	SK2001	深鉢	胴	LR-S	F	41-3と同一個体か
41-5	⑳-5	SK2002	深鉢	胴上	LR-Y→帯状文?	F	
41-6	⑳-7	SK2006	深鉢	口	刻み目帯状文	F	口唇部丸み 口唇部頂部に刻みのある山形突起付く
41-7	⑳-8	SK2006	深鉢	胴上	三叉文?	F 黒色物質付着	
41-8	⑳-9	SK2006	深鉢	胴	RL-S	F	白色針状物質・赤色粒含む
41-9	⑳-6	SK2006	鉢	底	F	FP	底部円盤外側上面に擬口縁
41-10	⑳-10	SK2011	深鉢	底	F	F	底部輪高台状上げ底
41-11	⑳-11	SK2018	深鉢	胴	LR-S	摩滅	
41-12	⑳-14	SK2040	深鉢	胴	LR-Y	F	白色針状物質含む

第82表 北調査区遺構出土土器類観察表(1)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
41-13	⑳-16	SK2040	深鉢	胴	LR-NO	A・F-Y	白色針状物質含む
41-14	⑳-12	SK2040	深鉢	胴	LR-Y	A・F-Y	白色針状物質含む
41-15	⑳-13	SK2040	深鉢	胴	LR-S　縄文原体閉端回転圧痕?	F	
41-16	⑳-15	SK2040	注口土器	口	刻み目文→HP?	F	口縁内傾　口縁端部断面舌状
41-17	⑳-17	SK2042	深鉢	胴	LR-T	F	
41-18	⑳-18	SK2042	深鉢	底	摩滅	F	底部輪高台状上げ底
41-19	⑳-19	SK2042	台付鉢?	台	摩滅	摩滅	台部は厚さ5mm程度の粘土帯を2枚貼り合わせて成形か
41-20	⑳-21	SK2046B	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部丸み
41-21	⑳-20	SK2046B	深鉢	胴	LR-NO	F	
42-1	⑳-22	SK2046L	深鉢	口	RL-Y→帯状文→IP	摩滅	口縁端部肥厚　口唇部丸み低突起
42-2	⑳-25	SK2046L	深鉢	胴	LR・RL-Y(非結束羽状縄文)	F?　炭化物付着	
42-3	⑳-24	SK2046L	深鉢	底	摩滅	摩滅	底面粘土紐貼り付けによる輪高台状上げ底
42-4	⑳-23	SK2046L	注口土器？	口	口胴部境界沈線→HP	HP	外面黒色物質かすかに付着
42-5	⑳-26	SK2067B	深鉢	胴	LR-Y	F	
42-6	⑳-27	SK2067B	深鉢	胴	LR-S	F	
42-7	⑳-28	SK2067B	深鉢	胴	B-Y→LR-Y	FP	白色針状物質少量含む
42-8	⑳-29	SK2067B	深鉢	胴	LR-Y?	G-Y→F	
42-9	⑳-33	SK2088	深鉢	口	刻み目帯状文?	摩滅	口唇部浅い刻みを施した小山形突起付く
42-10	⑳-30	SK2088	深鉢	胴	LR-Y	FP	
42-11	⑳-31	SK2088	深鉢	胴	LR-Y	摩滅	
42-12	⑳-32	SK2088	深鉢	胴下	B・A-T	F	
42-13	⑳-35	SK2105A	深鉢	口下～胴	摩滅	口下:指オサエ 胴:A-TY→HP-Y	口縁部外反
42-14	⑳-36	SK2105A	台付鉢	底	FP	FP	白色針状物質含む
42-15	⑳-34	SK2105A	注口土器	口	刻み目文→IP	摩滅	白色針状物質含む　口縁端部外反　口唇部丸み
42-16	㉑-1	SK2111	深鉢	胴	LR-S	F	白色針状物質含む
42-17	㉑-8	SK2116	深鉢	口	RL-Y→帯状文	F	波状口縁　口唇部平坦
42-18	㉑-9	SK2116	深鉢	口	LR-T	A-Y→F	口唇部丸み
42-19	㉑-3	SK2116	深鉢	胴	LR-S	(B-Y)→F	
42-20	㉑-2	SK2116	深鉢	胴	LR-S	FP	
42-21	㉑-4	SK2116	深鉢	胴下	LR-S	F(P)	
42-22	㉑-6	SK2118	深鉢	胴	LR-Y	F	
42-23	㉑-7	SK2118	深鉢	胴	LR-S?	F	
42-24	㉑-5	SK2118	台付鉢	台	刻み目文→FP	F	
43-1	㉑-12	SK2119	深鉢	胴	LR-Y	F	
43-2	㉑-10	SK2119	浅鉢	口～胴上	口:FP　胴:雲形文→LR-S→(G)→IP-S→赤色?塗彩	FP→黒色?塗彩	白色針状物質含む　口縁端部内屈肥厚　口縁端部上面および内側に2もしくは3個1単位の沈線を加えた立体的な突起3　口縁端部内側突起間刻み
43-3	㉑-11	SK2119	壷	口	(G-T)→FP	(G-Y)→F	口縁端部外側肥厚　口唇部丸み
43-4	㉑-13	SK2121	壷	胴上	F	F	
43-5	㉑-14	SK2128	深鉢	口	摩滅	F(P)	口唇部丸み
43-6	㉑-15	SK2128	深鉢	胴上	RL-Y→帯状文→F	F	
43-7	㉑-16	SK2128	深鉢	胴	B-T→縄文?	B-T→FP	
43-8	㉑-17	SK2128	深鉢	胴	LR-NO	FP	
43-9	㉑-19	SK2128	深鉢	胴	RL-S	F	
43-10	㉑-18	SK2128	深鉢	胴	B-T→LR-S	B-T	
43-11	㉑-20	SK2128	深鉢	胴	E-T	E-Y	外面調整痕はハケメ様
43-12	㉑-21	SK2128	深鉢	胴下	F(P)	F	
43-13	㉑-23	SK2128	鉢	口	口:平行沈線→IP 胴:G-Y→LR-Y	G-Y→FP	口唇部B突起?
43-14	㉑-22	SK2128	浅鉢	口～胴	口:HP-Y　胴上:突起貼り付け→入組三叉文?→LR-S→F(P)	摩滅	口唇部かすかに丸み
43-15	㉒-1	SK2142	深鉢	胴	LR-Y	F	
43-16	㉒-2	SK2142	深鉢	胴	RL?-S	摩滅	
43-17	㉒-3	SK2150	深鉢	胴	RL-Y	F(P)	

第83表　北調査区遺構出土土器類観察表(2)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
43-18	㉒-4	SK2167A	浅鉢	口～底	口:刻み目文　胴:雲形文→LR?-S	FP?	口縁端部内側肥厚　口唇部丸み　底部上げ底
44-1	㉒-14	SK3032	深鉢	口～胴	RL-Y→平行沈線・列点文?	F	白色針状物質含む
44-2	㉓-3	SK3032	深鉢	口～胴上	口:E　胴上:LR-YN	E	口唇部丸み　口縁部小波状
44-3	㉓-1	SK3032	深鉢	口～胴	口:B　胴:B→RL-YT	G	白色針状物質含む　口唇部平坦
44-4	㉒-12	SK3032	深鉢	口	E→LR-Y	摩滅	口唇部丸み
44-5	㉓-2	SK3032	深鉢	口	E→LR-YT	G	口縁端部外側に粘土はみ出し　口唇部丸み
44-6	㉒-18	SK3032	深鉢	底	摩滅	摩滅	径3mmの礫含む　底部輪高台状
44-7	㉒-17	SK3032	鉢	口	入組三叉文→赤色顔料塗彩	G	白色針状物質含む
44-8	㉒-15	SK3032	注口土器	底	胴下:平行沈線　底:H	G	白色針状物質含む
44-9	⑬-2	SK3032	壺	口～胴	口:LR-T　頸:下半に結節沈線状隆帯→I(P) 胴上:C字文→LR-S→IP 胴下:LR-T	口～頸:F?　胴:A	白色針状物質含む　小波状口縁　口唇部丸み
44-10	㉒-16	SK3032	壺	頸～胴上	頸:平行沈線 胴上:LR-Y	E?	
44-11	㉒-13	SK3032	壺	頸～胴上	I→沈線	A?	白色針状物質含む
44-12	㉒-5	SK4004	浅鉢	口	刻み目文?→IP?	摩滅	口唇部丸み　文様は羊歯状文の可能性
44-13	㉒-6	SK4021	深鉢	胴上	LR-Y→帯状文	摩滅	
44-14	㉒-7	SK4021	深鉢	胴上	RL-Y→帯状文?→F	F	
44-15	㉒-8	SK4021	深鉢	胴	LR-T	E-Y	
44-16	㉒-9	SK4021	深鉢	胴	B-Y→LR-Y	F(P)	
44-17	⑲-17	SK4032	深鉢	口～胴	口:A-Y 胴上:A-Y→LR-Y	口:F　胴上:B-Y・F	外傾接合　口唇部丸み Ⅲb群か
44-18	⑬-1	SK4032	台付鉢	胴～台	胴:HP-YT　台:HP-T	胴:黒色物質付着　台:F	Ⅲb群か
45-1	㉒-10	SK4036	深鉢	胴下	F(ケバ状亀裂あり)	F(アタリ痕?-TN)	
45-2	㉒-11	SK4036	深鉢	胴	F	摩滅	
45-3	㉓-4	SK4041	深鉢	口～胴	口:平行沈線4条? 胴:LR-Y	摩滅	
45-4	㉓-11	SK4041	深鉢	底	胴下:F　底:F	胴下:A-Y　底:A	白色針状物質含む
45-5	㉓-5	SK4041	浅鉢	口	羊歯状文・連珠文→FP・IP	炭化物付着し不明	口唇部尖る　口唇部刻み
45-6	㉓-6	SK4041	浅鉢	口	羊歯状文?→FP	F	
45-7	㉓-9	SK4041	浅鉢	胴	口下:平行沈線→FP 胴:LR-Y	FP	
45-8	㉓-8	SK4041	注口土器	注口基部	沈線→IP	A	
45-9	㉓-7	SK4041	注口土器	胴	胴上:沈線→IP　胴下:FP	F	
45-10	㉓-10	SK4041	壺	口・胴	口:HP-Y　胴上:HP-T 胴下:F	口:HP-Y　胴上:(G-Y)→HP-Y　胴下:F	白色針状物質含む　口唇部平坦
45-11	㉔-1	SK4042	深鉢	胴	RL-S	F	
45-12	㉔-2	SK4042	深鉢	胴	RL-Y	F	白色針状物質含む
45-13	㉔-3	SK4042	鉢	胴	LR-Y	F	金雲母含む
45-14	㉔-4	SK4042	鉢	胴	胴上:LR-Y　胴下:FP→IP(胴上との境界)	F(P)	他に同一個体小破片1点
45-15	㉔-5	SK4042	壺	胴下	FP?→赤色顔料塗彩	F(P)	
46-1	⑬-3	SR1038	深鉢	口～底	口:B-T→F→LR-Y　胴上:B-T→EF-N→LR-NO 胴下:A-T→LR-NO・EP-Y　底:FP	口:E-Y→FP　胴:A→D・E-N(ケバ状亀裂あり) 底:F	口唇部平坦
46-2	⑬-4	SR2066	深鉢	底	胴:G-T→F　底:G-S	摩滅	
46-3	⑬-5	SR2066	深鉢	底	F	摩滅	
47-1	⑬-6	SR2072	深鉢	口～底	口:LR-Y　胴:LR-NO 底:摩滅	口～胴上:FP 胴下～底:摩滅	口唇部かすかに丸み
47-2	㉔-6	SR2072	深鉢	胴	LR-T	FP	
47-3	⑬-7	SR2104	深鉢	口～底	口:F→(LR-Y)　胴上:LR+R-Z-Y　胴下:LR+R-Z-Y→F　底:G-S	口:(B-Y)→F　胴上:E-NT 胴下:E・F-NY　底:E-S	口縁部外反　口唇部丸み 底部上げ底
47-4	⑬-8	SR4003	深鉢	底	RL-NO	胴上:F　胴下:G・B-N	
47-5	㉔-7	SR4003	深鉢	胴	LR-T?	FP	

第84表　北調査区遺構出土土器類観察表(3)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
48-1	㉔-8	SR4005	深鉢	口・胴～底	口:LR-Y 胴上:LR-Y→平行沈線 胴中～胴下:LR-T 底:B・F	F	口縁部かすかに外反 口唇部押圧状刻み2ヶ所ある突起付く
48-2	㉔-9	SR4005	深鉢	胴	F	F	
48-3	⑭-1	SR4006	深鉢	胴～底	胴:B-T→LR-T・Y	胴上:E-Y→B-T・FP 胴下:F	
48-4	㉔-10	SR4006	深鉢	胴	LR-Y	F	白色針状物質含む
49-1	⑭-2	SR4007	深鉢	胴～底	B-T→LR-S	胴上:E-N→(FP) 胴下:F	
49-2	⑭-3	SR4007	深鉢	胴下	B-T→L-T→L-Z-T	F・FP	
49-3	⑭-4	SR4008	深鉢	胴下～底	LR-T	摩滅	径5mm前後の礫含む 底部輪高台状上げ底
50-1	⑭-5	SR4009	深鉢	口～底	口:B・E-Y→LR-YNO 胴:LR-NO	口:E-Y 胴上:B-N→F 胴下:E-Y 底:F	底部平底 底部側面張り出す
50-2	⑭-6	SR4009	深鉢	胴下～底	胴上:G-T→LR-T 胴下:F 底:F	F	底部低輪高台状上げ底
51-1	⑮-1	SR4010	深鉢	胴～底	胴上:E・B-NT→LR-TY 胴下:F 底:F	胴上:FP・E-N 胴下:F 底:F	底部平底 内外面のB・E調整痕は幅10mm前後のハケメ様
51-2	⑮-2	SR4011	深鉢	胴～底	胴上:LR-S 胴下:F-Y	胴:FP-T 底:F	底部平底 胴最下部のF調整痕にはヘラもしくは板状工具のアタリ痕伴う
51-3	㉔-12	SR4011	深鉢	口	LR-Y	E・F-Y	波状口縁か 口唇部平坦
51-4	㉔-13	SR4011	深鉢	口	LR-Y	摩滅	口唇部平坦
51-5	㉔-15	SR4011	深鉢	胴	LR-S	F	
51-6	㉔-14	SR4011	深鉢	胴	縄文	F	
51-7	㉔-11	SR4011	浅鉢	口	刻み目文→FP	FP	口唇部尖る 口唇部刻み
52-1	⑮-3	SR4012	深鉢	口～底	口:RL-Y 胴上:B-T→RL-NJ(→R-Z) 胴下:F 底:F	口:G・B-Y 胴:B-NT 底:F	口唇部平坦 底部平底
52-2	⑮-4	SR4013	深鉢	口～底	口:LR-YT 胴上:LR-T 胴下:B-T→F-Y	口:E-Y→HP-Y 胴:F	赤色粒少量含む 口唇部平坦 底部平底
53-1	⑮-5	SR4014	深鉢	口～底	口:帯状文・山形三叉文→LR-S→HP 胴:B-N→LR-YNO	口:F 胴上:E-N→F 胴下:F 底:F	低波状口縁? 口唇部平坦 底部平底 口縁部補修孔
53-2	⑮-6	SR4015	深鉢	口・胴・底	口:B・E-Y→LR-TY 胴:B・E-NY→LR-T→r-Z-T	口:B・E(P)-Y 胴:B(P)-T 底:F	口唇部ほぼ平坦 底部平底
54-1	⑯-1	SR4016	深鉢	胴下～底	胴上:B・E-YN→LR-NO(→E-N) 胴下:E(P)-Y(→LR-NO)	胴上:F	底部平底 外面B調整幅4mm前後 内外面に漆類似物質付着
54-2	㉔-16	SR4016	深鉢	口	LR-NO	B-T・F	口唇部かすかに丸み 本体土器と同一個体の可能性
54-3	㉔-17	SR4016	深鉢	口	RL-Y→帯状文?→IP	FP	低波状口縁 口唇部丸み
54-4	⑯-2	SR4017	深鉢	口～底	口:LR-YT 胴上:B-N→LR-T 胴下:LR-T→F-Y 底:摩滅	口:A-Y→F→HP-Y 胴:F→HP-Y 底:摩滅	口縁部内湾 口唇部丸み 底部平底
55-1	⑯-3	SR4017	深鉢	口～胴上	口:B-Y→LR-NO 胴:B-T→LR-S	口:G-Y→F・EP-YN 胴:G-N→F	低波状口縁 波頂部かすかに肥厚 口唇部ほぼ平坦
55-2	㉕-1	SR4017	深鉢	胴	A-Y→H(P)	F-Y	
55-3	㉕-2	SR4017	深鉢	胴	B-T	E-Y	
55-4	⑯-4 ㉕-3	SR4018	深鉢	口～底	口:(E-N)→LR-Y 胴:LR-YT	口:F-Y 胴上:F-T 胴下:F 底:F	口縁端部内側に粘土はみ出し 口唇部平坦 底部平底
55-5	㉕-4	SR4018	深鉢	胴	LR-Y	FP	
56-1	⑯-5	SR4019	深鉢	胴中～底	胴中:RL-T? 胴下:E・F-Y 底:F	B-Y→?	底部平底
56-2	⑯-6	SR4040	深鉢	口～底	口:LR-Y 胴上:B-YT→F→LR-Y 胴下:E-Y 底:FP	口:A→FP 胴:E-NT→FP 底:F	口唇部丸み 底部平底
56-3	㉕-5	SR4040	深鉢	胴	LR-S	A-Y→FP-Y(ケバ状亀裂あり)	
57-1	㉕-6	SKP2004	深鉢	胴	LR-Y	F	
57-2	㉕-7	SKP2005	深鉢	胴	LR-Y	F	
57-3	㉕-8	SKP2005	鉢	胴	LR-Y	摩滅	
57-4	㉕-9	SKP2008	深鉢	口	LR-Y	A-Y→F	白色針状物質・赤色粒含む 口唇部丸み
57-5	㉕-10	SKP2008	深鉢	底	胴下:F 底:H	摩滅	底部輪高台状上げ底

第85表 北調査区遺構出土土器類観察表(4)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
57-6	㉕-11	SKP2009	深鉢	口	RL-Y	F	赤色粒含む　口縁端部かすかに肥厚　口唇部かすかに丸み
57-7	㉕-13	SKP2009	深鉢	口	A-Y→F	E-Y	口縁端部外側に粘土はみ出し　口唇部ほぼ平坦
57-8	㉕-12	SKP2009	深鉢	口	F(P)	A-Y→F(P)	口唇部ほぼ平坦
57-9	㉕-14	SKP2009	鉢?	胴上	平行沈線	摩滅	口縁部内湾?
57-10	⑲-21	SKP2024	深鉢	口～胴	口:RL-Y?→沈線2条による曲線文　胴上:沈線による曲線文	FP　黒色物質付着	波状口縁　口縁部外反　口唇部丸み　Ⅲa群
57-11	⑲-18	SKP2024	深鉢	胴上	LR-Y→平行沈線5条	F	外傾接合　口縁部外反か　Ⅲa群
57-12	⑲-19	SKP2024	深鉢	胴上	RL-Y→沈線2条	F	
57-13	⑲-25	SKP2024	深鉢	胴	LR-Y	FP	
57-14	⑲-24	SKP2024	深鉢	胴	LR-Y	F(P)	
57-15	⑲-20	SKP2024	深鉢	胴	RL(0段多条)-Y	F	外傾接合か
57-16	⑲-23	SKP2024	深鉢	胴	LR-S	F	
57-17	⑲-22	SKP2024	深鉢	胴	LR-Y	F	
57-18	㉕-15	SKP2036	深鉢	胴上	平行沈線3条	F	
57-19	㉕-17	SKP2036	深鉢	胴	FP→LR-T	FP	
57-20	㉕-16	SKP2036	深鉢	胴	F(P)→LR-Y	F	
57-21	㉕-18	SKP2036	浅鉢	胴	浅い水平沈線1条→FP?	摩滅	
57-22	㉕-19	SKP2036	注口土器?	胴上	F	A	内面幅10mm前後粘土紐による内傾接合痕
58-1	㉕-21	SKP2045	深鉢	胴上	LR-Y・帯状文	FP	白色針状物質わずかに含む
58-2	㉕-22	SKP2045	深鉢	胴	LR-NO	G-Y→F	
58-3	㉕-23	SKP2045	深鉢	胴	LR?-Y	F	
58-4	㉕-24	SKP2045	深鉢	胴	LR+R-Z-Y	摩滅	
58-5	㉕-25	SKP2045	深鉢	底	F?	F	平底?
58-6	㉕-20	SKP2045	深鉢	胴下～底	FP　底部立ち上がりの屈曲部位には浅い沈線状の調整痕(HP)	F	
58-7	㉕-26	SKP2045	台付鉢?	台	F	F	
58-8	㉖-2	SKP2046E	深鉢	胴上	帯状文(逆D字刺突列充填)?	摩滅	
58-9	㉖-1	SKP2046E	鉢	口	入組三叉文	摩滅	口縁端部肥厚　口唇部丸み
58-10	㉖-3	SKP2046E	鉢	底	摩滅	F	平底
58-11	㉖-4	SKP2050	深鉢	胴	RL-T	HP	
58-12	㉖-5	SKP2050	深鉢	胴	B-Y→LR-S	F	
58-13	㉖-6	SKP2050	深鉢	底	B・F-Y?→(LR-NO?)	B・F-YS	平底
58-14	㉖-7	SKP2053	深鉢	胴上	RL-Y→帯状文(IP)	F	
58-15	㉖-8	SKP2053	深鉢	胴上	胴上:平行沈線2条 胴下:RL?-NJ	F	
58-16	㉖-9	SKP2053	深鉢	口	LR+R-Z-T	E・FP-Y	低波状口縁　口唇部ほぼ平坦
58-17	㉖-10	SKP2053	深鉢	口	口:LR-Y　胴:LR-NO	EP-Y	低波状口縁　口唇部丸み
58-18	㉖-12	SKP2053	深鉢	胴	LR-T?	F(P)	赤色粒含む
58-19	㉖-13	SKP2053	深鉢	胴	LR-S	F	
58-20	㉖-14	SKP2053	深鉢	胴	縄文　摩滅著しい	F?	内面黒色物質付着
58-21	㉖-11	SKP2053	深鉢	胴	LR-Y	F?	
58-22	㉖-16	SKP2053	深鉢	口	A-YT→HP	E-TY	口唇部丸み
58-23	㉖-17	SKP2053	深鉢	底	F	F	平底
58-24	㉖-15	SKP2053	壷	胴	水平沈線1条　LR-Y? 摩滅著しい	F	
59-1	㉗-2	SKP2054	深鉢	口	口:羊歯状文　胴:摩滅	摩滅	口唇部丸み
59-2	㉗-3	SKP2054	深鉢	胴	LR-S	F	赤色粒含む
59-3	㉗-5	SKP2054	深鉢	胴	LR-S	F	白色針状物質含む
59-4	㉗-9	SKP2054	深鉢	底	摩滅	摩滅	
59-5	㉗-6	SKP2054	浅鉢	口～胴	口:羊歯状文→IP 胴:E-Y	(B-Y)→HP	白色針状物質少量含む 口唇部B突起状刻み 内面黒色物質付着
59-6	㉗-1	SKP2054	浅鉢	口～胴	口:下限平行沈線区画した羊歯状文→FP・IP 胴:LR-Y	FP	口縁部と胴部境界に内傾の接合痕　胴部は厚さ2mmの粘土帯2枚貼り合わせ? 口唇部丸み　口唇部～口縁端部外側羊歯状文刻み 内面黒色物質付着

第86表　北調査区遺構出土土器類観察表(5)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
59-7	㉗-8	SKP2054	浅鉢	底	胴:LR-Y→平行沈線2条→沈線下G-Y→IP? 底:G	(G-Y)→IP-Y	底部上げ底(ケズリ出し)
59-8	㉗-4	SKP2054	壺?	胴	胴上:平行沈線2条→(IP) 胴下:雲形文?	摩滅	
59-9	㉗-10	SKP2054	壺	口～胴	LR-Y?	口:F　胴上:指オサエ 胴下:A	白色針状物質含む　口縁端部かすかに外反　口唇部尖る
59-10	㉗-7	SKP2054	ミニチュア土器	底	摩滅	摩滅	底部輪高台状上げ底
59-11	㉗-11	SKP2080	深鉢	口	LR-Y	摩滅	口唇部丸み
59-12	㉗-12	SKP2082	深鉢	胴	LR-T	F	
59-13	㉗-15	SKP2087B	深鉢	口突起	刺突列	摩滅	肥厚する小山形突起
59-14	㉗-17	SKP2087B	深鉢	胴	LR-Y・上位に水平沈線→IP	摩滅	
59-15	㉗-18	SKP2087B	深鉢	胴	RL-S	摩滅	
59-16	㉗-16	SKP2087B	深鉢	底	底:F	F	底部輪高台状上げ底
59-17	㉗-14	SKP2090	深鉢	口	LR-Y	HP-Y	口縁端部内外面かすかに肥厚　口唇部平坦
59-18	㉗-13	SKP2090	深鉢	胴	LR-T?	F(P)	
59-19	㉗-20	SKP2105C	深鉢	胴	刻み目帯状文?	摩滅	
59-20	㉗-19	SKP2108	注口土器?	口	FP	摩滅	口唇部丸み
59-21	㉗-21	SKP2113	深鉢	胴	LR?-T	摩滅	
60-1	㉗-29	SKP2126	深鉢	口	LR-Y・帯状文	F	口縁端部かすかに肥厚 口唇部平坦　頂部に押圧状刻みある山形突起付く
60-2	㉗-22	SKP2126	深鉢	胴	LR-Y	F	白色針状物質含む
60-3	㉗-27	SKP2126	深鉢	胴	LR-S	F(P)	白色針状物質含む
60-4	㉗-28	SKP2126	深鉢	胴下	摩滅	F?	
60-5	㉗-24	SKP2126	鉢	口	口:刻み目文→F? 胴:RL-Y	FP	口唇部丸み　口唇部刻み
60-6	㉗-25	SKP2126	鉢	口	LR-Y	F	口唇部丸み
60-7	㉗-26	SKP2126	鉢	胴	胴上:入組三叉文?→IP-Y	IP-T	
60-8	㉗-23	SKP2126	注口土器?	口	沈線→F	F→変形C字文	白色針状物質含む　口唇部丸み
60-9	㉘-1	SKP2133A	深鉢	口	F(P)→LR-Y	FP	口唇部ほぼ平坦　60-10と同一個体
60-10	㉘-2	SKP2133B	深鉢	口	F(P)→LR-Y	FP	口唇部ほぼ平坦　60-9と同一個体
60-11	㉘-3	SKP2133B	深鉢	胴	LR-S	A	白色針状物質含む
60-12	㉘-4	SKP2134	深鉢	口	摩滅	F	口縁部かすかに外反　口唇部押圧状の刻み
60-13	㉘-5	SKP2134	深鉢	底	摩滅	F	平底
60-14	㉘-6	SKP2134	壷	口・胴上	口:IP-Y→口端刻み→赤色塗彩　胴上:工字文?→IP-Y→赤色塗彩	IP-Y→赤色塗彩	低波状口縁　口縁端部肥厚 口縁端部内面B突起付く
60-15	㉘-7	SKP2137	深鉢	胴	LR-Y	F	
60-16	㉘-8	SKP2138	深鉢	胴	RL-Y・帯状文→F(P)	摩滅	
60-17	㉘-9	SKP2146	深鉢	胴	LR-NO	A-Y	
60-18	㉘-12	SKP2146	深鉢	胴	縄文?	F	白色針状物質含む
60-19	㉘-10	SKP2146	深鉢	底	胴下:A　底:C-S	F?	白色針状物質含む
60-20	㉘-11	SKP2146	鉢	胴上	IP-Y→C字文?	F?	口縁部外反
60-21	㉘-13	SKP2147	深鉢	胴	LR-Y?	FP	
61-1	㉘-14	SKP2151	深鉢	口～胴上	口:FP　胴:LR-Y	F	口縁部く字形屈曲
61-2	㉘-15	SKP2152	深鉢	口	突起:三叉状の沈線→LR-S→IP 口:帯状文?・LR-Y→IP-Y	F(P)	口縁部外反　口縁端部かすかに肥厚
61-3	㉘-16	SKP2157	壺	胴	胴上:LR-Y・雲形文 胴下:LR-Y	A-Y	外面炭化物・内面黒色物質?付着
61-4	㉘-17	SKP2167B	深鉢	胴上	LR-S・沈線2条→G-Y→H-Y	G-Y	白色針状物質含む　内面炭化物付着
61-5	㉘-18	SKP2203	鉢	口	平行沈線→FP	FP	口唇部丸み
61-6	⑯-7	SKP2211	台付鉢	口～胴	口～胴上:入組三叉文・平行沈線→HP 胴下:B-T→LLR-Y	FP	6単位低波状口縁?　1単位おきごとの波頂部に中央および両側に刻みある突起 口縁部かすかに外反　口唇部丸み　台部欠損
61-7	㉘-19	SKP2263D	深鉢	胴	LR-NO	F	

第87表　北調査区遺構出土土器類観察表(6)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
61-8	㉘-20	SKP2264	深鉢	口	RL-Y	摩滅	白色針状物質含む　口唇部丸み
61-9	㉘-21	SKP2266	深鉢	底	F	B-Y・F	底部輪高台状上げ底
61-10	㉘-22	SKP2284	深鉢	胴	RL-Y	F	
61-11	㉘-26	SKP2286	深鉢	底	摩滅	摩滅	底部平底
61-12	㉘-23	SKP2295	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部平坦
61-13	㉘-24	SKP2295	深鉢	胴	R-Z-Y	F	白色針状物質含む
61-14	㉘-25	SKP2380	深鉢	胴上	LR-Y・帯状文→FP	FP	
61-15	㉘-27	SKP2407	深鉢	口	LR-Y	E-Y	口唇部平坦
61-16	㉘-28	SKP2410	深鉢	胴	LR-NO	F	
61-17	㉘-29	SKP3079	深鉢	口	LR-Y	FP	赤色粒含む　口唇部平坦
61-18	㉘-30	SKP3090	深鉢	口	LR-Y→帯状文?	FP	白色針状物質含む　口縁部外反　口唇部丸み　口唇部押圧状の刻み
61-19	㉘-32	SKP3090	深鉢	胴	LR-Y	A(P)	
61-20	㉘-31	SKP3090	深鉢	口	E-Y?	FP	口唇部かすかに丸み

第88表　北調査区遺構出土土器類観察表(7)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
201-1		SI20	深鉢	胴	刻み目帯の入組三叉文	HP	
201-2		SI20	深鉢	口	口～胴:LR-Y	H-FP	小波状口縁　口唇部丸み
201-3		SI20	深鉢	胴	LR-Y	B→F	白色の砂粒を含む
201-4		SI20	深鉢	胴	RL-T	HP	
201-5		SI20	深鉢	胴	LR-Y	摩滅	二次的受熱
201-6		SI20	深鉢	胴	F→RL-T	FP	
201-7		SI20	深鉢	胴下～底	胴下:LR-Y→GP　底:G	胴下:G　底:G	底部輪高台状
201-8	㊼-1	SI20	台付鉢	口～台	口:小波状→B突起　胴上:羊歯状文　胴中:LR-Y 胴下:沈線→截痕列　台:F	口～胴下:FP　底:G→I 台:IP	胴部上半の内面に煤状炭化物付着
201-9		SI20	壺	頸～胴	頸:刺突列と截痕列 胴上:截痕列間に背中合わせのC字状文 胴下:F→LR-Y	頸:BP　胴上:A→BP 胴下:A→BP	白色針状物質含む
201-10		SI20	壺?	胴	F→LR-Y	胴:A→C	径2～3mmの砂粒含む
201-11		SI388	深鉢?	口	LR-Y→入組帯状文?	B・F-Y	口唇部丸み
201-12		SI388	深鉢	胴上	刻み目帯状文→貼瘤	摩滅	
201-13		SI388	深鉢	口	F(P)→刺突帯状文	F	口唇部かすかに丸み
201-14		SI388	深鉢	口	F→刺突帯状文	F	口唇部平坦　口縁端部外側刻み目
201-15		SI388	深鉢	口	F→刻み目帯状文	F	
201-16		SI388	深鉢	口～胴上	口:F→入組三叉文・平行沈線 胴:B-TN→F→LR-S	口:F(P)　胴:E-TY	赤色粒含む　口唇部B突起
201-17		SI388	深鉢	口～胴	口:羊歯状文→IP 胴:LR-Y	F	口唇部刻み目
201-18		SI388	深鉢	口～胴上	口:F→羊歯状文 胴上:LR-Y	FP	口縁部外反　口唇部B突起
201-19		SI388	深鉢	口～胴	口:F→羊歯状文 胴:LR-Y	FP	口唇部B突起　口唇部丸み
201-20		SI388	深鉢	口	口:不整沈線3条 胴:LR-Y	A	口縁端部刻み目による小波状
201-21		SI388	深鉢	口	刻み目文	F	白色針状物質含む　口唇部平坦
201-22		SI388	深鉢	口	刻み目文	F(P)	白色針状物質含む　口唇部B突起　口唇部平坦
201-23		SI388	深鉢	口～胴上	口:A→帯状文? 胴上:LR-Y	A-Y	白色針状物質含む　3個の刻み目あるB突起口唇部に付く
201-24		SI388	深鉢	口～胴上	口:A→羊歯状文? 胴:LR-Y	A-Y	白色針状物質含む
201-25		SI388	鉢	口	刻み目文→IP	FP	口縁部かすかに外反　口唇部刻み目
201-26		SI388	深鉢	口	口上:平行沈線 口下:LR-Y	FP	口唇部平坦
202-1	㊼-2	SI388	深鉢	口～底	口:LR-Y　胴:LR-S 底:G・F(P)	F(P)	口唇部平坦
202-2		SI388	深鉢	口～胴	口:LR-Y 胴:B-Y→LR-S	F(P)	口唇部丸み
202-3		SI388	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部丸み
202-4		SI388	深鉢	口	LR+R-Z-Y	F	白色針状物質含む　口唇部かすかに丸み
202-5		SI388	深鉢	口～胴	LR-Y	H(P)-YN	白色針状物質含む　口唇部丸み
202-6		SI388	深鉢	口～胴	口:LR-Y　胴:LR-S	F	口唇部ほぼ平坦
202-7		SI388	深鉢	口	LR-Y	(G-Y)・A	口唇部平坦　口縁端部肥厚
202-8		SI388	深鉢	口	LR-Y	A・F	口縁端部かすかに肥厚 口唇部かすかに丸み
202-9		SI388	深鉢	口	LR-Y	F(P)	白色針状物質含む　口唇部ほぼ平坦
202-10		SI388	深鉢	口	LR-Y	F	白色針状物質含む　口唇部かすかに丸み
202-11		SI388	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部平坦
202-12		SI388	深鉢	口	LR-Y	F・G-Y	口縁部かすかに外反　口唇部ほぼ平坦
202-13		SI388	深鉢	口	LR-Y	A-Y	口唇部ほぼ平坦
202-14		SI388	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部ほぼ平坦～丸み

第89表　南調査区遺構出土土器類観察表(1)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
202-15		SI388	深鉢	口	LR-Y	F	白色針状物質含む　口唇部丸み
202-16		SI388	深鉢	口	LR-Y	F	白色針状物質・赤色粒含む　口唇部丸み
202-17		SI388	深鉢	口	LR-Y	F(P)	口縁端部両側に粘土はみ出し　口唇部丸み
202-18		SI388	深鉢	口～胴	LR-Y	口:FP　胴:指頭圧痕	口唇部丸み
202-19		SI388	深鉢	口	F→LR-N	F	赤色粒含む　口唇部ほぼ平坦
202-20		SI388	深鉢	口	L-Y	摩滅	口唇部丸み
202-21		SI388	深鉢	口～胴	口:B-Y→LR-Y　胴:LR-Y	口:H(P)-N　胴:F(P)	口唇部かすかに丸み
202-22		SI388	深鉢	口	LR-Y	A・H-Y・N	口唇部かすかに尖る
203-1		SI388	深鉢	胴	LR-S	F	
203-2		SI388	深鉢	口～胴	口:F・B-Y　胴:LR-Y	口:(G-Y)→F　胴:F	白色針状物質含む　口唇部丸み
203-3		SI388	深鉢	口～胴	LR-Y	F	口唇部丸み
203-4		SI388	深鉢	口・胴～底	口:LR-Y　胴:B-N→LR+R-Z-N　底:摩滅	口～胴:A・G-Y　底:A	白色針状物質・赤色粒含む　口唇部かすかに尖る
203-5		SI388	深鉢	口	口:F(P)　胴:LR-Y	F(P)	口縁部外反　口唇部丸み
203-6	㊼-4	SI388	深鉢	口～底	口:A　胴上～胴中:LR-Y　胴下:LR-S　底:A	口:(G-Y)→F　胴上:G-YT・A　胴中～底:A-S	白色針状物質含む　口縁部外反　口唇部丸み
203-7	㊼-3	SI388	深鉢	口～底	口:A-YT　胴上:R-YS　胴下:A・B-Y　底:F	口:F　胴:(E-N)→F　底:F	口縁部外反　口唇部B突起?　口唇部丸み
203-8		SI388	深鉢	口～胴上	口:F(P)　胴上:LR-Y	口:F(P)　胴:F	口唇部押圧状の刻み目
203-9		SI388	深鉢	口～胴上	口:F　胴上:LR?-Y	F(P)	口唇部の刻み目により低波状口縁をなす　口唇部平坦
204-1		SI388	深鉢	胴	LR-Y	F	
204-2		SI388	深鉢	胴	LR-S→R-Z-N	F・G-Y	白色針状物質含む
204-3	㊽-1	SI388	深鉢	底	胴下:LR-S　底:網代痕→条痕?	胴下:F(P)　底:A	
204-4		SI388	深鉢	底	胴下:F→LR-Y　底:A	A	
204-5	㊽-4	SI388	深鉢	底	胴下:A　底:網代痕	F(P)	
204-6		SI388	深鉢	底	胴下:A　底:摩滅	F	赤色粒含む
204-7		SI388	深鉢	底	胴下:LR-Y・B-N　底:摩滅	胴下:F　底:A	白色針状物質含む
204-8		SI388	深鉢	底	胴下:LR?-S　底:F	F(P)	
204-9		SI388	深鉢	底	胴下:F→LR-Y　底:G	F(P)	赤色粒含む
204-10		SI388	深鉢	底	胴下:LR-S　底:摩滅	胴下:F　底:A	
204-11		SI388	深鉢	底	摩滅	F	
204-12		SI388	深鉢	底	胴下:A・E-Y→LR-S　底:A	胴下:F　底:B・F	炉体土器
204-13		SI388	深鉢	底	胴中:LR?-S　胴下:G?→F　底:摩滅	F(P)	
204-14		SI388	深鉢	底	A→木葉痕?	摩滅	
205-1		SI388	鉢	口～胴	口:入組三叉文?　胴:F?	F	口唇部B突起
205-2		SI388	鉢	口～胴	口:入組三叉文→IP　胴:LR-Y	F(P)	白色針状物質含む　口唇部B突起
205-3		SI388	鉢	口～胴	口:入組三叉文→FP　胴:LR-Y	F(P)	口唇部B突起
205-4	㊽-2	SI388	鉢	口～胴	口:入組帯状文・平行沈線→I(P)　胴:LR-Y	IP-Y	口唇部B突起
205-5	㊽-3	SI388	鉢	口～胴	口:羊歯状文・刻み目文→IP　胴:LR-Y→(IP)	IP-Y	口唇部かすかに丸み
205-6	㊽-6	SI388	鉢	口～胴上	口:羊歯状文→FP　胴上:RL-Y	FP	口唇部刻み目
205-7	㊽-5	SI388	鉢	口～胴上	口:刻み目文?→IP　胴上:羊歯状文→IP　胴下:LR-Y	IP-Y	胴上半内湾し口縁部外反
205-8		SI388	鉢	口～胴	口:刻み目文→IP　胴:LR・RL-Y(非結束)	FP	口唇部B突起
205-9	㊽-7	SI388	鉢	口～胴上	口:羊歯状文　胴上:LR-Y	FP	口唇部刻み目　口唇部尖る
205-10	㊽-8	SI388	鉢	口～胴	口:羊歯状文→IP　胴:LR-Y	FP	口唇部尖る　口唇部刻み目
205-11		SI388	鉢	口	羊歯状文→IP	IP-Y	口唇部丸み
205-12		SI388	鉢	口	刻み目文→IP	FP	口唇部刻み目
205-13		SI388	鉢	口	刻み目文→IP	F	口唇部丸み

第90表　南調査区遺構出土土器類観察表(2)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
205-14		SI388	鉢	胴	口胴境界:平行沈線 胴:LR-Y	FP	
205-15		SI388	鉢	底	胴下:指頭圧痕→LR-Y 底:F	F	
205-16		SI388	鉢	底	胴中:LR-Y　胴下:平行沈線→IP?　底:摩滅	胴:F(P)　底:A・F	
205-17		SI388	台付鉢?	台	台上:刻み目文 台下:沈線1条・LR-Y	A	
205-18		SI388	台付鉢?	台	F	A	円形透かし穴
205-19		SI388	台付鉢?	台	台上:刻み目文 台下:水平沈線1条	F	
205-20	㊽-2	SI388	台付浅鉢	口～台	口:逆S字文・C字文・三角三叉文→FP　口胴境界:平行沈線間横位列点文→FP　胴上:C字文→FP 胴下:LR-Y→帯状文→IP-Y　底:A　台:透かし・C字文→IP	口:粘土紐貼り付け?によるC字状渦巻文→FP 胴～底:FP　台:A	2個1組からなるB突起の両側に各1個のB突起が付く 内外面赤色塗彩
205-21	㊽-1	SI388	台付浅鉢	口～胴	口:LR-Y→入組三叉文→(IP)　胴:LR-Y	口～胴:FP	白色針状物質含む　口唇部～口縁端部内側に3個1組の突起と粘土紐貼り付けによる連弧状?隆線　残りの口唇部にB突起付く
205-22	㊶-9	SI388	浅鉢	口～底	口～底:雲形文→LR-S→IP	口:水平沈線1条→IP-Y 胴～底:IP-Y	口縁端部外側に短く屈曲基部に沈線を巡らした小突起が口縁端部に連続して付く
205-23		SI388	注口土器	注口	注口基部:沈線・三角三叉文?・IP	F	注口接合部で剥離
205-24		SI388	注口土器	注口	平行沈線・貼瘤	A	
205-25	㊶-10・11	SI388	壺	口	刻み目文・三叉文?→IP	IP-Y	口縁部内湾　口唇部かすかに丸み　口唇部B突起
205-26	㊶-12	SI388	壺	口	C字文?→IP	IP-Y	中央に刻み目ある突起口唇部に付く
205-27	㊶-13	SI388	壺	胴上	刺突文・三叉文?・IP	FP	
205-28	㊶-14	SI388	壺	胴	入組状曲線文	摩滅	
206-1		SI388	壺	口	口上:LR-Y　口下:結節沈線	IP-Y	口縁部内湾　口唇部丸み
206-2		SI388	壺	胴上	口胴境界:刻み目文 胴上:LR-Y→渦巻状曲線文→IP	A(指頭圧痕)	白色針状物質含む
206-3	㊽-3	SI388	壺	口～胴下	口:LR-Y　頸上:IP-Y 頸下:IP-Y・入組三叉文 胴上:LR・渦巻状曲線文 胴下:LR-Y	口～頸:FP　胴:F(P)	外面・口縁部内面赤色塗彩底部欠
206-4		SI388	壺	口～底	口:A・B-Y　胴:LR-Y 底:摩滅	口～胴:摩滅　底:B	口唇部丸み
206-5	㊼-6	SI388	壺	口～底	口:A-Y 胴上:LR-S　胴下:LR-S→B・FP-Y　底:F	口～底:F	中央に刻みある小山形突起口唇部に付く　口唇部丸み
206-6	㊼-5	SI388	壺	口～胴	口:A・IP　胴:A・IP-YT	口:IP-Y　胴:G-Y	白色針状物質含む　口縁部外反　口縁部器表剥落面に指頭圧痕
206-7		SI388	香炉形土器?	釣り手?	隆線・瘤貼付→円形刺突・沈線	A	
206-8	㊶-16	SI388	土製耳飾		FP	FP	白色針状物質含む
206-9	㊶-17	SI388	土製耳飾		摩滅	F(P)	
207-1		SI431	深鉢	胴	垂下隆線貼り付け→隆線上刺突→縄文?・沈線による区画	F(P)	Ⅲa群か
207-2		SI431	深鉢	胴上	単軸絡条体第1類R?-T→渦巻状・「八」字形?沈線	FP	Ⅲa群
207-3		SI431	深鉢?	口?	沈線文　詳細不明	FP	
207-4		SI431P1	深鉢	胴	単軸絡条体第5類(B)R-T	F	
207-5		SI431	深鉢	胴	単軸絡条体第1類LR-T	FP	Ⅲa群
207-6		SI431	深鉢	胴	単軸絡条体第1類L-T	F	平坦な擬口縁あり
207-7		SI431	深鉢	胴	E-T→LR+R-Z-T	F	

第91表　南調査区遺構出土土器類観察表(3)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
207-8		SI431	深鉢	底	胴下:E・F-Y　底:木葉痕	F	
207-9		SI565	深鉢	底	F	A	平底
207-10		SI617	深鉢	口	帯状文?	摩滅	口縁部外反　十腰内第Ⅰ群か
207-11		SI617	深鉢	口	刻み目帯状文	摩滅	口唇部小山形突起付く
207-12		SI617	深鉢	口～胴上	口:刺突帯状文 胴上:RL-Y	G-Y→FP	
207-13		SI617	深鉢	胴	FP→IP-S(胴上は平行沈線状)→貼瘤	FP	
207-14		SI617	深鉢	胴	縄文?・帯状文?	F	
207-15		SI617P3	深鉢	口	逆D字刺突列	摩滅	
207-16		SI617	深鉢	口	RL-Y	口:(G-Y)→E-Y 胴上:EP-YT	白色針状物質含む　口唇部平坦　口縁端部肥厚
207-17		SI617	深鉢	口	RL-YNJ	E(P)-TY	口唇部平坦～丸み　口縁端部肥厚
207-18		SI617	深鉢	胴	RL-Y	FP-Y	白色針状物質含む
207-19		SI617	深鉢	胴	RL-Y	F(P)-Y	
207-20		SI617	深鉢	胴	LR+R-Z-Y	A-S	
207-21		SI617	深鉢	胴	FP→LR-Y	摩滅	厚手　Ⅲ群か
207-22		SI617	深鉢	胴	LR-S	F(P)	
207-23		SI617	深鉢	胴	LR-Y	G(P)-Y	
207-24		SI617	深鉢	胴	LR-S	HP-Y	白色針状物質含む
207-25		SI617	深鉢	胴	RL-T	F	
207-26		SI617	深鉢	口	条痕(10条以上1単位?)-N→IP-Y	F	口唇部かすかに丸み　口縁端部肥厚
207-27		SI617	深鉢	胴	条痕(4条1単位)-T	F	Ⅲa群か
207-28		SI617	深鉢	胴	F(P)	E-S	
207-29		SI617	深鉢	胴	HP-Y	E-Y→(HP-Y)	白色針状物質含む
207-30		SI617	深鉢	胴	B-S→HP-TY	E-Y→HP-T	
207-31		SI617	深鉢	胴下	B-T→(胴下)HP-Y	H-Y	赤色粒含む
207-32		SI617P7	深鉢	胴	HP-Y	A-Y	
207-33		SI617P11	深鉢	胴	E(P)-Y→F(P)	F	
207-34		SI617	深鉢	底	F	摩滅	底部輪高台状
207-35		SI617	深鉢	底	B(P)-Y	F	
207-36		SI617	鉢	底	A-Y	F	底部粘土紐貼り付けによる輪高台状をなす
207-37		SI617	不明土製品		摩滅	F?	現状棒状　上面湾曲　下面摩滅　裏面線刻か
208-1		SB419P4	深鉢	口	F→LR-Y	F	口唇部ほぼ平坦
208-2		SB420P1	深鉢	胴	LR-S	F	
208-3		SB420P3	深鉢	胴	入組帯状文?・RL-T→IP?	F	
208-4		SB430P1	深鉢	口	刻み目帯状文→貼瘤	F	口唇部平坦　瘤状の突起
208-5		SB430P1	深鉢	口	F→刻み目帯状文	A→(B-S)	
208-6		SB430P1	深鉢	口	刻み目帯状文	摩滅	口唇部平坦　口唇部瘤状の小突起付く
208-7		SB430P1	深鉢	突起	RL-T→帯状文・IP	I(P)-T	赤色粒含む　頂部に刻みのある山形突起
208-8		SB430P1	深鉢	口～胴	口:口縁部下端に刻み目帯状文→沈線文(変形した入組帯状文?) 胴:RL-Y	B-Y→F(P)	
208-9		SB430P1	深鉢	胴	LR-Y→帯状文	摩滅	
208-10		SB430P1	深鉢	胴上?	刺突帯状文	F	
208-11		SB430P1	深鉢	口	F→R-Y	FP	口唇部平坦　口縁端部かすかに肥厚　補修孔あり
208-12		SB430P1	深鉢	口	口:R-Y　胴:LR-Y	E-Y	口唇部瘤状突起2個付く
208-13		SB430P1	深鉢	胴	胴上:F→LR-Y 胴下:指オサエ→F-Y	F(P)	
208-14		SB430P1	深鉢	胴	LR-Y	H-NY→(HP-T)	
208-15		SB430P1	深鉢	胴	LR-T	F(P)	
208-16		SB430P1	深鉢	胴	E-T・LR-NO	F	
208-17		SB430P1	深鉢	胴	E・F-T→LR-T	E-T→F	
208-18		SB430P1	深鉢	胴	RL-NJ	F・E-Y	
208-19		SB430P1	深鉢	胴	RL-NO	B-Y→F?	
208-20		SB430P1	深鉢	胴	E-Y→RL-YT	E-TY	赤色粒含む
208-21		SB430P1	深鉢	胴	RL-Y	G・E-Y	
208-22		SB430P1	深鉢	胴	LR・RL(非結束)-Y	摩滅	
208-23		SB430P1	深鉢	胴	13条1単位?条痕-N	F	

第92表　南調査区遺構出土土器類観察表(4)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
208-24		SB430P1	深鉢	口	A	E-Y	口唇部丸み
208-25		SB430P1	深鉢	口	A-Y→HP-TY	FP-N	口唇部丸み
208-26		SB430P1	深鉢	口	E-Y　器表凹凸あり	G-Y	口唇部平坦
208-27		SB430P1	深鉢	口	E-Y　器表凹凸あり	摩滅	口唇部瘤状の小突起付く
208-28		SB430P1	深鉢	口	F?　炭化物付着著しい	E·G-Y	口唇部やや丸み
208-29		SB430P1	深鉢	口	E-T	E-Y	口唇部丸み
208-30		SB430P1	深鉢	口	A-Y→H(P)-Y　器表凹凸あり	E-Y	口唇部丸み
208-31		SB430P1	深鉢	口	HP-Y	F	口唇部丸み
208-32		SB430P1	深鉢	口	B-Y→(HP-T)	G·E-Y	口唇部丸み
208-33		SB430P1	深鉢	口	B-T→H-Y	A→B·E-Y	口唇部丸み～平坦
208-34		SB430P1	深鉢	口	A-Y→(FP-Y)　器表凹凸あり	A-Y	赤色粒含む　口唇部丸み
208-35		SB430P1	深鉢	口	F	E-Y	口唇部丸み
208-36		SB430P1	深鉢	口	F→H-Y	A　器表凹凸あり	口唇部平坦～やや丸み
208-37		SB430P1	深鉢	口	A→E(P)-Y　器表凹凸あり	E-Y	口唇部丸み
208-38		SB430P1	深鉢	口	A→F	E-Y	口縁端部外側粘土はみ出し　口唇部やや丸み
208-39		SB430P1	深鉢	胴	B·E-T→F	G·E-Y	
208-40		SB430P1	深鉢	胴	G·E-TN	E-Y→G-Y	赤色粒含む
208-41		SB430P1	深鉢	胴	G·H-T	H(P)-S	
208-42		SB430P1	深鉢	底	H-Y	摩滅	底部幅広の輪高台状
208-43		SB430P1	壺	胴	LR-YS→IP(一部沈線状)	FP	
209-1		SB430P2	深鉢	胴上?	口:RL-NO→入組帯状文?→F　胴:刻み目帯状文→F→貼瘤→貼瘤上刺突	F	赤色粒含む
209-2		SB430P2	深鉢	胴	口:刻み目帯状文 胴上:LR-Y→帯状文	F	
209-3		SB430P2	深鉢?	胴上?	F→沈線文	F(P)	
209-4		SB430P2	深鉢	口	B-Y→F	摩滅	口唇部丸み
209-5		SB430P2	深鉢	胴	LR-NO	F	
209-6		SB430P2	深鉢	胴	B-TN	E-Y	
209-7		SB430P2	注口土器	胴上	平行沈線間横位短沈線充填	摩滅	
209-8		SB430P2	注口土器	底	摩滅	F	底部ボタン状突起
209-9		SB430P3	深鉢	口	RL-T	F	口唇部丸み　口縁端部外側に粘土はみ出し
209-10		SB430P3	深鉢	胴	RL-Y	F　ケバ状亀裂あり	赤色粒含む
209-11		SB430P4	深鉢	胴上?	F→刻み目帯状文	F(P)	
209-12		SB430P4	深鉢	胴上?	隆線貼り付け→隆線上押圧状刺突→刻み目(帯状文)	E·F-Y	
209-13		SB430P4	深鉢	口	条痕-T→隆線貼り付け→隆線上刺突	FP	口唇部丸み
209-14		SB430P4	深鉢	胴	隆線貼り付け→隆線上刺突	F	
209-15		SB430P4	深鉢	口	刺突帯状文	F	口縁端部外側刻み目
209-16		SB430P4	深鉢	胴上	入組帯状文	F	赤色粒含む
209-17		SB430P4	深鉢	口	LR-Y→沈線文→(E-Y)	E·F-Y	口唇部突起2　口縁端部肥厚
209-18		SB430P4	深鉢	口	LR-Y	摩滅	口唇部平坦　口縁端部かすかに肥厚
209-19		SB430P4	深鉢	口	LR-Y	摩滅	口唇部やや丸み　口縁端部肥厚
209-20		SB430P4	深鉢	口	LR-Y	F	赤色粒含む　口唇部平坦～やや丸み
209-21		SB430P4	深鉢	胴	E·F→LR-Y→(E-Y)	G-N→E(P)-Y	赤色粒含む
209-22		SB430P4	深鉢	胴	LR-S	摩滅	
209-23		SB430P4	深鉢	胴	G-N→LR-S	G-Y	
209-24		SB430P4	深鉢	胴	LR-Y	E·F-Y	
209-25		SB430P4	深鉢	胴	LR-T	G-YN→F(P)	
209-26		SB430P4	深鉢	胴	B·E-N→(LR+R-Z-Y)	G·F-Y	
209-27		SB430P4	深鉢	胴	B-T→RL-T?	EP-T	
209-28		SB430P4	深鉢	胴	RL-NJ	F(アタリ痕)-Y	赤色粒含む
209-29		SB430P4	深鉢	胴	RL-NO	F(アタリ痕)-Y	赤色粒含む
209-30		SB430P4	深鉢	胴	E-Y→LR+R-Z-Y	A·F-Y	
209-31		SB430P4	深鉢	胴	単軸絡条体第1種R-T	F	

第93表　南調査区遺構出土土器類観察表(5)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
209-32		SB430P4	深鉢	胴	単軸絡条体第1種R-T	FP	
209-33		SB430P4	深鉢	口	F	F·E-Y	
209-34		SB430P4	深鉢	口	A-Y→E(P)-Y　器面凹凸あり	A-Y→E(P)-Y	口唇部平坦
209-35		SB430P4	深鉢	口	HP-Y	F	口唇部かすかに丸み
209-36		SB430P4	深鉢	口	A→E(P)-Y　器面凹凸あり	A→E(P)-Y　器面凹凸あり	口唇部平坦
209-37		SB430P4	深鉢	口	A·H-Y	E·H-Y	口唇部丸み
209-38		SB430P4	深鉢	胴	G-Y	F	
209-39		SB430P4	深鉢	底	胴下:摩滅　底:E·F	E·F	底部立ち上がり直立～外反底部円盤上面に立ち上がり粘土帯積み上げ
209-40		SB430P4	壺	口	FP	FP	口唇部平坦　口縁端部外側に張り出し
209-41		SB430P5	深鉢	口	LR-Y→帯状文→IP-Y	B-TY→F-Y	口唇部中央に刻みのある突起の剥落痕
209-42		SB430P5	深鉢	口	A→LR-Y→帯状文→F(P)	F	口唇部頂部に刻みある山形突起付く
209-43		SB430P5	深鉢	口	刻み目帯状文	F(P)	口唇部小山形突起
209-44		SB430P5	深鉢	口～胴	口胴境界:隆帯貼り付け→隆帯上刺突　胴上:細隆線鋸歯状に2条貼り付け	摩滅	Ⅱa群
209-45		SB430P5	深鉢	口	連続刺突文	摩滅	
209-46		SB430P5	深鉢	口	口:LR-Y　胴:LR-T	A→FP(器表凹凸あり)	口唇部丸み
209-47		SB430P5	深鉢	口	LR-NO	F	口唇部平坦
209-48		SB430P5	深鉢	口	LR-Y?	FP	口唇部ほぼ平坦　口縁端部部分的に肥厚
209-49		SB430P5	深鉢	口?	(B-Y)→LR-T	F(P)-Y(ケバ状亀裂あり)	口唇部平坦?
210-1		SB430P5	深鉢	胴	F→LR-TN	F(ケバ状亀裂あり)	赤色粒含む
210-2		SB430P5	深鉢	胴	LR-T	F(P)	
210-3		SB430P5	深鉢	胴	R{L/R}-Y	F	
210-4		SB430P5	深鉢	口	RLR-Y	F	口唇部かすかに丸み　口縁端部両側に粘土はみ出し
210-5		SB430P5	深鉢	口	RL-Y?	F	口唇部平坦　口縁端部一部肥厚
210-6		SB430P5	深鉢	口	A→F(P)　器表凹凸あり	F(P)	口唇部平坦
210-7		SB430P5	深鉢	口	A	H(P)-Y　器表凹凸あり	口唇部平坦～やや丸み
210-8		SB430P5	深鉢	口	E-Y	F	口唇部かすかに丸み
210-9		SB430P5	深鉢	胴	HP-T	H(P)-TN	
210-10		SB430P5	深鉢	底	摩滅	F	
210-11		SB430P5	深鉢	底	摩滅	摩滅	底部輪高台状?
210-12		SB430P5	深鉢	底	摩滅	摩滅	
210-13		SB430P5	鉢	口	口上:FP　口下:玉抱三叉文→RL-S	FP	波状口縁　口唇部平坦　内面炭化物付着
210-14		SB430P5	注口土器	口	摩滅	F?	口唇部山形突起　口唇部かすかに丸み　口縁端部外側に粘土はみ出し
210-15		SB430P5	注口土器?	口	FP	FP	口唇部丸み　口縁端部かすかに肥厚
210-16		SB430P5	注口土器?	胴	帯状文?→横長貼瘤→縄文	摩滅	
210-17		SB430P5	円盤状土製品		LR	F	周縁研磨?
210-18		SB430P6	深鉢	口	RL-Y→刻み目帯状文→IP-Y	F·E-N	
210-19		SB430P6	深鉢	口	刻み目帯状文	A	口唇部突起剥落痕
210-20		SB430P6	深鉢	口	刻み目帯状文	FP	
210-21		SB430P6	深鉢	口	刻み目入組帯状文	F	
210-22		SB430P6	深鉢	口	LR-Y→入組帯状文?	A→F	口唇部平坦
210-23		SB430P6	深鉢	胴	F→入組帯状文	摩滅	
210-24		SB430P6	深鉢	胴	LR-Y·入組帯状文	G·B-NY	
210-25		SB430P6	深鉢	口	LR-Y→帯状文	FP	口唇部頂部に刻みある山形突起付く　口唇部平坦
210-26		SB430P6	深鉢	胴	縄文→帯状文→F(P)	FP	赤色粒含む
210-27		SB430P6	深鉢	胴	LR-Y→帯状文→IP	F	

第94表　南調査区遺構出土土器類観察表(6)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	部　位	外　面　特　徴	内　面　特　徴	その他の特徴・備考
210-28		SB430P6	深鉢	胴	LR-Y→貼瘤→帯状文→(IP)	F	
210-29		SB430P6	深鉢	口	刺突列点文	摩滅	口縁部丸み　口縁端部外側刻み目
210-30		SB430P6	深鉢	口	L-T　器表凹凸あり(指オサエ)	G-Y	口唇部平坦
210-31		SB430P6	深鉢	胴	L-T	E-Y・F	
210-32		SB430P6	深鉢	口	A-Y→B-Y→F(P)-Y　器表凹凸あり	F→G-N	口唇部かすかに丸み
210-33		SB430P6	深鉢	口	F-Y	F　器表凹凸あり	口唇部ほぼ平坦
210-34		SB430P6	深鉢	口	口:A-Y　胴:A-Y→L-Y	A	口唇部丸み
210-35		SB430P6	深鉢	口	B-N→F	B-Y→FP　器表凹凸あり	口唇部平坦
210-36		SB430P6	深鉢	底	F(P)	A	
210-37		SB430P6	鉢?	口	縄文・玉抱三叉文→FP	FP	口唇部ほぼ平坦　口唇部から口縁端部内面黒色物質付着
210-38		SB430P6	土製耳飾		F(P)	F(P)	
211-1		SK03	深鉢	口	口:HP 胴上:沈線内LR-Y	摩滅	小波状口縁　口唇平坦 白色針状物質含む
211-2		SK03	深鉢	口	口:HP　胴上:G→RL-Y	D→HP	口唇部平坦
211-3		SK03	深鉢	胴	LR-Y	A→G	白色針状物質含む
211-4		SK03	深鉢	胴	LR-NJ	A→G	外面に煤状炭化物付着
211-5		SK03	壺	胴	胴上:羊歯状文にB突起 胴中:C字文→LR-Y→FP	胴:A→H	白色針状物質含む
211-6		SK09	深鉢	胴	F→LR-Y	B→E	径1mmほどの石英粒含む
211-7		SK09	深鉢	胴	F→LR-NO	摩滅	径1mmほどの砂粒含む
211-8		SK09	深鉢	胴	F→LR-Y	A→G	外面に煤状炭化物付着 径1～2mmの砂粒含む
211-9		SK10	深鉢	胴	A→LR-Y	F	白色針状物質含む　砂粒が突出する
211-10		SK10	深鉢	胴	A→LR-Y	A→H	白色針状物質含む
211-11		SK10	深鉢	胴	A→LR-Y	摩滅	白色針状物質含む
211-12		SK10	深鉢	胴	A→LR-Y	A→F	外面に煤状炭化物付着 白色針状物質含む
211-13		SK10	深鉢	胴	A→E→LR+R-Z-Y	A→H	白色針状物質含む
211-14		SK11	深鉢	胴	E→刻み目帯→沈線	H	径2～3mmの砂粒含む
211-15		SK11	深鉢	胴	LR-Y→沈線→H	F	内面に煤状炭化物
211-16		SK11	深鉢	胴	LR-Y→沈線	F	外面に煤状炭化物付着 白色針状物質含む
211-17		SK11	深鉢	口	口:B　胴上:G→LR-Y 胴中:平行沈線間G-B	G→F	小波状口縁
211-18		SK11	深鉢	胴	B→LR-Y→沈線	摩滅	外面煤状炭化物付着
211-19		SK11	深鉢	口	口:EP　胴上:B→LR-Y	A→HP	口唇部平坦　外面煤状炭化物付着
211-20		SK11	深鉢	口	口:EP 胴上:A→LR+R-Z	A→G	口唇部平坦
211-21		SK11	深鉢	胴	胴上:EP　胴下:RL-Y	IP	白色針状物質含む
211-22		SK11	深鉢	胴	B→LR-Y	A→GP	外面煤状炭化物付着
211-23		SK11	深鉢	胴	B→LR-Y	A→GP	外面煤状炭化物付着
211-24		SK11	深鉢	胴	B→LR-Y	A→IP	外面煤状炭化物付着
211-25		SK11	深鉢	胴	B→LR-Y	A→G	外面煤状炭化物付着
211-26		SK11	深鉢	胴	B→LR-T	A	
211-27		SK11	深鉢	胴	B→LR-Y	A→GP	
211-28		SK11	台付深鉢?	台	HP→沈線	A　同心円状の輪積痕跡あり	白色針状物質含む
211-29		SK11	鉢	口	口:B突起付く　胴上:平行沈線　胴:LR→Y	A	外面煤状炭化物付着　白色針状物質含む
211-30		SK11	鉢	胴	胴上:沈線　胴下:LR-Y	IP	外面煤状炭化物付着　白色針状物質含む
211-31		SK11	鉢	胴	F→沈線→LR-Y	IP	白色針状物質含む
211-32		SK11	鉢	胴～底	胴中:E→LR-Y　胴下:沈線→IP　底:IP	胴～底:IP	底部上げ底　白色針状物質含む
211-33		SK11	注口土器	口～胴	口:IP　頸:入組文→IP 胴上:平行沈線→IP	摩滅	口唇部小波状　胎土肌理細かい
211-34		SK11	注口土器	胴	截痕列と入組文	A	口唇部小波状　胎土肌理細かい
211-35		SK11	壺	口	口:IP　胴上:沈線→IP 胴:沈線と截痕列→IP	胴上:沈線→IP	口唇部小波状　白色針状物質含む
212-1		SK13	深鉢	口	口:A　胴上:A→沈線→E	A	口唇部波状を呈し平坦　径1～3mmの砂粒が器面に突出
212-2		SK13	深鉢	胴下	胴下:LR-Y→G	A	

第95表　南調査区遺構出土土器類観察表(7)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
212-3		SK14	深鉢	胴～底	胴下:A　底:摩滅	胴下:G　底:G	底部外端わずかに突出　1～3mmの砂粒が器面に突出
212-4		SK15	深鉢	口	口:B　胴上:A→LR-Y	胴上:E	口唇部平坦　白色針状物質含む
212-5		SK15	深鉢	胴	A→LR-Y+R-Z	F	
212-6		SK15	深鉢	胴	B→LR-Y	F	胎土肌理細か
212-7		SK16A	深鉢	胴	LR-Y→沈線	IP	1～2mmの砂粒を含む
212-8		SK16A	深鉢	口	口:BP　胴上:E→RL-Y	胴上:G	口唇部丸み　2mmほどの白色砂粒含む
212-9		SK16A	壺	口	口:I　胴上:A→E 胴下:A→LR-Y	胴上:F　胴下:A	口唇部丸み　1～2mmの砂粒が内外面で突出
212-10		SK16A	壺	頸～胴	頸:HP→沈線 胴上:A→HP	頸:E　胴上:A→E	白色針状物質含む
212-11		SK16B	深鉢	胴	LR-Y→沈線	FP	細砂粒含む
212-12		SK16B	深鉢	胴	F→LR-NO	A	1～3mmの砂粒が特に内面では突出する
212-13		SK25	深鉢	胴	B→LR-NJ	G	内外面に煤状炭化物付着
212-14		SK25	深鉢	胴	A→LR-Y	A→H	径1mmの砂粒が器面に突出
212-15		SK25	浅鉢	口	口:H→刻み　胴上:入組三叉文→IP	胴上:摩滅	口唇部小波状
212-16		SK25	浅鉢	口	口:I　胴上:I→入組文	胴上:摩滅	緩い波状口縁　白色針状物質含む
212-17	㊽-18	SK28	深鉢	口	口:IP→刻みのある山形状突起　胴上:LR-Y→平行沈線と入組帯状文	胴上:E	内面に煤状炭化物付着
212-18		SK28	深鉢	口	口:BP　胴上:G→LR-Y	胴上:E	外面に煤状炭化物付着
212-19		SK28	深鉢	胴	B→LR-NJ	A	胎土中に石英粒多い
212-20		SK28	深鉢	胴	A→LR-NJ	A	2～3mmの砂粒が内外面突出する
212-21	㊽-19	SK52	深鉢	口	口:IP 胴上:入組三叉文→IP	胴上:B?	内外面に煤状炭化物付着
212-22		SK52	深鉢	口	口:A　胴上:LR-Y→B	胴上:A	
212-23		SK52	深鉢	胴	A→LR+R-Z-T	E	径1～2mmの砂粒が内面に突出　外面に煤状炭化物付着
212-24		SK52	深鉢	胴	A→LR-T	H	外面に煤状炭化物付着 内面に縮みじわ
212-25	㊽-21	SK56	深鉢	口	口:F→2個1対の瘤状突起 胴上:LR-Y→入組帯状文→IP	胴上:A	内面に煤状炭化物付着 白色針状物質含む
212-26	㊽-20	SK56	深鉢	口	口:F→鰭尾状突起 胴上:A→LR-Y→平行沈線→IP	胴上:A	内面に1～3mmの砂粒突出
212-27		SK56	深鉢	胴	RL-Y→沈線→I	C→B	
212-28	㊽-22	SK56	深鉢	口	口:F　胴上:F→LR-Y	胴上:A→E	口唇部平坦
212-29	㊽-23	SK56	深鉢	口	口:F　胴上:A→LR-Y	胴上:GP	口唇部平坦
212-30		SK56	深鉢	口	口:F　胴上:F→LR-Y	胴上:A	口唇部平坦
212-31		SK56	深鉢	口	口:IP　胴上:A→LR-NO	胴上:E	白色針状物質含む
212-32		SK56	深鉢	口	口:F　胴上:A→LR-NO	摩滅	
212-33	㊽-24	SK56	深鉢	胴	A→LR-Y	A→E	白色砂粒含む
212-34		SK56	深鉢	胴	A→LR-NO	BP	白色砂粒含む
212-35	㊽-25	SK56	鉢	口	口:IP　胴上:截痕列→IP	胴上:FP	口縁部小波状　内面に煤状炭化物付着
212-36		SK56	浅鉢	口	口:F　胴上:LR-Y→入組三叉文→IP	胴上:FP	口縁部波状
212-37		SK56	台付浅鉢	台	摩滅	FP	外面一部剥落　胎土肌理細か
213-1	㊽-28	SK60	深鉢	口	口:F　胴上:截痕列→F	胴上:F	口縁部小波状　径1mmの砂粒が外面に突出
213-2		SK60	深鉢	口	口:E　胴上:入組帯状文・LR-Y・沈線内無文(IP)	胴上:EP　部分的に縮みしわ	口唇部平坦　口縁波状
213-3		SK60	深鉢	胴	胴上:LR-Y→山形三叉文沈線内GP	胴上:F	
213-4	㊽-26	SK60	深鉢	胴	胴上:沈線→IP 胴下:LR-Y→E	胴:E	白色針状物質含む
213-5	㊽-27	SK60	深鉢	口	口:BP　胴:LR-Y	胴:A	口唇部平坦　白色針状物質含む

第96表　南調査区遺構出土土器類観察表(8)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
213-6		SK60	深鉢	胴	LR-Y	FP	外面に煤状炭化物付着
213-7	㊶-29	SK60	鉢	口	口:BP 胴上:入組三叉文下に2条の沈線→IP 胴中:LR-Y	胴上～胴中:A→IP	
213-8		SK60	鉢	口	口:B→刻み目列 胴上:平行沈線間に羊歯状文? 胴中:LR-Y	胴:FP	白色針状物質含む
213-9		SK60	注口土器	胴	胴中:沈線＋截痕列→IP 胴下:弧状文→IP	胴:A	白色針状物質含む
213-10		SK60	有孔土製品	頭部	凹凸有り		
213-11	㊶-30	SK61	深鉢	口	口:H 胴上:LR-Y	胴:縮みしわ	内外面に煤状炭化物付着 口唇部平坦 白色針状物質含む
213-12		SK61	深鉢	口～胴中	口:H 胴上:LR-Y 胴中:LR-NO	胴上:I	口唇部平坦
213-13		SK61	深鉢	口	口:H 胴上:LR-NO	胴上:E	口唇部丸み 砂粒含む
213-14	㊶-31	SK61	深鉢	口	口:H 胴上:C→H 胴中:LR-NO?	胴上:G	口唇部平坦
213-15		SK61	深鉢	胴	A→LR-Y	A→G	1～2mmの砂粒・白色針状物質含む
213-16		SK61	深鉢	胴	A→LR-T	F	1～2mmの砂粒内面に突出白色針状物質含む
213-17		SK61	深鉢	胴	LR-NJ	C	
213-18		SK61	深鉢	胴	胴下:A→LR-NO	胴下:G→F	外面に煤状炭化物付着 白色針状物質含む
213-19		SK61	深鉢	胴下～底	胴下:A→LR-Y 底:G	胴下:H	白色針状物質含む
213-20		SK61	壺	口～胴	口:H? 頸:LR-Y?→入組帯状文 胴:C字状文?	口:H 頸:A→H 胴:A→E	外面と口縁内面に赤色塗彩 白色針状物質含む
213-21	㊾-4	SK61	壺	口～底	口:B 頸:HP 胴上:LR-Y 胴下:G 底:G	頸:E 胴:G	胴下半の外面剥落
213-22	㊶-32	SK61	壺	胴～底	胴上:頸部との区画沈線 胴下:H 底:摩滅	胴上:C	白色針状物質含む
213-23		SK62	深鉢	口	口:E 胴上:B→入組刺突帯状文	胴上:I	小波状口縁 口唇部丸み
213-24		SK62	深鉢?	口	口:摩滅 胴上:E→刺突列	胴上:A→H	口唇部突出 外面に1～2mmの砂粒突出
213-25		SK62	深鉢	胴	E→刺突帯状文	I	白色針状物質含む
213-26		SK62	深鉢	胴	入組刺突帯状文	H	内面に煤状炭化物付着
213-27		SK62	深鉢	胴	LR-Y→入組文	A→H	
213-28		SK62	深鉢	口	口～胴:A→LR-Y	口～胴:A→F	外面胴上部に煤状炭化物 白色針状物質含む。
213-29		SK62	深鉢	口	口:H 胴:A→I	胴:I	口唇部平坦 径1～2mmの砂粒含む
213-30		SK62	深鉢	胴	LR-Y	A→E	白色針状物質含む。
213-31		SK62	深鉢	胴	A→LR-Y	A→H	
213-32		SK62	深鉢	胴	H	G	
214-1		SK62	深鉢	胴	E→LR-Y	A→E	径1～2mmの砂粒含む
214-2		SK62	深鉢	胴～底	胴下:E→LR-Y 底:G	胴:A→C 底:G	白色針状物質含む
214-3		SK62	注口土器	胴	H→沈線→LR-Y＋RL-Y	A	注口部にアスファルト付着
214-4		SK67	深鉢	口～胴	口:押し引き刺突状の刻み目文 胴:B-N→LR-S	F(P)-Y	白色針状物質含む 口唇部押し引き状刻み目 口唇部B突起
214-5		SK67	深鉢	口	羊歯状文→IP	FP	口唇部刻み目 内面黒色物質付着
214-6		SK67	深鉢?	突起?	突起中央に三角形状沈線→IP	IP	白色針状物質含む 基部にC字状沈線をめぐらしたB突起3個からなる小山形突起 土製品?
214-7		SK67	深鉢	口	F	F?	口唇部丸み 内外面炭化物付着
214-8		SK67	深鉢	胴	F→LR-Y	E・F-Y	
214-9		SK67	深鉢	底	摩滅	F(P)	
214-10		SK67	注口土器	口～胴上	口:刻み目文・羊歯状文?・刻み目文→IP 口胴境界:C字文? 胴:IP-Y	口:FP 胴:A	白色針状物質含む 口唇部丸み
214-11		SK67	注口土器	口～胴上	刻み目文・C字文→IP	F	
214-12		SK76	深鉢	口	LR-Y→「八」字状沈線・帯状文→FP	F	頂部を刻んだ山形突起口唇部に付く

第97表 南調査区遺構出土土器類観察表(9)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
214-13		SK76	深鉢	胴	LR-Y?→帯状文	F	
214-14		SK76	深鉢	胴	貼瘤・LR-Y→帯状文?	摩滅	
214-15		SK76	深鉢	口	LR-Y	B・F-Y	口唇部ほぼ平坦　口縁端部内側に肥厚
214-16		SK76	深鉢	口	LR-T	B-Y→HP-Y	口唇部ほぼ平坦
214-17		SK76	深鉢	口	LR-NJ	F	口唇部丸み
214-18		SK76	深鉢	口～胴	LR＋R-Z-T	摩滅	口唇部ほぼ平坦
214-19		SK76	深鉢	口	摩滅	F	口唇部丸み
214-20		SK76	深鉢	胴	LR-T	F	
214-21		SK76	深鉢	胴	L-T	F	
214-22		SK76	深鉢	胴	単軸絡条体第1類R-T	F	
214-23		SK76	深鉢	胴	H(P)-N	B-Y・F	
214-24		SK102	深鉢	底	F	F	
214-25	㊷-1	SK103	深鉢	口～胴	口:B　胴上:LR-Y→入組帯状文　胴下:LR-Y	胴:F	小波状口縁　口唇部丸み
214-26	㊷-2・3	SK103	深鉢	口～胴	口:H　胴:LR-Y→入組帯状文	胴:F	小波状口縁　口唇部丸み　白色砂粒含む
214-27	㊷-4	SK103	深鉢	口～胴	口:H　胴:LR-Y→入組帯状文	胴上:H　胴:F	小波状口縁　口唇部平坦
214-28		SK103	深鉢	口～胴	口:摩滅　胴:刻み目帯→RL-Y→入組帯状文	胴:A→H	口縁に小突起
214-29		SK103	深鉢?	口	口:F?　胴:G→LR-Y＋LR-T	胴:摩滅	小波状口縁
214-30		SK103	深鉢	胴	LR-Y・LR-T	C→FP	外面に煤状炭化物付着
214-31		SK103	深鉢	胴	LR-Y・LR-T	C→FP	内面に煤状炭化物付着
214-32		SK103	深鉢	胴～底	胴:LR-Y　胴下:C　底:F	胴:A　底:G	内面に煤状炭化物付着　内外面に径1～3mmの砂粒突出
215-1		SK108	深鉢	胴	LR-S	F	
215-2		SK108	深鉢	胴	LR-S	F-Y(アタリ痕あり)	
215-3		SK108	深鉢	胴	B・F-Y	B・F-Y	
215-4		SK108	鉢?	台	台:H(P)-Y　底:A	F	
215-5		SK109	深鉢	口	刻み目帯状文	F	
215-6		SK109	深鉢	口	R-Y→帯状文	F	口唇部平坦　口縁端部かすかに肥厚
215-7		SK109	深鉢	口	H-Y→A(端部粘土なでつけ)→LR-Y	F	口唇部平坦　口縁端部外側粘土はみ出し
215-8		SK109	深鉢	口	RL-T	E-Y	口唇部平坦
215-9		SK109	深鉢	胴	LR-T?	F	
215-10		SK109	深鉢	胴	LR＋R-Z-Y?	F	
215-11	㊷-7	SK109	深鉢	胴	RLR-S	E-Y	
215-12		SK109	ミニチュア土器	胴～底	A・F	A	壺か
215-13		SK110	深鉢	口	LR?-S	EP-Y	口唇部丸み　口縁端部内側肥厚
215-14		SK110	深鉢	口	R-Z-Y・RL-S	A-Y	口唇部平坦
215-15		SK110	深鉢	口	A	F	口唇部かすかに丸み
215-16		SK110	深鉢	胴	LR-Y	F(P)	
215-17	㊷-5	SK110	深鉢	胴	F→LR-Y	F(P)	
215-18	㊷-6	SK110	浅鉢	口～胴	B-YN→FP	(B-Y)→F(P)	口唇部丸み
215-19		SK110	深鉢	胴	LR-T?	A	Ⅲa群か
215-20		SK110	浅鉢?	口	B-Y→FP	F	口唇部丸み
215-21		SK110	深鉢	底	胴下:A→F(P)　底:摩滅	摩滅	
215-22		SK110	深鉢?	台	A→IP-Y	A・B-Y	低い台部
215-23	㊽-5	SK110	香炉形土器	口～底	口:透かし・C字文?　胴上:突起・羊歯状文→IP　胴中:LR-Y　胴下:水平沈線→IP-Y	口～胴上:A　胴下～底:F(P)	白色針状物質含む　天頂部に先端が二股に分かれた山形突起　突起基部に小孔　口唇部B突起　台部欠損
215-24	㊷-8	SK136	深鉢	口	口:I　胴:RL-Y→入組帯状文	胴:A→HP	口縁に刻みのある山形突起　口唇部平坦
215-25	㊷-9	SK136	深鉢	口	口:IP　胴:E→入組刻み目帯状文	胴:A→E	
215-26		SK136	深鉢	口	口:IP　胴:E→刺突帯	胴:H	口縁に瘤状の小突起　口唇部平坦
215-27		SK136	深鉢	口	口:G　胴:E→刺突帯	胴:C	平坦口縁
215-28		SK136	深鉢	口	口:摩滅　胴:刺突帯	胴:F	内面に砂粒突出
215-29		SK136	深鉢	口	口:F?　胴:LR-Y→刺突帯	胴:HP	口唇部丸み

第98表　南調査区遺構出土土器類観察表(10)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
215-30		SK136	深鉢	胴	円形刺突帯LR-Y→入組帯状文	F	白色砂粒含む
215-31		SK136	深鉢?	胴	C→沈線→沈線内列点文	A	径1～2mmの砂粒含む
215-32		SK136	深鉢	胴	胴:沈線I→L	胴:E	
215-33	㊽-10	SK136	深鉢	口	口:I　胴上:LR-T+LR-Y	胴:A	口縁に刻みのある山形状突起
215-34		SK136	深鉢	口	口:I?　胴上:LR-T	胴:EP	径1～3mmの砂粒含む
215-35		SK136	深鉢	口	口:IP　胴:F	胴:E	口縁に刻みのある山形状突起　外面に赤色粒突出
215-36	㊽-11	SK136	深鉢	口	口:HP　胴:HP	胴上:G→HP　胴:G	口唇部平坦
215-37		SK136	深鉢	口	口:IP　胴:G→HP	胴:E	口唇部平坦　内面に径1～2mmの砂粒突出
215-38	㊽-13	SK136	深鉢	胴	E→LR-T	A→C	
215-39	㊽-12	SK136	深鉢	胴	A→LR-NO	A→I	白色砂粒含む
215-40		SK136	深鉢	胴	B→LR-NO	E	
215-41		SK136	鉢?	胴	LR-Y→沈線	摩滅	
215-42		SK136	土製耳飾		IP	IP	
216-1	㊾-1	SK138	深鉢	口～底	口:刻み→B突起　胴上:羊歯状文LR-Y→入組帯状文　胴:LR-Y　底:F?	口～胴:HP　底:F	内面に煤状炭化物付着
216-2		SK142	深鉢	口	口:IP?　胴:刻み目帯	胴:A→HP	径1～2mmの白色砂粒含む
216-3		SK142	深鉢	胴	LR-NO→入組帯状文→I	H	径1～2mmの砂粒含む
216-4		SK142	深鉢	胴	平行沈線→HP	G	内面に砂粒突出
216-5		SK142	深鉢	胴	LR-Y	G	内面に2mmの砂粒突出
216-6		SK143	深鉢	口	LR-YNO	F	口唇部平坦
216-7		SK143	深鉢	口	A→RL-Y	A-Y	口唇部丸み
216-8		SK143	深鉢	胴	LR-NO	摩滅	
216-9		SK143	深鉢	胴	LR-T	FP	
216-10		SK143	鉢	胴	LR-Y	摩滅	
216-11		SK143	鉢?	胴	C字文?→LR-S→FP	IP-Y	
216-12	㊽-14	SK150A	深鉢	口	帯状文?	F	小瘤状突起口唇部に付く　上面に刻み　表面に「八」字状沈線施文
216-13		SK150A	深鉢	口	LR-Y→帯状文?→F(P)	F	口唇部丸み　低波状口縁
216-14	㊽-15	SK150A	深鉢	胴	RL-S・隆線貼付による区画文?→H(P)	F	
216-15		SK150A	深鉢	胴	胴中:RL-Y　胴下:沈線1条→FP	F(P)	
216-16		SK150A	深鉢	口～胴	口:A-Y　胴:LR-Y	口～胴:F(P)	白色針状物質含む　口唇部丸み　2個1対の刻み目
216-17		SK150A	深鉢	口	口上:B-Y→F(P) 口下:LR-S	B(P)・F(P)-NY	口唇部平坦　小山形突起2個口唇部に付く
216-18	㊾-2	SK150A	深鉢	口～胴	LR-Y	F	口唇部ほぼ平坦
216-19		SK150A	深鉢	口	LR-Y	F(P)	口唇部平坦
216-20		SK150A	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部丸み
216-21		SK150A	深鉢	口	LR-Y	A・B-Y	口唇部丸み
216-22		SK150A	深鉢	口	LR-T	E-Y	口唇部丸み
216-23	㊽-16	SK150A	深鉢	口	LR-YT	F	口唇部丸み
216-24		SK150A	深鉢	口	R-Y	F	口唇部丸み
216-25		SK150A	深鉢	口?	条痕-N	F	
217-1		SK150A	深鉢	胴	LR-Y	E(P)-Y	
217-2		SK150A	深鉢	胴	LR-Y	F	
217-3		SK150A	深鉢	胴	LR-Y	F	
217-4		SK150A	深鉢	胴	LR-Y	F	
217-5		SK150A	深鉢	胴	LR-T	F	
217-6		SK150A	深鉢	胴	LR(+R-Z?)-Y	F	口縁部外反か
217-7		SK150A	深鉢	胴	F→LR-T	F	
217-8		SK150A	深鉢	胴	LR-S	(G-N)→FP	
217-9		SK150A	深鉢	胴	LR-S	A	白色針状物質含む
217-10		SK150A	深鉢	胴	LR-S	F	
217-11		SK150A	深鉢	胴下	LR-S・G-N→F-Y	F	
217-12		SK150A	深鉢	胴	LR-S	F(P)	
217-13		SK150A	深鉢	胴	LR-S	(A-N)→F	
217-14		SK150A	深鉢	胴	LR-S	F	
217-15		SK150A	深鉢	胴下	LR-S	B-Y→F	
217-16		SK150A	深鉢	胴	G-N→LR-NO	F(P)	白色針状物質含む
217-17		SK150A	深鉢	胴	LR-NO	F	
217-18	㊽-17	SK150A	深鉢	胴	オオバコ?回転施文-Y・LR+R-Z-Y・LR-T	A→F(P)	

第99表　南調査区遺構出土土器類観察表(11)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
217-19		SK150A	深鉢	胴	RL-T	F	
217-20		SK150A	深鉢	胴	RL-NJ	G-Y	
217-21		SK150A	深鉢	胴	F→L-T	F	
217-22		SK150A	深鉢	胴	R-T	F	
217-23		SK150A	深鉢	胴	条痕-NT	F	
217-24		SK150A	深鉢	底	胴下:LR-Y　底:F	摩滅	
217-25		SK150A	深鉢	底	胴中:B-T→LR-S 胴下:A　底:F	胴:F　底:A	白色針状物質含む
217-26		SK150A	深鉢	底	胴下:F(P)→LR-S　底:F	胴下～底:F	白色針状物質含む
217-27		SK150A	深鉢	底	FP	F(P)	
217-28		SK150A	深鉢	底	A	E	
217-29	㉜-18	SK150A	鉢	口	HP-Y・入組三叉文?	E-Y	B突起口唇部に付く
217-30		SK150A	鉢?	胴上	HP-T・円形刺突	E・FP-Y	
217-31		SK150A	鉢	胴	LR-S	FP	内面黒色物質付着
217-32		SK150A	鉢	胴	RL-Y→FP-Y	F	内面炭化物付着
217-33		SK150A	鉢	底	胴下:LR-Y　底:A	F	底部かすかに上げ底
217-34		SK150A	注口土器?	胴上	平行沈線・C字文?	摩滅	
217-35		SK150A	注口土器?	胴上	入組三叉文?→IP	A	
217-36		SK150A	注口土器	底	FP	F	底部くぼみ
217-37		SK150A	壺?	頸～胴上	LR-S→頸胴境界沈線・IP-Y	FP	
217-38		SK151	深鉢	口	E(P)-Y→LR-NO	摩滅	小山形突起口唇部に付く
217-39		SK151	深鉢	胴	RL-T	FP	
217-40		SK151	深鉢	底	胴下:F　底:摩滅	F	
217-41	㉜-22	SK155	深鉢	口	LR-Y→帯状文	F(P)	中央に刻みある山形突起口唇部に付く
217-42		SK155	深鉢	胴	F→LR-Y→帯状文	摩滅	
217-43		SK155	深鉢	口	LR-Y	FP	口唇部平坦
217-44		SK155	深鉢	胴	F→LR-S	F	
218-1		SK165	深鉢	口～胴	口:LR-Y→入組帯状文? 胴:LR-Y	摩滅	頂部を刻んだ小山形突起2個口唇部に付く
218-2	㉜-19	SK165	深鉢	口	口:LR-Y・帯状文　口胴境界:短沈線・刺突列	FP	頂部が二股に分かれた小山形突起口唇部に付く　突起間は低波状　内面黒色物質付着
218-3		SK165	深鉢	口	LR-Y→入組帯状文(入組部に貼瘤剥落痕?)	摩滅	口唇部丸み
218-4		SK165	深鉢	口	LR-Y→帯状文?→I(P)	E-Y	刻みある小山形突起2個口唇部に付く
218-5		SK165	深鉢	口	帯状文?	F	口唇部丸み
218-6		SK165	深鉢	口	刻み目帯状文・帯状文・LR-S	摩滅	頂部に刻みある小山形突起口唇部に付く
218-7		SK165	深鉢	口	刻み目帯状文→F	E-Y	小山形突起口唇部に付く
218-8		SK165	深鉢	口	刻み目帯状文	F(P)	口唇部丸み
218-9		SK165	深鉢	口	山形三叉文・F→刻み目帯状文	A・E-Y	口唇部刻みある方形突起
218-10	㉜-20	SK165	深鉢	口	刻み目帯状文→H(P)	H(P)-Y	前面に刻み目隆線・上面に刻みある長方形突起口唇部に付く
218-11		SK165	深鉢	口	F(P)→刻み目帯状文	F	刻みある方形突起口唇部に付く
218-12		SK165	深鉢	口?	刻み目入組帯状文	摩滅	
218-13	㉜-21	SK165	深鉢	口	RL-Y→刻み目帯状文→H-Y	摩滅	中央に刻みある縦長瘤状突起口唇部に付く
218-14	㉜-23	SK165	深鉢	口	LR-Y→刻み目帯状文	F	口唇部平坦　口縁端部かすかに肥厚
218-15		SK165	深鉢	口	LR-Y→刻み目帯状文	摩滅	口唇部摩滅
218-16		SK165	深鉢	口	帯状文?	B-Y	口唇部頂部に刻みある小山形突起
218-17		SK165	深鉢	口	A→刺突列	F	
218-18		SK165	深鉢	胴	入組帯状文・RL-S	摩滅	
218-19	㉜-24	SK165	深鉢	口	山形三叉文→F→貼瘤→横位楕円文?・LR-S・刻み目帯状文	F	
218-20		SK165	深鉢	胴	F→刻み目帯状文	B・F(P)-Y	
218-21		SK165	深鉢	胴	F→刻み目帯状文	E-Y	
218-22	㉜-26	SK165	深鉢	胴	RL-Y・刻み目帯状文→H-Y	F	
218-23		SK165	深鉢	胴	RL-Y・刻み目帯状文	摩滅	
218-24		SK165	深鉢	胴	RL-Y・刻み目帯状文	E-Y	

第100表　南調査区遺構出土土器類観察表(12)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
218-25	㉜-25	SK165	深鉢	胴	縦長の貼瘤→H-S→LR-Y・刻み目帯状文	H(P)-Y	
218-26		SK165	深鉢	胴上	LR-Y→帯状文	A	
218-27		SK165	深鉢	胴	LR-Y→帯状文・FP	F	
218-28		SK165	深鉢	胴?	帯状文?	F(P)	
218-29		SK165	深鉢	胴	LR-Y・平行沈線	摩滅	
218-30	㉜-27	SK165	深鉢	口	B-Y→LR-Y	F	口唇部ほぼ平坦
218-31		SK165	深鉢	口	B-Y→LR-Y	F	口唇部平坦
218-32		SK165	深鉢	口	LR-Y	H(P)-Y	口唇部ほぼ平坦
218-33		SK165	深鉢	口	LR-Y	摩滅	口唇部丸み
218-34		SK165	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部ほぼ平坦
218-35		SK165	深鉢	口	(E-Y)→LR-Y	A-Y	口唇部丸み
218-36		SK165	深鉢	口	LR-YT	A	口唇部ほぼ平坦　口縁端部内側に粘土はみ出し
218-37		SK165	深鉢	口	LR-T	F	口唇部ほぼ平坦
218-38		SK165	深鉢	口	LR-NO	F(P)	口唇部かすかに丸み
219-1		SK165	深鉢	口～胴	口:(E-Y)→LR-Y 胴:B-TN→LR+R-Z-T	口:G-Y→F-Y　胴:G-Y	赤色粒含む　口唇部かすかに丸み
219-2		SK165	深鉢	口	LR-S	摩滅	口唇部丸み
219-3	㊾-3	SK165	深鉢	胴～底	胴中:G・E-NT　胴下:A・E-Y　底:A(凹凸あり)	胴:B-T　底:摩滅	底部輪高台状上げ底
219-4		SK165	深鉢	口～胴	口～胴:LR-S	摩滅	口唇部ほぼ平坦　口縁端部外側に粘土はみ出し
220-1		SK165	深鉢	胴	(B-Y)→LR-S	B-S	
220-2		SK165	深鉢	胴	LR-S	E-Y(器表凹凸あり)	
220-3		SK165	深鉢	口	RL-Y	F	口唇部ほぼ平坦
220-4		SK165	深鉢	口	B(P)-Y→RL-Y	G(P)-Y	口唇部かすかに丸み
220-5		SK165	深鉢	口	RL-Y	A	口唇部かすかに丸み
220-6		SK165	深鉢	口	RL-YS	F	口唇部ほぼ平坦
220-7		SK165	深鉢	胴	B-Y→RL-Y	E・F(P)-Y	
220-8		SK165	深鉢	胴	RL-NJ	摩滅	白色針状物質含む
220-9		SK165	深鉢	胴	RL-S	E・F-Y	
220-10		SK165	深鉢	口～胴	口:RL-Y　胴:RL-NJT	口:(A-Y)→F　胴:B-N→F	口唇部平坦　口縁部補修孔あり
220-11		SK165	深鉢	胴	RL-S	E-S	
220-12		SK165	深鉢	胴	RL-S	E-N	
220-13		SK165	深鉢	胴	B-Y→L-S	E(P)-Y	
220-14		SK165	深鉢	口	L-T→IP-Y	FP	口唇部平坦
220-15		SK165	深鉢	口	A→HP-Y	A	口唇部平坦
220-16		SK165	深鉢	口	F	B・F(P)-Y	口唇部かすかに丸み
220-17		SK165	深鉢	口～胴	口:H-Y　胴:H-YN	F	口唇部平坦
221-1		SK165	深鉢	口	H-Y	F	口唇部平坦
221-2		SK165	深鉢	口	G-Y→A	E-Y	口唇部丸み　口縁端部内側粘土はみ出し
221-3		SK165	深鉢	口	F(P)	H(P)-Y	口唇部丸み　口縁端部かすかに肥厚
221-4		SK165	深鉢	口	摩滅	E-Y	口唇部平坦
221-5		SK165	深鉢	胴	G-Y→E-Y	G-Y	
221-6		SK165	深鉢	底	摩滅	摩滅	
221-7		SK165	深鉢	底	摩滅	摩滅	
221-8		SK165	深鉢	底	胴下～底:F	底:F・B	赤色粒含む　底部輪高台状
221-9		SK165	深鉢	底	摩滅	F	底部上げ底
221-10		SK165	深鉢	底	胴下:A-Y　底:F・B	胴下～底:A→B(P)-Y	底部低輪高台状上げ底
221-11		SK165	深鉢	底	胴中:RL-Y　胴下:F 底:F	胴中～胴下:A→H(P)-Y 底:F(P)	
221-12		SK165	深鉢	底	胴下:A→(LR-S) 底:A→E(同心円状)	胴下:E-Y　底:E	底面中央部が突出する上げ底
221-13		SK165	鉢?	胴突起?	楕円形突起貼付→LR-S?・三叉文	摩滅	白色針状物質含む
221-14		SK165	鉢	胴	LR-Y→水平沈線→F	F	
221-15		SK165	壺	口	IP-T	口:IP-Y　胴上:A	口縁部外反　口唇部平坦
221-16		SK165	土偶	胴～足	F→沈線(背面・足)		白色針状物質含む　腰を直角に曲げる座姿状形態
221-17		SK173	深鉢	底	胴下:G　底:A	胴下～底:G	内外面に1～3mmの砂粒突出
221-18		SK186	深鉢	口～胴	口:帯状文・RL-Y→IP 胴上:RL-Y 胴中:RL+L-Z-S	F(P)	頂部に押圧状刻みある小波状口縁

第101表　南調査区遺構出土土器類観察表(13)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
221-19		SK186	深鉢	口	帯状文(単位文化)→I(P)	F	口唇部不整　瘤状の小突起
221-20		SK186	深鉢	口	刻み目文・突起中央から弧状沈線→I(P)	FP	白色針状物質含む　口縁端部B突起
221-21		SK186	深鉢	胴	RL-Y?→入組帯状文→IP	F	
221-22		SK186	深鉢	口	入組帯状文	F	口唇部不整　口唇部瘤状突起?
221-23		SK186	深鉢	口	LR-Y	F・E-Y	口唇部かすかに丸み
221-24		SK186	深鉢	口	LR＋R-Z-Y	EP-Y	口唇部ほぼ平坦
221-25		SK186	深鉢	胴	LR-N	F(P)	白色針状物質含む
221-26		SK186	深鉢	口	口:RL-Y　胴:RL-NJ	FP	白色針状物質含む　口唇部平坦　口縁端部かすかに肥厚
222-1	㊾-4	SK186	深鉢	口～胴	LR(＋R-Z)-S→A-N	G-Y	口唇部かすかに丸み
222-2		SK186	深鉢	口	A→(HP-Y)	F	白色針状物質含む　口唇部丸み　B突起
222-3		SK186	深鉢	底	摩滅	摩滅	かすかな上げ底
222-4		SK194	深鉢	口	口:摩滅　胴:LR-Y	胴:A→HP	口唇部丸み
222-5		SK202	深鉢	口～胴上	口:(F)→LR-YT 胴上:(F)→LR-T	口:E(G)-Y　胴上:E-Y(T)	口唇部ほぼ平坦　内面最終調整と同じ板状工具による調整痕あり　補修孔あり
222-6		SK202	深鉢	口	LR-YT	F(E)-Y	口唇部ほぼ平坦
222-7		SK203	深鉢	口	F→刻み目帯状文	A→FP	口唇部平坦　小山形突起
222-8		SK203	深鉢	口	刻み目帯状文→FP	G-Y?→F	口唇部に筒状小突起
222-9		SK203	深鉢	口	入組三叉文?	摩滅	口唇部丸み　浅い押圧状の刻み目
222-10		SK203	深鉢	口	LR-TS	B-N→F	口唇部丸み　口縁端部外側に粘土はみ出し
222-11		SK203	深鉢	口	B-Y→L-Y	FP	低波状口縁　口唇部やや丸み
222-12		SK203	深鉢	口	F	摩滅	口縁部外反　口唇部丸み　浅い押圧状の刻み目
222-13		SK203	深鉢	口	F?	F	口縁部外反　口唇部ほぼ平坦
222-14		SK203	深鉢	口	FP	F(P)-Y(アタリ痕あり)	口唇部ほぼ平坦　浅い押圧状の刻み目
222-15		SK203	深鉢	底	胴下:LR?-Y・F　底:G	F	底部平底
222-16		SK203	注口土器?	口	C字文?→FP	FP	口唇部に小突起
222-17		SK203	ミニチュア土器	底	F	A	底部輪高台状
223-1		SK204	深鉢	胴	LR-Y　LR-NO	GP	
223-2		SK213	鉢	胴	F→LR-S	F	
223-3		SK213	深鉢	胴	RL-NO	(B-N)→F	
223-4		SK220	深鉢	口	LR-Y	F(P)	口唇部丸み
223-5		SK220	深鉢	口	LR-NO	F	口唇部平坦　口縁端部粘土紐接合部にくびれ
223-6		SK220	深鉢	胴下	F→LR-Y	A	
223-7		SK220	深鉢	胴	LR-S	E-Y	
223-8		SK220	深鉢	胴	LR-S	E-Y	
223-9		SK220	壺	胴上	LR-Y→F-Y	F	
223-10		SK225	深鉢	口	口:IP　胴:LR-Y	胴:E	口唇部平坦
223-11		SK225	深鉢	胴	A→LR-Y	E	径1mmの白色砂粒含む
223-12		SK225	深鉢	口	口:刻みのある波状口縁 胴:HP	胴:HP	口唇部平坦
223-13		SK231	深鉢	胴	LR-Y→沈線	摩滅	径1～2mmの砂粒含む
223-14		SK231	深鉢	胴	胴:A→LR-Y	A→E	内外面に1～3mmの砂粒含む
223-15		SK231	台付皿?	口～胴下	口:小波状　胴上:羊歯状文?　胴:背中合わせのC字状文　胴下:LR-Y	胴:F	
223-16		SK231	壺?	頸～胴	頸:EP　胴:羊歯状文	胴:EP	
223-17		SK231	壺	胴	胴:羊歯状文?	胴:G	
223-18		SK233	深鉢	口	口:IP　胴:LR-Y	胴:FP	口唇部平坦
223-19		SK233	深鉢	口	口:IP　胴:LR-Y	胴:摩滅	口唇部平坦
223-20		SK233	深鉢	胴	LR-Y	E	径1～2mmの砂粒含む
223-21		SK233	深鉢	胴	LR-T	摩滅	
223-22		SK233	鉢	口	入組文	摩滅	
223-23		SK233	注口土器	底	摩滅	摩滅	底部高台状

第102表　南調査区遺構出土土器類観察表(14)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
223-24		SK233	壺	胴	LR-Y	F	外面赤色塗彩
223-25		SK234	深鉢	胴	曲線状隆線	F(P)	器表摩滅著しい　Ⅲa群か
223-26		SK234	深鉢	口	LR-Y?	E・F(P)-Y	口唇部ほぼ平坦　口縁端部内外に粘土はみ出し
223-27		SK234	深鉢	口	G-Y	A-Y→HP-Y	口唇部ほぼ平坦　口縁端部かすかに肥厚
223-28		SK234	深鉢	胴	LR-NO	FP	
223-29		SK234	深鉢	胴	LR-S	F	
223-30		SK235A	深鉢	口	E-Y→LR-Y	F	口唇部平坦
223-31		SK235A	深鉢	底	摩滅	F	底部輪高台状
223-32		SK236	深鉢	胴	LR-T	FP	
223-33		SK236	深鉢	胴	LR-S	F	
223-34		SK237	深鉢	胴	LR-Y	F	
223-35		SK237	深鉢	胴	LR-Y	F	
223-36		SK237	深鉢	胴	L-Y	G-Y→FP-Y	径4mmの角礫含む
223-37		SK240	深鉢	胴下・底	胴下:LR＋R-Z-N? 底:F(P)	F	底部円盤周縁上面に接合痕　底部平底
223-38		SK246	深鉢	胴	LR-T?→沈線	F	
223-39		SK246	深鉢	胴	刺突列	F	
223-40		SK246	深鉢	口～胴	口:摩滅　胴:LR-Y	E	
223-41		SK246	深鉢	胴	LR-Y	E	
223-42		SK246	深鉢	胴	LR-Y	F	
224-1		SK246	深鉢	胴	LR-Y		
224-2		SK246	深鉢	胴	LR-Y	A→E	
224-3		SK246	深鉢	胴	E→LR-Y	G	
224-4		SK246	深鉢	胴下～底	胴下:LR＋R-Z-Y　底:G?	胴下～底:G→E	径1～3mmの砂粒含む
224-5		SK246	深鉢	口～胴	口:摩滅　胴:LR-Y・T	胴:A→E	口唇部突出
224-6		SK246	深鉢	胴	LR-Y・T	B	
224-7		SK246	深鉢	胴	LR-T	F	白色針状物質含む
224-8		SK246	深鉢	胴	A→LR-T	E	
224-9		SK246	深鉢	口	口:I　胴:LR-NO	E	内外面に径1～2mmの砂粒突出
224-10		SK246	深鉢	胴	LR-NO	F	
224-11		SK246	深鉢	胴	LR-NO	B	
224-12		SK246	深鉢	胴	A→LR-NO	F	
224-13		SK246	深鉢	胴	A→L-Y・N	A→E?	白色針状物質含む
224-14		SK246	深鉢	胴下	L撚糸	B	
224-15		SK246	鉢	口	口:刻み目　胴上:羊歯状文?　胴中:入組文?	IP	内面に煤状炭化物付着
224-16		SK246	注口土器	頸～底	頸:C字状文? 胴:截痕列?　底:LR-Y	頸～底:A→B?	
224-17		SK246	壺	胴	LR-Y→沈線	摩滅	
224-18		SK250	壺	頸～胴	摩滅	摩滅	
224-19		SK251	深鉢	胴	A→LR-Y→沈線	B	外面に煤状炭化物付着
224-20		SK251	深鉢?	胴	B→沈線	E	径2mmの砂粒含む
224-21		SK251	深鉢	口	口:B　胴:A→LR-Y	E	口唇部平坦
224-22		SK251	深鉢	口	口:F　胴:A→LR-Y	A	口唇部丸み
224-23		SK251	深鉢	胴	A→LR-Y	GP	径1mmの白色砂粒含む
224-24		SK251	深鉢	胴	A→LR-NO	F	外面に煤状炭化物付着　径1mmの白色砂粒含む
224-25		SK251	深鉢	胴	LR-NO	F	
224-26		SK251	深鉢	胴	LR-NO	F?	
224-27		SK251	深鉢	口	口:摩滅　胴:A→IP	摩滅	口唇部丸み　外面に煤状炭化物付着
224-28		SK251	深鉢	胴下～底	胴下:E　底部:網代	A→G	胴下部に煤状炭化物付着
224-29		SK251	深鉢	胴下～底	胴下:摩滅　底部:摩滅	胴下～底:摩滅	径1～2mmの砂粒含む
225-1		SK252	深鉢	口～胴上	胴上:平行沈線 胴中:LR-Y	E	内外面に煤状炭化物付着
225-2		SK252	深鉢	胴	胴上:H→入組文?	A	内外面に煤状炭化物付着
225-3		SK252	深鉢	胴	口:IP　胴上:F→LR-Y	A	
225-4		SK252	深鉢	胴	口:IP　胴上:LR-Y・NO	EP	外面に煤状炭化物付着
225-5		SK252	深鉢	胴	LR-Y	A	
225-6		SK252	深鉢	胴	G→LR-Y	A→E	
225-7		SK252	深鉢	胴	A→LR-T	AP	
225-8		SK252	深鉢	胴	LR-NO	D	外面に径1～2mmの白色砂粒突出

第103表　南調査区遺構出土土器類観察表(15)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
225-9		SK252	深鉢	胴	L-NO	E	外面に煤状炭化物付着
225-10		SK253	深鉢	胴上	LR-Y→水平沈線	FP・IP-T	
225-11		SK253	深鉢	口	E-Y→LR-Y	E-Y	赤色粒含む　口唇部平坦
225-12		SK253	深鉢	口	LR-YT	F	口唇部平坦
225-13		SK254	深鉢	胴	LR-T	F	
225-14		SK264	深鉢	胴上	LR-Y→口胴部境界水平沈線→F(P)	F	
225-15		SK264	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部丸み
225-16		SK264	深鉢	口	LR-Y	F-Y	口唇部瘤状の山形突起
225-17		SK264	深鉢	胴	LR-Y	F	
225-18		SK264	深鉢	胴	LR+R-Z-N	F	白色針状物質含む
225-19		SK264	深鉢	胴	LR-T	F(P)	
225-20		SK264	深鉢	胴	RL-T	A-T→F-Y	
225-21		SK264	深鉢	胴	RL-S→I-S?	A→H(P)	
225-22		SK264	深鉢	口	A-Y→F?	E-Y	口唇部丸み　口縁端部内側粘土はみ出し
225-23		SK264	鉢?	台	台:隆線1条貼付?→瘤貼付　底:A(P)	A	透かし穴?
225-24		SK267	深鉢	口	口:I　胴上:刻み目帯・沈線　胴:LR-Y	E	口唇部平坦
225-25		SK267	深鉢	胴	胴上:沈線・A→LR-Y	BP	外面に煤状炭化物付着
225-26		SK267	深鉢	胴	沈線・A→LR-Y	G→HP	
225-27		SK267	深鉢	口	口:I　胴:E→LR-Y	E	
225-28		SK267	深鉢	胴	LR-Y	A	内面に1～3mmの砂粒突出
225-29		SK267	深鉢	口	口:摩滅　胴:A→LR-NO	A	口唇部丸み
225-30		SK267	深鉢	胴	LR-NO	A	径1mmの白色砂粒含む
225-31		SK267	深鉢	胴下～底	胴下:A　底:摩滅	胴下～底部:F	
225-32		SK267	壺	頸～胴	頸～胴:LR-NO	頸～胴:E	
225-33		SK267	壺	胴	L撚糸	F	径1～2mmの砂粒含む
225-34		SK268	深鉢	口	口:I　胴上:A→LR-Y	A	口唇部丸み
225-35		SK268	深鉢	口	口:B　胴上:LR-Y	E	口唇部平坦
225-36		SK268	深鉢	胴	LR-Y・T	E	外面に煤状炭化物付着 内面に径1mmの砂粒突出
225-37		SK268	深鉢	胴	G→LR-NO	E	外面に煤状炭化物付着
225-38		SK268	深鉢	胴	胴:LR+R-Z-T	HP	
226-1		SK268	深鉢	胴	F→RL-Y	E	内面に径1～2mmの砂粒突出
226-2		SK268	深鉢	底	木葉痕	A	
226-3		SK268	浅鉢	胴	I→区画沈線→LR-Y	摩滅	
226-4		SK268	壺	胴	LR-Y	G	径1～2mmの砂粒含む
226-5		SK274	深鉢	口	口:F　胴:LR-Y・T→入組文?	F	
226-6		SK274	深鉢	胴	LR-Y・N	A	
226-7		SK274	深鉢	胴	LR-Y	A	
226-8		SK274	深鉢	胴	LR-Y	F	外面に径1mmの白色砂粒突出
226-9		SK274	深鉢	胴	LR-NO	摩滅	
226-10		SK274	深鉢	胴	LR-N・S	A	
226-11		SK274	深鉢	胴	RL-Y	F	外面に煤状炭化物付着
226-12		SK274	深鉢	胴	A→L-T	F	外面に煤状炭化物付着
226-13		SK274	深鉢	底	摩滅	摩滅	径1～3mmの砂粒含む
226-14		SK274	鉢	口	口:小波状　胴上:山形三叉文　胴:LR-Y?	F	
226-15		SK277	深鉢	胴	胴:A→L-Y	G	
226-16		SK277	鉢	口	口:小波状　胴上:羊歯状文　胴:LR-Y→雲形文	胴上:沈線　胴:IP	口唇部にB突起
226-17		SK278	深鉢	胴	LR-NO	A	内面に煤状炭化物付着
226-18		SK278	深鉢	胴	A	A	内面に煤状炭化物付着
226-19		SK280	深鉢	胴	H(P)・末端が絡むC字文?	A	
226-20		SK280	深鉢	胴	LR-Y→入組帯状文?→H	F(P)	
226-21		SK280	深鉢	口	A→E-Y(器表凹凸あり)	A	口唇部かすかに丸み　口縁端部内側に粘土はみ出し
226-22		SK280	浅鉢	口～胴	入組三叉文	IP	口唇部丸み
226-23		SK284	深鉢	口	口:F　胴上:LR-Y	摩滅	外面に煤状炭化物付着
226-24		SK284	深鉢	口～胴	口:IP　胴上:E 胴中:LR-Y・S	E→FP	外面に煤状炭化物付着
226-25		SK284	深鉢	胴	LR-Y	FP	外面に煤状炭化物付着
226-26		SK284	深鉢	胴	LR-Y	F	

第104表　南調査区遺構出土土器類観察表(16)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
226-27		SK284	深鉢	胴	LR-Y・NO	A	
226-28		SK284	深鉢	胴	A→LR-Y	F?	外面に煤状炭化物付着
226-29		SK284	深鉢	胴	LR-NO	摩滅	径1～2mmの白色砂粒含む
226-30		SK284	深鉢	胴	A→LR-NO	摩滅	
226-31		SK284	深鉢	胴	LR-NO・S	F	外面に煤状炭化物付着
226-32		SK284	深鉢	胴	RL-T	B	
226-33		SK284	深鉢	胴	F→LR-Y・RL-Y(非結束)	摩滅	径1～2mmの赤色粒含む
226-34		SK284	深鉢	胴	F→LR-Y・RL-Y(非結束)	A	
226-35		SK290	深鉢	口～胴	口:摩滅　胴上:B→入組三叉文　胴中:F→LR-Y	I	補修孔有り　径1～3mmの赤色粒含む
226-36		SK290	深鉢	口～胴	口:IP　胴上:B→入組三叉文　胴下:LR-Y・T	胴上:E　胴下:A	口縁波状　口唇部丸み　外面に煤状炭化物付着
227-1		SK290	深鉢	口～胴下	口:IP　胴上:E 胴下:RL-Y・RL-NT	胴上:EP　胴下:A	口唇部平坦　外面に煤状炭化物付着
227-2	㊾-5	SK290	深鉢	胴～底	胴:LR-Y　底:F	胴:A　底:F	外面に煤状炭化物付着
227-3		SK290	深鉢	胴	胴:A→LR-Y＋LR-T	B	白色針状物質含む
227-4		SK290	深鉢	胴	胴:A→LR-NO・Y	A?	白色針状物質含む
227-5		SK290	深鉢	胴	F→LR-S		内面に煤状炭化物付着
227-6		SK290	台付皿?	胴下～底	胴下:LR-Y→沈線→IP 高台:IP?	摩滅	
227-7		SK297	深鉢	口	F→刺突列2条	F(P)	赤色粒含む　口唇部平坦
227-8		SK297	深鉢	口	刺突列2条	F	口唇部平坦
227-9		SK297	深鉢	口	平行沈線間刺突列	FP	口唇部丸み　口縁端部内側肥厚
227-10		SK297	深鉢	口	刺突列	F(P)	口唇部ほぼ平坦　中央に刻みある小山形突起
227-11		SK297	深鉢	口	口:平行沈線間刺突列 胴:L-Y	FP	口唇部平坦　口縁端部内側肥厚
227-12		SK297	深鉢	口	F(P)→刺突帯状文	F(P)	口唇部平坦
227-13		SK297	深鉢	胴	LR-Y→刻み目帯状文	F(P)	
227-14		SK297	深鉢	口	F→入組帯状文	A→FP-Y	
227-15		SK297	深鉢	口	LR-Y	FP	赤色粒含む　口唇部平坦 口縁端部肥厚
227-16		SK297	深鉢	口	口:LR-Y　胴:LR-NOY	F	口唇部平坦　低波状口縁か
227-17		SK297	深鉢	口	LR-N(O)	F→E-Y(アタリ痕あり)	口唇部丸み　口縁端部内側に粘土はみ出し
227-18		SK297	深鉢	胴	LR-Y	(G-Y)→E・F(P)-Y	
227-19		SK297	深鉢	胴	LR-NO→R-Z-N	B-N	白色針状物質含む
227-20		SK297	深鉢	胴	E-Y→オオバコ?回転施文-Y	G-Y	
227-21		SK297	深鉢	胴	浅い条痕交差	G-Y	赤色粒含む　Ⅲa群
227-22		SK297	深鉢	口	A→H-Y(器表凹凸あり)	A→H-Y(器表凹凸あり)	口唇部丸み
227-23		SK297	深鉢	底	胴下:(LR-NO)・F→HP-Y 底:F	F	
227-24		SK297	注口土器	胴	(G-T)→H-T	A→E-Y	
227-25		SK297	注口土器	底	H-Y	F	
227-26		SK297	土製耳飾		指オサエ→A-Y	FP	
227-27		SK297	土製耳飾		指オサエ→A-Y	FP	
228-1		SK298	深鉢	胴	入組帯状文→LR-S→A	F	
228-2		SK298	深鉢	胴	LR?-S	F(P)	
228-3		SK298	深鉢	胴	F(器表凹凸あり)	E-Y	
228-4		SK301	深鉢	胴	G-T→刺突列	F	
228-5		SK301	深鉢	口	LR-Y→刻み目帯状文→FP	FP	口唇部平坦
228-6		SK301	深鉢	口	LR-Y→刻み目帯状文→FP	FP	
228-7		SK301	深鉢	口	刻み目帯状文	摩滅	口唇部平坦　口縁端部外側に中央に刻みある瘤状の小突起
228-8		SK301	深鉢	口	刻み目帯状文	摩滅	口唇部丸み　口縁端部外側刻み
228-9		SK301	深鉢	口	LR-Y→帯状文	G-Y→FP	
228-10		SK301	深鉢	口	瘤貼付	摩滅	口唇部丸み 瘤状小突起2
228-11		SK301	深鉢	口	LR-Y	F	白色針状物質含む　口唇部丸み　口縁端部外側に粘土はみ出し
228-12		SK301	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部丸み
228-13		SK301	深鉢	胴	LR-Y	A	白色針状物質含む
228-14		SK301	深鉢	底	F	F	底部輪高台状
228-15		SK301	深鉢	底	F	摩滅	底部輪高台状

第105表　南調査区遺構出土土器類観察表(17)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
228-16		SK301	土製耳飾		A	A→FP	
228-17		SK303	深鉢	胴	LR-Y→平行沈線2条・沈線1条	F	
228-18		SK303	深鉢	口	A→LR-T	F(P)	口唇部かすかに丸み
228-19		SK303	深鉢	胴	LR-Y	F	
228-20		SK303	深鉢	胴	LR-T	F	
228-21		SK303	深鉢	胴	LR?-T	E-N・F(P)-Y	
228-22		SK303	深鉢	胴	LR-S	F	
228-23		SK303	深鉢	胴	LR-S	F	
228-24		SK303	深鉢	胴	LLR-NO	F	
228-25		SK303	深鉢	口	A	A・E-Y	口唇部丸み　口縁端部内側に粘土はみ出し
228-26		SK303	深鉢	胴	A・E-TY	E-Y	
228-27		SK303	深鉢	底	胴下～底:F	胴下～底:F(P)	
228-28		SK303	深鉢	底	胴下:F(→B-T)　底:F・B	胴下～底:F	赤色粒含む　底部かすかに輪高台状
228-29		SK303	深鉢	底	胴下:LR-NO　底:摩滅	胴下～底:F	赤色粒含む
228-30		SK303	注口土器?	口～頸	F	F	
228-31		SK326	深鉢	口～胴	口:IP　胴:L-Y・LR-Y	胴:E	
228-32		SK326	深鉢	口	口:LR回転文 胴上:LR-Y	胴上:E　胴:F	
228-33		SK326	深鉢	口	口:E　胴上:LR-Y	胴:B	口唇部平坦　白色針状物質含む
228-34		SK326	深鉢	口	口:F?　胴上:LR＋R-S-Y		口唇部平坦　内外面に径1～2mmの砂粒突出
229-1		SK326	深鉢	胴	A→LR-T	A	外面に煤状炭化物付着
229-2		SK326	深鉢	口	口:I　胴上:L-Y	胴上:E　胴:F	口唇部丸み　径1～2mmの白色砂粒含む
229-3		SK326	深鉢	胴	L-Y	A	
229-4		SK326	深鉢	底	摩滅	F?	内面に煤状炭化物付着
229-5		SK334	深鉢	胴	LR-Y	A	
229-6		SK334	壺?	胴上	LR-NO	指頭圧痕→A-Y	外面炭化物付着
229-7		SK335	深鉢	口	端部刻み目・沈線区画→RL(0段多条か)-TY→IP-Y	IP-Y	口縁端部肥厚　口唇部丸み
229-8		SK335	深鉢	口	口胴部境界:隆線貼付→刻み目	FP	口縁部外反
229-9		SK335	深鉢	胴上	口胴部境界:隆線貼付→刻み目　胴上:RL-Y→帯状文?→IP-Y	F	
229-10		SK335	深鉢	口	刻み目帯状文→IP	摩滅	
229-11		SK335	深鉢	口	LR-Y→帯状文	FP	
229-12		SK335	深鉢	胴	LR-Y→帯状文→IP-Y	HP-Y	
229-13		SK335	深鉢	口	LR-S→帯状文・山形三叉文→IP	F	口唇部山形突起付く
229-14		SK335	深鉢	口?	縄文-NJ→平行沈線	B-Y→F	
229-15		SK335	深鉢	口	B-Y→条痕-N(櫛掛け状)→RL-Y	FP	口縁端部肥厚　口唇部丸み
229-16		SK335	深鉢	胴	G-N→条痕-S	FP	
229-17		SK335	深鉢	胴	A→G-N→条痕-S	FP	
229-18		SK335	深鉢	胴	A→条痕-S	FP	
229-19		SK335	深鉢	口	LR-Y	A→F(P)	口唇部かすかに丸み
229-20		SK335	深鉢	口	LR＋R-Z-Y	F	口唇部二股に分かれた山形突起付く
229-21		SK335	深鉢	胴	LR-S	F	
229-22		SK335	深鉢	胴	RL-Y	A	
229-23		SK335	深鉢	胴	RL-Y	A	
229-24		SK335	鉢?	胴	LR-Y→平行沈線・斜行沈線・IP	F	
229-25		SK335	鉢?	台	F(P)	F	
229-26		SK335	壺	胴	F(P)→沈線による曲線文	A-Y	
229-27		SK335	壺?	底	摩滅	A	丸底
229-28		SK357	深鉢	口	口:B　胴:LR-Y	胴:A	口唇部平坦で内傾
229-29		SK357	深鉢	胴	A→LR-Y	E	白色針状物質含む　外面に煤状炭化物付着
229-30		SK357	深鉢	胴	G→LR-Y	A	
229-31		SK357	深鉢	胴下～底	摩滅	胴下:F　底:A	
229-32		SK358	深鉢	口	刻み目帯状文	G-Y	

第106表　南調査区遺構出土土器類観察表(18)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
229-33		SK358	深鉢	口	RL-S→帯状文?	F-E-Y	低波状口縁　口唇部平坦　口縁端部かすかに肥厚
229-34		SK358	深鉢	胴	F→LR-S→三叉文・帯状文?	B(P)・FP-Y	
229-35		SK358	深鉢	口	LR-TY	H(P)-Y	口唇部かすかに丸み
229-36		SK358	深鉢	口	F	F(P)	口唇部やや丸み　口唇部に突起の剥落痕?　口縁端部かすかに肥厚
229-37		SK358	深鉢	口	H-Y	F	口唇部ほぼ平坦　口縁端部肥厚
229-38		SK358	深鉢	口	摩滅	A-Y	口唇部厚手の山形突起　口縁端部肥厚
229-39		SK358	深鉢	口	F	F(P)	口唇部ほぼ平坦　かすかに内傾
229-40		SK358	深鉢	胴	単軸絡条体第1類L-T→垂下沈線	F(P)	Ⅲa群
229-41		SK358	鉢	口～胴	摩滅　口唇部調整の粘土はみ出しによる凹凸あり	摩滅	口唇部丸み
229-42		SK358	土製耳飾		摩滅	HP-Y	
230-1		SK359	深鉢	口	口:B　胴:LR-Y	胴:G	
230-2		SK359	深鉢	口	口:BP? 胴:LR-Y・LR-NO	胴:A	口唇部丸み
230-3		SK359	深鉢	口	口:B　A→LR-Y	胴:G→E	口唇部平坦
230-4		SK359	深鉢	胴	A→LR-Y	A	
230-5		SK362	深鉢	胴	F→LR-Y	F	
230-6		SK362	深鉢	胴	LR-NO	FP	
230-7		SK362	深鉢	胴	LR-NO	FP	
230-8		SK362	深鉢	胴	LR?-NO	FP	
230-9	㊾-6	SK377	深鉢	胴～底	胴中:LR-T　胴下:E-Y 底:F	胴中～底:F	
230-10		SK387	深鉢	口	F→刻み目帯状文	E-Y	口唇部小山形突起2　口唇部丸み
230-11		SK387	深鉢	口	F(P)→刻み目帯状文	E-Y	口唇部に十字の刻み目が頂部にある小山形突起付く
230-12		SK387	深鉢	口～胴上	口:刻み目帯状文　口胴境界:貼瘤　胴上:摩滅	口:F(P)　胴上:G-Y	
230-13		SK387	深鉢	胴	胴上:刺突帯状文・貼瘤(貼瘤上刺突・刻み)	摩滅	
230-14	㊵-6	SK387	深鉢	口～底	口:LR-Y・入組帯状文→貼瘤・三叉文　胴上:LR-Y　胴下:LR-T　底:B・F	口～胴上:F　胴下:E-N 底:A	口唇部2個1組の小山形突起　口唇部かすかに丸み
230-15		SK387	深鉢	口	LR?-Y→帯状文	F	口唇部に2個の刻み目ある小山形突起付く
230-16		SK387	深鉢	口?	RL-Y→入組帯状文?	F	
230-17		SK387	深鉢	口	RL-Y→入組帯状文?	FP	波状口縁　口唇部かすかに丸み　口縁部内面炭化物付着
230-18		SK387	深鉢	口	LR-T?	F	口唇部丸み
230-19		SK387	深鉢	口～胴	口:LR-NT 胴:E-T→LR＋R-Z-NT	口～胴:E(P)-Y	赤色粒含む　口唇部丸み
231-1	㊵-3	SK387	深鉢	口～底	口:LR-Y　胴上:LR＋R-Z-T　胴下～底:摩滅	口～胴上:E-Y　胴下:F 底:摩滅	口唇部かすかに丸み
231-2	㊵-5	SK387	深鉢	口～胴	口～胴上:LR-T 胴下:摩滅	口～胴上:E-Y　胴下:摩滅	口唇部かすかに丸み
232-1	㊵-4	SK387	深鉢	口～底	口:LR-Y　胴上:LR＋RL-T　胴下:摩滅　底:A	口:G-Y　胴中:E-N 胴下～底:F	口唇部丸み　底部輪高台状
232-2	㊵-2	SK387	深鉢	口～底	口～胴上:LR＋R-Z-T 胴下～底:摩滅	口～胴上:F・B-Y 胴下～底:摩滅	赤色粒含む　口唇部かすかに丸み
232-3	㊵-1	SK387	深鉢	底	摩滅	摩滅	
232-4		SK387	深鉢	底	胴下:F・B-Y　底:A	胴下:G-Y　底:摩滅	底部上げ底
232-5		SK387	注口土器	底	摩滅	(指頭圧痕)→E-Y	底部粘土紐貼付による小輪高台状
233-1		SK390	深鉢	胴	LR-Y→平行沈線	EP	
233-2		SK390	深鉢	胴	LR-Y	E	外面に煤状炭化物付着
233-3		SK390	深鉢	胴	LR-T	A	
233-4		SK390	深鉢	胴	LR＋R-Z-T	E	外面に径1mmの砂粒突出

第107表　南調査区遺構出土土器類観察表(19)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
233-5		SK390	深鉢	胴	G→LR-NO	F	外面に径1～2mmの砂粒突出
233-6		SK390	深鉢	胴	単軸絡条体第1類R-T	F	
233-7		SK390	深鉢	胴下～底	胴下:G　底:A	胴下～底:G	
233-8		SK390	鉢	口	口:EP　胴上:LR-Y→平行沈線→F?	胴上:EP	口唇部突出
233-9		SK390	土偶	左腕	G→沈線		径1～3mmの砂粒含む
233-10		SK393	深鉢	口	LR-Y→刻み目帯状文→貼瘤?	F	
233-11		SK393	深鉢	口	LR-Y?→入組帯状文	E-Y	口唇部瘤状小突起
233-12		SK393	深鉢	口	LR-Y	A	口唇部ほぼ平坦
233-13		SK393	深鉢	口?	LR-Y	B・E-Y	
233-14		SK393	深鉢	胴	F→LR-Y	F	
233-15		SK393	深鉢	口	LR-T	A	口唇部瘤状小突起2個付く
233-16		SK393	深鉢	胴	LR-T	F	
233-17		SK393	深鉢	胴	E-N→LR-T	B・F-Y	赤色粒含む
233-18		SK393	深鉢	口	LR+R-Z?-T	E(P)-Y	口唇部丸み
233-19		SK393	深鉢	口	LR-NJ	A・E-Y	口唇部ほぼ平坦
233-20		SK393	深鉢	口	RL-S	E・F-Y	口唇部丸み
233-21		SK393	深鉢	胴	RL?-S	F	
233-22		SK393	深鉢	胴	RL-T	G・E-Y	赤色粒含む
233-23		SK393	深鉢	口	F→LRL?-Y	E-Y	補修孔あり
233-24		SK393	深鉢	口	A→H(P)-Y	E-YN	口唇部ほぼ平坦
233-25		SK393	深鉢	胴	F・B-Y	E-YT	赤色粒含む
233-26		SK394	深鉢	胴	E→平行沈線→刻み目帯状文	E	内面に煤状炭化物付着
233-27		SK394	深鉢	口～胴	口:小突起　胴上:5条の平行沈線　胴:A→LR-Y	E→G	
233-28		SK394	深鉢	口～胴	口:LR-S　胴:LR-S	E	
233-29		SK394	深鉢	胴	LR-Y	F	内面に径1～2mmの赤色粒突出
233-30		SK394	深鉢	胴	LR-Y	E	
234-1		SK394	深鉢	胴	LR-Y		内面に径1～2mmの砂粒突出
234-2		SK394	深鉢	胴	A→RL-Y	F	白色針状物質含む
234-3		SK394	深鉢	胴	RL-Y・N	E	外面に煤状炭化物付着
234-4		SK394	深鉢	胴	LR-S	F	外面に煤状炭化物付着
234-5		SK394	深鉢	胴	B→RL-Y?	E	
234-6		SK394	鉢	胴	E→RL-NJ	E	内面にタール状物質付着
234-7		SK395	深鉢	胴	B→刻み目帯入組文	E	刻み目は縦長と円形
234-8		SK395	深鉢	口	口:摩滅　胴上:LR-Y	G	口唇部に小突起
234-9		SK395	深鉢	口	口:B?　胴:B→LR-Y・N	胴:E→B	外面に煤状炭化物付着
234-10		SK395	深鉢	口	口:B?　胴:LR-Y	胴:F	外面に煤状炭化物付着
234-11		SK395	深鉢	口	口:BP　胴:LR-Y	胴:E	外面に煤状炭化物付着 口唇部丸み
234-12		SK395	深鉢	口	口:B　胴:A→LR-Y	胴:A	口唇部平坦
234-13		SK395	深鉢	胴	A→LR-Y	摩滅	
234-14		SK395	深鉢	胴	A→LR-Y	HP	白色針状物質含む 内面に煤状炭化物付着
234-15		SK395	深鉢	胴	A→LR+R-Z-T	G	
234-16		SK395	鉢	胴	LR-T	FP?	外面に煤状炭化物付着 内面に赤色漆?付着
234-17		SK395	鉢	胴下	A→LR-Y	G	白色針状物質含む
234-18		SK395	注口土器	胴	IP	E	頸部と胴部の区画沈線
234-19		SK397	深鉢	口	口:摩滅　胴:F→LR-Y→平行沈線	胴:A	口唇部丸み　径1～2mmの砂粒含む
234-20		SK397	深鉢	口	口:E　胴:A→LR-Y	胴:E	口唇部平坦　白色針状物質含む
234-21		SK397	深鉢	口	口:G　胴:B→LR-Y	D→A	口唇部平坦　径1mmの白色砂粒含む
234-22		SK397	深鉢	口	口:B　胴:RL-Y	摩滅	口唇部平坦
234-23		SK397	深鉢	口	口:B　胴:LR-Y	E	口唇部丸み　外面に煤状炭化物付着
234-24		SK397	深鉢	胴	胴上:G　胴:A→LR-Y	A	外面に煤状炭化物付着
234-25		SK397	深鉢	口	口:B?　胴:D→LR-Y・RL-Y(非結束)	A?	羽状縄文
234-26		SK397	深鉢	胴	LR-NO	A	白色針状物質含む

第108表　南調査区遺構出土土器類観察表(20)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
234-27		SK397	鉢	口	口:BP? 胴:LR-Y→入組帯縄文？→IP	E	口唇部丸み
234-28		SK397	鉢	口	口:小波状口縁にB突起 胴上:羊歯状文	F	内面に煤状炭化物付着
234-29		SK397	鉢	口	小波状口縁にB突起 胴上:入組文	FP	
234-30		SK397	鉢?	胴	胴下:A	胴下:G 底:E	径2mm以下の砂粒含む
234-31		SK397	浅鉢？	胴	胴上:沈線→B 胴:LR-Y	E	外面に煤状炭化物付着
234-32		SK400	深鉢	口	LR-Y→帯状文	F	
234-33		SK400	深鉢	胴上	LR-Y→入組帯状文	HP-Y	口縁部外反
234-34		SK400	深鉢	口?	X字状隆線貼付→対向連弧状沈線・LR-Y	F	
234-35		SK400	深鉢	胴	H-Y→盲孔ある貼瘤	F	
234-36		SK400	鉢	底	摩滅	摩滅	底部かすかに上げ底
234-37		SK400	壺?	口～胴上	口:水平沈線2条 胴上:入組文?→LR?-S	口:F(P) 胴上:A	口縁部直立 口縁部内側玉縁状肥厚
234-38		SK400	壺?	胴上	LR-Y?・帯状文?・上下に貫通孔ある貼瘤	摩滅	口縁部外反?
234-39		SK403	深鉢	口	H-Y→刺突文	F(P)	
234-40		SK403	深鉢	口	F→刺突帯状文	A→E-Y	口唇部丸み
234-41		SK403	深鉢	口	IP-Y→刻み目帯状文	B・F-Y	口縁端部内側にかすかに肥厚 口唇部丸み 口唇部瘤状小突起付く
234-42		SK403	深鉢	口	LR-Y→(刻み目)帯状文	摩滅	口唇部小山形突起付く 口唇部丸み
234-43		SK403	深鉢	口	刻み目入組帯状文	F(P)	口唇部小突起付く 口唇部丸み
234-44		SK403	深鉢	口	LR-Y→帯状文	FP	口唇部二山に分かれた山形突起付く
234-45		SK403	深鉢	口	F→LR-Y→帯状文	E(P)-Y	口唇部2個の刻み目ある瘤状小突起付く
234-46		SK403	深鉢	突起	刺突文	摩滅	頂部に扁平な盃状突出部付く山形突起 盃状突出部端部に刻み目
234-47		SK403	深鉢	胴	胴上:LR-Y・帯状文 胴中:LR-S	B-N・A	
234-48		SK403	深鉢	口	LR-Y→帯状文・刻み目文	E-Y	口縁端部内側肥厚 口唇部平坦
234-49		SK403	深鉢	口	LR-Y→帯状文?	摩滅	口縁端部かすかに肥厚 口唇部丸み
234-50		SK403	深鉢	口～胴	口:水平沈線2条 胴:LR-Y	F	赤色粒含む 口唇部尖る
234-51		SK403	深鉢	口	帯状文・結節沈線	FP	
234-52		SK403	深鉢?	口	沈線文?→IP	FP	
235-1		SK403	深鉢	胴?	LR-S・入組帯状文	F(P)	
235-2		SK403	深鉢	口	LR-YS→横位沈線ある楕円文・山形三叉文?	F(P)	
235-3		SK403	深鉢	口	刻み目文	摩滅	口唇部刻み目
235-4		SK403	深鉢	口	刻み目文	G・F(P)-Y	口唇部丸み?
235-5		SK403	深鉢	口	刻み目文	F	口唇部小突起
235-6		SK403	深鉢	口	入組三叉文・刻み目文→IP	FP	口唇部B突起
235-7		SK403	深鉢	口	FP→入組三叉文?	A-Y	口唇部小突起上?刻み目
235-8		SK403	深鉢	口～胴上	口:平行沈線・C字文 胴上:RL・LR-Y	B・F-Y	口唇部B突起
235-9		SK403	深鉢	口～胴	LR-Y	口:F(P) 胴:F	赤色粒含む 口唇部ほぼ平坦
235-10		SK403	深鉢	口	B-NY→RL-Y	F	口唇部丸み
235-11		SK403	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部平坦
235-12		SK403	深鉢	口	LR-Y	G・E(P)-Y	口縁端部外側に粘土はみ出し 口唇部ほぼ平坦
235-13	⑥1-2	SK403	深鉢	底	胴中:LR-S? 胴下:E-Y 底:摩滅	胴中～底:F	白色針状物質含む 底部かすかに輪高台状
235-14		SK403	深鉢	底	胴下:A→RL-Y→F-Y 底:A	胴下～底:F	底部低輪高台状
235-15		SK403	深鉢?	底	胴下:指頭圧痕 底:指頭圧痕→B	胴下～底:指頭圧痕?	底部輪高台状 底面内面炭化物付着
235-16		SK403	深鉢	口～胴上	口:A→F(P) 胴上:LR＋R-Z-Y	F	白色針状物質含む 口縁部外反 口唇部刻み目

第109表 南調査区遺構出土土器類観察表(21)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
235-17		SK403	深鉢	口	E-Y?→LR-NO	E-Y	口唇部丸み
235-18		SK403	深鉢	口	RL-NO?	FP	口唇部平坦
235-19		SK403	深鉢	口～胴	口:G・H-Y　胴:B・H-T	G-Y	口唇部ほぼ平坦
235-20		SK403	深鉢	口	E-S	B・E-Y	口唇部丸み
235-21		SK403	台付鉢?	台	台:刻み目文・透かしあるC字文→IP?	底:F(P)　台:指頭圧痕(爪圧痕あり)	
235-22		SK403	鉢	口	刻み目文	FP	口唇部刻み目(B突起?)
235-23		SK403	鉢	口	羊歯状文→IP	F(P)	口唇部B突起付く
235-24		SK403	鉢	口	入組三叉文?→IP	FP	白色針状物質含む　口唇部刻み目
235-25		SK403	鉢?	口	水平沈線・雲形文?	FP	白色針状物質含む　口唇部B突起付く
235-26		SK403	鉢?	底	胴下:F(P)→水平沈線2条 底:A(爪圧痕あり)→円形沈線1条	胴下:H(P)-Y　底:指頭圧痕→H(P)	白色針状物質含む
235-27	⑥1-3	SK403	浅鉢	口～胴	口:刻み目文→IP 胴上～胴中:LR-Y 胴下:水平沈線	口:HP-Y　胴:FP	口唇部刻み目
235-28		SK403	浅鉢	口～胴	口:刻み目文→IP 胴上:刻み目文→IP 胴下:LR-Y	口～胴下:IP-Y	口唇部丸み　補修孔あり
235-29		SK403	浅鉢	口	LR→雲形文?→IP	FP	口縁端部内側隆線状に肥厚 口唇部B突起
236-1		SK403	注口土器	口	口:刻み目文・C字文 口胴境界:刻み目文→IP	摩滅	
236-2		SK403	注口土器	口	山形三叉文・貼瘤	FP	口唇部山形突起付く
236-3		SK403	ミニチュア土器	底	摩滅	B?・F	底部輪高台状
236-4		SK403	土製耳飾		摩滅	F・沈線1条	白色針状物質含む　上端面刻み間に横位短沈線　赤色顔料一部残存
	⑥1-1	SK403	深鉢	口～胴	口:LR-Y 胴:B-N→LR-N	口～胴:F(P)	口唇部ほぼ平坦
236-5	⑥1-4	SK409	深鉢	口～底	口:LR-Y　胴上:LR-T 胴下～底:摩滅	口～胴:B・E-Y　底:F	口唇部平坦
236-6		SK409	深鉢	胴	不整条痕?-TN	F(P)	Ⅲa群
236-7		SK409	深鉢	口～胴	F	A	赤色粒含む　口唇部中央に刻みある瘤状小突起付く 口唇部丸み
236-8		SK409	深鉢	口～胴	口～胴:E-Y	A	口唇部平坦
236-9		SK409	深鉢	底	胴下:F　底:摩滅	摩滅	
236-10		SK409	壺	胴下	F	B-YT	
236-11		SK411	深鉢	口	口:RL-Y→入組帯状文→F　口胴境界:貼瘤→横位短沈線→F(P)	口上:F(P) 口下:(G-Y)→F(P)	口唇部刻み2ヶ所ある低山形突起
236-12		SK411	深鉢	口	LR-Y	A・E-Y	口唇部ほぼ平坦
236-13		SK411	深鉢	胴	LR-S	F(P)	
236-14		SK411	深鉢	胴	RL?-Y	F	
236-15		SK411	深鉢	口	RL-YT	FP	口唇部平坦
237-1		SK413	深鉢	胴	刻み目帯状文	摩滅	
237-2		SK413	深鉢	口	口:B　胴:A→LR-Y	E	
237-3		SK413	深鉢	胴	LR-T	G	外面に煤状炭化物付着
237-4		SK413	深鉢	胴	F→LR-T	G	外面に煤状炭化物付着
237-5		SK413	深鉢	胴	E→L-NO	E	
237-6		SK421	深鉢	胴	LR-Y	A	内面に煤状炭化物付着
237-7		SK421	深鉢	胴	LR-NO	A	外面に煤状炭化物付着
237-8		SK421	深鉢	胴	LR-NO	摩滅	外面に煤状炭化物付着
237-9		SK421	深鉢	胴	A→RL-S	A?	内面に煤状炭化物付着
237-10		SK421	深鉢	胴下～底	胴下:A→LR?-S　底:G	胴下～底:A	
237-11	⑧3-2	SK422	深鉢	口	口:口唇に小突起 胴上:A→刻み目帯状文	E	口唇部平坦　外面に煤状炭化物付着
237-12	⑧3-1	SK422	深鉢	口	口:口唇に円筒状の小突起　胴上:E→刺突帯状文	F	口唇部平坦
237-13	⑧3-3	SK422	深鉢	口	口:山形状口唇に刻みのある円筒突起　胴上:IP→刻み目帯状文→小貼瘤	E	口唇部平坦

第110表　南調査区遺構出土土器類観察表(22)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	部　位	外　面　特　徴	内　面　特　徴	その他の特徴・備考
237-14		SK422	深鉢	胴	胴上:A→刺突帯入組状文? 胴中:LR-Y→平行沈線	摩滅	刺突は円形
237-15	㊸-4	SK422	深鉢	胴	I→刺突帯状文→貼瘤	B	補修孔有り
237-16	㊸-5	SK422	深鉢	口	口:BP　胴:LR-Y	胴上:E　胴中:B	口唇平坦　外面に煤状炭化物付着　径1mmの白色砂粒含む
237-17		SK422	深鉢	胴	LR-Y	G	外面に煤状炭化物付着
237-18		SK422	深鉢	胴	G→条痕-T	G	外面に煤上炭化物付着
237-19	㊸-6	SK422	鉢?	口	口:A　胴上:D 胴中:D→LR-Y	A	内面に煤状炭化物付着
237-20		SK447	深鉢	胴	LR-Y	E	外面に煤状炭化物付着
237-21		SK447	深鉢	胴	LR-NO	B	
237-22		SK452	深鉢	胴	LR-NO	A	
237-23		SK469	深鉢	胴	A→LR-Y	B	
237-24		SK469	深鉢	胴	LR+R-Z-T	A	外面に煤状炭化物付着
237-25		SK469	鉢?	口	口:口唇に円形突起 突起:RL-Y→入組文?	摩滅	外面に赤色塗彩
237-26	㊸-7	SK475	深鉢	口	刻み目帯状文	摩滅	口唇部瘤状突起　補修孔あり
237-27	㊸-8	SK475	深鉢	口～胴上	口:F→入組三叉文 胴上:LR-Y?	口～胴上:F	白色針状物質含む　口唇部B突起
237-28		SK475	深鉢	口	LR-T?	F	小波状口縁
237-29	㊸-9	SK475	深鉢	口	LR-S	F	口唇部丸み
237-30		SK477	深鉢	胴	LR-T	E-YT	
237-31		SK481	深鉢	胴	LR-Y	E	径2mm以下の赤色粒含む
237-32		SK481	深鉢	胴	B→LR-T	B	外面に煤状炭化物付着
237-33		SK482	深鉢	胴	B→LR-NO	G	
237-34		SK482	深鉢	胴	LR-NOT	A	
237-35		SK482	深鉢	胴	LR-NS	A	内面に煤状炭化物付着
237-36		SK495	深鉢	胴	RL-NO	F	
237-37	㊸-10	SK496	深鉢	胴	単軸絡条体第1類L-T→ (G?・F)→沈線垂下	F	
237-38	㊸-13	SK496	深鉢	口	LR-Y→刻み目帯状文→ IP	F(P)	
237-39		SK496	深鉢	胴	F→刻み目帯状文?	(E-Y)→F	
237-40	㊸-11	SK496	深鉢	口	LR-Y	H-Y　器表凹凸あり	口唇部丸み
237-41		SK496	深鉢	口	LR-Y	E-Y	口唇部丸み
237-42		SK496	深鉢	胴	LR-S	F	
237-43		SK496	深鉢	胴	RL-S	(B-T)→F	下端擬口縁
237-44		SK496	深鉢	胴	条痕-T→(H-Y)	F(P)	
237-45	㊸-14	SK496	鉢	口	入組三叉文→IP・FP	F	口唇部B突起?
237-46	㊸-15	SK496	浅鉢	口	F→入組三叉文	摩滅	口唇部丸み
238-1	㊸-12	SK500	深鉢	口	口:BP　胴上:I→刻み目帯状文	E	平坦口唇部に小突起
238-2		SK500	深鉢	口	口:I　胴上:A→刺突帯状文	E	口唇部平坦　刺突は爪形
238-3		SK500	深鉢	口	胴上:A→刻み目帯状文	E	口唇部平坦
238-4	㊸-19	SK500	深鉢	胴	A→刻み目帯入組文?	A?	
238-5		SK500	深鉢	胴	刺突帯状文→貼瘤	HP	
238-6	㊸-16	SK500	深鉢	口	口:B　胴上:A→刺突帯状文　胴下:A→LR-Y	E	口唇部丸み
238-7	㊸-17	SK500	深鉢	胴	LR-Y→刺突帯状文→貼瘤	E	刺突は爪形
238-8	㊸-18	SK500	深鉢	胴	I→沈線→小貼瘤	F	
238-9		SK500	深鉢	胴	胴上:E→平行沈線 胴:LR-Y	A→E	径3mm以下の砂粒含む
238-10		SK500	深鉢	胴	F→LR-S	A	
238-11		SK500	深鉢	口	口:B　胴上:RL-Y 胴:RL-S	E	外面に煤状炭化物付着
238-12		SK500	深鉢	胴	A→LR-T	G	
238-13		SK500	深鉢	口	口:B　胴:G→EP	E	口唇部平坦　外面に煤状炭化物付着
238-14		SK500	深鉢	胴	A	A	内面に煤状炭化物付着
238-15		SK500	深鉢	胴下～底	胴下:H　底:G	胴下～底:E	底部高台状
238-16	㊸-20	SK524	深鉢	口	口:E　胴上:E→截痕列 胴:A→LR-Y	G	口唇部小波状
238-17		SK524	深鉢	胴	胴上:平行沈線 胴:A→LR-Y	A	外面に煤状炭化物付着
238-18		SK524	深鉢	胴	胴:LR-Y	G	白色針状物質含む
238-19		SK524	深鉢	胴	A→LR-Y	G	外面に煤状炭化物付着

第111表　南調査区遺構出土土器類観察表(23)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
238-20		SK524	深鉢	胴	A→LR-Y	F	
238-21		SK524	深鉢	胴	B→LR＋R-Z-T	F	
238-22		SK524	深鉢	胴	A→LR-T	E	
238-23		SK524	深鉢	胴	LR＋R-Z-Y	F	
238-24	㊸-21	SK524	鉢	口～胴	口:小波状 胴上:平行沈線→貼瘤・雲形文　胴:LR-Y	胴上:H　胴:IP	内外面に煤状炭化物付着
238-25		SK524	鉢	口	口:小波状 胴上:羊歯状文→IP	EP	
238-26		SK524	鉢	胴	LR-T	F	内面に黒色物質付着
238-27		SK524	鉢	胴	LR-T	FP	内面に煤状炭化物付着
238-28		SK524	浅鉢	口	平行沈線と刺突文	刺突列	円形刺突
238-29		SK524	浅鉢	口	口:小波状　胴上:平行沈線　胴:LR-Y→雲形文?	胴上:刺突列　胴:E	
238-30		SK524	浅鉢	胴	FP→渦巻文?	E	
238-31	㊸-22	SK524	浅鉢	胴	B→LR-Y→雲形文	IP→沈線文	
238-32	㊸-24	SK524	壺	胴	羊歯状文→IP	E	外面に赤色塗彩
238-33		SK524	壺	胴	LR-Y→雲形文	F	白色針状物質含む
238-34	㊸-26	SK524	土偶	胴	A		身体中央に貫通孔　白色針状物質含む
238-35		SK525	深鉢	胴	B→LR-T		内面に煤状炭化物付着
238-36	㊸-23	SK529	深鉢	口	口:B　胴上:E→刺突列	摩滅	平坦口唇に小突起
238-37		SK529	深鉢	胴	胴上:刺突列　胴:LR-Y	F	円形刺突
238-38	㊸-27	SK546	深鉢	口	粘土粒貼付→刺突→F	G-Y・山形三叉文→F	山形波状口縁　波頂部肥厚
238-39		SK546	深鉢	口	F→逆D字刺突列	F	口唇部平坦
238-40		SK546	深鉢	胴	粘土粒貼付→円形刺突・刺突帯状文	摩滅	
238-41		SK546	深鉢	口	F→刻み目帯状文	F	口唇部小山形突起　口唇部平坦
238-42		SK546	深鉢	口～胴上	口:入組帯状文? 胴上:刻み目帯状文	F	
238-43	㊸-28	SK546	深鉢	胴	LR-Y→帯状文・粘土粒貼付→横位沈線	摩滅	
238-44		SK546	深鉢	胴	F→帯状文?	F	
238-45		SK546	深鉢	胴	RL-Y→入組帯状文→F(P)	摩滅	
238-46	㊸-25	SK546	深鉢	胴	帯状文・LR-S→F(P)	F	
238-47		SK546	深鉢	胴	入組帯状文?・LR-Y→F(P)	F(P)	
238-48	㊸-35	SK546	深鉢	口～胴	口:刻み目文　胴:LR-Y	摩滅	口唇部刻み目
238-49		SK546	深鉢	口	LR-Y	F	口縁端部断面舌状をなす
238-50		SK546	深鉢	口	LR-YS	E-Y→FP	口唇部丸み
238-51		SK546	深鉢	胴	B-Y→LR-Y	F	白色針状物質含む
238-52		SK546	深鉢	胴	口:F　胴:LR-Y	F	口縁部外反か
239-1		SK546	深鉢	胴	LR-Y	F	
239-2		SK546	深鉢	胴下～底	胴上:LR-S 胴下:E-TY→(LR-T)	A　ケバ状亀裂あり	
239-3	㊸-29	SK546	深鉢	口	E-N→LR＋R-Z-N	F(P)	口唇部平坦
239-4		SK546	深鉢	口	RL-Y	(G-Y)→F	口唇部やや丸み　口縁端部肥厚
239-5		SK546	深鉢	口	RL-Y	F	口唇部小山形突起
239-6		SK546	深鉢	口	RL-NO	FP	口唇部中央に刻みある瘤貼付
239-7		SK546	深鉢	口	RL-NJ	F-Y(アタリ痕あり)	口唇部平坦
239-8		SK546	深鉢	口	A-Y→F　器表凹凸あり	E-Y　器表凹凸あり	口唇部ほぼ平坦
239-9		SK546	深鉢	口	A→FP　器表凹凸あり	A→FP	ほぼ口唇部平坦　口縁端部肥厚
239-10		SK546	深鉢	口	A→F(P)	F	口唇部丸み
239-11		SK546	深鉢	口	A	F	口唇部丸み
239-12		SK546	深鉢	底	胴下:F　底:(B)→F	摩滅	底部輪高台状
239-13		SK546	深鉢	底	胴下:FP　底:G→F	A	
239-14		SK546	鉢	口	平行沈線3条	F	
239-15	㊸-30	SK546	鉢	口	LR-S→帯状文	摩滅	中央がくぼむ波状口縁
239-16		SK546	壺	口	口:LR-Y　胴上:IP-Y?	摩滅	口縁部内湾　口唇部丸み
239-17		SK546	壺?	胴	楕円形?隆線貼付→沈線	A	
239-18		SK546	土製耳飾		摩滅	F	
239-19		SK546	土製耳飾		F	IP-Y	

第112表　南調査区遺構出土土器類観察表(24)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
239-20		SK546	土製耳飾		F	F	小破片
239-21	㉝-34	SK547	深鉢	胴	単軸絡条体第1類r-T	摩滅	
239-22		SK547	注口土器?	口	口:2個1組の突起 胴上:摩滅	A	径3mm以下の砂粒含む
239-23		SK548	注口土器	注口	IP・F→下半基部沈線文→貼瘤	A	
239-24		SK552	深鉢	口	LR-Y	FP	口唇部かすかに丸み
239-25		SK552	深鉢	胴	LR-Y	FP	赤色粒含む
239-26		SK552	深鉢	胴	LR+R-Z-Y	FP	白色針状物質含む
239-27		SK552	深鉢	胴	単軸絡条体第1類R-T	F	SR570埋設土器と同一個体
239-28		SK552	深鉢	底	摩滅	F	平底　上端外形擬口縁
239-29		SK552	鉢	胴	LR-Y→雲形文?→IP	F(P)	
239-30	㉝-31	SK552	浅鉢	口	LR-Y→平行沈線2条・雲形文→IP	FP	口唇部抉りのある突起2 口縁端部内側隆帯状に肥厚
239-31		SK553	深鉢	胴	LR-Y	F	
239-32		SK553	深鉢	胴	F(P)	F(P)	
239-33	㉝-33	SK555	深鉢	口	口:小波状　胴上:截痕列 胴中:縄文	G	白色針状物質含む
239-34	㉝-32	SK555	深鉢	口	口:E　胴:A→LR-Y	摩滅	口唇部丸み　内面に赤色粒突出
239-35		SK555	深鉢	胴	F→LR-Y	E	
239-36		SK555	深鉢	胴	A→LR-Y	A	
239-37		SK555	深鉢	胴	A→LR-Y	A	外面に煤状炭化物付着
239-38		SK555	深鉢	胴	A→LR-S	A	外面に煤状炭化物付着
239-39		SK555	深鉢	胴	単軸絡条体第1類r-T?	摩滅	
239-40		SK555	鉢	胴	胴上:羊歯状文? 胴下:LR-Y	F	内外面に煤状炭化物付着
239-41		SK555	鉢	胴	胴上:入組文→IP	B	白色針状物質含む
239-42		SK558	深鉢	口	刺突帯状文	E-Y	口唇部瘤状突起2個付く 口唇部丸み
239-43		SK558	深鉢	口	F→帯状文?・ボタン状貼瘤	F	口縁端部外側肥厚　口唇部丸み
239-44		SK558	深鉢	口	LR-Y→帯状文	F	白色針状物質含む　口唇部丸み
239-45		SK558	深鉢	胴	LR-Y→帯状文	A→F(P)	
239-46		SK558	深鉢	胴	LR-S→帯状文	F	
240-1		SK558	深鉢	口	LR-T	E-Y	口唇部平坦
240-2		SK558	深鉢	口～胴	口～胴:RL・LR-Y(非結束)	F(P)	赤色粒含む　口唇部丸み
240-3		SK558	深鉢	胴	単軸絡条体第1類R-T	F	上端擬口縁　Ⅲa群
240-4		SK558	深鉢	底	摩滅	摩滅	底部輪高台状
240-5		SK558	深鉢	底	胴下:A 底:A(指頭圧痕あり)	A	底部輪高台状
240-6		SK558	鉢	口～胴	口:入組三叉文 胴:LR-Y	FP	口唇部の刻み目により低波状口縁状をなす
240-7		SK558	鉢?	底	A	F	底部輪高台状
240-8		SK558	浅鉢	口～胴	口:平行沈線・刻み目文→IP　胴:LR-Y→雲形文・縦長突起→IP	口:浅い水平沈線1状→IP-Y　胴上:IP-Y 胴中:IP-T	口唇部B突起
240-9		SK558	浅鉢	口～底	口:類魚眼三叉文 胴:IP?(摩滅)　底:摩滅	口～底:FP?	内面黒色物質付着
240-10		SK567	深鉢	口	IP→刻み目帯状文	A　器表凹凸・ケバ状亀裂あり	口唇部頂部に刻みある小山形突起付く　口唇部丸み
240-11		SK567	深鉢	胴	H(P)-Y→刻み目帯状文	H-Y	
240-12		SK567	深鉢	口	刻み目帯状文?・IP	FP	
240-13		SK567	深鉢	胴	F→RL-N	E-NY	
240-14		SK567	深鉢	胴	L-Y→(A)	FP	
240-15		SK567	深鉢	口	F　器表凹凸あり	B-Y→F	口唇部丸み
240-16		SK567	浅鉢	口	雲形文?	F	口唇端部肥厚　口唇部三叉様の刻み
240-17		SK572	浅鉢	口～底	口～胴:(B-T)・A 底:摩滅	口～底:F(P)	口唇部尖り気味
240-18		SK576	深鉢	胴	B→刻み目帯状文	G	
240-19		SK576	深鉢	胴	円形刺突列	G	
240-20		SK576	深鉢	胴	E→LR-T→平行沈線	F	

第113表　南調査区遺構出土土器類観察表(25)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
240-21		SK576	深鉢	口	口:B　胴:G→LR-Y	F	口唇部平坦　内外面に煤状炭化物付着
240-22		SK576	深鉢	胴	E→LR-Y	A	
240-23		SK576	深鉢	胴	E→LR-T	A	
240-24		SK576	深鉢	胴	E→LR-S	A	内面に赤色粒突出
240-25		SK576	深鉢	胴	G	G	内面に赤色粒突出
240-26		SK576	壺	胴	LR-Y	胴上:G　胴下:EP	径1mmの白色砂粒含む
240-27		SK580	深鉢	胴	隆線貼付→隆線上横位短沈線・F	F	
240-28		SK580	深鉢	胴	RL-TS→帯状文?・中央に刺突あるボタン状貼瘤	E・F(P)-Y	
240-29		SK580	深鉢	口	LR-Y	E・F-Y	口唇部ほぼ平坦
240-30		SK586	深鉢	底	摩滅	摩滅	
240-31		SK586	土製耳飾		摩滅	A-Y	
240-32		SK589	深鉢	口	LR-Y→(刻み目)帯状文→IP・貼瘤	IP-Y	白色針状物質・赤色粒含む　口唇部3個1組の瘤状小突起付く　補修孔あり
240-33		SK589	深鉢	口	刻み目帯状文→貼瘤	FP	
240-34		SK589	深鉢	胴	LR?-S→帯状文?→貼瘤?	摩滅	
240-35		SK589	深鉢	胴?	LR?-S→帯状文?	摩滅	
240-36		SK589	深鉢	口	LR-T	E・F-Y	口唇部平坦
240-37		SK589	深鉢	口	単軸絡条体第5類R-T	H(P)-Y	赤色粒含む　口縁部外反　口唇部丸み　Ⅲa群
240-38		SK589	鉢	台	刻み目帯状文→貼瘤	摩滅	
240-39		SK589	鉢	口～胴	LR-Y	F(P)	口唇部ほぼ平坦
241-1	⑥1-5	SK591	壺	頸～底	頸:FP　胴上:LR-T→楕円文→小貼瘤　胴下:FP　底:F	頸:H　胴:E	底部小高台状
241-2	⑥1-2	SK591	壺	口～底	口:B　頸:HP　胴上:R-Y　胴下:F　底:F	頸:E　胴:E	
241-3		SK598	深鉢	口	F→刻み目入組帯状文	B-Y→FP	
241-4		SK598	深鉢	口	RL-Y→帯状文→FP	摩滅	口唇部山形突起付く
241-5		SK598	鉢	口～胴	口:刻み目文→IP　胴:LR-Y	FP	
241-6		SK598	深鉢	口～胴上	口:刻み目帯状文　胴上:LR-Y	摩滅	
241-7		SK598	深鉢	口	A-N→LR-Y	F(P)	口唇部ほぼ平坦
241-8		SK598	深鉢	口	A-YT→LR-Y	H(P)-YT	赤色粒含む　口縁端部外側粘土かすかにはみ出し　口唇部ほぼ平坦
241-9		SK598	深鉢	口	LR-YS	E・F-Y	赤色粒含む　口唇部丸み
241-10		SK598	深鉢	口	LR-T	E(P)-Y	口唇部ほぼ平坦
241-11		SK598	深鉢	口	LR-S	H-Y	口縁端部外側に粘土はみ出し　口唇部平坦
241-12		SK598	深鉢	口	A→F(P)	F	口唇部摩滅
241-13		SK598	深鉢	底	摩滅	摩滅	底部上げ底
241-14		SK598	土製耳飾		A	表面剥落　指頭圧痕あり	
241-15		SK636	深鉢	胴	平行沈線	F	外面に煤状炭化物付着
241-16		SK636	深鉢	胴	LR-Y→平行沈線	E	
241-17		SK636	深鉢	胴	RL-Y	E	
241-18		SK636	深鉢	胴	RL-Y	E	
241-19		SK642	深鉢	胴	単軸絡条体第1類r-T	摩滅	
241-20		SK656	深鉢	口	口下:FP→刺突帯状文　胴上:FP→帯状文→LR-Y	F	
241-21		SK656	深鉢	口	帯状文	F	
241-22		SK656	深鉢	口	入組帯状文?	F(P)	
241-23		SK656	深鉢	口	LR-Y→帯状文→F(P)	(G-Y)→FP	
241-24		SK656	深鉢	口	LR-S?→帯状文(細沈線)	A・F	
241-25		SK656	深鉢	口	LR-Y?	B-Y→?(摩滅のため不明)	赤色粒含む　口唇部かすかに丸み
241-26		SK656	深鉢	口	F(P)→LR-NO	G-Y→FP	口唇部ほぼ平坦
241-27		SK656	深鉢	口	F(P)→LR-Y	E・F(P)-Y	口唇部平坦
241-28		SK656	深鉢	口	LR-Y	G-Y→F(P)	口唇部平坦
241-29		SK656	深鉢	口	LR-Y	FP	口唇部平坦
241-30		SK656	深鉢	口	F→LR-Y	E・FP-Y	口唇部かすかに丸み

第114表　南調査区遺構出土土器類観察表(26)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
241-31		SK656	深鉢	胴	F(P)→LR-Y	FP	赤色粒含む
241-32		SK656	深鉢	胴	LR+R-Z-Y	摩滅	
241-33		SK656	深鉢	胴	RRL?-T	EP-N	
241-34		SK659	深鉢	口	口:B　胴:A→LR-Y	F	口唇部平坦　外面に煤状炭化物付着
241-35		SK659	壺	口	口:F　頸～胴上:HP	頸～胴上:H?	口唇部丸み　外面赤色塗彩の痕跡
241-36		SK660	深鉢	胴	LR-Y	F	内面に煤状炭化物付着
241-37		SK660	鉢	胴～底	胴上:LR-S　胴下:A 底:G	胴上:G　胴下～底:G	内外面に煤状炭化物付着
241-38		SK660	浅鉢	胴	LR-Y→雲形文→H	FP	
242-1		SK661	深鉢	口	口:BP　胴上:H→平行沈線　胴中:LR-T	F	口唇部平坦
242-2		SK661	深鉢	胴	A→LR-Y	B	白色針状物質含む
242-3		SK661	鉢	口	口:小波状　胴上:截痕列 胴中:摩滅	B	
242-4		SK676	深鉢	口	刻み目帯状文	F	
242-5		SK676	深鉢	口	LR-Y	E・F-Y	口唇部ほぼ平坦
242-6		SK698	深鉢	胴	LR-Y?	F	
242-7		SK698	深鉢	口	E?-Y	FP	口唇部平坦　口縁端部内側に粘土はみ出し
242-8		SK698	深鉢	底	F	F	赤色粒含む
242-9		SK2076	深鉢	胴	A→LR-Y	A	外面に煤状炭化物付着
242-10		SK2076	深鉢	胴	LR-Y	A	
242-11		SK2076	深鉢	胴	LR-T	G	
242-12		SK2076	深鉢	胴	A→LR-N・S	A	
242-13		SK2076	深鉢	底	摩滅	摩滅	
242-14		SK3013	深鉢	胴	胴上:刺突列　胴中:H	胴上:E　胴中:G	外面に煤状炭化物付着
242-15		SK3013	深鉢	口～胴	口:F　胴上:LR-Y 胴下:LR-Y・S	胴:B	口唇部平坦　外面に煤状炭化物付着
242-16		SK3013	深鉢	口	口:BP　胴:LR-Y	胴:G	口唇部丸み　外面に煤状炭化物付着
242-17		SK3013	深鉢	胴	B→LR-Y	B	
242-18		SK3013	深鉢	胴	B→LR-Y	F	
242-19		SK3013	深鉢	胴	LR-S	B	
242-20		SK3013	鉢	口	口:F 胴上:刻み目帯入組文	BP	口唇部丸み
242-21		SK3019	深鉢	口	刻み目帯状文・中心に刺突ある貼瘤	E-Y	低波状口縁　口縁端部内側かすかに肥厚　口唇部丸み
242-22		SK3019	深鉢	口	LR-Y→入組帯状文→H	E-Y	口唇部山形突起付く
242-23		SK3019	深鉢	口	LR-Y→帯状文→H	F(P)	口唇部山形突起付く
242-24		SK3019	深鉢	口	G・F-Y	LR-Y	口唇部丸み
242-25		SK3019	深鉢	口	LR-T?	A-Y→F	口唇部丸み
242-26		SK3028	深鉢	胴	B→刻み目帯状文	F	外面に煤状炭化物付着
242-27		SK3028	深鉢	口	口:H　胴:E→LR-Y・S	E	口唇部平坦
242-28		SK3028	深鉢	胴	LR-Y	E	
242-29		SK3028	深鉢	胴	B→LR-NO	G	
243-1		SK3030	鉢?	底	胴下:F(P)　底:A	底:F(P)	台付く　台破損部に黒色物質付着
243-2		SK3030	土製耳飾		H	H(P)	端部外側肥厚
243-3		SK3030	土製耳飾		摩滅	摩滅	
243-4	㊽-1	SK3037	深鉢	口縁突起	鰭尾状突起に横位の刻み目	D	
243-5	㊽-2	SK3037	深鉢	口	口:B　胴上:H 胴中:H→LR-Y	胴上:H　胴中:E	口唇部平坦　白色針状物質含む
243-6		SK3037	深鉢	胴	LR-NO	G	
243-7		SK3037	深鉢	胴～底	胴中:LR-S　胴下:G 底:F	胴中:F　胴下:E　底:G	
243-8		SK3037	深鉢	胴	RL-Y	F	外面に煤状炭化物付着
243-9		SK3037	鉢	胴	胴上:3条の平行沈線 胴中:LR-Y・S　胴下:2条の平行沈線　底:G	胴上～中:H　胴下～底:F	白色針状物質含む
243-10		SK3037	鉢	胴	LR-T	C	白色針条物質含む
243-11		SK3037	鉢	胴下	LR+R-Z-Y	F	内面に煤状炭化物付着 白色針状物質含む
243-12	㊽-3	SK3037	浅鉢	口	口:F?　胴上:羊歯状文	I?	口唇部丸み
243-13	㊽-4	SK3037	浅鉢	口	口:小波状にB突起　胴上:截痕列　胴中:雲形文→IP	胴上:沈線→IP　胴中:IP	

第115表　南調査区遺構出土土器類観察表(27)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
243-14	㊽-5	SK3037	浅鉢?	胴	入組三叉文→HP	E	
243-15		SK3037	注口土器	注口	入組文	摩滅	
243-16		SK3062	深鉢	口	口:B 胴上:A→刻み目帯状文	A	口唇部平坦
243-17		SK3062	深鉢	口	口:摩滅　胴上:B→沈線→刻み目帯状文	A	
243-18		SK3062	深鉢	口	口:E　胴上:刻み目→貼瘤　胴中:I→平行沈線	胴上:E　胴中:F	口唇部平坦
243-19		SK3062	深鉢	口	口:B→山形状突起 胴上:LR-Y→入組帯縄文→貼瘤	A	口唇部平坦　内外面に径1mmの砂粒突出
243-20	㊽-6	SK3062	深鉢	胴	A→沈線→刺突列	F	外面に煤状炭化物付着
243-21		SK3062	深鉢	胴	LR-Y→帯縄文?→小貼瘤	A	外面に煤状炭化物付着
243-22	㊽-7	SK3062	深鉢	胴	LR-Y→入組帯状文	FP	径1mmの白色砂粒含む
243-23		SK3062	深鉢	胴	LR-Y→入組帯状文		
243-24	㊽-8	SK3062	深鉢	口	口:円形突起と円筒状突起　胴:摩滅	摩滅	口唇部平坦
243-25		SK3062	深鉢	口	口:B→貼瘤状小突起 胴上:E	A	口唇部丸み
243-26		SK3062	深鉢	口	口:E　胴上:G→LR-Y	A	口唇部丸み
243-27		SK3062	深鉢	口	口:FP　胴上:RL-Y・RL-T(羽状縄文)	A?	口唇部丸み　内面に煤状炭化物付着
243-28		SK3062	鉢?	口	口:貫通孔有り	摩滅	
243-29		SK3062	土製耳飾		摩滅	BP	径1～2mmの砂粒含む
243-30	㊽-9	SK3063	深鉢	胴	A→LR-T	E	
243-31		SK3063	深鉢	胴	A→RL-NO	G	外面に煤所炭化物付着 径3mm以下の砂粒含む
243-32		SK3063	深鉢	胴	A→RL-TS	E	外面に煤状炭化物付着 内外面に径2mmの砂粒突出
243-33		SK3064	深鉢	胴	A→RL-Y	A	
243-34		SK3064	深鉢	胴	G→RL-NOT	A	
243-35		SK3064	深鉢	胴	G	G	外面に煤状炭化物付着
243-36		SK3064	台付鉢	台	E	A	
243-37		SK3110	深鉢	口	口:IP　胴:A→LR-Y→入組文?→貼瘤	F	
243-38		SK3110	深鉢	胴	刻み目入組帯状文	FP	
243-39		SK3110	深鉢	胴	FP→沈線	E	
243-40		SK3110	台付鉢	台	摩滅	A	内面に径2mm以下の砂粒突出
243-41	㊽-10	SK3126A	深鉢	口	RL-Y→刻み目入組帯状文	F	波状口縁　口縁端部外側刻み目　口唇部丸み
243-42	㊽-11	SK3126A	深鉢	口	H(P)-Y→刻み目入組帯状文	FP	
243-43		SK3126A	深鉢	口	LR-Y	E-Y→FP	口唇部台形突起付く
243-44		SK3126A	深鉢	口	B-Y→LR-Y	A→FP-Y	口唇部頂部2山に分かれた台形突起と低山形突起付き波状口縁状をなす　補修孔あり
243-45		SK3126A	深鉢	口～胴	口:LR-Y　胴:IP-Y	口:FP　胴:G-Y	赤色粒含む　口唇部頂部が二股に分かれた山形突起と低山形突起付き低波状口縁状をなす
244-1		SK3126A	深鉢	口～胴	LR-Y	B-N	口唇部かすかに丸み
244-2	㊽-13	SK3126A	深鉢	口	口:LR-Y　胴上:LR-YT	A→F(P)-Y	口縁端部かすかに肥厚 口唇部丸み
244-3		SK3126A	深鉢	口	LR-Y	F(P)(ケバ状亀裂あり)	口唇部頂部3山に分かれた台形突起と低山形突起付き波状口縁状をなす
244-4	㊽-12	SK3126A	深鉢	口	B→F(P)-Y	FP	口唇部丸み
244-5	㊽-14	SK3126A	鉢	口～胴上	口:羊歯状文 胴上:LR-Y	FP	口唇部B突起付く　口唇部刻み目
244-6		SK3126A	鉢	胴下～台	胴下～台:摩滅　底:B	胴下～底:摩滅	赤色粒含む
244-7		SK3126A	浅鉢	台	摩滅	摩滅	台部内面～下端および外面の一部に黒色物質付着
244-8		SK3126A	注口土器	口	鍔状隆帯・山形三叉文	摩滅	口唇部台形突起付く
244-9	㊽-15	SK3126A	壺?	胴	胴上:LR-YS・渦巻文?→FP　胴下:FP	胴:H(P)-YT	
244-10		SK3126A	土製耳飾		F	摩滅	

第116表　南調査区遺構出土土器類観察表(28)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
244-11	㊽-16	SK3127	深鉢	口	F→刻み目帯状文	摩滅	口唇部小瘤状突起付く
244-12	㊽-17	SK3127	深鉢	口	刻み目入組帯状文	摩滅	
244-13	㊽-18	SK3127	深鉢	胴	刻み目帯状文	摩滅	
244-14		SK3127	深鉢	口	連弧状隆線?→刻み目	F	口唇部筒状小突起付く
244-15		SK3127	深鉢	口	LR?-Y・帯状文	摩滅	口唇部頂部に刻み目ある台形突起付く
244-16	㊽-19	SK3127	深鉢	口	条痕-YN	E-Y→F(P)	口縁端部外側かすかに肥厚 口唇部丸み
244-17		SK3127	鉢	口	羊歯状文	摩滅	口唇部B突起付く
244-18		SK3127	土製耳飾		摩滅	摩滅	
244-19		SK3127	土製耳飾		摩滅	摩滅	
244-20		SK3127	土製耳飾		摩滅	摩滅	
244-21		SK3128	深鉢	胴	HP→刻み目帯状文	E	
244-22		SK3128	深鉢	口	口:A→小山形状突起 胴:G→LR-Y	A	口唇部丸み　外面に煤状炭化物付着
244-23		SK3128	深鉢	口	口:H　胴上:LR-Y	A	口唇部平坦　外面に煤状炭化物付着
244-24		SK3128	深鉢	口	口:H　胴上:A→RL-Y?	G	口唇部平坦
244-25		SK3128	深鉢	胴	A→LR-Y	A→E	径3mm以下の白色砂粒含む
244-26		SK3128	深鉢	胴	A→RL-Y・N	A	外面に煤状炭化物付着
244-27		SK3128	深鉢	胴	LR-T?	摩滅	外面に煤状炭化物付着
244-28	㊽-20	SK3128	鉢	口	口:小山形状突起 胴上:E	E	
244-29		SK3128	壺	口	口:F?　頸:A	頸:G	口唇部丸み
244-30		SK3128	土製耳飾		IP	IP	
244-31		SK3129	深鉢	口	口:B　G→RLR-Y	胴:摩滅	口唇部平坦　口縁肥厚
244-32		SK3129	深鉢	胴	LR-Y	G	
244-33		SK3129	深鉢	胴	C→LR-T	EP	内面に径2mm以下の砂粒突出
244-34		SK3129	深鉢	胴	G→LR-NO	摩滅	外面に煤状炭化物付着
244-35		SK3129	深鉢	胴	A→LR-S	摩滅	外面に煤状炭化物付着
244-36		SK3129	深鉢	口	口:B　胴上:G→E	A	口唇部丸み　内面に輪積痕明瞭
244-37		SK3129	深鉢	底	胴下:A?　底:摩滅	胴下～底:摩滅	底部高台状
244-38		SK3133	深鉢	胴	F→RL-NO	A	外面に煤状炭化物付着
244-39		SK3133	鉢	口	口:B→小山形状突起 胴上:A	胴上:E	
244-40	㊽-25	SK3135	深鉢	胴	E→RL-Y→入組帯状文	D	
244-41		SK3140	深鉢	口	LR-Y	E-Y	口唇部ほぼ平坦
245-1	㊽-21	SK3147	深鉢	口	口:G　胴:LR-Y	胴:摩滅	口唇部丸み　外面に煤状炭化物付着
245-2		SK3147	深鉢	口	口:EP　胴上:LR-Y	A	径2mm以下の赤色粒含む
245-3		SK3147	深鉢	胴	LR-T	G	内面に煤状炭化物付着
245-4		SK3147	深鉢	胴	A→LR-NO	D→E	
245-5		SK3147	深鉢	胴	LR-NO	A	外面に煤状炭化物付着
245-6		SK3147	深鉢	胴	A→LR-NO	G	内面に輪積痕明瞭
245-7		SK3147	深鉢	胴	RL-Y	A	
245-8		SK3147	壺	胴	A→RL-Y	E	
245-9	㊽-23	SK3149	深鉢	口	F→刺突文	摩滅	口唇部瘤状小突起
245-10	㊽-22	SK3149	深鉢	口	刻み目帯状文	摩滅	口唇部頂部に円形刺突ある筒状突起付く
245-11	㊽-24	SK3149	壺	口～胴上	口:摩滅　胴上:LR-Y?	摩滅	口縁部外反　口唇部平坦
245-12		SK3149	土製耳飾		摩滅	摩滅	
245-13	㊽-26	SK3157	深鉢	口	A→2個の盲孔	A	波状口縁　内外面に煤状炭化物付着
245-14	㊽-27	SK3157	深鉢	口	口:IP　胴上:LR-Y 胴中:LR-NO	F	
245-15		SK3157	深鉢	胴	A→LR-NO	F	
245-16	㊽-33	SK3157	深鉢	胴	A→単軸絡条体第1類r-T	F	
245-17		SK3157	台付鉢?	台	胴下:A　底:G	胴下:G	内面に煤状炭化物付着
245-18	㊽-32	SK3171	深鉢	胴	刻み目帯入組文	E?	
245-19		SK3171	深鉢	胴	LR-Y	F	
245-20		SK3171	深鉢	胴	E→L-Y		内面に煤状炭化物付着
245-21		SK3171	深鉢	胴	LR-T	A	
245-22		SK3171	深鉢	胴	A→LR-NO	F	内面に煤状炭化物付着
245-23	㊽-31	SK3172	深鉢	口	口:E　胴上:A 胴中:RL-NOS	G	口唇部平坦　外面に煤状炭化物付着
245-24		SK3172	深鉢	胴	F→LR-NO	A	内面にケバ状亀裂

第117表　南調査区遺構出土土器類観察表(29)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
245-25		SK3172	深鉢	胴	F→LR-Y	F	
245-26		SK3172	深鉢	胴	LR-T	C	外面に煤状炭化物付着
245-27		SK3172	深鉢	胴下～底	胴下:A? 底:A	胴下～底:F	径1mmの白色砂粒含む
245-28	㊽-28	SK3180	深鉢	口	口:IP→刻みのある山形状突起 胴:IP→LR-Y→帯状文?	胴:G	口唇部平坦
245-29	㊽-29	SK3180	深鉢	胴	F→刻み目帯入組文	摩滅	
245-30	㊽-30	SK3180	深鉢	口	LR-T	G	外面に煤状炭化物付着
245-31		SK3180	深鉢	胴	LR-Y	摩滅	外面に煤状炭化物付着
245-32		SK3180	深鉢	胴	F→LR-Y・S		内面に煤状炭化物付着
245-33		SK3180	深鉢	胴	RL-Y	E	
245-34		SK3180	台付浅鉢	台	胴下～台:IP 底:A→E	胴下～台:F	
245-35		SK3180	壺	頸～胴上	頸:E→列点文のある隆帯 胴上:E	B→G	
245-36		SK3188	深鉢	口	口:B→刻みのある山形状突起 胴:IP→LR-Y→入組帯状文	A	口唇部平坦
245-37		SK3188	深鉢	胴	胴:LR-T→平行沈線	EP	外面に煤状炭化物付着
245-38		SK3188	深鉢	口	口:B 胴上:刻み目帯 胴中:LR-Y→帯状文→小貼瘤	E	口唇部丸み
245-39		SK3188	深鉢	胴	A→刻み目帯状文・オオバコ回転文→入組帯状文	G	
245-40		SK3188	深鉢	胴	IP→RL-Y→入組帯状文	摩滅	
245-41		SK3188	深鉢	胴	胴:LR-T→沈線	F	
246-1		SK3188	深鉢	口	口:F? 胴上:LR-T	胴上:G	口唇部丸み 外面に煤状炭化物付着
246-2		SK3188	深鉢	胴	E→LR-Y	E	内面に煤状炭化物付着
246-3		SK3188	深鉢	胴	LR+R-Z-T	C→EP?	径3mm以下の砂粒含む
246-4		SK3188	深鉢	口	口:E 胴上:A→RL-Y	A	口唇部平坦
246-5		SK3188	深鉢	胴下～底	胴下:RL-Y? 底:F	胴下～底:G	底部低高台状
246-6		SK3188	深鉢	口	口:B 胴上:E	胴上:G	外面に煤状炭化物付着
246-7		SK3188	深鉢	胴	G	A	内面に煤状炭化物付着
246-8		SK3188	壺	胴	胴上:列点文 LR-Y→帯状文 胴下:LR-Y	C	内外面に煤状炭化物付着
246-9		SK3188	注口土器	胴	F→貼瘤	A	
246-10		SK3232	深鉢	口	刻み目帯状文	F	頂部刻み目ある山形突起
246-11		SK3232	深鉢	口	RL-Y?・入組帯状文	摩滅	口唇部頂部二股に分かれた山形突起付く
246-12		SK3232	深鉢	口	F(P)・B-T→LR-S	F	口唇部かすかに丸み
246-13		SK3232	深鉢	口	F(P)→LR-NO	B・F-Y	口唇部平坦
246-14		SK3232	深鉢	口	LR-S	G・E-Y	口唇部かすかに丸み
246-15		SK3232	深鉢	口	LR+R-Z-Y	摩滅	口唇部丸み
246-16		SK3232	注口土器	口	貼瘤ある隆線上横位短沈線→IP	F	口縁部内傾
246-17		SK3237B	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部丸み 口縁端部内側に肥厚
246-18		SK3251	深鉢	胴	LR-NO	摩滅	
246-19		SK3251	鉢	胴	口縁部と胴部の区画沈線	摩滅	
247-1	㊷-1	SR35	深鉢	胴～底	胴上:B-NY→LR+R-Z-N 胴下:(G-Y)→HP 底:D・F	胴上:A-NY→FP-NT 胴下:FP-T 底:A 胴部アタリ痕あり	白色針状物質含む
247-2		SR35	深鉢	底	摩滅	F	白色針状物質含む
247-3		SR35	鉢	口～胴	口:平行沈線2条 胴:IP-Y	IP-Y	口唇部摩滅
247-4	㊷-2	SR36	深鉢	胴～底	胴:B-NT→LR-Y 底:F	F-YN(器表かすかに凹凸あり)	
247-5		SR36	深鉢	口	LR-Y	E-Y	口唇部平坦
248-1		SR37	深鉢	胴～底	胴中:A-Y→LR-Y 胴下:F-Y 底:摩滅	A-N→H(P)-N(ケバ状亀裂あり)	
248-2		SR38	深鉢	胴～底	胴中:B-N・F→LR-T 胴下:H-Y 底:H	胴中:F 胴下:F・G-Y 底:F	
248-3	㊷-3	SR39	深鉢	胴～底	胴中:B-T→RL-Y 胴下:E-Y→RL-Y→G-Y→HP-Y 底:E・F	胴～底:F	
248-4		SR39	深鉢	口～胴	口:LR-Y 胴:LR-NO	口:HP-Y 胴:E-TY・F	口唇部丸み
249-1	㊷-4	SR40	深鉢	口～底	口:LR-YS 胴上:LR-YS 胴下:LR-Y→F 底:摩滅	口～胴:HP-N 底:摩滅	

第118表 南調査区遺構出土土器類観察表(30)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
249-2	⑫-5	SR40	深鉢	口～底	口:LR-Y 胴上:E-N→LR-YT 胴下:F　底:摩滅	口:EF-NY　胴上:EF-NY 胴下:F　底:F	
249-3		SR40	深鉢?	口	口縁部下端水平沈線 口縁部対向する横長方形～三角形沈線	A	波状口縁　口縁部波頂部突起気味に肥厚
249-4		SR40	深鉢	口	LR-Y・帯状文	F(P)	波状口縁　口唇部丸み
249-5		SR40	鉢?	胴下	LR-S	FP	
249-6		SR40	土製耳飾		F	F(P)	破片　約1/4残
250-1	⑫-6	SR41	深鉢	胴～底	胴下:LR-Y　底:F	胴下:E・FP-Y　底:摩滅	
250-2		SR41	深鉢	胴・底	胴中:E・A-N→LR-Y　胴下:E-Y→F-Y　底:B・E・F	胴上:FP　胴下:(A-Y)→FP　底:BP	赤色粒含む　炭化物付着なし
250-3		SR42	深鉢	胴～底	胴中:B-T→LR+R-Z?-Y 胴下:B-T→IP-Y　底:A	胴:A→E-Y　底:A	縄文原体Lの可能性あり
250-4	⑬-1	SR43	深鉢	口～底	口～胴:LR-Y　底:F	口:FP-Y　胴～底:F	白色針状物質含む　口唇部丸み
250-5		SR43	深鉢	口	RL-Y・帯状文	F	
250-6		SR43	深鉢	口	RL-Y	F(P)-Y	口唇部かすかに丸み
250-7		SR43	深鉢	胴	LR-Y・R-Z-Y	摩滅	
250-8		SR43	深鉢	胴	RL-NJ	E-Y	
250-9		SR43	深鉢	胴	LR+R-Z-T	A・F-Y	
250-10		SR43	深鉢	口	F	F	口唇部かすかに丸み
250-11		SR43	深鉢	底	摩滅	F	
250-12		SR43	甕	胴	平行タタキ目	F	須恵器
250-13		SR43	鉢	口	FP	FP	口唇部平坦
251-1	⑬-2	SR44	深鉢	口～底	口:B-T→RL+R-YT 胴:E-Y→RL+R-Y 底:F	口:E(P)-Y　胴上:E-Y	口唇部丸み　補修孔あり
251-2		SR44	深鉢	口～胴上	口:平行沈線・突起中央に三角形状の沈線→LR-Y→上位平行沈線内IP 胴上:入組部に円形刺突ある入組帯状文・LR-Y→IP	F	中央に押圧状刻みある突起が口唇部に付く　251-5と同一個体の可能性
251-3		SR44	鉢	口	刻み目文→IP	FP	口縁部外反　口唇部小突起
251-4		SR44	深鉢	胴	LR-Y→不整沈線文	F	
251-5		SR44	深鉢?	台	胴台境界:IP-Y　台:FP 底:A	底:A	251-2と同一個体の可能性
251-6		SR44	壺?	口	F(P)	F(P)	口唇部平坦
251-7	⑬-3	SR45	深鉢	胴～底	胴中:LR-S　胴下:(LR-S)→A-T→IP-Y　底:B・F	胴:FP　底:F	赤色粒含む　底部輪高台状
251-8		SR45	深鉢	口	LR-Y	FP	口唇部丸み
252-1		SR46	深鉢	口～底	口:LR-Y 胴上～中:B-T→LR-S 胴下～底:摩滅	口～胴中:FP・GP-Y(ケバ状亀裂あり) 胴下～底:摩滅	赤色粒含む　口唇部丸み
252-2		SR46	深鉢	口	F→LR-YT	FP-Y(ケバ状亀裂あり)	赤色粒含む　口唇部丸み
252-3		SR48	深鉢	口・胴中～底	口:L-Y　胴中:E-NT→L-Y　胴下:E-Y→L-Y 底:摩滅	口:F(P)　胴中～下:A・B-Y→F　底:B	白色針状物質含む　口唇部丸み　底部平底
253-1		SR49	深鉢	口～底	口:LR-Y　胴上:LR-S 胴下～底:摩滅	口～胴上:F(P)　胴下～底:F	白色針状物質含む　口唇部ほぼ平坦
253-2		SR49	深鉢	胴	LR-S	F	
253-3		SR49	深鉢?	胴	L-S	E-N→FP	
253-4	⑬-4	SR53	深鉢	口～底	口～胴上:E・B-T→LR-Y(→E-Y)　胴下:E-YN 底:E	口～胴上:E-Y 底:E	赤色粒含む　口唇部丸み
253-5	⑬-5	SR53	深鉢	口～底	口:E-Y→LR-T→r-Z-T 胴上:E-T→LR-TN→r-Z-T　胴下:E-Y　底:F	口:FP-Y 胴上:E-Y→FP-Y	赤色粒含む　口唇部平坦
253-6		SR53	深鉢	口	LR-Y→帯状文→FP→貼瘤	F→(HP)	
253-7		SR53	深鉢	口	口縁端部指頭圧痕→RL-Y	E(P)-Y	口唇部平坦　口縁端部粘土帯剥落
253-8		SR53	深鉢	底	摩滅	摩滅	底部かすかに上げ底
253-9		SR53	鉢	台	台:HP-Y　底:F(P)	F(P)	
254-1	⑬-6	SR63	深鉢	胴～底	胴中:B-N→LR-Y 胴下:G-Y→FP　底:FP	胴～底:F	

第119表　南調査区遺構出土土器類観察表(31)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
254-2		SR63	深鉢	口	LR-Y	E-Y	口唇部かすかに丸み
254-3		SR66	深鉢	口～底	口:F 胴:EP-Y 底:B・E	口:E-Y 胴:E-N 底:摩滅	口唇部丸み
255-1	㊹-1	SR72	深鉢	口～底	口:C・E-Y→LR-YT 胴上:C・E-YT→LR-T→(HP-T) 胴下:(C・E-T)→E-Y 底:摩滅	口:E-Y→FP 胴上:E-YN→F 胴下:F? 底:F	口唇部平坦 底部輪高台状
255-2	㊹-2	SR75	深鉢	口～底	口:E-Y→LR-Y 胴上:E-Y→LR-S 胴下:G-Y→HP 底:B→HP	口～胴上:(E-N)→F 胴下:F 底:F	
256-1	㊹-3	SR75	深鉢	口～胴	口:B-N→(F)→LR-Y 胴:B-N→(F)→LR-S	FP	
256-2		SR75	深鉢	胴	LR-Y	摩滅	径10mm前後の亜角礫含む
256-3		SR75	深鉢	胴	摩滅	F	
256-4		SR80	深鉢	胴～底	胴中:A・B-N→RL-Y 胴下:G・B-Y→E-Y 底:G	胴中:G-Y→E-N 胴下:G-Y 底:摩滅	底部輪高台状
256-5		SR80	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部平坦
256-6		SR80	深鉢	胴	LR-S	F	
256-7		SR80	深鉢	胴	LR?-S	F-Y	
257-1	㊹-4	SR83	深鉢	胴～底	胴中:LR＋R-Z-NO 胴下:A-Y 底:摩滅	摩滅	底部平底
257-2	㊹-5	SR97	深鉢	底	胴下:A-Y→LR-S 底:F	胴下～底:F	赤色粒含む
257-3		SR98	深鉢	底	胴下:LR-S→F-Y 底:F	胴下:F→HP-Y 底:F	赤色粒・白色針状物質含む
257-4		SR98	深鉢	口(突起)	RL-Y→帯状文	FP	頂部に刻みある山形突起
257-5		SR98	深鉢	胴	単軸絡条体第1種r-T	摩滅	Ⅲa群
257-6		SR99	深鉢	口～胴	口～胴上:LR-S	口:F・B-Y 胴上:F	赤色粒含む 口唇部平坦
257-7		SR99	深鉢	口～胴上	口:LR-Y 胴上:LR-S	F	口唇部平坦
257-8		SR99	深鉢	底	胴下:LR-S 底:摩滅	胴下:G-Y→F 底:F	
257-9		SR99	深鉢	底	摩滅	G-Y→F	
257-10	㊹-6	SR100	深鉢	底	胴下:B-T→LR-NO 底:摩滅	胴下:F(P) 底:摩滅	
258-1		SR111	深鉢	口～底	口:(HP)→LR-Y 胴上:(FP)→LR-Y 胴下:F	口:E-YT(→HP) 胴上:A-S→E-N→HP 底:E→HP	
258-2		SR111	深鉢	胴	LR-S	F	白色針状物質含む
258-3		SR111	深鉢	胴	RL-Y	F	
258-4		SR112	深鉢	底	胴中:LR-T 胴下:(A-Y)→C-Y→HP-Y 底:FP	胴中:(B-N)→FP 胴下～底:F	
258-5		SR113	深鉢	底	胴下:A-Y→(LR-S) 底:摩滅	F	底部平底
258-6	㊺-1	SR114	深鉢	胴～底	胴中:LR-NJ 胴下:F-Y→LR-NJ 底:F	胴中:F 胴下:G-Y 底:F	
258-7	㊺-2	SR115	深鉢	底	胴下:RL-NJ→E・F-Y 底:B	胴下:B-N→F 底:F	
258-8		SR116	深鉢	底	胴下:F 底:F	摩滅	底部輪高台状
258-9		SR116	深鉢?	胴	F(P)→渦巻状の入組文?	F	
258-10		SR116	深鉢	口	FP→LR-Y	FP	口唇部平坦
258-11		SR116	深鉢	口	LR-Y	FP	口唇部平坦
258-12		SR116	深鉢	胴	LR-Y	F	
258-13		SR116	深鉢	底	F	F	
259-1		SR117	深鉢	口	LR-YT	G-Y	口唇部平坦 口縁端部内側肥厚
259-2		SR117	深鉢	口	(LR-NO)→F→入組帯状文?	A	口唇部ほぼ平坦 補修孔あり
259-3		SR117	深鉢	底	A→H-Y	F	底部輪高台状
259-4	㊺-3	SR123	深鉢	口～底	口:B-N→LR-Y 胴:B-NT	E・F(P)-Y	口唇部丸み
259-5		SR123	深鉢	口	刺突帯状文	F(P)	
259-6		SR123	深鉢	胴	RL-Y	F	
259-7		SR123	深鉢	胴	LR-T?	F	白色針状物質含む
259-8		SR123	深鉢	胴	LR＋RZ-Y?	A・E-TY	
259-9		SR123	注口土器	口	入組三叉文・横位列点文	摩滅	
259-10	㊺-4	SR124	深鉢	口～底	口～胴上:RL-NJ 胴下:(RL-NJ)→A-Y 底:F	口～胴上:F(P) 胴下～底:F	赤色粒含む 口唇部丸み 口縁端部両側に粘土はみ出し
260-1	㊺-5	SR127	深鉢	胴～底	胴:LR-Y 底:G	胴:G 底:A	胴下の内面に煤状炭化物付着

第120表 南調査区遺構出土土器類観察表(32)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
260-2		SR135	深鉢	胴～底	胴:F→LR-S 底:摩滅	胴:F(P) 底:摩滅	
260-3		SR135	深鉢	胴	LR-Y	F	
260-4		SR135	深鉢	胴下	A→F-T→LR-T	F	
260-5		SR144	深鉢	胴～底	胴中:LR-NO 胴下:F 底:G	胴:F 底:G	胴部の内面に煤状炭化物付着 白色針状物質含む
260-6		SR144	深鉢	胴	F→LR-Y	F	
260-7		SR144	深鉢	胴	A→LR-Y	F	白色針状物質含む
260-8		SR144	深鉢	口～胴	口:F 胴上:E 胴中:A	胴:E	口唇部丸み 外面に煤状炭化物付着
260-9	㊺-6	SR145	深鉢	胴～底	胴:G 底:F	胴:G 底:G	胴部内面に煤状炭化物付着
260-10		SR145	深鉢	口	口:B? 胴上:A→LR-Y・LR-T	F	口唇部丸み 内面にケバ状亀裂
260-11	㊻-1	SR146	深鉢	胴～底	胴中:B-NT→LR-T 胴下:F 底:摩滅	胴中:B-TY→F(P) 胴下:B-N→F 底:摩滅	白色針状物質含む
261-1	㊻-2	SR148	深鉢	胴～底	胴中:B-T→LR-Y 胴下:(LR-Y)→B-Y→FP 底:摩滅	胴～底:F	白色針状物質含む 底部平底
261-2		SR148	鉢?	胴	F→赤色塗彩	F→赤色塗彩	
261-3		SR149	深鉢	底	摩滅	摩滅	底部平底
261-4		SR159	深鉢	胴下～底	胴中:LR-Y 胴下:LR-Y→FP-Y 底:摩滅	胴:E-Y→F 底:摩滅	
261-5		SR159	深鉢	口	入組帯状文	F(P)	口唇部丸み 低波状口縁
261-6	㊻-3	SR160	深鉢	胴～底	胴中:B-NT→LR-S 胴下:(B-T)→LR-S→F 底:A	胴中:(E-N)→F 胴下～底:F	
261-7		SR160	深鉢	口	LR-Y→帯状文	E(P)-Y	波状口縁か 口唇部かすかに丸み
261-8		SR160	深鉢	胴?	LR-Y→入組帯状文?	A-Y	
261-9		SR160	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部丸み 口縁端部かすかに肥厚
261-10		SR160	深鉢	口	LR-T	F	口唇部かすかに丸み 口縁端部かすかに肥厚
261-11		SR160	深鉢	胴	A→LR-T	B-Y	赤色粒含む
261-12		SR160	深鉢	胴	LR-Y	E・F(P)-Y	
261-13		SR160	壺?	口	LR-Y→(浅い)沈線→IP	FP	口唇部丸み
262-1		SR168	深鉢	胴～底	胴中:LR-S 胴下～底:摩滅	胴:FP 底:摩滅	
262-2		SR169	深鉢	胴～底	胴上:LR-S 胴下～底:摩滅	摩滅	底部穿孔?
262-3		SR169	深鉢	胴	B-T→LR-S	F	
262-4		SR170	深鉢	胴～底	胴上:LR-S→H(P)-Y 胴下:LR-S 底:摩滅	胴:F 底:摩滅	底部かすかに輪高台状
262-5		SR170	深鉢	口～胴上	刻み目帯状文	F(P)	白色針状物質含む 口唇部頂部中央に刻みある山形突起と小突起
262-6		SR170	深鉢	胴	刻み目帯状文	摩滅	
262-7		SR170	深鉢	口	F・LR-Y→入組帯状文	F	口唇部幅広押圧状刻み 口唇部丸み
262-8		SR170	深鉢	胴	LR-Y→帯状文	FP	
262-9		SR170	深鉢	胴	LR-S・入組帯状文?	A	
262-10		SR170	深鉢	口	RL-S→入組帯状文→FP	F(P)	口唇部小突起 口唇部丸み
262-11		SR170	深鉢	口	F→刺突帯状文・LR-Y→帯状文	F	口唇部丸み
262-12		SR170	深鉢	胴	RL-S	F	
262-13		SR170	深鉢	口	R?-NO	E-Y	口唇部丸み
262-14		SR170	深鉢	胴	RL-Y	E・F-Y	
262-15		SR170	深鉢	胴	A	G-Y	
262-16		SR170	鉢?	口	F(P)	F(P)	口唇部平坦
262-17		SR170	壺?	頸?	LR-Y→水平沈線	A-Y	
262-18		SR171	深鉢	胴～底	胴上:(E-T)→LR+R-Z-NY→(E-Y) 胴下:F→LR+R-Z-NY 底:FP	胴上:(E-Y)→FP 胴下:FP 底:F	
262-19		SR171	深鉢	胴	LR?-NO	F	
262-20		SR171	壺	胴上	F・H(P)-Y	F	
263-1		SR179A	深鉢	口～底	口～胴上:LR-S 胴下～底:摩滅	口～胴上:F(P) 胴下～底:摩滅	白色針状物質含む 口唇部平坦
263-2		SR179A	深鉢	胴	LR-NO	F	
263-3		SR179A	壺?	口	A→(HP-T)	A→(HP-Y)	

第121表　南調査区遺構出土土器類観察表(33)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	部　位	外　面　特　徴	内　面　特　徴	その他の特徴・備考
263-4	㊻-4	SR180	深鉢	口～底	口:LR-YNO→(FP) 胴上:LR-TNO→(A-T) 胴下:LR-T→F-Y　底:F	口:FP・HP-Y　(B-N)→F G-N→F・E-Y　底:F	赤色粒含む　口唇部丸み
264-1	㊻-5	SR227	深鉢	胴～底	胴上:B-T→LR＋R-Z-Y 胴下:摩滅　底:F	胴上:A　胴下:F　底:F	白色針状物質含む　底部平底
264-2		SR227	深鉢	口	口:水平沈線間C字形刻み目文→IP　胴:LR-Y	FP	口唇部B突起　内面炭化物付着
264-3		SR227	深鉢	胴	LR-Y	F(P)	
264-4		SR227	深鉢	口	口:LR-Y　LR-S	F	口唇部平坦
264-5	㊻-6	SR228	深鉢	口～底	口:H(P)-Y　胴上:LR-YT 胴下:LR-YT→F 底:FP	F	白色針状物質含む　口縁部外反　口唇部丸み　押圧状の刻みあり
264-6		SR228	深鉢	口	F→刺突帯状文	摩滅	口唇部瘤状の小突起2
265-1	㊼-1	SR238	深鉢	口～底	口:(A-Y)→IP-Y　胴上:LR-Y→入組帯状文→IP 胴中:(B-N)→LR-Y 胴下:(LR-Y)→F-Y 底:網代→B	口:E-Y→IP-Y 胴:E-YN→HP 底:F	赤色粒含む　口縁部外反 口唇部平坦　口唇部刻み
265-2	㊼-2	SR238	壺	口～底	口:水平沈線・I(P)　頸:平行沈線・I(P)　胴:I(P)-Y 底:摩滅	口～頸:F(P)　胴～底:F	白色針状物質含む　頸部内傾し口縁部内湾　底部円形にくぼみその周囲4ヶ所に低い突出部　胴部に径20mmの穿孔　下半部被熱か
265-3		SR239	深鉢	胴～底	胴:B-T→LR-N0 底:摩滅	胴中:F(P)　胴下～底:摩滅	赤色粒含む
265-4		SR239	深鉢	口	E-Y→HP-Y	A→B-Y→HP-Y	赤色粒含む　口唇部ほぼ平坦
265-5		SR239	注口土器	底	摩滅	A	
266-1		SR242	深鉢	胴～底	胴～底:摩滅	胴上:F　胴下～底:G	胴部内面に煤状炭化物付着
266-2	㊼-3	SR247	深鉢	胴～底	胴上:A→LR-Y　胴下:A 底:網代痕	胴:F　底:G	内外面に煤状炭化物付着
266-3		SR255	深鉢	底	胴下:A・L-Y　底:摩滅	胴下:H-YN　底:A	底部平底
266-4	㊼-4	SR256	深鉢	胴～底	胴上:LR-Y　胴下:摩滅 底:摩滅	胴～底:摩滅	内面に煤状炭化物付着
266-5		SR256	深鉢	口	口:F　胴:A→LR-Y	胴:F	外面に煤状炭化物付着
266-6	㊼-5	SR257	深鉢	口～底	口～胴中:LR-Y 胴下:E-Y　底外周:摩滅 底内側:網代痕	口～胴中:FP 胴下～底:F	口唇部丸み　口縁端部内側に粘土はみ出し
266-7		SR257	深鉢	胴	LR-Y→魚眼三叉文?→F	F	内面褐色顔料塗彩?
266-8		SR257	深鉢	胴	LR-T?	A	
266-9		SR257	深鉢	底	胴中:LR-T　胴下:F-Y? 底:F	胴:F(B-Y)　底:摩滅	底部輪高台状
267-1		SR262	深鉢	胴～底	胴上:B-Y→LR-YT 胴下:LR-S　底:B→F	胴上:B・E-N→F 胴下～底:F	白色針状物質・径3mm礫含む　底部平底
267-2		SR262	深鉢	口～胴上	LR-Y	FP	口縁部外反　口縁端部平坦 低波状口縁?
267-3		SR262	深鉢	口	L-Y	FP	口唇部平坦
267-4		SR262	深鉢	胴	B-N→LR-Y	F	白色針状物質含む
267-5		SR262	深鉢	胴	RL＋L-S-N	B-N→F	
267-6		SR262	深鉢	胴	LR-NO	A-N→F	幅10mmの粘土紐接合痕
267-7		SR262	鉢	口～胴上	口:平行沈線 胴上:RL-Y	F(P)	白色針状物質含む
267-8	㊼-6	SR263	深鉢	口	E-Y→LR＋R-Z-YNO	G-Y	口縁部上面観楕円形
267-9	㊼-7	SR263	台付深鉢	口～底	口:LR-Y　胴上:F→刻み目入組帯状文・刻み目文・入組帯状文→LR-S 胴下～台:FP	口～胴上:F・HP-Y 胴下～底:F　台:G-Y	口唇部2大突起と1小突起1単位が5単位付く
268-1	㊽-1	SR300	深鉢	口～底	口:F→刻み目文・刻み目入組帯状文・弧線文→LR-Y 胴上:貼瘤・B-T→LR-Y	口:G-N→E-Y→(HP) 胴:G・E-N　底:F	口唇部小山形突起　口唇部平坦
268-2	㊽-2	SR300	深鉢	口～胴	口:B-Y→LR-Y 胴:LR-Y	口:(指頭圧痕)・A-Y→G(P)-Y　胴上:G-YN	赤色粒含む　口唇部やや丸み(不整)
268-3		SR300	深鉢	口	F-Y(アタリ痕あり)	F(P)	口唇部平坦　内外面黒色物質付着
268-4	㊽-3	SR363	深鉢	口～底	口:E　胴上:E　胴下:G 底:摩滅	胴上:E　胴下:A 底:G	径2mm以下の砂粒含む

第122表　南調査区遺構出土土器類観察表(34)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
268-5		SR363	深鉢	口	口:IP 胴上:E 胴下:E→LR-Y	胴上:E 胴下:F	
268-6		SR363	深鉢	胴	A→LR-NO	A	
268-7		SR363	深鉢	胴	LR-Y	F	
268-8		SR363	深鉢	胴	L-Y	F	白色針状物質含む
268-9	㊽-4	SR378	深鉢	底	胴中:条痕-TN 胴下:E-Y 底:条痕-S	胴中:H(P)-T 胴下:H(P)-Y(アタリ) 底:H(P)	内傾接合
269-1		SR380	深鉢	胴下～底	胴下:G 底:G	胴下:A 底:G	内面に煤状炭化物付着
269-2	㊽-5	SR385	深鉢	胴～底	胴中:単軸絡条体第5類r?-T? 胴下:F(P) 底:E?(幅60mm)	胴中～底:FP	Ⅲa群
269-3		SR401	深鉢	胴～底	胴上:(A-Y)→LR+R-Z-Y 胴下:(A-Y)→HP-Y底:F	胴:(B-N)→F(P) 底:F	
269-4		SR401	深鉢	胴	LR-S	F	白色針状物質含む
269-5		SR401	深鉢	胴	LR-T	F	白色針状物質含む
269-6		SR401	深鉢	胴	RL-Y	F	白色針状物質含む
269-7		SR401	深鉢	胴	RL-Y	F	白色針状物質含む 内面黒色物質付着
269-8		SR401	浅鉢	胴	刻み目文・雲形文→IP	F	白色針状物質含む
269-9	㊽-6	SR405	深鉢	口～胴	口:E-Y→HP-S 胴:(B・G-T)→F・H-T	口:E・B-Y→H・FP-Y 胴:G・B-YN→H・FP-Y 器表凹凸あり	口縁部上面観楕円形 口唇部やや丸み
269-10		SR405	深鉢	底	摩滅	摩滅	
270-1	㊾-1	SR406	深鉢	口～底	口～胴上:LR-Y 胴下:FP→(LR-Y) 底:F	F	口唇部丸み
270-2		SR406	深鉢	突起	LR-S・弧状沈線?垂下→F	摩滅	深鉢口縁突起破片
270-3		SR406	深鉢	口	C字文→HP-Y	HP-Y	白色針状物質含む 口唇部B突起
270-4		SR406	深鉢	口・胴・底	口:B-Y→F 胴:LR+R-Z-YN 底:摩滅	口:B-Y→F 胴上:B-Y→F・E(P)-Y 胴下:G-Y 底:摩滅	口縁部外反 口唇部押圧状刻みが中央と両側にある低突起
270-5		SR406	深鉢	胴	LR+R-Z-N	E-N	白色針状物質含む
270-6		SR406	円盤状土製品?		縄文	F?	楕円形平面 周縁部研磨か
271-1	㊾-2	SR414	深鉢	口～底	口:LR-Y→I(P)-Y 胴上～胴中:LR?-S 胴下:G-Y→LR-Y F	口:(B-Y)→HP 胴上～胴中:FP 胴下:G-N→FP 底:F(P)	口縁部かすかに外反 小波状口縁 口唇部平坦 胴部縄文は付加条原体の可能性あり 結節回転施文も一部併用か
271-2		SR414	深鉢	口～胴	口～胴:G-Y→LR-S	口～胴:G・H-YN	口唇部ほぼ平坦
271-3	㊾-3	SR427	深鉢	底	胴上:B-N→LR-S 胴下:B-Y→(LR-S)→HP-Y 底:F?	FP	底部穿孔
271-4	㊾-4	SR442	深鉢	胴	LR-TS	(G-N)→F(P)	赤色粒含む
271-5		SR442	深鉢	口	E・F-Y→刺突文	B-Y→FP-Y	口唇部丸み
271-6		SR442	深鉢	胴上	LR-S→刻み目帯状文→HP	FP	赤色粒含む 遺構よりも下位から出土の可能性
271-7		SR442	深鉢	口～胴	RL-S	G-Y	口唇部丸み
271-8		SR442	深鉢	底	胴下:H(P)-TY 底:B・F(P)	胴下:G-Y 底:G	赤色粒含む 底部かすかに輪高台状
272-1	㊾-5	SR506A	深鉢	胴～底	胴中:(B-T)→LR-Y 胴下:F 底:F(P)	胴中～胴下:F 底:A	
272-2	㊾-6	SR512	深鉢	底	胴下:単軸絡条体第1類R-T・F 底:B・E?	F	Ⅲa群
272-3	㊿-1	SR570	深鉢	胴～底	胴上:(B-N)→単軸絡条体第1類R-T 胴下:(単軸絡条体第1類R-T)→F-Y 底:F	F	胴部幅3cm前後の粘土帯積み上げによる成形 やや外傾接合
272-4		SR570	深鉢	胴	単軸絡条体第1類L-T→水平沈線(口胴部界)・蛇行沈線文・紡錘文・短沈線による逆J字文→粘土粒貼り付け→A(P)	A(P)	口胴部境界くびれ胴部張る
272-5		SR570	深鉢	口	FP	FP	口唇部やや丸み

第123表 南調査区遺構出土土器類観察表(35)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
273-1	⑦⓪-2	SR2030	深鉢	口～底	口:EP 胴上:E 胴下:LR-Y 底:スダレ状圧痕	胴上:E 胴下:F 底:G	胴下の内外面に煤状炭化物付着 補修孔有り
273-2		SR3001	深鉢	胴下～底	胴下:G 底:A	胴下:G 底:摩滅	胴下の内面に煤状炭化物付着
273-3		SR3001	注口土器	胴～底	胴:IP→入組文? 底:IP	胴:A 底:E	
273-4	⑦⓪-3	SR3002	深鉢	胴～底	胴中:B・E-YT→LR＋R-Z-T 胴下:B・E-YT 底:A	胴中:B・E-Y 胴下～底:F	赤色粒含む 底部輪高台状
274-1	⑦⓪-4	SR3003	深鉢	胴～底	胴上:A→LR-NT 胴下:A 底:G	胴上:E 胴下～底:G	胴下の内面に煤状炭化物付着
274-2		SR3003	深鉢	口	口:BP 胴:E→LR-T	胴:E	口唇部平坦 補修孔有り
274-3		SR3003	深鉢	口	口:E 胴上:E→LR-T	胴:E	口唇部平坦 外面に煤状炭化物付着
274-4		SR3003	深鉢	胴	A→LR-T	A	外面に煤状炭化物付着
274-5	⑦⓪-5	SR3005	深鉢	口～底	口:小波状口縁 胴上:HP 胴中:LR-Y・NO 胴下:A 底:G	胴上～中:E 胴下～底:G	外面に煤状炭化物付着
274-6		SR3005	深鉢	口～胴下	口:B→小突起 胴上:LR-Y 胴中～胴下:LR-NO	胴中:E 胴下:G	内面に煤状炭化物付着
274-7		SR3005	深鉢	口	口:B→2個一対の山形状突起 胴上:A→刻み目帯状文	摩滅	口唇部平坦
274-8		SR3005	深鉢	口	口:F 胴上:A→LR-Y	胴上:A	口唇部平坦 径3mm以下の赤色粒含む
274-9		SR3005	深鉢	胴	LR-Y	A	
274-10		SR3005	深鉢	胴	LR-Y	F	
274-11		SR3005	深鉢	胴	LR-NO	E	内面に径2mm以下の砂粒突出
274-12		SR3005	深鉢	胴	A→LR-T＋LR-Y	E	径2mm以下の白色砂粒含む
274-13		SR3005	深鉢	口	口:B 胴上:E→LR-Y	F	
274-14		SR3005	深鉢	胴	A→LR＋R-Z-T?	E	外面に煤状炭化物付着
274-15		SR3005	台付鉢?	胴下～底	胴下:A?→台部との区画沈線 台:摩滅	胴下～底:H	
274-16		SR3005	ミニチュア鉢形土器	胴下～底	胴下～底:A	胴下～底:A	径2mm以下の砂粒含む
275-1	⑦①-1	SR3006	深鉢	口～底	口:G-Y→IP-Y 胴上:B-N→LR-Y 胴下:E-YN→LR-Y 底:A	口:B-Y→FP 胴上:B-NY→FP 胴下:F 底:F	白色針状物質含む 口縁部かすかに直立気味に外反 口唇部B突起付く
275-2		SR3006	深鉢	胴	LR＋R-Z?-Y	B-Y→F	赤色粒含む
276-1		SR3007	深鉢	胴～底	胴上:LR-Y・LR-NO 胴下:G 底:摩滅	胴上:F 胴下～底:G	
276-2	⑦①-2	SR3007	深鉢	胴～底	胴上:A→LR-Y 胴下:A 底:G	胴上～胴下:G 底:G	外面に煤状炭化物付着
277-1	⑦①-3	SR3008	深鉢	口～底	口:B 胴上:A→LR-Y 胴下:摩滅 底:G?	胴上:E 胴下～底:G	胴部外面と胴部下内面に煤状炭化物付着 胴部下半の外面二次加熱を受けている
277-2		SR3008	深鉢	口	口:IP 胴上:RL-Y・LR-Y・刺突列	胴:FP	
277-3		SR3008	深鉢	胴	A→LR-Y	F	外面に煤状炭化物付着
277-4		SR3008	深鉢	胴	LR-Y	E	外面に煤状炭化物付着
277-5		SR3008	深鉢	胴	LR＋R-Z-T	F	
277-6		SR3008	深鉢	胴	LR＋R-Z-T	A	外面に煤状炭化物付着
277-7		SR3008	深鉢	胴	A→LR-Y	G	内面に煤状炭化物付着 径2mm以下の白色砂粒含む
277-8		SR3008	深鉢	胴	流線文	摩滅	径2mm以下の白色砂粒含む
277-9		SR3009	深鉢	口～胴	口:B 胴:A→LR-Y	胴:D→E	
277-10		SR3009	深鉢	胴	刻み目帯・LR-Y→帯状文	F	外面に煤状炭化物付着
277-11		SR3009	深鉢	胴	F→沈線文	F	
277-12		SR3009	深鉢	口	口:B 胴上:A→LR-Y	胴上:E	口唇部平坦 径2mm以下の砂粒含
277-13		SR3009	深鉢	口	口:B 胴上:LR-NT・Y	F	外面に煤状炭化物付着
277-14		SR3009	深鉢	胴	LR-Y	G	
278-1		SR3009	深鉢	胴～底	胴:LR-Y 底:摩滅	胴上:G? 胴下～底:摩滅	

第124表 南調査区遺構出土土器類観察表(36)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
278-2	⑦1-4	SR3010	深鉢	口～底	口:B→小波状　胴上:GP 胴中:RL-Y　胴下～底:G	胴上:HP　胴中:F 胴下～底:G	口唇部平坦　外面に煤状炭化物付着
278-3		SR3010	深鉢	胴	LR-Y	A	外面に煤状炭化物付着
278-4		SR3010	深鉢	胴	胴上:E　胴下:LR-Y?	摩滅	
278-5		SR3010	深鉢	胴下～底	胴下:G　底:網代痕	胴下～底:F?	
279-1	⑦2-1	SR3011	深鉢	口～底	口:B　胴上:A→LR-Y 胴中:LR-Y　胴下～底:摩滅	胴上:E　胴中:F 胴下～底:G	口唇部平坦　胴上外面に煤状炭化物付着
279-2		SR3011	深鉢	胴	RL-Y	F	
279-3		SR3011	深鉢?	口	口:B?　胴上:B	胴上:G→HP	口唇平坦　口縁部肥厚
279-4		SR3011	土製耳飾		F	IP	
279-5		SR3012	深鉢	胴	胴上:LR-Y 胴下:LR-NO	胴上:E　胴下:A	胴上外面に煤状炭化物付着 胴下外面は二次加熱で変色
280-1	⑦2-2	SR3014	深鉢	口～底	口:B　胴上:EP→入組三叉文　胴中:LR-Y-NO 胴下～底:摩滅	胴上:GP　胴中:E 胴下～底:G	三叉文は一単位のみ　底端部外に張り出す
280-2		SR3014	深鉢	胴	E→刻み目帯→入組文	摩滅	
280-3		SR3014	深鉢	口	口:E　胴上:LR-Y	胴上:E	外面に煤状炭化物付着
280-4		SR3014	深鉢	胴	E→LR-Y-NO	F	内面に煤状炭化物付着
280-5		SR3014	深鉢	胴	A→LR-Y	F	白色針状物質含む
280-6		SR3014	深鉢	胴	F→LR-Y-T	F	
280-7		SR3014	深鉢	口	口:F?　胴:RL-Y	胴上:E　胴中:F	口唇部丸み　外面に煤状炭化物付着
280-8	⑦2-3	SR3015	深鉢	胴～底	胴上:LR-Y-NO 胴下～底:摩滅	胴～底:G	外面に煤状炭化物付着
280-9		SR3015	深鉢	口	口:B→小波状 胴上:A→LR-Y	胴上:E	口唇部丸み　径2mm以下の赤色粒含む
280-10		SR3015	深鉢	胴	LR-Y	摩滅	
280-11		SR3015	深鉢	胴	LR-NO	F	
280-12		SR3015	深鉢	胴	F→LR+R-Z-NO	A	内面に煤状炭化物付着
281-1	⑦2-4	SR3016	深鉢	口～底	口:B-N→LR-Y 胴上～胴中:B-N→LR-YS　胴下:E?-Y　底:F?	口:A-Y→F　胴～底:F	口唇部丸み
281-2		SR3016	深鉢	口～胴上	口:LR-Y→横位沈線文? →IP-Y　胴上:LR-Y	F	
281-3	⑦2-5	SR3020	深鉢	口～底	口:BP　胴上～中:LR-Y 胴下～底:摩滅	胴上:H　胴中:F 胴下～底:G	口唇部丸み　胴部下半の内面に煤状炭化物付着
282-1	⑦3-1	SR3020	深鉢	口～底	口:BP　胴上～中:G→LR-Y→オオバコ回転文 胴下:A　底:G	胴上:H　胴中:F 胴下～底:G	口唇部平坦　胴部上半の外面と下半の内面に煤状炭化物付着
282-2		SR3020	深鉢	口	口:BP　胴上:刺突列 胴中:単軸絡条体第1類I-T→三角形区画沈線	胴:F	口唇部丸み　径2mmの白色砂粒含む
282-3		SR3020	深鉢	口	口:B→刻みのある瘤状突起　胴上:B→小貼瘤列	胴上:A	口唇部平坦
282-4		SR3020	深鉢	口	口:B→円筒状突起 胴上:刻み目帯状文	胴上:FP	外面に煤状炭化物付着
282-5		SR3020	深鉢	口	口:摩滅　胴上:E	G	口唇部丸み
282-6		SR3020	鉢?	胴	E→沈線文→貼瘤	E	
282-7		SR3020	壺	胴	列点文状沈線→小貼瘤 刻み目帯状文	H	径2mm以下の赤色粒含む
282-8		SR3020	土偶	顔	F	A	径1mmの白色砂粒含む
282-9	⑦3-2	SR3059	深鉢	口～胴	口:B-Y→LR-Y 胴上:B-N→LR-NO	口:B-E-Y→FP 胴上:B-E-Y→F	口唇部平坦　口唇部間隔の疎らな押圧状の刻み目
283-1	⑦3-3	SR3060	深鉢	胴～底	胴上:C-S→LR-S→(R-Z-N)　胴下:摩滅 底:網代?	胴上:A-Y→F-EP-Y 胴下:FP　底:F	赤色粒微量含む
283-2	⑦3-4	SR3060	深鉢	口～胴	口:E-Y 胴:B-T→LR-NO	口:(B-Y)→FP 胴上:F(E-Y)	口縁部外反　口唇部刻み目 一部小山形突起状
284-1	⑦3-5	SR3061	深鉢	胴～底	胴中:B-T→LR-S 胴下:A-F-Y　底:F(P)	胴中:A-TY→F(P)-YN 胴下～底:F	白色針状物質含む
284-2	⑦3-6	SR3067	深鉢	底	胴下:LR-NO?　底:摩滅	摩滅	
284-3		SR3067	深鉢	胴	LR-S	H(P)-Y	白色針状物質含む　内面黒色物質付着
284-4		SR3076	深鉢	胴～底	胴上:A→LR-Y　胴下:A 底:G	胴～底:A	径3mmの砂粒含む

第125表　南調査区遺構出土土器類観察表(37)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
284-5		SR3125	深鉢	胴下～底	摩滅	摩滅	胴部下の内面に煤状炭化物付着　径3mmの砂粒含む
284-6		SR3125	深鉢	胴	円形刺突列	E	
284-7		SR3125	深鉢	胴	D→LR-Y	F	外面に煤状炭化物付着
284-8		SR3125	深鉢	胴	LR-T	F	白色針状物質含む
284-9		SR3125	深鉢	胴	F→L-T	C	外面に煤状炭化物付着
284-10		SR3125	深鉢	胴	A→E	F	内面に煤状炭化物付着
284-11		SR3125	台付浅鉢	胴下～台	胴下～台:IP　台裏:G	胴下～台:IP	
284-12	⑭-1	SR3137	深鉢	胴～底	胴上:R-Y　胴下～底:摩滅	胴上:A　胴下～底:G	
284-13		SR3137	深鉢	口	口:I→波状口縁 胴上:LR-Y	E	口唇部丸み
284-14		SR3137	深鉢	口	口:IP　胴:A→LR-Y・NO	G	外面に煤状炭化物付着
285-1		SR3139	深鉢	口～胴下	口:BP　胴上:E→LR-Y 胴中:E→LR＋R-Z-T 胴下:LR-T・NO	胴:E	外面に煤状炭化物付着
285-2	⑭-2	SR3141	深鉢	口～底	口:LR-Y　胴上:LR-YT 胴下～底:摩滅	口:FP　胴上:E・F-NY 胴下～底:F	赤色粒含む　口唇部丸み 補修孔あり
285-3	⑭-3	SR3142	深鉢	胴～底	胴上:LR-T　胴下:A 底:摩滅	胴上:E　胴下～底:F	内外面に煤状炭化物付着 径2mm以下の白色砂粒含む
286-1		SR3145	深鉢	胴～底	胴上:A→LR-Y・NO 胴下:摩滅　底:摩滅	胴上:E　胴下～底:G	胴部内面に煤状炭化物付着 径2mm以下の白色砂粒含む
286-2		SR3146	深鉢	口	口:IP　胴:A→RL-Y	胴上:G　胴下:F	外面に煤状炭化物付着 白色針状物質含む
286-3		SR3146	深鉢	底	摩滅	G	
286-4	⑭-4	SR3150	深鉢	口～底	口:BP　胴上:LR-Y→入組帯状文→H 胴中:LR-Y 胴下:F　底:A	胴上～中:E　胴下:A	波状口縁　口唇部平坦　底端部外に張り出す　底部高台状　胴上外面と胴下内面に煤状炭化物付着
287-1	⑭-5	SR3151	深鉢	口～底	口～胴中:LR＋R-Z-T 胴下～底:F	口:E・F(P)-N 胴:B・F(P)-N　底:F	口唇部ほぼ平坦
287-2		SR3151	深鉢	胴	RL-Y→帯状文→IP	F	外面に煤状炭化物付着
287-3		SR3151	深鉢	胴	LR-Y?→帯状文	F	
287-4		SR3151	深鉢	胴	A→LR-NO	E	外面に煤状炭化物付着
287-5	⑭-6	SR3152	深鉢	口～底	口:E-YN　胴上:E-TY 胴下～底:摩滅	口～胴上:E-Y 胴下:B-Y　底:摩滅	口唇部丸み　底部かすかに輪高台状
288-1		SR3154	深鉢	口～胴・底	口～胴中:LR＋R-Z-Y 胴下:H(P)-Y　底:F	口:E・F-Y　胴:F　底:F	赤色粒含む　口唇部突起付く?　口唇部ほぼ平坦
288-2		SR3154	深鉢	口	刻み目入組帯状文	F	
288-3		SR3154	注口土器	胴上	羊歯状文?	摩滅	
288-4	⑮-1	SR3173	深鉢	口～底	口:BP　胴上:E　胴中:G 胴下:A　底:G	胴上:EP　胴中～底:G	口唇部平坦　底部高台状 胴部上半の外面と胴部下半の内面に煤状炭化物付着
289-1		SR3173	深鉢	胴	LR-Y→入組三叉文と円文→IP	FP	内外面に赤色漆塗彩
290-1	⑮-2	SR3174	深鉢	口～底	口:IP　胴上:LR-Y 胴中:LR+R-Z-T　胴下:A 底:G	胴上～中:E　胴下～底:G	口唇部平坦　補修孔あり 胴部上半の内面に煤状炭化物付着
290-2	⑮-3	SR3177	深鉢	胴下	LR＋R-Z-RL-YS	F(P)	赤色粒含む
290-3	⑮-4	SR3178	深鉢	口～底	口～胴上:刻み目文・刻み目入組帯状文 胴下～底:摩滅	口～底:摩滅	波状口縁　底部輪高台状
291-1	⑮-5	SR3183	深鉢	胴～底	胴上:LR＋R-Z-Y 胴下～底:摩滅	胴:E　底:摩滅	胴部内面に煤状炭化物付着
291-2	⑮-6	SR3189	深鉢	口～胴	口:B・E-Y→LR-Y　胴:B・E-N→LR＋R-Z-YS	口:E-Y　胴:E-N	口唇部ほぼ平坦
291-3		SR3189	深鉢	口～胴	口:LR-S・入組帯状文 胴:LR-S?・平行沈線間に斜位の楕円形沈線文・楕円形の中心に対向する弧線	F	赤色粒含む　口縁部外反
291-4		SR3189	深鉢	底	胴下:A(指頭圧痕あり) 底:A・H(P)	胴下:E-Y　底:E	底部立ち上がり部に粘土紐貼り付け成形痕

第126表　南調査区遺構出土土器類観察表(38)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
291-5	⑯-1	SR3207	深鉢	胴～底	胴中:LR-Y 胴下:B-Y→F 底:E	胴中:B-NT→F·E-N 胴下:A·B-YN→F(P)-Y 底:F	赤色粒含む
292-1	⑯-2	SR3215	深鉢	口～底	口:A·D-Y→E-T 胴上:D-Y→E·G-T 胴下:B·G-T→F　底:G→F	口:C-Y 胴上:C-Y→E-T 胴下:G-N　底:F	赤色粒含む　口縁部上面観楕円形　口唇部丸み
292-2	⑯-3	SR3217	深鉢	口～底	口:RL-Y 胴上:B-N→RL-Y 胴下:(B-T)→F-Y　底:F	口:(指頭圧痕)→E·F-Y 胴上:E-NY 胴下:B-Y→F　底:F	白色針状物質含む　底部輪高台状
292-3		SR3221	深鉢	口	LR-S	B·E(P)-Y	口唇部ほぼ平坦
292-4		SR3221	深鉢	口	口:IP　胴上:LR-T→三叉状沈線→IP	胴上:IP	口唇部平坦　口縁部肥厚
293-1	⑯-4	SR3228	深鉢	胴	E-YN	E·F(P)-Y	
293-2	⑯-5	SR3229	深鉢	胴～底	胴中:LR-T　胴下:摩滅 底:摩滅	胴中～胴下:H(P)-N 底:F	
293-3	⑯-6	SR3231	深鉢	胴	胴上:貼瘤　胴中:摩滅 胴下:H(P)-Y　底:G·F	胴～底:摩滅	底部輪高台状
293-4	⑰-1	SR3241	深鉢	口～胴	口:LR-Y　胴:LR-S	口:HP-Y　胴上:H-N 胴下:摩滅	口唇部平坦
294-1	⑰-2	SR3242	注口土器	口～胴上	IP-Y	口:IP-Y 口胴界:指頭圧痕 胴:F(P)-Y(アタリ痕あり)	白色針状物質含む　口縁端部外側に外反するように肥厚　口唇部に山形三叉文ある突起　突起間に山形三叉文
294-2	⑰-3	SR3243	深鉢	胴～底	胴上:F(P)→刻み目入組帯状文　胴中:H-TN 胴下～底:F	胴上:A·F　胴中:G-YN 胴下:A·F-Y　底:F	
294-3	⑰-4	SR3257	深鉢	底	胴下:A-Y→RL-TS 底:B·F	胴下:B-N　底:B	
294-4	⑰-5	SR3258	深鉢	口～底	口:RL-Y 胴上～胴中:RL-TS 胴下:F-Y　底:摩滅	口～胴上:E(P)-Y 胴中～胴下:B·F-Y 底:B	口唇部丸み
294-5		SR3258	土製耳飾		表面:F→沈線→赤色塗彩 側面:E	裏面:F→沈線→赤色塗彩	径1mm前後の砂粒多量に含む　輪状部分と十字形の橋状部分とを接合して整形か
295-1	⑱-1	SR3263	深鉢	胴～底	胴中:B-T→F→LR-T 胴下～底:摩滅	胴中:E-NY 胴下～底:摩滅	赤色粒含む　底部輪高台状
295-2	⑱-2	SR3273	深鉢	口～底	口:B　胴上:G　胴下:G 底:G	胴上:G　胴下:E　底:G	胴部上半の外面と胴部下半の内面に煤状炭化物付着 径3mm以下の赤色粒含む
295-3		SR3273	深鉢	口	口:B　胴上:E	C→E	口唇部平坦
295-4		SR3273	深鉢	胴	A→LR-NO	E	
295-5		SR3275	深鉢	口～胴	口:B?　胴:GP	胴下:E	口唇部平坦　外面煤状炭化物付着
295-6		SR3275	深鉢	口～胴下	口:B　胴:A→RL-Y	胴上:E　胴下:F	口唇部平坦　内外面に煤状炭化物付着
296-1	⑱-3	SR3276	深鉢	胴～底	胴中:LR-Y 胴下:F(P)　底:F	胴～底:摩滅	赤色粒含む　器厚薄手　底部上げ底　Ⅳa1群か
296-2	⑱-4	SR3288	深鉢	口～胴上	口:LR-YT 胴上:LR＋R-Z-S	口～胴上:A·E-Y	赤色粒含む　口唇部ほぼ平坦
296-3		SR3288	深鉢	口～胴	口:E　胴:F→LR-T	胴上:HP　胴下:E	口唇部平坦　外面に煤状炭化物付着
296-4	⑱-5	SR3288	深鉢	口～胴	口～胴:B-N→LR＋R-Z-N	口:E·F(P)-Y 胴上:F(P)-YT	口唇部ほぼ平坦
296-5		SR3288	深鉢	胴下～底	胴下:LR-T→G　底:G	胴下～底:G	内面に煤状炭化物付着
297-1	⑱-6	SR3288	深鉢	胴～底	胴中:LR＋R-Z(結節2条)-S　胴下:F　底:摩滅	胴中～底:E·F-NY	赤色粒含む　底部輪高台状上げ底
297-2		SR3288	鉢	口～底	口～底:IP	口～底:IP	口唇部平坦
297-3		SR3288	深鉢	口～胴下	口:B　胴上:LR-Y 胴下:LR＋R-Z-Y	胴上:E　胴下:EP	口唇部平坦
297-4	⑲-1	SR3290	深鉢	胴～底	胴中:(B-N)→LR-NO 胴下～底:摩滅	胴中:A-N→HP-T 胴下～底:摩滅	赤色粒含む
297-5	⑲-2	SR3292	深鉢	口·胴～底	口:RLR-Y　胴中:RLR-T 胴下:B·F(P)-Y　底:F	口:F　胴中～底:F	口唇部かすかに丸み　底部輪低い高台状
297-6		SR3292	深鉢	胴	LR·RL?-T→貼瘤→刺突列2条	F	

第127表　南調査区遺構出土土器類観察表(39)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
297-7		SR3292	深鉢	口	B-Y→LR・RL-T	B・F(P)-Y	口縁端部外側3個1組?の貼瘤　口唇部平坦
298-1	⑦⑨-3	SN122	深鉢	口～胴下	LR-Y	口～胴上:F・E-Y 胴下:G・B-YN	白色針状物質含む　口唇部丸み　口唇部の一部に押圧状の刻み　底部は基本的に接合部から欠損
298-2		SN292	深鉢	胴	曲線的条痕文	F	径1mmの赤色粒含む
298-3		SN346	深鉢	口	口:B　胴:A→LR-Y	胴:EP	口唇部平坦
298-4		SN346	深鉢	口	口:摩滅　胴上:LR-Y	胴:FP	口唇部丸み?
298-5		SN346	深鉢	胴	LR-Y	F	
298-6		SN346	深鉢	胴～底	胴:LR-Y　底:F	胴:F　底:G	底部高台状
298-7		SN499	深鉢	口	H-Y→逆D字刺突列	F	口唇部内傾　やや外側に張り出した口縁端部に逆D字刺突列
298-8		SN499	深鉢	口	口:F-Y→逆D字刺突列 胴:LR-NO?	B-Y→F	口唇部丸み
298-9		SN499	深鉢	口	刻み目帯状文	F(P)	
298-10		SN499	深鉢	口	刻み目帯状文→IP-Y	F	
298-11		SN499	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部平坦
298-12		SN499	深鉢	口	LR-NOT	G・F-Y	
298-13		SN499	深鉢	胴	RL-NO?	F	
298-14		SN3185	深鉢	口	LR-Y	F(P)	口唇部ほぼ平坦
298-15		SN3185	深鉢	口～胴	口:LR-Y　胴:LR-S	A-Y→F	口唇部丸み
298-16		SQ152	深鉢	口	口:F　胴上:A→LR-Y	胴:A	口唇部丸み　外面に煤状炭化物付着
298-17		SQ152	深鉢	胴	G→LR-T	F	
298-18		SQ450	深鉢	胴	LR-T	E-Y	
298-19		SQ564	深鉢	口～胴	口:B　胴上:HP　胴下:E	胴上:C→E　胴下:E	口唇部平坦
298-20		SQ564	深鉢	胴	H→刺突列	A	
298-21		SQ564	深鉢	突起	突起:2個の刻み 突起外面:逆T字の刻み 胴上:RL-Y	H	
298-22		SQ564	深鉢	口	突起上:横位の刻み 口～胴上:刻み目帯状文	F	
298-23		SQ564	深鉢	胴	刻み目帯入組文	F	
298-24		SQ564	深鉢	口	口:B　胴:F→LR-Y	E	口唇部平坦
298-25		SQ564	深鉢	胴	G→LR-Y	A	
298-26		SQ564	注口土器	底	胴下:IP　底:G	胴下:IP　底:E	底部高台状
298-27		SQ564	ミニチュア土器	台	HP	B	
298-28		SQ3181	深鉢	口	LR-T→刻み目帯状文	F(P)	
298-29		SQ3181	深鉢	口	刻み目帯状文	摩滅	
298-30		SQ3181	深鉢	口	刻み目入組帯状文	F	
298-31		SQ3181	深鉢	胴	結節沈線文・RL-Y	摩滅	
298-32		SQ3181	深鉢	口～胴	口:G-Y→LR-Y 胴:LR-T	E-Y	口縁端部両端に粘土はみ出し　口唇部かすかに丸み
299-1		SQ3181	深鉢	口～胴	RL+L-S?-T	摩滅	口唇部頂部に刻みある小瘤状突起付く　口唇部かすかに丸み
299-2		SQ3181	深鉢	口	E-Y	F(P)	口唇部丸み
299-3		SQ3181	土偶	左肩?	肩表面方形状区画内に三叉状の沈線文・上腕裏面対向状の弧状沈線文?→F		中実　上腕体側に黒色物質付着
299-4		SQ3184	深鉢	胴	LR-T	F	
299-5		SQ3184	深鉢	底	胴中:LR-N0　胴下:F 底:摩滅	F	底部平底
299-6		SQ3205	鉢?	台	F	F	
299-7		SQ3291	深鉢	口	口:IP　胴上:LR-Y 胴中:A→LR-NO	胴:EP	口唇部平坦
299-8		SQ3291	深鉢	口	口:BP　胴:LR-Y	胴:E	口唇部平坦
299-9		SQ3291	深鉢	口	口:B　胴:LR-T・S	A→E	口唇部丸み
299-10		SKP01	深鉢	口	口:B　胴上:LR-Y→入組帯状文→I	F	赤色粒含む
299-11		SKP01	深鉢	口	口:IP　胴:B→LR-Y	EP	口唇部平坦
299-12		SKP01	深鉢	胴	LR-Y	EP	
299-13		SKP01	深鉢	胴	A→LR-Y	E	外面に煤状炭化物付着
299-14		SKP01	深鉢	胴	LR-T	F	
299-15		SKP01	深鉢	胴	LR-NO	F	
299-16		SKP01	深鉢	胴	A→LR-NO	E	

第128表　南調査区遺構出土土器類観察表(40)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
299-17		SKP01	深鉢	胴	LR-NOS	E	外面に煤状炭化物付着
299-18		SKP01	深鉢	口～胴	口:摩滅　胴:LR＋R-Z-Y	胴上:E　胴下:F	口唇部丸み　白色針状物質含む
299-19		SKP02	深鉢	口	口:B　胴:LR-Y→入組帯状文	F	赤色粒含む
299-20		SKP02	深鉢	口	口:I　胴:LR-Y	胴:F	口唇部丸み
299-21		SKP02	深鉢	胴	LR-NO	F	内面に煤状炭化物付着
299-22		SKP02	深鉢	胴	RL-Y	F	外面に煤状炭化物付着
299-23		SKP02	深鉢	胴	RL-NJ		内外面に煤状炭化物付着
299-24		SKP05	深鉢	胴	LR-Y	F	
299-25		SKP05	浅鉢	胴～底	胴～底:LR-Y?→入組文?	H	
299-26		SKP07	深鉢	口	口:IP　胴:LR-Y	E	口唇部丸み　内面に煤状炭化物付着　白色針状物質含む
299-27		SKP07	深鉢	口	口:IP　胴:LR-Y	胴:GP	口唇部平坦
299-28		SKP07	深鉢	口	口:B　胴:A→LR-Y	胴:E	口唇部平坦
299-29		SKP07	深鉢	胴	LR-Y	E	外面に煤状炭化物付着
299-30		SKP07	深鉢	口	口:B　胴:LR＋R-Z-Y	胴:G→F	口唇部丸み
299-31		SKP07	深鉢	胴～底	胴上:LR-Y・NO　胴下:F　底:F	胴～底:E	
299-32		SKP07	壺	口	口:I　頸:L-Y　胴上:F	頸:E　胴上:F	口唇部丸み　径2mm以下の赤色粒含む
300-1		SKP31	深鉢	胴	LR-Y	C	
300-2		SKP31	深鉢	胴	LR-T	F	
300-3		SKP33	鉢	胴	LR-Y?→上下2段のC字文	F	外面に赤色塗彩
300-4		SKP54	深鉢	胴	E→LR-T		
300-5		SKP54	深鉢	胴	E→LR-Y?	E	
300-6		SKP65	深鉢	胴	L＋r-Z-N	摩滅	
300-7		SKP69	深鉢	胴	LR-Y	F(P)	白色針状物質含む
300-8		SKP69	注口土器	口	刻み目文→IP	FP	白色針状物質含む　口唇部丸み
300-9		SKP73	深鉢	胴	LR-Y	E	径2mm以下の白色砂粒を含む
300-10		SKP73	深鉢	胴	A→RL-Y	G	外面に煤状炭化物付着　径3mm以下の砂粒含む
300-11		SKP77	深鉢	胴	LR-Y	E	
300-12		SKP77	深鉢	胴	A→LR-NO	E	
300-13		SKP77	深鉢	胴	LR-NO	E	白色針状物質含む
300-14		SKP78	深鉢	胴	LR-T	摩滅	
300-15		SKP78	深鉢	胴	A→LR-T	F	内面に煤状炭化物付着
300-16		SKP79	深鉢	口	A→RL-Y	E	
300-17		SKP96	深鉢	胴	LR-NO	E	
300-18		SKP126	深鉢	胴	単軸絡条体第1種r-T	摩滅	
300-19		SKP126	鉢	口～胴	胴上:羊歯状文 胴下:LR-Y	IP	内面に煤状炭化物付着
300-20		SKP140	深鉢	胴	A→LR-Y	摩滅	径2mm以下の砂粒含む
300-21		SKP140	深鉢	胴	LR-NO・Y	F	白色針状物質含む
300-22		SKP140	深鉢	胴	LR-T?	F	径2mm以下の赤色粒含む
300-23		SKP141	深鉢	口	口:B　胴上:平行沈線 胴下:LR-Y	C	口唇部丸み
300-24		SKP141	深鉢	口	口:B　胴上:LR-Y	E	口唇部丸み
300-25		SKP141	深鉢	底	胴下:A　底:E	胴下～底:E	
300-26		SKP141	鉢	口	口:B　胴上:LR-Y→沈線→F	F	口唇部平坦
300-27		SKP157	深鉢	胴	胴上:LR-NJ→入組文? 胴下:LR-NJ	F	
300-28		SKP157	浅鉢	口～胴	口:小波状　胴上:平行沈線　胴中:LR-NJ→逆C字状文→IP	E	内面に煤状炭化物付着
300-29		SKP162	深鉢	胴	LR-Y	E	
300-30		SKP166	深鉢	胴	LR-T	F	白色針状物質含む
300-31	㉙-4	SKP176	深鉢	口～胴	口:L-Y　胴:L-T→連弧状沈線?-T	FP	口唇部丸み・胴部外面の連弧状沈線は結節回転文の可能性?
300-32		SKP184	深鉢	口	入組三叉文?→IP	摩滅	
300-33		SKP184	深鉢	口	LR-Y	F・EP-Y	口唇部かすかに丸み
300-34		SKP184	深鉢	胴	L-Y	F	白色針状物質含む

第129表　南調査区遺構出土土器類観察表(41)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
300-35		SKP184	注口土器?	口	平行沈線間に浅い刻み目(連珠文?)→FP・IP	B-Y→F	
300-36		SKP185	深鉢	口～胴	口:横位C字文?→FP 胴:口胴界水平沈線2条→LR-Y	F	口唇部ほぼ平坦　小突起
300-37		SKP185	深鉢	底	摩滅	F(ケバ状亀裂あり)	
300-38		SKP214	深鉢	胴	LR-Y・LR-T	E	外面に煤状炭化物付着
300-39		SKP214	深鉢	胴	RL-Y?	摩滅	
301-1		SKP221	深鉢	口～胴	口:F→刻み目文 胴:RL-Y	B・F-Y	白色針状物質含む　口唇部刻み目
301-2		SKP221	深鉢	口	刻み目文	摩滅	口唇部押圧状の刻み
301-3		SKP221	深鉢	口	刻み目帯状文	摩滅	
301-4		SKP221	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部丸み
301-5		SKP221	深鉢	口	RL・LR-Y	F	口唇部平坦　口縁端部肥厚
301-6		SKP221	深鉢	胴下	摩滅	B-NY	白色針状物質含む
301-7		SKP229	深鉢	口～胴	口:B　胴上:弧状文・平行沈線→I　胴中:LR-Y	F	波状口縁
301-8		SKP229	深鉢	胴	LR-Y→帯状文→H	F	
301-9		SKP229	深鉢	胴	F→LR-Y	E	外面に煤状炭化物付着
301-10		SKP229	深鉢	胴	RL-Y	F	外面に煤状炭化物付着
301-11		SKP229	深鉢	胴下～底	胴下:G　底:E	胴下～底:E	
301-12		SKP230	深鉢	胴	LR-Y	F	
301-13		SKP230	深鉢	胴	LR-Y	摩滅	外面に煤状炭化物付着
301-14		SKP244	深鉢	胴	B-T→LR-T	F	
301-15		SKP258	深鉢	口	LR-NO	F	口唇部かすかに丸み
301-16		SKP260	深鉢	胴	刻み目帯入組文→I	E	
301-17		SKP275	深鉢	胴	LR-Y	F	内面に煤状炭化物付着
301-18		SKP282	深鉢	口	A→H・IP-Y	F	口唇部丸み
301-19		SKP282	壺?	胴	RL-S・入組文?→IP	F(P)	
301-20		SKP285	深鉢	胴	LR-Y	F	外面に煤状炭化物付着 白色針状物質含む
301-21		SKP285	深鉢	胴	RL-Y	FP	外面に煤状炭化物付着
301-22		SKP289	深鉢	口	LR-Y	F(P)	口唇部かすかに丸み　口縁端部内側に粘土はみ出し
301-23		SKP289	深鉢	口	LR-S	B・F-Y	口唇部丸み
301-24		SKP289	深鉢	胴	F→RL-T	F(P)	白色針状物質微量含む
301-25		SKP289	注口土器	胴	胴上:EP　胴下:F(P)	A	
301-26		SKP293	深鉢	胴	RL+R-Z-Y	E	
301-27		SKP321	深鉢	胴	LR-Y	摩滅	
301-28		SKP331	深鉢	胴	LR-Y	A	
301-29		SKP331	深鉢	胴	LR-Y	F	
301-30		SKP331	深鉢	胴	LR-NO	F	外面に煤状炭化物付着
301-31		SKP331	鉢	胴	LR-NJ	E	内外面に煤状炭化物付着
301-32	㊾-5	SKP351	台付鉢	口～胴下	口:小波状　胴上:羊歯状文　胴中:LR-Y　胴下:2条の沈線	IP	
301-33		SKP412	深鉢	口	口:摩滅　胴:LR-Y	E	口唇部丸み
301-34		SKP424	深鉢	胴	LR-Y	E	
301-35		SKP424	深鉢	胴	LR-Y	F	白色針状物質含む
301-36		SKP458	深鉢	口?	帯状文?→貼瘤3→貼瘤上円形刺突	摩滅	
301-37		SKP464	深鉢	口	口:B　胴上:LR-Y	胴上:EP	口唇部丸み
301-38		SKP464	深鉢	胴	LR-NO	F	
302-1		SKP528	深鉢	胴	LR-T	F	外面に煤状炭化物付着
302-2		SKP528	深鉢	胴	LR-S	E	白色針状物質含む
302-3		SKP528	鉢	胴下～底	胴上:LR-Y　胴下:E　底:F	胴～底:G	底部高台状
302-4		SKP560	深鉢	口	口縁端部沿い隆線1条・隆線垂下2条→F(P)-Y→隆線上刻み	F(P)	波状口縁　口唇部平坦 口縁部内湾し口胴部境界で屈曲　Ⅱ群
302-5		SKP566	深鉢	口	LR-NO	F	口唇部丸み
302-6		SKP566	深鉢	口	LR-NO	B・F-Y	口唇部丸み
302-7		SKP566	深鉢	胴	LR-S	F	
302-8		SKP566	深鉢	胴	B・F-N	G・F-Y	
302-9		SKP571	壺	口～胴上	口胴部境界:入組三叉文?	摩滅	口胴部界肥厚
302-10		SKP578	深鉢	胴	刻み目帯入組文?→IP	HP	

第130表　南調査区遺構出土土器類観察表(42)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
302-11		SKP581	深鉢	口～胴	口～胴:LR-Y	口:E-Y→F(P)-Y 胴:E-T→F-Y	口唇部丸み
302-12		SKP581	深鉢	口	F→LR-S	G-Y	赤色粒含む　口唇部ほぼ平坦
302-13		SKP584	深鉢	胴	LR-Y	B-Y→F(P)	
302-14		SKP584	鉢	口	刻み目文	F(P)	口唇部B突起
302-15		SKP585	深鉢	胴	B-T→LR-T	E(P)-Y	赤色粒含む
302-16		SKP601	深鉢	胴	LR-Y	A	
302-17		SKP605	深鉢	胴	LR-NJ	A	
302-18		SKP609A	深鉢	口	刺突帯状文	G-Y?	口唇部頂部に刻み目ある瘤状突起付く
302-19		SKP609A	深鉢	口	LR+R-Z-YS	F(P)	口縁部かすかに外反　口唇部丸み
302-20		SKP611	深鉢	底	胴:縄文?・A-S　底:F	胴:F　底:G・F	
302-21		SKP613	深鉢	胴	H-Y→刺突列	F(ケバ状亀裂あり)	
302-22		SKP616B	深鉢	口	LR?-S・入組帯状文→IP	FP	
302-23		SKP621	深鉢	口	刻み目帯状文	摩滅	口唇部方形の小突起付く
302-24		SKP621	深鉢	胴	貼瘤→刻み目帯状文	摩滅	
302-25		SKP621	深鉢	口	LR-YS→帯状文→FP	摩滅	口唇部頂部に刻み目ある山形突起付く
302-26		SKP626	深鉢	胴	E→RL-Y	E	外面に煤状炭化物付着
302-27		SKP637	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部かすかに丸み　口唇部調整により口縁端部外側肥厚
302-28		SKP637	深鉢	胴	LR-Y	F	
302-29		SKP637	深鉢	胴	LR-T	HP-Y	白色針状物質含む
302-30		SKP637	深鉢	胴	RL-Y	A-Y→F	
302-31		SKP637	深鉢	胴	RL-S	FP	
302-32		SKP637	深鉢	胴	RL-NO	F	
302-33		SKP637	深鉢	胴	F→L-T	E-Y→FP-Y	赤色粒含む
302-34		SKP637	深鉢	底	摩滅	(G-Y)→F	
302-35		SKP637	鉢	口	入組三叉文	摩滅	口唇部平坦　口縁端部かすかに肥厚
302-36		SKP648	深鉢	突起	山形三叉文	摩滅	山形突起
302-37		SKP649	深鉢	胴	刻み目文?・LR-S・連弧状沈線	F(P)	
302-38		SKP650	深鉢	口	刻み目帯状文	F	
302-39		SKP650	深鉢	口	RL-Y→帯状文	F	
302-40		SKP655	鉢	口	平行沈線?	摩滅	口唇部丸み　口唇部刻み目
302-41		SKP662	深鉢	口	口:小円筒状突起・刻み 口縁下:LR-T?	F	
302-42		SKP665	鉢	胴	RL-NJ	IP	
302-43		SKP670	注口土器	口	渦巻状?沈線文→IP?	摩滅	白色針状物質含む
303-1		SKP674	深鉢	口	刻み目帯状文→貼瘤	摩滅	
303-2		SKP674	深鉢	口	刻み目帯状文	F(P)	
303-3		SKP674	深鉢	口	G・E-Y	G-Y	口唇部丸み
303-4		SKP675	深鉢	口	LR-Y	F	赤色粒含む　口唇部押圧状の刻み目
303-5		SKP675	深鉢	口	口:LR?-Y 胴:LR+R-Z?-T	F	口唇部丸み
303-6		SKP678	深鉢	口	E-Y	E-Y	口唇部丸み
303-7		SKP721	深鉢	口	LR-Y・刺突入組帯状文	摩滅	
303-8		SKP721	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部丸み
303-9		SKP721	深鉢	胴	LR-S	F(P)	
303-10		SKP730	深鉢	口	山形三叉文・帯状文	F	口唇部頂端に刻みある山形突起付く
303-11		SKP730	深鉢	口	LR-Y	F	口唇部丸み
303-12		SKP730	深鉢	胴	B-T→LR-Y	摩滅	
303-13		SKP730	深鉢	底	木葉圧痕?	F	
303-14		SKP730	鉢	口～胴上	口:入組三叉文 胴上:C字文	摩滅	口縁部外反
303-15		SKP743	深鉢	胴	LR-NO	B-Y・F	
303-16		SKP743	深鉢	胴	LR-S	F	白色針状物質含む
303-17		SKP754	深鉢	胴	F→LR-Y	F	
303-18		SKP754	深鉢	胴	LR-Y	F(P)	
303-19		SKP754	深鉢	胴	LR+R-Z?-Y	F	
303-20		SKP772	深鉢	胴	LR-S	FP	
303-21		SKP772	深鉢	胴	RL-T	摩滅	

第131表　南調査区遺構出土土器類観察表(43)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
303-22		SKP799	注口土器	注口	(注口端部沈線1条)→IP	注口端部:B・F(P)	注口基部下側中央が突起状に突出　基部破損面に黒色物質付着　Ⅲb群
303-23		SKP3029	深鉢	胴	LR-Y	F	
303-24		SKP3031	深鉢	口	RL-Y→刻み目帯状文	F	
303-25		SKP3031	深鉢	口	LR-Y→帯状文→HP	F(P)	赤色粒含む
303-26		SKP3031	深鉢	口	LR-Y	F→(HP-Y)	口唇部平坦
303-27		SKP3031	深鉢	口	LR-T	A-Y→FP	口唇部丸み
303-28		SKP3031	深鉢	口	B-Y→LR-NO	A→FP	口唇部かすかに丸み
303-29		SKP3031	深鉢	底	胴下:A-Y　底:A・B	胴下～底:F	赤色粒含む
303-30		SKP3031	深鉢	底	摩滅	F	
303-31		SKP3031	注口土器	口	水平沈線	摩滅	口唇部山形三叉文施した山形突起付く?
303-32		SKP3031	注口土器	胴	入組三叉文?	摩滅	
303-33		SKP3031	注口土器	胴	注口～胴:H(P)-Y	胴:E-Y	
303-34		SKP3040	深鉢	口～胴上	口:BP→小突起　口縁下:刻み目列　胴上:LR-Y・刻み目帯入組文	E	外面に煤状炭化物付着
303-35		SKP3080	深鉢	口～胴上	口:B　胴:LR-Y	F	
303-36		SKP3143A	深鉢	口	RL?-YT→帯状文→IP	(B-T)→F(P)	
303-37		SKP3143A	鉢?	台	F	F	
303-38		SKP3143A	浅鉢	口～底	摩滅	摩滅	突起様の波状口縁　底部低台状
304-1		SKP3143B	深鉢	口	F→刻み目入組帯状文	F	
304-2		SKP3143B	深鉢	口	LR-Y	B-Y→F(P)	赤色粒含む　口唇部頂部に刻み目ある小台形突起付く
304-3		SKP3143B	深鉢	口	LR+R-Z-T	B-Y→F(P)	
304-4		SKP3153	深鉢	口	LR-S・山形三叉文・帯状文	E-Y	頂部刻み目ある台形突起
304-5		SKP3153	深鉢	胴	胴上:RL-S・入組帯状文→F　胴中:RL-S	胴上～胴中:F(P)-YT	白色針状物質・赤色粒含む
304-6		SKP3153	深鉢	口	口:LR-Y　胴上:LR-NJ	F	口唇部丸み　補修孔あり
304-7		SKP3153	深鉢	口	LR-Y	G・E-Y	口縁端部両側粘土はみ出し　口唇部丸み
304-8		SKP3153	深鉢	口	LR-NO	摩滅	口唇部丸み　補修孔あり
304-9		SKP3175	深鉢	胴	LR-Y	E	
304-10		SKP3175	深鉢	胴	RL-Y	G	
304-11		SKP3176	深鉢	口	口:小波状 胴上:LR-Y?→H		
304-12		SKP3176	深鉢	口	口:摩滅　胴:LR-Y	E	口唇部丸み
304-13		SKP3176	深鉢	胴下	IP	HP	
304-14		SKP3179	深鉢	口	LR-Y	E-NY	口唇部頂部に2個の刻み目ある小山形突起付く
304-15		SKP3179	深鉢	口	LR-N(O)	B-Y・F	口唇部丸み
304-16		SKP3218	深鉢	口	刻み目帯状文	F	口縁部外反か
304-17		SKP3218	深鉢	胴	LR-S→平行沈線・入組文?	A→F	口縁部外反か
304-18		SKP3218	深鉢	口	F(P)→RL-NJ	A-Y→F(P)	口唇部ほぼ平坦
304-19		SKP3218	深鉢	口	B・A-Y→LR+R-Z-Y	B・F-Y	口唇部丸み
304-20	⑧⓪-1	SX551	深鉢	口・胴	口:HP-Y　胴上:RL-Y→上下境界平行沈線間刻み・入組文→HP 胴下:RL-YT→平行沈線→FP	口:FP　胴:F(P)	口縁部強く外反、胴部上位楕形に開き、下半は樽形 口縁部5単位波状口縁 口縁端部内外面肥厚 口縁端部外側刻み
304-21		SX551	深鉢	胴	A-N→(H・B-T)	F	
305-1		SX582	深鉢	口～胴	口:F→刺突帯状文 胴:(B-Y)→LR-Y	(B-Y)→F	口唇部平坦
305-2		SX582	深鉢	口	RL-Y・貼瘤→帯状文	F	
305-3		SX582	深鉢	口～胴	口:LR-Y　胴:LR-N	B→F	口唇部丸み
305-4		SX582	深鉢	口	LR-Y	F	口縁端部内側粘土はみ出し　口唇部丸み
305-5		SX582	深鉢	口	E-N→LR-Y	G・E(P)-Y	赤色粒含む　口唇部ほぼ平坦
305-6		SX582	深鉢	口	LR-Y	A→F(P)	口唇部小山形突起2個付く
305-7		SX582	深鉢	口	LR-S	F	口縁端部内側粘土はみ出し　口唇部かすかに丸み
305-8		SX582	注口土器?	口	HP-Y	A-Y→FP	口唇部かすかに丸み

第132表　南調査区遺構出土土器類観察表(44)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
305-9		SX582	深鉢	口	H(P)-Y	G-Y→F	赤色粒含む　口唇部小山形突起　口唇部平坦
305-10	㊽-2	SX582	深鉢	口～底	口:LR-Y・RL-T 胴上:(B-N)→RL-YT 胴下:LR→(RL-T)　底:F	口:B-T→E-Y 胴上:B-T→E-YN→H-T 胴下:F　底:F	口唇部ほぼ平坦
305-11		SX582	深鉢	底	胴下:A→F　底:F	底:F	赤色粒含む　底部輪高台状
305-12	㊽-3	SX582	深鉢	底	胴下:F-Y→LR-Y 底:F(P)	胴下:B・F-Y　底:A	
305-13	㊽-4	SX582	注口土器	胴～底	胴上:浅い水平沈線(IP)・H(P)-Y 胴下:H(P)-Y　底:摩滅 注口:B→H(P)	胴上:A-Y→E(P)-Y 胴下:E(P)-Y　底:E(P)	底部ボタン状小上げ底
305-14	㊽-5	SX582	壺	胴～底	口胴境界:沈線→FP 胴上:LR-S　胴下:(LR)→HP-Y　底:F	胴:E(P)-Y　底:F(P)	赤色粒含む
305-15		SX3130	深鉢	胴	LR-Y?	E	

第133表　南調査区遺構出土土器類観察表(45)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
62-1	㉙-1	SI4054	石鏃	チャート	0.5	円基鏃　縦長剥片素材か　両面素材面残す　素材末端側に尖頭部作出
62-2	㉙-4	SB2025 P6	石鏃	珪質頁岩	0.3	有茎鏃　ほぼ両面二次加工　茎部末端欠損
62-3	㉙-2	SK2046B	石鏃	珪質頁岩	1.0	有茎鏃　ほぼ両面二次加工　茎部末端欠損　被熱?
62-4	㉙-5	SK2046L	石鏃	碧玉	0.7	有茎鏃　両面二次加工　茎部末端欠損
62-5	㉙-6	SK2105A	石鏃	珪質頁岩	2.2	有茎鏃　横長剥片素材か　両面に素材剥片の剥離面残す
62-6	㉙-3	SK3032	石鏃	流紋岩	1.3	両面二次加工　基部一端折損
62-7	㉙-8	SKP2151	石槍	シルト岩	17.5	縦長剥片素材か　尖頭部欠損　打面側に基部作出　体部右半は素材面を大きく残す
62-8	㉙-7	SKP2278	石槍	珪質頁岩	10.0	下端に素材剥片の単剥離面打面残す　素材末端側に尖頭部作出　打面側はほとんど二次加工なし　未成品か
62-9	㉙-9	SKP2126	石匙	珪質頁岩	3.3	上端に素材剥片の単剥離面打面残す　素材打面両側に二次加工施しつまみ作出　末端縁に微小剥離痕
62-10		SI4054	スクレイパー	珪質頁岩	6.5	素材剥片の打面･末端折損　左側縁両縁二次加工･右側縁表縁二次加工施し刃部作出
62-11		SK2046A	スクレイパー	珪質頁岩	3.1	素材剥片の打面側欠失　右側縁裏面へ二次加工施し凹刃作出
62-12		SK2046L	スクレイパー	珪質頁岩	27.7	素材剥片の複剥離面打面残す　表面左側縁に比較的急角度の二次加工施し凸刃作出
62-13		SK2128	スクレイパー	珪質頁岩	4.5	素材剥片の単剥離面打面残す　表面右側縁に急角度の二次加工施し刃部作出
63-1		SK2150	スクレイパー	珪質頁岩	26.2	素材面と二次加工面とで風化度に差　打面･打瘤を二次加工施し除去　末端縁表面へ二次加工施し刃部作出　両側縁細かい剥離痕
63-2		SR2104	スクレイパー	珪質頁岩	11.0	素材剥片の単剥離面打面残す　末端表面に二次加工施し刃部作出　側縁の一部に微小剥離痕
63-3		SR4017	スクレイパー	珪質頁岩	14.3	両極剥片素材　表面下側に二次加工施し刃部作出
63-4		SKP2050	スクレイパー	珪質頁岩	38.4	素材剥片の単剥離面打面残す　主に表面両側縁に二次加工施し刃部作出
63-5		SKP2053	スクレイパー	珪質頁岩	42.5	素材剥片の単剥離面打面残す　末端表面右側に二次加工施し凹刃作出　両側縁の一部に微小剥離痕
63-6		SKP2054	スクレイパー	珪質頁岩	7.5	素材剥片の単剥離面打面残す　表面左側縁に二次加工施し刃部作出
64-1		SKP2203	スクレイパー	珪質頁岩	164.0	素材剥片の単剥離面打面残す　厚手剥片素材　主に表面左側縁に二次加工施し刃部作出
64-2		SKP3049	スクレイパー	珪質頁岩	9.6	素材剥片の線状打面残す　末端縁両縁に細かい二次加工施し刃部作出
64-3		SKP3090	スクレイパー	珪質頁岩	7.6	素材剥片の点状打面?残す　末端縁に主剥離面側から急角度の二次加工施し刃部作出　表面左側縁に微小剥離痕
64-4	㉙-10	SK4042	楔形石器	真珠岩	1.3	上端線状打面　下端折損　左側面截断面
64-5		SI4054	二次加工ある剥片	珪質頁岩	35.9	単剥離面打面　末端蝶番状剥離　裏面右側縁二次加工後表面左側縁二次加工
64-6		SB2025 P2	二次加工ある剥片	珪質頁岩	27.5	単剥離面打面残す厚手縦長剥片素材　表裏両面に各1枚の縦長の剥離面　残核か?
64-7		SK2040	二次加工ある剥片	珪質頁岩	0.5	両側縁折断か　両側面に部分的に細かい急角度の二次加工　石鏃未成品か
65-1		SK2046L	二次加工ある剥片	珪質頁岩	1.6	横長剥片素材　打面側と末端側に急角度の細かい二次加工施し素材左側縁側を尖頭状に整形　石鏃未成品か
65-2		SK2128	二次加工ある剥片	珪質頁岩	31.1	裏面上下両端に細かい階段状剥離痕　裏面右側に二次加工痕
65-3		SK2142	二次加工ある剥片	頁岩	48.2	単剥離面打面　末端表面に連続した階段状の小剥離痕
65-4		SK3032	二次加工ある剥片	珪質頁岩	29.0	横長剥片素材　表面両側縁と両端の表裏面に二次加工　裏面中央に一次剥離面広く残る
65-5		SK3032	二次加工ある剥片	珪質頁岩	4.1	表面右側縁に二次加工　被熱によりはじけ
65-6		SK4032	二次加工ある剥片	頁岩	48.1	単剥離面打面　末端縁に両面から急角度の二次加工施す
66-1		SR2104	二次加工ある剥片	珪質頁岩	123.0	単剥離面打面　裏面両側に比較的大形の二次加工痕
66-2		SR4013	二次加工ある剥片	シルト岩	2.8	単剥離面打面残す　打面側と末端側表面に階段状剥離痕　楔形石器の可能性

第134表　北調査区遺構出土石器類観察表(1)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
66-3		SKP2024	二次加工ある剥片	珪質頁岩	114.0	比較的厚手の縦長剥片素材　打面を二次加工施し除去　主に裏面打面側に二次加工施し茎状に整形
66-4		SKP2053	二次加工ある剥片	珪質頁岩	30.0	複剥離面打面　末端に大形の二次加工痕
66-5		SKP2126	二次加工ある剥片	珪質頁岩	11.4	単剥離面打面　左側縁裏面への急角度の二次加工施し内湾した縁辺を作出
66-6		SKP2152	二次加工ある剥片	珪質頁岩	50.1	単剥離面打面　裏面左側縁二次加工　末端縁微小剥離痕
66-7		SKP2278	二次加工ある剥片	珪質頁岩	10.6	複剥離面打面　表面自然面残す　裏面に二次加工痕
67-1		SI4054	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	2.8	打面側折損　右縁微小剥離痕
67-2		SK2001	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	39.4	単剥離面打面　表面右縁に微小剥離痕　左側は被熱によるはじけ　裏面に二次加工痕
67-3		SK2040	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	10.0	単剥離面打面　末端に微小剥離による鋸歯状の刃部　左側縁に微小剥離痕
67-4		SK2046L	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	25.5	線状打面　右側縁～末端縁に微小剥離痕
67-5		SK2105A	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	3.0	複剥離面打面　表面右側縁に微小剥離痕
67-6		SK2116	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	5.7	単剥離面打面　末端縁に微小剥離痕
67-7		SK2116	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	10.8	単剥離面打面　右側縁裏面に微小剥離痕
67-8		SK2142	微小剥離痕ある剥片	シルト岩	14.5	単剥離面打面　左側縁に自然面残す　右側縁表面の一部に微小剥離痕
67-9		SK2167A	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	7.6	単剥離面打面　末端縁に微小剥離痕
67-10		SK4004	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	10.0	単剥離面打面　末端縁裏面の一部に微小剥離痕
68-1		SK4032	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	3.8	複剥離面打面　左側縁に微小剥離痕
68-2		SK4032	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	6.5	打面側折損　末端縁に微小剥離痕
68-3		SK4032	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	37.4	自然面打面　右側縁にわずかに微小剥離痕
68-4		SK4032	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	16.9	単剥離面打面　左側縁に微小剥離痕
68-5		SK4032	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	56.4	単剥離面打面　左側縁に微小剥離痕
68-6		SK4032	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	49.9	複剥離面打面　右側縁に微小剥離痕
69-1		SR4017	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	9.1	打面側折損　末端縁に微小剥離痕
69-2		SKP2024	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	5.7	単剥離面打面　末端蝶番状　両側縁に微小剥離痕
69-3		SKP2046E	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	23.7	単剥離面打面　末端縁に微小剥離痕
69-4		SKP2046I	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	5.8	複剥離面打面　両側縁および末端右側に微小剥離痕
69-5		SKP2054	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	109.0	単剥離面打面　両側縁の一部に微小剥離痕
69-6		SKP2126	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	15.5	単剥離面打面　左側縁に微小剥離痕
70-1		SKP2126	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	33.3	単剥離面打面　左側縁裏面および末端縁に微小剥離痕
70-2		SKP2126	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	33.9	単剥離面打面　左側縁裏面に微小剥離痕
70-3		SKP2203	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	45.8	単剥離面打面　左側縁に微小剥離痕
70-4		SKP2263C	微小剥離痕ある剥片	シルト岩	20.1	複剥離面打面　両側縁に微小剥離痕
70-5		SKP2266	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	8.5	点状打面　裏面右側縁の一部に微小剥離痕
70-6		SK2040	剥片	珪質頁岩	7.3	単剥離面打面　末端一部折れ　折れ面にかすかに微小剥離痕?　別に同一母岩剥片5点あり
71-1	㉛-4	SB2025 P2	石核	珪質頁岩	43.2	b面自然面残る　打面・作業面を90°転移しながら剥片剥離か　最終段階には先行する作業面を打面として長さ3cm未満の小形剥片を剥離

第135表　北調査区遺構出土石器類観察表(2)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
71-2	㉛-6	SB2025 P3	石核	珪質頁岩	11.1	無調整打面からa面を作業面として小形の縦長剥片を連続剥離 b面は両側からの剥離痕
71-3	㉛-7	SB2025 P3	石核	珪質頁岩	31.7	一部細かい二次加工痕ある節理面打面からa･b両面を作業面として剥片剥離　下端部被熱はじけ
71-4		SK2040	石核	珪質頁岩	48.8	直方体状をなす　打面･作業面の転移あり
71-5	㉛-5	SK2105A	石核	珪質頁岩	41.2	小円礫素材か　打面と作業面を入れ替えて小形の横長剥片剥離 b面自然面残る
72･73-1	㉚-1	SK2105A	石核	珪質頁岩	549.6	73-2から分割後、分割面(e面)･a･b面から大形の剥片を剥離 その後73-3を分割し、両者の分割面(c面)を打面にそれぞれ長さ6cm前後の縦長剥片剥離
73-2	㉚-1	SK2105A	石核	珪質頁岩	536.6	73-1･3との分割面(c面)から長さ4cm前後の剥片1枚剥離　その後分割面と相対する自然面とを打面とし、打点を左右に移動しながら長さ4cm前後の剥片を剥離　生産された剥片はいずれもやや寸詰まりの形態か
73-3	㉚-1	SK2105A	石核	珪質頁岩	1135.9	73-1と分割後には剥片剥離なし
74-1	㉛-3	SK3032	石核	珪質頁岩	173.2	打面調整なし　b面に自然面残す
74-2	㉛-2	SK3032	石核	珪質頁岩	74.5	複数打面　1面は剥離面打面　1面は節理面打面
74-3	㉛-1	SK3032	石核	珪質頁岩	48.6	剥片素材　節理面打面
74-4		SK3032	石核	珪質頁岩	104.8	打面転移　剥離面打面と節理面打面
75-1		SK4004	石核	珪質頁岩	140.8	下面に自然面残す　e面を打面とし、打点縁辺を移動しながら剥片剥離　その後打面a面に90°転移し、c面を作業面にして剥片剥離
75-2		SK4004	石核	珪質頁岩	170.8	裏面に自然面残す　e面左側は素材分割礫面か　e面を打面としc面から剥片剥離　その後a面を作業面にし、打面を90°転移しながら剥片剥離
76-1		SQ2098	石核	珪質頁岩	353.3	風化剥離面のd面を打面に打点左右に移動しながらb面から剥片剥離　その後、打面と作業面とを90°転移してe面とa面とから剥片剥離
76-2		SKP2024	石核	珪質頁岩	194.4	打面と作業面とを入れ替えながら、求心状に剥片剥離
77-1		SKP2036	石核	珪質頁岩	663.9	両面に自然面残す　打面と作業面とを入れ替えながら、求心状の剥片剥離
77-2		SKP2045	石核	珪質頁岩	161.7	打面･作業面を90°転移　下面自然面
78-1		SKP2126	石核	珪質頁岩	174.1	e面を作業面とし、両設打面からの剥片剥離　その後e面を打面に転移し、4周を作業面として剥片剥離
78-2	㉛-9	SKP2304	石核	珪質頁岩	441.5	亜角礫素材　c面に数枚の剥離を加え打面を作出し、剥片1枚剥離
78-3	㉛-8	SKP2361	石核	珪質頁岩	54.4	表面ポジ面ある剥片素材　素材主剥離面に上下から剥片剥離
79-1	㉙-11	SKP2222	石篦	珪質頁岩	54.1	横長剥片素材　基部尖頭状なす撥形　刃部両面には細かい二次加工　両面中央から基部にかけて部分的に黒色物質付着　刃部再生か
79-2		SKP2092	礫器	珪質頁岩	947.7	大形の横長剥片素材　表面自然面　刃部二次加工なし　刃部片側に微小剥離痕　石核の可能性
80-1	㉛-14	SKP2133B	石錘	砂岩	55.6	扁平円礫両端両面から打ち欠き、浅い抉り作出
80-2	㉜-3	SB2025 P2	凹石類	斑状デイサイト	202.1	両面に敲打痕　表面の敲打痕は裏面よりも深い
80-3	㉜-14	SB2025 P2	凹石類	輝石安山岩	394.7	両面に敲打痕各2ヶ所　表面磨面
80-4		SB2025 P2	凹石類	輝石安山岩	576.0	両面に2～3ヶ所の浅い敲打痕　裏面磨面　被熱?
80-5		SK2001	凹石類	砂岩	474.7	両面に各2ヶ所の敲打痕　表面中央の敲打痕は浅い盲孔状
80-6		SK2006	凹石類	輝石安山岩	976.8	円礫両面に磨面　一側面に摩耗ある敲打痕
80-7		SK2042	凹石類	斑状デイサイト	211.0	棒状円礫素材か　下半欠損　表面に盲孔状敲打痕
81-1		SK2119	凹石類	輝石安山岩	2089.0	比較的大形の円礫表面に磨面　石皿の可能性あり
81-2		SK2128	凹石類	砂岩	328.6	両面と右下側縁の一部に浅い敲打痕
81-3	㉝-6	SK3032	凹石類	輝石安山岩	144.6	両面磨面　表面左側縁被熱
81-4	㉜-8	SK3032	凹石類	輝石安山岩	214.7	両面中央に浅い敲打痕　表面磨面
81-5	㉜-7	SK3032	凹石類	砂岩	660.9	表面盲孔状の敲打痕　右側面～裏面左側浅い敲打痕

第136表　北調査区遺構出土石器類観察表(3)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
81-6		SK3032	凹石類	輝石安山岩	337.0	表面磨面　被熱痕
81-7		SK3032	凹石類	凝灰岩	51.4	片面に擦痕様の線状痕
82-1		SK3032	凹石類	砂岩	3650.0	表面浅い敲打痕と擦痕
82-2		SK4004	凹石類	安山岩	1739.9	表面浅い敲打痕
82-3		SK4004	凹石類	礫岩	1005.2	表面および上面に浅い敲打痕
82-4	㉜-13	SK4004	凹石類	輝石安山岩	361.2	表面磨痕　裏面浅い敲打痕
82-5		SK4032	凹石類	輝石安山岩	802.7	表面磨痕
82-6		SK4032	凹石類	輝石安山岩	709.2	上下端欠　表面磨痕と敲打痕　他面磨痕
83-1		SR4006	凹石類	斑状デイサイト	1340.9	表面磨面　両側面に敲打痕?
83-2	㉝-2	SKP2005	凹石類	輝石安山岩	475.6	両面磨面　下半両面に被熱痕
83-3	㉜-2	SKP2021	凹石類	輝石安山岩	463.8	両面各2ヶ所･側面1ヶ所に浅い敲打痕
83-4		SKP2021	凹石類	斑状デイサイト	988.5	表面磨面　敲打痕なし
83-5	㉜-10	SKP2024	凹石類	輝石安山岩	260.0	両面に敲打痕各1ヶ所　表面の敲打痕は浅い盲孔状　表面磨面
83-6	㉜-5	SKP2036	凹石類	凝灰岩	253.5	亜角礫の5面に1～2ヶ所の盲孔状敲打痕
83-7	㉜-6	SKP2036	凹石類	凝灰岩	242.2	両面に浅い盲孔状敲打痕各1ヶ所
83-8		SKP2036	凹石類	凝灰岩	319.7	表面に敲打痕1ヶ所と磨面
84-1		SKP2045	凹石類	輝石安山岩	489.5	表面磨面
84-2		SKP2050	凹石類	輝石安山岩	630.1	表面に浅い盲孔状敲打痕と磨面　裏面に敲打痕と磨面　一部被熱痕　上半欠損
84-3	㉜-1	SKP2053	凹石類	斑状デイサイト	306.0	表面に敲打痕
84-4	㉜-9	SKP2053	凹石類	輝石安山岩	405.7	周囲を打ち欠いて不整の直方体に整形　両面に浅い敲打痕　表面平坦な磨面　石皿もしくは砥石転用の可能性
84-5		SKP2053	凹石類	輝石安山岩	897.7	表面磨面　裏面被熱痕
84-6		SKP2080	凹石類	凝灰岩	536.8	両面および両側面に盲孔状敲打痕　下端に浅い敲打痕
84-7	㉜-4	SKP2087B	凹石類	斑状デイサイト	175.3	小形円礫素材　表面に不整盲孔状敲打痕
84-8	㉜-11	SKP2096	凹石類	輝石安山岩	466.8	両側面の敲打痕以外は全面磨面　右側面に赤色顔料付着
85-1		SKP2097	凹石類	輝石安山岩	3260.0	大形円礫素材　両面の一部に磨面
85-2	㉝-5	SKP2097	凹石類	輝石安山岩	384.6	両面平坦な磨面
85-3	㉜-12	SKP2126	凹石類	輝石安山岩	494.4	表面浅い敲打痕3ヶ所　両面磨面　稜部分が特に磨痕顕著
85-4		SKP2133A	凹石類	砂岩	183.7	円礫片面の一部のみの破片　中央に盲孔状敲打痕
85-5		SKP2134	凹石類	砂岩	265.4	表面磨面
85-6	㉝-1	SKP2151	凹石類	輝石安山岩	509.0	表面上半に磨面　表面下半および裏面も磨面の可能性あるが明瞭ではない
85-7	㉝-4	SKP2152	凹石類	輝石安山岩	715.1	右側縁二次加工により整形か　表面磨面
85-8	㉜-15	SKP2160	凹石類	輝石安山岩	566.5	表面敲打痕と磨面　裏面磨面
86-1		SKP2191	凹石類	凝灰質砂岩	406.8	不整立方体状の亜角礫素材　3面に盲孔状敲打痕
86-2		SKP2267	凹石類	輝石安山岩	914.6	表面磨面　下端欠損

第137表　北調査区遺構出土石器類観察表(4)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
86-3		SKP2290	凹石類	輝石安山岩	905.5	両面磨面
86-4	㉝-3	SKP2295	凹石類	輝石安山岩	825.9	表面磨面および一部に線状痕
86-5	㉝-7	SK2001	石皿	輝石安山岩	5080.0	表面浅くくぼむ磨面　両端かすかに欠損　欠損後被熱
86-6		SK2006	石皿	輝石安山岩	4880.0	扁平円礫表面平坦な磨面?
87-1		SK2105A	石皿	輝石安山岩	2912.0	片面浅くくぼんだ磨面　両面に欠損前の被熱痕
87-2		SK3032	石皿	輝石安山岩	4760.0	表面に浅くくぼんだ磨面
87-3	㉝-8	SK4041	石皿	砂岩	2309.1	表面内湾した磨面
87-4		SK4041	石皿	輝石安山岩	3450.0	表面平坦な磨面
87-5		SKP2005	石皿	輝石安山岩	4340.0	表面かすかにくぼむ磨面　被熱痕あり
87-6		SKP2094B	石皿	輝石安山岩	699.7	下半欠損　表面磨面　被熱痕あり
87-7		SKP2126	石皿	凝灰角礫岩	6070.0	表面浅くくぼんだ磨面　被熱痕あり
88-1		SKP2221	石皿	輝石安山岩	1586.6	両面平坦な磨面
88-2		SKP2266	石皿	輝石安山岩	1170.0	両面に浅くくぼんだ磨面
88-3		SK4032	台石	凝灰岩	1273.0	右半欠　表面磨痕と敲打痕　裏面磨痕
88-4	㉛-10	SR4007	盲孔石製品	凝灰岩	2.2	加撃により不整方形平面形に整形　表面打撃?による盲孔　裏面未加工
88-5	㉛-11	SR4007	盲孔石製品	凝灰岩	0.9	被熱小円礫からの剥片素材　主剥離面に断続的な?回転穿孔による浅い盲孔
88-6	㉛-12	SKP2005	有孔礫	凝灰岩	20.7	小形円礫一端側に孔　明瞭な加工痕なく生痕の可能性
88-7	㉛-13	SK2116	石剣類	菫青石ホルンフェルス	12.9	薄片状の小破片　右側面研磨痕　他面は水磨様の摩滅痕

第138表　北調査区遺構出土石器類観察表(5)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
306-1	㊽-12	SI20	石鏃	珪質頁岩	1.4	有茎石鏃　両面調整　基部にアスファルト付着
306-2	㊽-5	SB430P5	石鏃	松脂岩	0.6	有茎　表面素材面残　裏面全面二次加工
306-3	㊽-3	SK16A	石鏃	珪質頁岩	2.3	有茎石鏃　表裏面に先行剥離面を残す
306-4	㊽-1	SK76	石鏃	玉髄	1.5	有茎　両面全面二次加工
306-5	㊽-8	SK76	石鏃	玉髄	1.6	有茎　両面全面二次加工
306-6	㊽-23	SK102	石鏃	珪質頁岩	1.1	浅い凹基　尖頭部は錐状　基部両端は丸み
306-7	㊽-19	SK165	石鏃	珪質頁岩	2.9	浅い凹基　両面全面二次加工
306-8	㊽-2	SK357	石鏃	珪質頁岩	4.1	基部折損　両面全面に二次加工
306-9	㊽-6	SK387	石鏃	凝灰岩	0.7	有茎　茎部末端欠損　両面ほぼ全面二次加工
306-10	㊽-21	SK496	石鏃	珪質頁岩	1.2	浅い凹基　両面全面二次加工　両面尖頭部側に黒色付着物?
306-11	㊽-11	SK558	石鏃	珪質頁岩	2.0	有茎　先端部欠損　両面全面二次加工　体部中央から茎部の一部に黒色物質付着
306-12	㊽-18	SK558	石鏃	珪質頁岩	1.6	円基　尖頭部欠損　裏面主剥離面残す　素材側縁側に尖頭部作出
306-13	㊽-10	SK576	石鏃	頁岩	1.7	有茎石鏃　基部にアスファルト付着
306-14	㊽-20	SK589	石鏃	流紋岩	0.8	有茎　茎部末端欠損　表面全面二次加工　裏面素材先行剥離面?残す
306-15	㊽-22	SK3013	石鏃	頁岩	1.4	有茎鏃　表裏面中央部に先行剥離面を残す
306-16	㊽-7	SK3126A	石鏃	珪質頁岩	0.1	茎部破片
306-17	㊽-15	SK3232	石鏃	流紋岩	0.2	有茎　両面素材面残す　非実用品か
306-18	㊽-17	SK3232	石鏃	珪化流紋岩	0.6	有茎　茎部折損　両面全面二次加工
306-19	㊽-9	SR257	石鏃	珪質頁岩	2.4	横長剥片素材か　有茎　ほぼ両面全面二次加工
306-20	㊽-14	SR442	石鏃	珪質頁岩	5.4	有茎　縦長剥片素材　表面縁辺へ急角度の二次加工施し素材末端側を尖頭部に、打面側を茎部に整形
306-21	㊽-16	SR3059	石鏃	流紋岩	1.0	有茎　茎部折損　両面全面二次加工
306-22	㊽-13	SR3189	石鏃	珪質頁岩	0.8	有茎　ほぼ両面全面二次加工
306-23	㊽-4	SKP602	石鏃	黒曜石	0.8	有茎石鏃
306-24	㊽-24	SK546	石槍	流紋岩	49.6	両面全面二次加工　基部折損
306-25		SK3110	石槍	頁岩	2.8	両面に平坦剥離　裏面に広く先行剥離面残る
307-1	㊽-28	SB430P4	石匙	珪質頁岩	10.3	打面不明　横長剥片素材か　素材打面側につまみ部作出　素材末端縁表縁に二次加工施し、刃部作出　右半折損
307-2	㊾-6	SK62	石匙	頁岩	11.4	打面を残す縦型剥片の表面の両側縁に刃部作出
307-3	㊾-2	SK136	石匙	頁岩	1.6	縦型石匙の先端部片　両面の両側縁に刃部
307-4	㊽-30	SK203	石匙	珪質頁岩	25.4	単剥離面打面残　素材側縁側につまみ部作出　つまみ部に相対する素材側縁両縁に二次加工施し刃部作出　つまみ部に黒色物質付着
307-5	㊾-3	SK251	石匙	珪質頁岩	7.3	打面を残す縦長剥片の表裏面の両側縁に刃部作出
307-6	㊽-29	SK274	石匙	珪質頁岩	15.9	縦長剥片の打面側につまみ部　剥片先端部の両面に刃部作出　未製品?
307-7	㊾-10	SK387	石匙	珪質頁岩	15.1	刃部側折損　素材末端縁側につまみ部作出　左面右下縁に細かい二次加工施し刃部作出
307-8	㊾-9	SK394	石匙	頁岩	5.9	打面を残す縦型剥片の表面両側縁に刃部作出
307-9	㊽-31	SK403	石匙	珪質頁岩	31.6	単剥離面打面か　素材打面側につまみ部作出　表面左側縁～末端縁両縁加工施し尖頭状の刃部作出
307-10	㊾-4	SK403	石匙	珪質頁岩	6.1	縦長剥片素材　節理面打面か　素材打面側につまみ部作出　表面両縁に細かい二次加工施し刃部作出
307-11	㊾-12	SK422	石匙	珪質頁岩	12.4	縦長剥片素材　両面に素材剥離面残る　表面周縁に刃部作出
308-1	㊾-5	SK447	石匙	頁岩	5.3	縦型剥片の表面右側縁と裏面の下縁に刃部を作出
308-2	㊾-7	SK452	石匙	頁岩	9.6	縦型剥片の表面左側縁に刃部を作出
308-3	㊾-13	SK546	石匙	珪質頁岩	30.3	縦長剥片素材か　素材打面側につまみ部作出　刃部表面の二次加工は比較的急角度　裏面の二次加工は平坦
308-4	㊽-32	SK546	石匙	珪質頁岩	13.4	素材打面側につまみ部作出　素材末端縁表面および裏面の一部に二次加工施し、刃部作出　表面右端尖頭状
308-5	㊾-8	SK586	石匙	珪質頁岩	12.4	縦長剥片素材　素材末端側につまみ部作出　表面両側縁～打面に二次加工施し尖頭状の刃部作出
308-6	㊽-33	SK598	石匙	珪質頁岩	72.9	素材剥片は単剥離面(節理面)打面か　素材打面横につまみ部作出　素材表面末端縁に細かい二次加工痕施し、刃部作出
308-7	㊽-26	SR228	石匙	珪質頁岩	10.2	横長剥片素材か　つまみ部欠　表面左側が尖頭状　つまみ部右横に小突起状の張り出し　あるいは右側縁に凹刃作出を意図したものか
308-8	㊾-1	SR262	石匙	珪質頁岩	3.4	単剥離面打面残　打面側につまみ部作出　表面両側縁二次加工

第139表　南調査区遺構出土石器類観察表(1)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
308-9	㊻-11	SR3217	石匙	珪質頁岩	12.3	単剥離面打面残　素材末端縁蝶番状　素材打面側につまみ部作出　表面右側縁と裏面両側縁に連続した二次加工施し、刃部作出
308-10	㊺-27	SR3290	石匙	珪質頁岩	14.8	節理面打面残す　素材打面側につまみ部作出　つまみ部以外に二次加工ほとんどなし
308-11	㊺-25	SKP655	石匙	流紋岩	9.7	素材単剥離面打面残　素材側縁側につまみ部作出　刃部側折損
309-1	㊻-15	SI388	石錐	珪質頁岩	9.3	錐部折損　つまみ部末端側折断･裁断により整形後表面全面･裏面縁辺二次加工
309-2	㊻-16	SK11	石錐	頁岩	13.7	錐部は片面調整で作出
309-3	㊻-18	SK16A	石錐?	頁岩	6.0	縦型剥片の下端に刃部を作出
309-4	㊻-19	SK394	石錐	頁岩	5.2	打面を残す縦型剥片の下側縁に刃部を作出したつまみ付き石針
309-5	㊻-17	SK524	石錐	頁岩	20.0	打面を残す縦型剥片の下縁に刃部を作出したつまみ付き刺突石針
309-6	㊻-14	SK558	石錐	珪質頁岩	5.3	錐部先端欠損　単剥離面打面残す　素材末端側に錐部作出
309-7	㊻-20	SK558	石錐	珪質頁岩	2.5	錐部先端欠損　表面素材面残　残存錐部使用痕不明
309-8	㊻-21	SR53	石錐	珪質頁岩	2.8	両面全面二次加工　尖頭部摩滅痕あり
309-9		SI388	スクレイパー	珪質頁岩	24.8	表面自然面残　打面側折損後折損面から表面に細かい二次加工　表面左側縁に細かい二次加工　末端側折損後二次加工?　表面右側縁に微小剥離痕
309-10		SI388	スクレイパー	珪質頁岩	5.4	単剥離面打面　裏面左側縁に二次加工施し刃部作出
309-11		SB430P2	スクレイパー	珪質頁岩	9.7	複剥離面打面　表面左側縁に連続した二次加工施し刃部作出
309-12		SK03	スクレイパー	頁岩	32.3	表縁二次加工
309-13		SK13	スクレイパー	頁岩	10.2	表面の左側縁に細かな二次加工で急角度の刃部
310-1		SK14	スクレイパー	頁岩	33.6	縦型剥片の1側縁に刃部　楔形石器に転用?
310-2		SK14	スクレイパー	頁岩	10.8	打面を残す縦型剥片の両側縁に刃部
310-3		SK56	スクレイパー	頁岩	2.3	片側縁に刃部
310-4		SK60	スクレイパー	頁岩	9.2	打面除去後に刃部作出　片側縁に使用痕
310-5		SK60	スクレイパー	頁岩	49.3	打面残す　下側縁に刃部作出　礫皮面残る
310-6		SK60	スクレイパー	頁岩	9.7	打面を残す縦長剥片の両側縁に刃部作出
310-7		SK62	スクレイパー	頁岩	20.6	礫皮面を残す縦型剥片の2側縁に刃部作出
310-8		SK143	スクレイパー	珪質頁岩	83.5	両側縁および打面側に両面二次加工施し刃部作出
310-9		SK165	スクレイパー	玉髄	10.4	打面側縁辺両面から連続した細かい二次加工施し刃部作出　末端縁表面にも連続した細かい二次加工施し刃部作出
311-1		SK173	スクレイパー	頁岩	17.0	打面を残す縦型剥片の1側縁に使用痕　下縁に二次加工
311-2		SK194	スクレイパー	頁岩	94.0	打面を残す横型剥片　末端縁に刃部
311-3		SK194	スクレイパー	頁岩	31.4	石核の末端縁に刃部
311-4		SK233	スクレイパー	頁岩	43.5	横型剥片の末端縁に刃部
311-5		SK274	スクレイパー	珪質頁岩	21.1	縦長剥片の表面片側縁に刃部作出　刃部角度は平坦
311-6		SK387	スクレイパー	珪質頁岩	17.5	自然面打面　末端縁両面に二次加工施し刃部作出
311-7		SK387	スクレイパー	珪質頁岩	30.3	複剥離面打面　裏面末端縁右側と右側縁に二次加工施し刃部作出
312-1		SK387	スクレイパー	頁岩	39.6	単剥離面打面　裏面末端縁左半側に細かい連続した二次加工施し刃部作出　裏面左側縁と末端縁右半側に微小剥離痕
312-2		SK387	スクレイパー	珪質頁岩	11.5	線状打面　表面左側縁～末端縁に二次加工施し刃部作出　表面右側縁に微小剥離痕
312-3		SK393	スクレイパー	珪質頁岩	24.6	打面欠　表面自然面残　表面右側縁に細かい二次加工施し刃部作出
312-4		SK403	スクレイパー	珪質頁岩	42.6	単剥離面打面　表面右側縁両縁加工　左側縁裏縁加工施し刃部作出
312-5		SK403	スクレイパー	珪質頁岩	2.7	末端側折損　両側縁～打面側に両縁二次加工施し尖頭状の刃部作
312-6		SK403	スクレイパー	珪質頁岩	3.8	打面側折損　末端縁細かい両縁加工施し刃部作出
312-7		SK403	スクレイパー	珪質頁岩	10.7	複剥離面打面　表面右側縁両縁加工施し刃部作出
312-8		SK403	スクレイパー	珪質頁岩	33.5	打面側折損　表面両側縁不整の二次加工痕　裏面末端縁細かい二次加工施し刃部作出
312-9		SK403	スクレイパー	珪質頁岩	24.4	複剥離面打面　表面左側縁表縁二次加工　末端縁両縁二次加工施しそれぞれ刃部作出
312-10		SK475	スクレイパー	珪質頁岩	34.6	複剥離面打面　表面左側縁と裏面左側縁に細かい二次加工施し刃
313-1		SK524	スクレイパー	頁岩	26.4	打面を残す横型剥片の下縁に刃部
313-2		SK546	スクレイパー	珪質頁岩	22.0	単剥離面打面残す縦長剥片素材　裏面右側縁に二次加工施し刃部

第140表　南調査区遺構出土石器類観察表(2)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
313-3		SK555	スクレイパー	頁岩	61.3	打面を残す縦型剥片の末端縁に刃部
313-4		SK555	スクレイパー	頁岩	200.4	縦型剥片の両側縁に刃部
313-5		SK558	スクレイパー	珪質頁岩	3.2	打面側折損　裏面左側縁に細かい連続した二次加工施し刃部作出　裏面右側縁に微小剥離痕　石匙?
314-1		SK572	スクレイパー	珪質頁岩	176.8	単剥離面打面　裏面右側縁に連続した二次加工施し刃部作出　末端縁微小剥離痕
314-2		SK576	スクレイパー	頁岩	32.9	打面を残す横型剥片の表面左側縁と下縁に刃部
314-3		SK589	スクレイパー	流紋岩	15.7	複剥離面打面　末端側欠損　おもに表面両側縁に細かい二次加工施し、刃部作出
314-4		SK3013	スクレイパー	頁岩	6.8	打面を残す横型剥片の裏面の下縁に刃部
314-5		SK3013	スクレイパー	頁岩	9.6	打面を残す縦型剥片の表面右側縁と下縁に刃部
314-6		SK3028	スクレイパー	頁岩	22.0	剥片の表面両側縁に刃部
314-7		SK3030	スクレイパー	珪質頁岩	21.6	単剥離面打面　裏面両側縁～末端縁細かい二次加工施し刃部作出
315-1		SK3062	スクレイパー	頁岩	101.6	横型剥片の表面左側縁に刃部
315-2		SK3062	スクレイパー	頁岩	4.5	横型剥片の表面下縁に刃部
315-3		SK3062	スクレイパー	頁岩	17.7	縦型剥片の裏面両側縁に刃部
315-4		SK3063	スクレイパー	頁岩	1.5	縦型剥片の裏面下端に刃部
315-5		SK3110	スクレイパー	頁岩	12.8	縦型剥片の下縁に刃部
315-6		SK3126A	スクレイパー	珪質頁岩	1.8	単剥離面打面　表面右半折損　表面左側縁に細かい二次加工施し刃部作出
315-7		SK3188	スクレイパー	頁岩	5.8	縦型剥片の裏面左側縁に刃部
315-8		SR228	スクレイパー	泥岩	57.3	複剥離面打面　裏面末端縁に細かい二次加工施し刃部作出　同左縁に微小剥離痕
315-9		SR3005	スクレイパー	頁岩	44.9	表面の上端に刃部
315-10		SR3005	スクレイパー	頁岩	3.5	折損した縦型剥片の両側縁に刃部
316-1		SR3014	スクレイパー	頁岩	33.7	打面を残す縦型剥片の左側縁表裏面に刃部
316-2		SR3015	スクレイパー	頁岩	18.1	縦型剥片の表面両側縁に刃部
316-3		SR3189	スクレイパー	珪質頁岩	97.5	単剥離面打面　主に裏面左側縁に二次加工施し刃部作出
316-4		SN346	スクレイパー	珪質頁岩	94.3	打面残す縦長剥片の先端表面に急角度の刃部
316-5		SKP01	スクレイパー	頁岩	12.8	下側縁二次加工
317-1		SKP02	スクレイパー	頁岩	50.6	表縁二次加工
317-2		SKP33	スクレイパー	頁岩	16.0	打面と礫皮面を残す縦型剥片の1側縁に刃部
317-3		SKP189	スクレイパー	頁岩	4.3	縦型剥片の1側縁に刃部
317-4		SKP191	スクレイパー	頁岩	68.3	礫皮面を広く残す縦型剥片の1側縁に刃部　370-3と同一母岩
317-5		SKP193	スクレイパー	頁岩	87.0	打面を残す縦型剥片　1側縁に刃部
317-6		SKP221	スクレイパー	珪質頁岩	4.7	縦長剥片素材か　打面側両面二次加工施しやや尖頭状に整形　左側縁両縁加工により刃部作出　右側縁下半は表縁加工により刃部作出か
317-7		SKP275	スクレイパー	珪質頁岩	76.4	縦長剥片の裏面片側縁に刃部作出
318-1		SKP293	スクレイパー	頁岩	20.3	打面を残す縦型剥片の末端縁に刃部
318-2		SKP309	スクレイパー	頁岩	16.6	打面を残す縦型剥片の表面左側縁と末端縁に刃部
318-3		SKP613	スクレイパー	珪質頁岩	45.3	打面側折損か　裏面風化面?　表面下端に急角度の二次加工施し刃部作出
318-4		SKP650	スクレイパー	珪質頁岩	36.4	単剥離面打面　表面両側縁～末端に急角度の二次加工施し、尖頭状刃部作出
318-5		SKP712	スクレイパー	頁岩	17.0	単剥離面打面　表面両側縁～末端縁・裏面末端縁に二次加工施し刃部作出
318-6		SKP730	スクレイパー	頁岩	31.2	単剥離面打面　表面左側縁に細かい二次加工施し刃部作出　表面右端と裏面左端の一部に黒色物質付着
318-7		SKP3179	スクレイパー	珪質頁岩	10.4	打面欠損　右側縁折損　表面末端縁に細かい二次加工施し刃部作出　裏縁に微小剥離痕顕著　表面左側縁両面から二次加工　表面からは急角度の二次加工
318-8		SK60	楔形石器	頁岩	74.5	打面と礫皮面を残す縦型剥片　下側縁にノッチ
318-9		SK235A	楔形石器	松脂岩	11.5	小円礫素材か　裏面・下面自然面残　裏面截断状の剥離痕
318-10		SR170	楔形石器	珪質頁岩	15.1	表裏両端に階段状剥離痕
318-11		SR228	楔形石器	珪質頁岩	3.7	上面截断面　上面表側と下縁両面に細かい階段状剥離痕
319-1		SI388	二次加工ある剥片	珪質頁岩	23.8	自然面打面　表面へ連続した二次加工施し右側縁内湾　表面左側縁～末端縁に微小剥離痕
319-2		SI388	二次加工ある剥片	珪質頁岩	71.8	打面二次加工施し除去?　裏面両側縁に不整二次加工痕　その後表面両側縁に各1枚の不整二次加工痕
319-3		SI388	二次加工ある剥片	珪質頁岩	74.9	単剥離面打面?　裏面打面側と末端縁に不整二次加工痕
319-4		SI388	二次加工ある剥片	珪質頁岩	92.4	打面欠損?　表面打面側・左側縁・裏面末端縁不整の二次加工痕
319-5		SI388	二次加工ある剥片	珪質頁岩	15.2	単剥離面打面　表面自然面残　裏面両側縁下半に不整の二次加工痕　表面中央の一部に黒色物質付着

第141表　南調査区遺構出土石器類観察表(3)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
319-6		SI388	二次加工ある剥片	珪質頁岩	20.6	打面側·両側縁折断か　表面末端縁に二次加工
319-7		SI388	二次加工ある剥片	珪質頁岩	156.5	表面自然面残　末端側折損　裏面左側縁から大形の二次加工痕　右側打面寄りに二次加工痕1枚
320-1		SI388	二次加工ある剥片	珪質頁岩	227.5	表面自然面残　打面側両面大形の二次加工痕
320-2		SI388	二次加工ある剥片	珪質頁岩	486.3	素材形状不明　下端欠損　表面右側縁へ急角度の二次加工　左側縁両面へ二次加工施し撥形に整形
321-1		SI617	二次加工ある剥片	珪質頁岩	37.3	石核素材?　表面上半と左側縁に平坦で細かい二次加工痕
321-2		SI617P3	二次加工ある剥片	珪質頁岩	14.3	単剥離面打面　表面左側縁に急角度の二次加工痕　表面右側縁に鋸歯状の微小剥離痕
321-3		SB430P1	二次加工ある剥片	珪質頁岩	8.1	打面除去　表面左側縁側両面に二次加工
321-4		SB430P1	二次加工ある剥片	珪質頁岩	30.3	打面除去後表面右側折断　その後主に裏面上部と表面左側縁側両面に粗大な二次加工
321-5		SB430P4	二次加工ある剥片	珪質頁岩	3.8	表面ポジ面　線状打面か　裏面左側縁の一部に二次加工　表面打点両側に小さな抉り
321-6		SB430P5	二次加工ある剥片	珪質頁岩	3.6	打面側欠損もしくは折断　表面末端縁に急角度の二次加工痕　表面右側縁に微小剥離痕　台形様石器に類似
321-7		SB430P5	二次加工ある剥片	珪質頁岩	6.8	打面側欠　末端縁表面に急角度の二次加工痕
321-8		SB430P5	二次加工ある剥片	珪質頁岩	14.0	単剥離面打面　末端縁表面に急角度の二次加工痕　表面末端縁と右側縁に微小剥離痕
321-9		SB430P6	二次加工ある剥片	珪質頁岩	37.4	複剥離面打面　表面右側縁に両面から交互の連続した二次加工　表面左側縁に微小剥離痕
321-10		SB430P6	二次加工ある剥片	珪質頁岩	44.1	単剥離面打面　表面末端側にやや大形の二次加工痕
322-1		SK76	二次加工ある剥片	珪質頁岩	5.6	打面欠損　右側縁二次加工により鋸歯状
322-2		SK102	二次加工ある剥片	黒曜石	3.9	自然面打面?　ほぼ全面に二次加工痕　石鏃未成品か
322-3		SK110	二次加工ある剥片	珪質頁岩	6.7	打面側欠損　末端縁両面に不整の二次加工痕
322-4		SK110	二次加工ある剥片	珪質頁岩	1.5	打面二次加工により除去　表面打面左側に急角度の二次加工痕
322-5		SK150A	二次加工ある剥片	珪質頁岩	3.4	打面側折損　裏面右側縁に連続した二次加工痕
322-6		SK165	二次加工ある剥片	珪質頁岩	1.1	単剥離面打面　末端縁裏側に連続した細かい二次加工痕
322-7		SK165	二次加工ある剥片	玉髄	4.3	下半欠損　両面ほぼ全面二次加工施し尖頭状に整形　石鏃もしくは尖頭器か
322-8		SK165	二次加工ある剥片	珪質頁岩	11.5	単剥離面打面　両側縁階段状剥離痕
322-9		SK165	二次加工ある剥片	珪質頁岩	10.6	打面折損?　裏面折れ面から二次加工
322-10		SK165	二次加工ある剥片	珪質頁岩	10.4	打面破損　裏面末端縁に二次加工痕
322-11		SK165	二次加工ある剥片	珪質頁岩	8.4	節理面打面　末端側二次加工施し尖頭状に整形　尖頭部裏側摩耗　石錐か
322-12		SK165	二次加工ある剥片	珪質頁岩	26.3	打面·打瘤二次加工施し除去　左側縁末端側急角度の二次加工施し鋸歯状
322-13		SK165	二次加工ある剥片	珪質頁岩	19.6	単剥離面打面　両側縁裏面に二次加工　裏面右側縁の一部に黒色物質付着
322-14		SK165	二次加工ある剥片	珪質頁岩	27.8	打面急角度の二次加工施し除去　右側縁末端側に二次加工
323-1		SK165	二次加工ある剥片	珪質頁岩	51.3	打面二次加工施し除去　右側縁急角度の二次加工痕　左側縁微小剥離痕
323-2		SK165	二次加工ある剥片	珪質頁岩	108.8	複剥離面打面　表面末端縁に不整な二次加工痕
323-3		SK186	二次加工ある剥片	珪質頁岩	62.4	単剥離面打面　裏面左縁に大形の二次加工痕　末端縁表面→裏面の順の細かい二次加工痕
323-4		SK186	二次加工ある剥片	珪質頁岩	85.8	打面欠　主剥離面風化　表面全面と裏面両側縁に二次加工痕
324-1		SK186	二次加工ある剥片	珪質頁岩	109.7	風化した単剥離面打面か(打面除去)　表面自然面残る　裏面末端側からの二次加工痕
324-2		SK203	二次加工ある剥片	珪質頁岩	12.1	打面側折損　末端縁右側両縁にやや不整の剥離痕　左側縁側にかけて両縁に微小剥離痕

第142表　南調査区遺構出土石器類観察表(4)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
324－3		SK220	二次加工ある剥片	珪質頁岩	55.7	打面側欠失　右側縁に二次加工痕　上縁に微小剥離痕
324－4		SK231	二次加工ある剥片	珪質頁岩	36.7	剥片の下端に浅い二次加工
324－5		SK235A	二次加工ある剥片	珪質頁岩	28.2	線状打面　表面末端縁に不整の二次加工痕　右側縁に微小剥離痕
324－6		SK235B	二次加工ある剥片	珪質頁岩	21.3	複剥離面打面　末端左半折れ面　末端左側に両面からの細かい二次加工痕
324－7		SK235A･B	二次加工ある剥片	珪質頁岩	25.8	複剥離面打面　裏面左側縁上半に不整の二次加工痕
325－1		SK236	二次加工ある剥片	珪質頁岩	33.5	複剥離面打面　表面右側縁下半急角度二次加工　裏面右側縁下半平坦な二次加工　石錐の可能性あり　明瞭な摩耗痕なし
325－2		SK252	二次加工ある剥片	珪質頁岩	13.7	礫皮面を残す剥片の表面片側縁に浅い剥離痕
325－3		SK252	二次加工ある剥片	珪質頁岩	11.7	打面を残す縦長剥片の表面下端に浅い剥離痕
325－4		SK264	二次加工ある剥片	珪質頁岩	36.2	単剥離面打面　裏面打面左横から二次加工　両側面下からの截断状剥離面
325－5		SK267	二次加工ある剥片	珪質頁岩	7.8	打面を残す縦長剥片の表面左側縁と裏面下端に剥離痕
325－6		SK267	二次加工ある剥片	珪質頁岩	101.2	打面を残す縦長剥片の両側縁に二次加工
325－7		SK290	二次加工ある剥片	珪質頁岩	33.5	単剥離面打面を有する　片面に自然面残る
325－8		SK297	二次加工ある剥片	珪質頁岩	7.1	打面側欠　裏面右側縁に二次加工痕
325－9		SK297	二次加工ある剥片	珪質頁岩	7.8	打面欠　裏面両側縁に二次加工痕
326－1		SK297	二次加工ある剥片	珪質頁岩	41.5	打面側両面からの二次加工により除去　末端側から両面に各1枚の剥離面
326－2		SK297	二次加工ある剥片	珪質頁岩	4.8	打面側欠　末端縁両側に二次加工痕
326－3		SK297	二次加工ある剥片	珪質頁岩	49.7	裏面左右･下方から平坦な二次加工　その後裏面を打面として側面に急角度の二次加工を施し、撥形平面に整形
326－4		SK301	二次加工ある剥片	珪質頁岩	5.8	打面･末端縁折り取り?　上面の折れ面から裏面に細かい連続した二次加工　石鏃未成品か
326－5		SK357	二次加工ある剥片	珪質頁岩	5.9	複数剥離面のある剥片裏面の上縁に剥離痕
326－6		SK387	二次加工ある剥片	珪質頁岩	10.3	点状打面　表面自然面残　裏面末端縁にやや不整の二次加工痕
326－7		SK387	二次加工ある剥片	珪質頁岩	51.8	複剥離面打面　裏面両側縁に荒い二次加工
326－8		SK387	二次加工ある剥片	珪質頁岩	5.3	単剥離面打面　末端側折損　表面両側縁･裏面打面右側細かい二次加工　末端側階段状の折損縁に微小剥離痕
327－1		SK393	二次加工ある剥片	泥岩	338.7	大形厚手の剥片素材か　表面自然面残　ほぼ両面荒い二次加工石篦の未成品か
327－2		SK393	二次加工ある剥片	珪質頁岩	12.8	打面折損　裏面末端縁に不整の二次加工痕　裏面左側縁に微小剥離痕
327－3		SK395	二次加工ある剥片	珪質頁岩	6.7	両端に二次調整　片面に自然面残る
327－4		SK395	二次加工ある剥片	珪質頁岩	4.7	左側面に自然面残す
327－5		SK397	二次加工ある剥片	珪質頁岩	13.7	打面調整なし
327－6		SK403	二次加工ある剥片	珪質頁岩	31.1	単剥離面打面　素材末端縁側折れ面　表面右側縁･末端縁両縁二次加工　石錐?
328－1		SK495	二次加工ある剥片	玉髄	19.1	自然面打面?　両面両側縁からの二次加工
328－2		SK496	二次加工ある剥片	珪質頁岩	16.5	単剥離面打面　表面右側縁に裏面への急角度の細かい二次加工痕　一部裏面からも二次加工施し浅い抉り作出　末端縁に表面からの急角度の荒い二次加工痕
328－3		SK496	二次加工ある剥片	珪質頁岩	33.5	単剥離面打面　末端側折れ面?　主に裏面左側縁に二次加工痕　末端片側に細かい階段状剥離痕
328－4		SK546	二次加工ある剥片	珪質頁岩	82.4	裏面両側縁に急角度の二次加工痕

第143表　南調査区遺構出土石器類観察表(5)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
328-5		SK546	二次加工ある剥片	珪質頁岩	102.2	単剥離面打面残す剥片素材?　表面風化面残す　表面右側縁に比較的大形の二次加工痕
328-6		SK552	二次加工ある剥片	珪質頁岩	20.7	単剥離面打面　裏面末端に二次加工痕
328-7		SK552	二次加工ある剥片	珪質頁岩	41.9	単剥離面打面?　表面左側縁・裏面末端縁細かい二次加工痕　表面右側縁微小剥離痕
328-8		SK558	二次加工ある剥片	珪質頁岩	10.9	打面側折損　表面自然面残　素材裏面右側縁側に二次加工施し突出部作出　石鏃未成品か
328-9		SK567	二次加工ある剥片	珪質頁岩	4.5	被熱により両側欠損　裏面末端・右側縁に連続した急角度の二次加工痕
328-10		SK572	二次加工ある剥片	珪質頁岩	4.2	末端側折損　表面全面・裏面周縁二次加工　石鏃未成品か
328-11		SK586	二次加工ある剥片	珪質頁岩	15.6	複剥離面打面　表面左側面自然面　裏面末端縁左側に二次加工痕
329-1		SK598	二次加工ある剥片	珪質頁岩	29.2	複剥離面打面　表面自然面残　表面左側縁に不整の二次加工痕　右側縁に微小剥離痕
329-2		SK598	二次加工ある剥片	珪質頁岩	5.5	下半左側縁からの加撃により欠損　ほぼ両面二次加工痕　表面右下に大形の階段状剥離痕あり　下半両側縁つぶれあり　両極打法による石鏃製作中の破損品か
329-3		SK656	二次加工ある剥片	珪質頁岩	50.2	自然面打面?　表面両側～末端縁から二次加工　一部自然面残る裏面全周から全面に二次加工
329-4		SK3030	二次加工ある剥片	珪質頁岩	25.5	裏面風化した主剥離面　打面側折損　裏面末端縁の一部に比較的急角度の二次加工施し鋸歯状に整形?
329-5		SK3127	二次加工ある剥片	珪質頁岩	67.9	単剥離面打面か　両側縁両面から荒い二次加工痕
329-6		SK3140	二次加工ある剥片	珪質頁岩	4.9	横長剥片素材　打面側・末端縁に両面から急角度の二次加工痕　石鏃未成品か
329-7		SK3140	二次加工ある剥片	珪質頁岩	40.1	単剥離面打面　表面末端縁に細かい二次加工施し、凹刃状縁辺作出　裏面右側縁に不整の二次加工施し鋸歯状縁辺作出
329-8		SK3232	二次加工ある剥片	珪質頁岩	38.4	複剥離面打面　裏面両側縁・末端縁に不整の二次加工痕
329-9		SK3232	二次加工ある剥片	松脂岩	5.3	上端自然面残す　両面全面二次加工痕　石鏃未成品か
330-1		SR36	二次加工ある剥片	珪質頁岩	97.2	打面つぶれ?　裏面左側縁～末端縁不整の二次加工　表面両側縁不整の二次加工　末端縁つぶれ
330-2		SR117	二次加工ある剥片	珪質頁岩	51.3	単剥離面打面　表面右側縁に二次加工痕
330-3		SR160	二次加工ある剥片	珪質頁岩	13.1	複剥離面打面　素材打面から両面に不整の二次加工　石器未成品か
330-4		SR171	二次加工ある剥片	珪質頁岩	30.5	全周からほぼ両面全面に二次加工　不整円形平面を呈する
330-5		SR227	二次加工ある剥片	珪質頁岩	20.7	打面欠　表面自然面残　裏面左側3枚の二次加工痕　表面右側大形の二次加工痕
330-6		SR256	二次加工ある剥片	珪質頁岩	99.6	複数剥離面のある剥片裏面の両側縁下端に急角度の二次加工
330-7		SR3008	二次加工ある剥片	頁岩	3.3	縦型剥片の表面の両側縁に二次加工
330-8		SR3010	二次加工ある剥片	頁岩	7.0	打面を残す縦型剥片の両面に平坦剥離
331-1		SKP33	二次加工ある剥片	頁岩	8.2	下側縁に二次加工
331-2		SKP166	二次加工ある剥片	珪質頁岩	62.5	自然面打面　裏面左側縁と末端縁に比較的大形の二次加工痕
331-3		SKP229	二次加工ある剥片	珪質頁岩	28.3	打面上に細かな二次加工
331-4		SKP329	二次加工ある剥片	珪質頁岩	22.5	打面残す縦長剥片の片側縁に浅い二次加工
331-5		SKP464	二次加工ある剥片	頁岩	21.9	表面上端と右側縁に二次加工
331-6		SKP562	二次加工ある剥片	珪質頁岩	8.3	表面からの急角度の二次加工により打面除去　末端縁に微小剥離痕
331-7		SKP609A	二次加工ある剥片	珪質頁岩	56.4	表面右側縁に二次加工施し、鋸歯状縁辺作出
332-1		SKP648	二次加工ある剥片	珪質頁岩	72.5	単剥離面打面　表面両側縁に比較的急角度の二次加工を施す　両側縁は鋸歯状を呈する
332-2		SKP712	二次加工ある剥片	珪質頁岩	11.2	自然面打面　裏面末端縁～右側縁に二次加工痕

第144表　南調査区遺構出土石器類観察表(6)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
332-3		SKP3031	二次加工ある剥片	珪質頁岩	63.3	打面側?折損　表面自然面　裏面全面二次加工痕
332-4		SKP3176	二次加工ある剥片	頁岩	3.1	表面全面と裏面の両側縁部に平坦な剥離　未成品か
332-5		SX551	二次加工ある剥片	珪質頁岩	69.3	複剥離面打面　裏面左側縁にやや不整の二次加工痕
332-6		SX582	二次加工ある剥片	珪質頁岩	16.3	単剥離面打面残　両側から両面に不整の二次加工
332-7		SX582	二次加工ある剥片	珪質頁岩	10.3	表面右側折損　裏面素材主剥離面残　表裏面二次加工痕　表面右側縁つぶれあり
333-1		SI388	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	8.9	単剥離面打面　表面自然面　裏面末端縁に微小剥離痕
333-2		SI388	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	23.8	打面側折損　表面右側縁に微小剥離痕　裏面中央に黒色物質付着
333-3		SI388	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	6.4	線状打面　両極打法による剥離か　両側縁に微小剥離痕
333-4		SI388	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	20.3	複剥離面打面　末端縁微小剥離痕
333-5		SI388	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	18.8	単剥離面打面　末端縁に微小剥離痕
333-6		SI388	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	31.1	単剥離面打面　表面自然面残　表面左側縁に微小剥離痕
333-7		SI388	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	40.1	打面欠損　表面右側縁に微小剥離痕
333-8		SI388	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	37.1	単剥離面打面　両側縁に微小剥離痕
334-1		SI617	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	11.9	打面欠　表面右側縁と末端縁に微小剥離痕
334-2		SI617	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	6.3	点状打面　裏面右側縁に微小剥離痕
334-3		SI617P7	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	29.4	単剥離面打面　両側縁に微小剥離痕
334-4		SI617P9	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	2.8	打面欠　表面右側縁と末端縁に微小剥離痕
334-5		SB430P1	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	6.0	打面欠　末端縁･裏面左側縁に微小剥離痕
334-6		SB430P1	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	8.6	単剥離面打面　両側縁に微小剥離痕
334-7		SB430P1	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	19.6	自然面打面　末端縁に微小剥離痕
334-8		SB430P1	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	31.9	点状打面　両側縁に微小剥離痕
334-9		SB430P2	微小剥離痕ある剥片	頁岩	21.7	複剥離面打面　末端縁に微小剥離痕
334-10		SB430P5	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	7.1	単剥離面打面　裏面右側縁に微小剥離痕
334-11		SB430P5	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	3.4	単剥離面打面　裏面右側縁に微小剥離によるくぼみ
334-12		SB430P6	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	8.5	単剥離面打面　末端縁に微小剥離痕
335-1		SK09	微小剥離痕ある剥片	頁岩	11.1	打面を残す剥片の左側縁に微小剥離痕
335-2		SK14	微小剥離痕ある剥片	頁岩	18.3	打面を残す縦型剥片　1側縁に使用痕
335-3		SK56	微小剥離痕ある剥片	頁岩	39.3	打面残す　下側縁に使用痕
335-4		SK56	微小剥離痕ある剥片	頁岩	3.7	片側縁に使用痕
335-5		SK62	微小剥離痕ある剥片	頁岩	10.4	切断した縦型剥片の1側縁に使用痕　受熱剥片
335-6		SK62	微小剥離痕ある剥片	頁岩	84.8	表面右側縁に微小剥離痕
335-7		SK67	微小剥離痕ある剥片	頁岩	4.0	打面欠　末端縁に微小剥離痕
335-8		SK67	微小剥離痕ある剥片	泥岩	7.6	打面側折損　表面自然面　縁辺に微小剥離痕と摩滅痕
335-9		SK67	微小剥離痕ある剥片	シルト岩	9.8	単剥離面打面　表面左縁下半と裏面右縁上半と左縁下半とに微小剥離痕
335-10		SK110	微小剥離痕ある剥片	泥岩	15.4	複剥離面打面　左側縁に微小剥離痕

第145表　南調査区遺構出土石器類観察表(7)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
335-11		SK110	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	7.7	単剥離面打面　裏面左側縁・末端縁右側に微小剥離痕
336-1		SK150A	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	12.7	打面折損　裏面左側縁に微小剥離痕
336-2		SK150A	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	18.0	単剥離面打面　末端縁に微小剥離痕
336-3		SK150A	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	11.1	単剥離面打面　左側縁に微小剥離痕
336-4		SK150A	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	19.5	複剥離面打面　右側縁下端～末端縁右側に微小剥離痕
336-5		SK150A	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	28.7	単剥離面打面?　末端縁に微小剥離痕
336-6		SK151	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	4.3	打面側折損　右側縁に微小剥離痕
336-7		SK165	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	14.2	単剥離面打面　両側縁～末端縁微小剥離痕
336-8		SK165	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	29.4	単剥離面打面　両側縁微小剥離痕
336-9		SK165	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	14.7	複剥離面打面　末端縁微小剥離痕
336-10		SK165	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	34.0	単剥離面打面　左側縁微小剥離痕
337-1		SK186	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	3.3	単剥離面打面　表面左側縁に微小剥離痕
337-2		SK203	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	32.0	単剥離面打面　両側縁に微小剥離痕
337-3		SK203	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	42.9	自然面打面　表面自然面大きく残る　右側縁に微小剥離痕
337-4		SK237	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	9.6	複剥離面打面　表面右側縁と裏面右側縁の一部に微小剥離痕
337-5		SK237	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	9.5	単剥離面打面　左側縁に微小剥離痕
337-6		SK240	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	23.0	単剥離面打面　表面末端縁・裏面左側縁に微小剥離痕
337-7		SK252	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	19.0	打面残す縦長剥片の表面左側縁片に微小剥離痕
337-8		SK264	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	15.4	打面折損　末端縁に微小剥離痕
338-1		SK267	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	65.6	礫皮面と打面を残す縦長剥片の下縁に微小剥離痕
338-2		SK267	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	30.8	打面残す縦長剥片の裏面右側縁に微小剥離痕
338-3		SK267	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	31.9	打面残す縦長剥片の両面下側縁に剥離痕
338-4		SK268	微小剥離痕ある剥片	泥岩	19.5	打面残す縦長剥片の表面左側縁に微小剥離痕
338-5		SK274	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	17.0	打面残す縦長剥片の下縁に微小剥離痕
338-6		SK274	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	4.2	縦長剥片の裏面左側縁に微小剥離痕
338-7		SK274	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	20.9	打面折損　下縁に微小剥離痕
339-1		SK277	微小剥離痕ある剥片	頁岩	14.0	打面と節理面を残す縦型剥片の表面左側縁に微小剥離痕
339-2		SK277	微小剥離痕ある剥片	頁岩	9.1	打面を残す縦型剥片の両側縁に微小剥離痕
339-3		SK277	微小剥離痕ある剥片	頁岩	4.0	打面を残す縦型剥片の右側縁に微小剥離痕
339-4		SK284	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	25.8	打面折損　下縁に微小剥離痕
339-5		SK284	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	21.6	打面残す縦長剥片の表面右側縁に微小剥離痕
339-6		SK290	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	61.5	平坦打面を有する　片面に自然面残る
339-7		SK290	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	34.9	打面を有する
339-8		SK290	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	66.6	打面を有する　片面に自然面残る
340-1		SK297	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	14.8	打面除去　両側縁～末端縁に微小剥離痕　両側打面側はかすかに凹刃状をなす

第146表　南調査区遺構出土石器類観察表(8)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
340-2		SK297	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	9.8	打面側欠　表面自然面残る　両側縁～末端縁微小剥離痕
340-3		SK297	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	27.5	節理面打面　両側縁に微小剥離痕
340-4		SK301	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	3.0	線状打面　末端折損　表面左側縁に微小剥離痕
340-5		SK301	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	7.9	単剥離面打面　表面末端縁左側に微小剥離痕
340-6		SK303	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	26.9	単剥離面打面　両側縁に微小剥離痕
340-7		SK303	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	21.2	単剥離面打面　右側縁･打面左縁に微小剥離痕
340-8		SK335	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	30.9	単剥離面打面　両側縁に微小剥離痕
340-9		SK357	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	28.7	打面残す縦長剥片の表面左側縁に剥離痕
340-10		SK357	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	35.0	打面残す剥片の下端に剥離痕
341-1		SK359	微小剥離痕ある剥片	頁岩	36.1	打面を残す縦型剥片の下縁部に微小剥離痕
341-2		SK362	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	10.2	単剥離面打面　末端縁に微小剥離痕
341-3		SK362	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	8.6	打面折損　左側縁に微小剥離痕
341-4		SK387	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	42.8	単剥離面打面　内湾した裏面左側縁に微小剥離痕
341-5		SK387	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	17.7	打面折損　両側縁に微小剥離痕
341-6		SK390	微小剥離痕ある剥片	頁岩	38.9	打面を残す縦型剥片の下縁部に微小剥離痕
341-7		SK395	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	19.9	打面残す縦長剥片の裏面右側縁に微小剥離痕
341-8		SK395	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	10.2	平坦打面　自然面残る
341-9		SK395	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	76.9	打面有す
342-1		SK397	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	5.6	下端に自然面残す
342-2		SK413	微小剥離痕ある剥片	頁岩	8.6	打面を残す横型剥片の左側縁と下縁に微小剥離痕
342-3		SK452	微小剥離痕ある剥片	頁岩	25.4	打面を残す縦型剥片の下縁に微小剥離痕
342-4		SK452	微小剥離痕ある剥片	頁岩	6.0	横型剥片の下縁に微小剥離痕
342-5		SK452	微小剥離痕ある剥片	頁岩	19.3	打面を残す横型剥片の下側縁に微小剥離痕
342-6		SK496	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	9.9	単剥離面打面　表面右側縁と末端縁に微小剥離痕
342-7		SK496	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	5.0	打面側折損　末端縁表面に微小剥離痕
342-8		SK500	微小剥離痕ある剥片	頁岩	31.1	平坦打面を残す横型剥片の左側縁に微小剥離痕
342-9		SK500	微小剥離痕ある剥片	頁岩	4.0	縦型剥片の右側縁に微小剥離痕
342-10		SK524	微小剥離痕ある剥片	頁岩	4.6	打面を残す剥片の下縁に微小剥離痕
342-11		SK546	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	5.6	複剥離面打面　尖頭状の末端縁に微小剥離痕
342-12		SK552	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	9.3	複剥離面打面　表面左側縁に微小剥離痕
343-1		SK553	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	27.2	打面側欠　両側縁に微小剥離痕
343-2		SK555	微小剥離痕ある剥片	頁岩	9.1	打面を残す横型剥片の下縁に微小剥離痕
343-3		SK661	微小剥離痕ある剥片	頁岩	25.9	打面を残す縦型剥片の下縁に微小剥離痕
343-4		SK3013	微小剥離痕ある剥片	頁岩	31.3	打面を残す縦型剥片の左側縁と下縁に微小剥離痕
343-5		SK3013	微小剥離痕ある剥片	頁岩	48.4	打面を残す横型剥片の下縁に微小剥離痕

第147表　南調査区遺構出土石器類観察表(9)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
343-6		SK3028	微小剥離痕ある剥片	頁岩	21.7	剥片の右側縁に微小剥離痕
343-7		SK3110	微小剥離痕ある剥片	頁岩	33.5	剥片の下縁に微小剥離痕
343-8		SK3188	微小剥離痕ある剥片	頁岩	26.8	礫皮面残る　表面の右側縁と下縁に微小剥離痕
344-1		SR40	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	10.9	単剥離面打面　左側縁に微小剥離痕
344-2		SR44	微小剥離痕ある剥片	泥岩	3.9	単剥離面打面　下半折損　左側縁に微小剥離痕
344-3		SR117	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	6.9	単剥離面打面　末端縁に微小剥離痕
344-4		SR117	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	37.3	単剥離面打面　左側縁に微小剥離痕
344-5		SR117	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	25.5	点状打面　両側縁に微小剥離痕
344-6		SR145	微小剥離痕ある剥片	頁岩	25.0	打面を残す縦型剥片の1側縁に使用痕
344-7		SR160	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	10.3	複剥離面打面　両側縁に微小剥離痕
344-8		SR160	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	17.7	複剥離面打面　両側縁･末端縁に微小剥離痕
344-9		SR227	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	9.7	複剥離面打面　両側縁に微小剥離痕
344-10		SR227	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	2.7	打面欠　表面右側縁に微小剥離痕
344-11		SR406	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	7.7	打面欠損　表面末端縁に微小剥離痕
344-12		SR3005	微小剥離痕ある剥片	頁岩	19.5	打面を残す縦型剥片の左側縁に微小剥離痕
344-13		SR3014	微小剥離痕ある剥片	頁岩	19.4	縦型剥片の両側縁に微小剥離痕
345-1		SQ152	微小剥離痕ある剥片	頁岩	10.4	打面と礫皮面を残す縦型剥片の下縁に使用痕
345-2		SQ564	微小剥離痕ある剥片	頁岩	24.9	打面を残す縦型剥片の表面左側縁に微小剥離痕
345-3		SQ3291	微小剥離痕ある剥片	頁岩	91.7	剥片の下縁に微小剥離痕
345-4		SKP31	微小剥離痕ある剥片	頁岩	24.5	打面を残す剥片の1側縁に使用痕
345-5		SKP33	微小剥離痕ある剥片	頁岩	85.6	打面除去した縦型剥片　礫皮面残す　1側縁に使用痕
346-1		SKP78	微小剥離痕ある剥片	頁岩	65.4	打面を残す縦型剥片の下側縁に使用痕
346-2		SKP78	微小剥離痕ある剥片	頁岩	2.9	下側縁に使用痕　受熱剥片
346-3		SKP166	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	31.1	複剥離面打面　表面左側縁と末端縁に微小剥離痕
346-4		SKP221	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	23.4	打面側折損　末端縁に微小剥離痕
346-5		SKP282	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	14.3	複剥離面打面　表面風化した剥離面　表面右縁に微小剥離痕
346-6		SKP331	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	6.8	打面残す縦長剥片の表面両側縁に微小剥離痕
346-7		SKP518	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	27.1	打面側折損　両側縁に微小剥離痕
346-8		SKP561	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	48.1	単剥離面打面　尖頭形をなす表面末端縁と右側縁の一部に微小剥離痕　表面右側縁上半にも微小剥離痕
347-1		SKP611	微小剥離痕ある剥片	黒曜石	15.3	自然面打面　末端縁に微小剥離痕
347-2		SKP613	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	8.2	単剥離面打面　表面右側縁に微小剥離痕
347-3		SKP623	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	12.0	複剥離面打面　両側縁に微小剥離痕
347-4		SKP637	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	18.9	単剥離面打面　裏面末端右半に微小剥離痕
347-5		SKP3153	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	37.8	単剥離面打面　表面左側縁微小剥離痕　末端縁二次加工?　石刃?
347-6		SKP3239A	微小剥離痕ある剥片	珪質頁岩	10.6	単剥離面打面　末端側折れ　両側縁に微小剥離痕

第148表　南調査区遺構出土石器類観察表(10)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
347-7		SR144	接合剥片	頁岩	37.9	同一打面からの剥片　礫皮面残る
348-1		SI388	石核	珪質頁岩	83.5	打面･作業面90°移転しながら剥片剥離
348-2		SI388	石核	珪質頁岩	52.1	裏面自然面　上下面整形後上面から表面に剥片剥離か
348-3		SI617	石核	珪質頁岩	45.0	単剥離面打面から打点横移動し剥片剥離　その後打面転移か
348-4		SB430P1	石核	珪質頁岩	33.9	打面転移し同一作業面から横長剥片剥離
349-1		SB430P5	石核	珪質頁岩	381.8	打面と作業面とを90°転移　正面では打点を横方向に移動して剥片剥離
350-1		SK03	石核	頁岩	107.2	打面転移　10点ほどの剥片剥取
350-2		SK09	石核	頁岩	45.6	礫皮面を残す　打面転移
350-3		SK11	石核	頁岩	160.7	礫皮面と節理面を作業面とする　打面180°転移
350-4		SK11	石核	頁岩	142.2	礫皮面を残す　打面180°転移
351-1		SK11	石核	頁岩	329.4	礫皮面を残す　3方向の打面
351-2		SK52	石核	頁岩	71.4	礫皮面と節理面を残す　単一打面
352-1		SK56	石核	頁岩	50.0	礫皮面を残す　切断した縦型剥片の両側に打点
352-2		SK60	石核	頁岩	22.6	礫皮面と節理面残す　打面は2面
352-3		SK60	石核	頁岩	128.7	礫皮面残す　打面と作業面の入れ替え
352-4		SK61	石核	頁岩	198.1	節理面残す　打面は3面
353-1		SK67	石核	凝灰岩	959.2	裏面自然面　大剥離面を打面に打点を左右に移動しながら後退して剥片剥離　底面黒色物質付着
353-2		SK67	石核	珪質頁岩	110.8	表面節理面残る　上下の風化した剥離面を打面にそれぞれ表面と裏面に剥片剥離　その後両極打法により裏面右側縁に細かい剥片剥離か
354-1		SK103	石核	頁岩	169.3	打面と作業面を転移
354-2		SK136	石核	頁岩	25.5	打面90°転移
354-3		SK150A	石核	珪質頁岩	89.6	上面の不整の剥離面から縁辺上を打点移動しながら剥片剥離
355-1		SK251	石核	珪質頁岩	140.8	打面移動　両面から剥片剥取
355-2		SK264	石核	珪質頁岩	229.5	亜角礫素材　上面の自然面および風化剥離面を打面に表面を作業面にし剥片剥離
355-3		SK268	石核	珪質頁岩	483.7	打面2方向
356-1		SK290	石核	珪質頁岩	2518.3	打面2方向　自然面残る
356-2		SK296	石核	頁岩	33.7	打面を180°変える
357-1		SK303	石核	珪質頁岩	1478.8	風化面打面縁辺上を打点移動しながら剥片剥離
357-2		SK359	石核	頁岩	22.0	打面を90°変えて剥片剥取
357-3		SK394	石核	頁岩	128.9	1作業面から1点の剥片を剥取
358-1		SK395	石核	珪質頁岩	97.7	打面2方向
358-2		SK395	石核	珪質頁岩	724.4	打面3方向　打面調整なし
359-1		SK395	石核	珪質頁岩	262.8	打面調整有り　自然面残る
359-2		SK395	石核	珪質頁岩	92.3	打面2方向
359-3		SK395	石核	珪質頁岩	99.1	平坦打面を有す
360-1		SK496	石核	珪質頁岩	44.3	単剥離面打面の周縁を打点移動し剥片剥離
360-2		SK524	石核	頁岩	29.0	打面180°転移
360-3		SK546	石核	珪質頁岩	180.3	表面に剥離面1枚　他に明確な目的剥片剥離痕なし　被熱?
360-4		SK546	石核	珪質頁岩	83.1	素材縁辺上を打点移動　作業面表裏両面
361-1		SK546	石核	珪質頁岩	354.1	亜角礫素材　各面に風化面残る　上下両端から剥片剥離
362-1		SK546	石核	珪質頁岩	111.2	一部に節理面･風化面残る　打面･作業面を90°転移しながら剥片剥離
362-2		SK552	石核	珪質頁岩	249.0	2面に自然面を残す分割礫素材　上半両面に小形の剥離痕
363-1		SK552	石核	珪質頁岩	609.8	亜角礫素材　打面･作業面入れ替えて横長剥片剥離
364-1		SK553	石核	珪質頁岩	122.1	原則的に打面と作業面を90°転移しながら剥片剥離
364-2		SK553	石核	泥岩	375.8	上面打面調製　表面打点左右に移動しながら剥片剥離　両側面･下面にも剥離面　表面全縁辺に細かい階段状剥離痕　裏面自然面
365-1		SK553	石核	珪質頁岩	78.3	打面固定し打面周縁を打点移動し剥片剥離
365-2		SK558	石核	珪質頁岩	1925.1	剥離面ある大形転礫素材　表裏面に大形の剥離痕各1枚
366-1		SK656	石核	珪質頁岩	166.8	裏面周辺への剥離により平面三角形状に整形　その後表面三方向から中心に向かって剥片剥離
366-2		SK656	石核	珪質頁岩	195.4	盤状剥片素材　表裏面に周縁からの小形の剥離痕
366-3		SK3172	石核	頁岩	45.7	素材周囲を打面転移
367-1		SK3232	石核	珪質頁岩	65.5	裏面自然面残す　打面･作業面90°転移しながら小形不整剥片生産
367-2		SR145	石核	頁岩	84.9	打面を180°転移しながら剥片剥取
367-3		SR256	石核	珪質頁岩	77.2	打面180°転移　礫皮面残す
367-4		SN499	石核	珪質頁岩	35.0	単剥離面打面　打点横移動し小形剥片剥離

第149表　南調査区遺構出土石器類観察表(11)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
368-1		SQ152	石核	凝灰岩	172.9	複数打面
368-2		SQ450	石核	珪質頁岩	218.0	裏面自然面　右側の自然面打面から剥片剥離後打面90°転移し大形の剥片剥離
368-3		SKP31	石核	頁岩	28.5	節理面残す　1作業面で打点を移動
369-1		SKP69	石核	シルト岩	1094.3	両面自然面残る　打面と作業面を交互に入れ替え、打点周縁上を移動し剥片剥離
369-2		SKP69	石核	シルト岩	179.8	自然面打面　表面打点横に移動しながら剥片剥離
370-1		SKP161	石核	頁岩	288.4	1作業面から2～3個の剥片を剥取しながら打面を変えていく
370-2		SKP184	石核	珪質頁岩	50.7	裏面に下面からの、表面に上面からの小形の剥片剥離痕
370-3		SKP191	石核	頁岩	43.1	礫皮面を広く残す　317-4と同一母岩
370-4		SKP230	石核	珪質頁岩	347.9	節理面を残す　打面2面
371-1		SKP566	石核	珪質頁岩	406.6	円礫もしくは分割礫素材　上面の複剥離面打面から打点を縁辺上を移動させながら、剥片剥離
371-2		SKP699	石核	珪質頁岩	129.4	打面･作業面90°転移しながら剥片剥離　直方体状
372-1		SKP3031	石核	珪質頁岩	227.8	表面側打点周縁を移動し、求心状に剥片剥離
372-2	㊼-6	SB430P1	石篦	珪質頁岩	29.5	撥形　縦長剥片素材か　基部がかすかに尖頭状をなす撥形　刃部はほとんど未加工の素材剥片末端縁　刃部以外は両面二次加工
372-3		SK284	石篦	珪質頁岩	15.4	基部破片　表裏面に一部素材剥離面残す他は全面二次加工
373-1	㊼-7	SK395	石篦	珪質頁岩	60.9	刃部加工は背面のみ
373-2	㊼-1	SK496	石篦	泥岩	94.0	撥形　横長剥片素材　素材側縁に刃部作出　基端部に自然面残　刃部両面摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
373-3	㊼-2	SK555	石篦	頁岩	33.7	表面末端縁に刃部､側縁に二次加工　両面に先行剥離面残す
373-4	㊼-3	SR300	石篦	珪質頁岩	27.2	短冊形　刃部二次加工少ない　素材剥片末端縁に刃部作出
373-5	㊼-4	SR3005	石篦	頁岩	96.5	縦型剥片の打面側に刃部を作出､裏面には広く先行剥離面残す
373-6	㊼-5	SKP3218	石篦	珪質頁岩	30.0	短冊形　刃部側折損　裏面の一部に素材剥離面残すほかは全面二次加工
374-1	㊼-11	SK274	打製石斧	泥岩	480.4	撥形　表面に大きく素材剥離面残す　刃部に剥離痕
374-2	㊼-8	SK297	打製石斧	凝灰岩	164.8	剥片素材?　表面自然面残る　両面から周縁に二次加工を施し撥形に整形　基部側縁はつぶれあり　刃部右半折損　刃縁摩滅
374-3	㊽-1	SK387	打製石斧	珪質頁岩	80.7	刃部折損　基部両面二次加工　基部側縁敲打痕なし
374-4	㊼-9	SK395	打製石斧	珪質頁岩	211.7	撥形　使用痕(擦痕)有り
375-1	㊽-2	SK395	打製石斧	珪質頁岩	282.8	撥形　両面に自然面残る
375-2	㊽-3	SK469	打製石斧	珪質頁岩	659.8	撥形　素材の形状変えず表面左側縁と下端に二次加工　未成品か
376-1	㊼-10	SK546	打製石斧	珪質頁岩	396.6	剥片素材　刃部打面側に作出　基部両側縁は敲打によるつぶしあり　刃部表面右半と裏面に光沢ある摩耗痕
376-2	㊽-4	SK3036	打製石斧	凝灰岩	692.1	両面中央部に礫皮面を残す
377-1	㊽-7	SN122	打製石斧	安山岩	959.0	礫素材　周縁に二次加工を施し短冊形に整形　素材の薄くなる方の端部に刃部作出　全体に摩滅
377-2	㊽-5	SQ3205	打製石斧	凝灰岩	282.7	刃部欠損　表面自然面残　両側縁の一部に摩耗痕様の敲打痕
377-3	㊽-6	SKP443	打製石斧	凝灰岩	704.3	両面に礫皮面を残す大型の剥片の下縁に刃部を作出
378-1	㊾-1	SB430P4	礫器	凝灰岩	285.8	扁平円礫素材　ほとんど二次加工なし　刃部?にわずかな線状痕と摩耗痕
378-2	㊾-2	SB430P6	礫器	凝灰岩	407.7	やや薄手の円礫素材　下端左半に両面からの二次加工痕　二次加工縁辺には摩耗痕あり
378-3	㊾-3	SK225	礫器	凝灰岩	569.0	扁平な楕円形礫素材　周縁2方向に二次加工
379-1	㊾-7	SK268	礫器	泥岩	481.0	円形礫を素材　周縁に二次加工
379-2	㊾-5	SK268	礫器	珪質頁岩	474.6	両面に礫皮面残る　下端に両面から刃部作出
379-3	㊾-8	SK268	礫器	凝灰岩	594.5	厚みのある台形状素材　表面左側縁に二次加工　裏面に節理面残る
380-1	㊾-4	SK400	礫器	珪質頁岩	176.4	全面風化した横長剥片素材　もとの素材の打面側から一側縁にかけて両面から交互に荒い二次加工　石篦未成品か
380-2	㊾-6	SK546	礫器	珪質頁岩	659.6	扁平な円礫素材　両側面に二次加工痕　打製石斧未成品か
380-3	㊿-3	SB430P2	磨製石斧	砂岩ホルンフェルス	48.4	基部破片　基端部以外は全面研磨　基端部敲打痕
380-4	㊿-1	SB430P5	磨製石斧	曹長岩	53.6	撥形平面　両側面平坦　刃部両刃　ほぼ全面研磨　基端部敲打痕　刃部表面左半に刃こぼれあり

第150表　南調査区遺構出土石器類観察表(12)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
380-5	㊿-4	SK387	磨製石斧	砂岩	15.5	刃部側折損　両側面ほぼ平坦　基部裏面剥落面　他は全面研磨面
380-6	㊿-6	SK598	磨製石斧	微斑れい岩	122.5	両側面平坦　遺存部全面研磨面　刃部偏刃　刃部使用痕あり　全体被熱痕　被熱によるはじけあり　被熱後基部側欠損
380-7	㊿-2	SKP266	磨製石斧	斑れい岩	6.5	基部側小破片　表面･側面ほぼ平坦な研磨面
380-8	㊿-7	SKP455	磨製石斧	ひん岩	168.3	刃部両刃･両側面平坦　刃部左側欠損
380-9	㊿-5	SKP562	磨製石斧	変斑れい岩	130.9	両刃　両側面平坦　基部欠損後欠損部表面に一部研磨痕
381-1		SI388	凹石類	凝灰岩	284.1	下半欠損　両面盲孔状敲打痕各1ヶ所
381-2		SI388	凹石類	凝灰岩	526.3	表裏面に浅い盲孔状敲打痕各2ヶ所
381-3		SI388	凹石類	輝石安山岩	326.3	表裏面に浅い敲打痕
381-4		SI388	凹石類	凝灰岩	245.1	両面浅い敲打痕　炉石に転用
381-5		SI388	凹石類	凝灰岩	326.1	表面に盲孔状敲打痕1ヶ所　裏面に浅い敲打痕　上下端･裏面欠損
381-6		SI388	凹石類	輝石安山岩	166.4	下半欠損　両面浅い敲打痕
381-7		SI388	凹石類	凝灰岩	316.6	両面盲孔状敲打痕各2ヶ所　右側面盲孔状敲打痕1ヶ所　炉石に転用
381-8		SI388	凹石類	凝灰岩	554.2	表面中央に盲孔状敲打痕1ヶ所
381-9		SI388	凹石類	デイサイト	826.7	表面浅い盲孔状敲打痕1ヶ所　炉石に転用
381-10		SI388	凹石類	輝石安山岩	229.4	表面に浅い敲打痕
381-11		SI388	凹石類	輝石安山岩	252.6	表面に浅い敲打痕1ヶ所
382-1		SI388	凹石類	輝石安山岩	808.8	表面磨面と浅い盲孔状敲打痕　裏面･両側面･上下面磨面と浅い敲打痕
382-2		SI388	凹石類	輝石安山岩	1212.8	両面磨面　表面中央浅い敲打痕　右側面磨面　下面浅い敲打痕
382-3		SI388	凹石類	輝石安山岩	754.3	両面磨面と浅い敲打痕　上下面･右側面に浅い敲打痕とかすかな磨痕
382-4		SI388	凹石類	輝石安山岩	825.0	表裏面に浅い敲打痕と磨面　上面に浅い敲打痕
382-5		SI388	凹石類	輝石安山岩	252.7	両面磨面
382-6		SI388	凹石類	輝石安山岩	974.6	両面磨面
382-7		SI388	凹石類	輝石安山岩	968.1	下面磨面　炉石に転用
383-1		SI565	凹石類	輝石安山岩	1182.6	両面･両側面および上下両端に敲打痕　表裏面に磨面
383-2		SI617	凹石類	輝石安山岩	455.5	表面浅い敲打痕
383-3		SI617	凹石類	凝灰岩	223.4	両面各1ヶ所敲打痕
383-4		SI617	凹石類	石英斑岩	896.4	両面浅い敲打痕　被熱痕あり　石囲炉炉石に転用
383-5		SI617	凹石類	石英斑岩	894.1	両面に浅い敲打痕と磨面
383-6		SB430P1	凹石類	凝灰質砂岩	99.3	小円礫素材　表面に敲打痕
383-7		SK11	凹石類	輝石安山岩	391.9	表裏面に盲孔状敲打痕
383-8		SK11	凹石類	デイサイト	1120.1	表面のみ不整敲打痕
384-1		SK67	凹石類	安山岩	1023.8	下半欠損　表面3ヶ所に浅い敲打痕　台石の可能性もあり
384-2		SK103	凹石類	輝石安山岩	418.8	表面に浅い敲打痕
384-3		SK136	凹石類	流紋岩	121.7	表面に敲打痕
384-4		SK136	凹石類	輝石安山岩	755.5	両面に浅い敲打痕
384-5		SK143	凹石類	輝石安山岩	311.4	両面に盲孔状敲打痕各2ヶ所　表面磨面
384-6		SK143	凹石類	輝石安山岩	722.0	表面敲打痕?と磨面　裏面やや稜状部分磨面
384-7		SK150A	凹石類	砂岩	548.2	表面中央敲打痕　裏面浅い敲打痕と磨面
384-8		SK194	凹石類	輝石安山岩	247.2	表裏面に盲孔状の敲打痕
384-9		SK194	凹石類	輝石安山岩	810.9	表裏面に浅い敲打痕
384-10		SK194	凹石類	粗面安山岩	927.8	表面に浅い敲打痕
385-1		SK202	凹石類	輝石安山岩	349.3	両面に各2ヶ所の浅い盲孔状敲打痕　全面風化著しい
385-2		SK203	凹石類	流紋岩	503.4	棒状礫素材　一端欠損　4面に盲孔状の敲打痕
385-3		SK220	凹石類	輝石安山岩	270.5	表面磨面　両端に剥離痕
385-4		SK225	凹石類	輝石安山岩	485.3	両面に浅い敲打痕
385-5		SK231	凹石類	斑状デイサイト	607.3	表裏面に浅い敲打痕
385-6		SK267	凹石類	輝石安山岩	440.0	表裏面に敲打痕
385-7		SK268	凹石類	斑状デイサイト	364.4	4面に敲打痕
385-8		SK268	凹石類	輝石安山岩	515.9	表裏面に敲打痕　側面に2面の磨面
386-1		SK274	凹石類	輝石安山岩	2311.8	半分欠損　両面に敲打痕
386-2		SK274	凹石類	凝灰岩	189.2	表面に盲孔状の敲打痕
386-3		SK280	凹石類	輝石安山岩	448.6	両面に磨面　被熱により一部表面はじけ
386-4		SK280	凹石類	砂岩	477.6	下端欠　両面に各1ヶ所の敲打痕　周辺剥離痕
386-5		SK290	凹石類	斑状デイサイト	420.1	磨面は片面

第151表　南調査区遺構出土石器類観察表(13)

図版番号	写真番号	遺構番号	器種	石質	重量(g)	特徴
386-6		SK290	凹石類	輝石安山岩	685.1	両面凹
386-7		SK297	凹石類	輝石安山岩	423.9	表面浅い敲打痕
386-8		SK301	凹石類	輝石安山岩	504.1	両端欠損? 両面敲打痕各2ヶ所
386-9		SK358	凹石類	斑状デイサイト	355.7	表面磨面 右半欠損
386-10		SK358	凹石類	斑状デイサイト	1017.0	表面磨面と敲打痕 敲打痕は小盲孔状 裏面磨面 被熱後両側欠損
387-1		SK387	凹石類	輝石安山岩	616.4	両面中央に敲打痕
387-2		SK387	凹石類	凝灰岩	286.2	両面摩耗ある盲孔状敲打痕各2ヶ所 両端剥離痕～敲打痕
387-3		SK395	凹石類	輝石安山岩	1756.0	磨面は一面 二次加熱
387-4		SK395	凹石類	輝石安山岩	593.5	片面凹
387-5		SK397	凹石類	輝石安山岩	615.9	両面凹 焼礫
387-6		SK409	凹石類	凝灰岩	274.4	両面に盲孔状敲打痕各2ヶ所
387-7		SK495	凹石類	凝灰岩	801.2	両面に浅い敲打痕 裏面上端剥離痕 被熱のため?ヒビ割れ
387-8		SK495	凹石類	輝石安山岩	365.5	両面磨面と盲孔状敲打痕 両端に敲打痕
388-1		SK495	凹石類	凝灰岩	716.2	表面上半中央に磨痕と不整方向の線状痕 下半の一部に磨痕と浅い敲打痕 裏面部分的に浅い敲打痕
388-2		SK495	凹石類	輝石安山岩	1767.3	両面磨面 下面敲打痕
388-3		SK496	凹石類	凝灰岩	300.8	両面各2ヶ所に敲打痕 表面磨面
388-4		SK524	凹石類	輝石安山岩	362.0	両面と側面に浅い敲打痕 裏·側面に磨面
388-5		SK525	凹石類	輝石安山岩	618.1	両面に敲打痕 裏面に擦痕 下端に剥離痕
388-6		SK529	凹石類	凝灰岩	259.7	両端折損の板状礫 両面に盲孔状の敲打痕
388-7		SK546	凹石類	輝石安山岩	434.2	表面浅い敲打痕と磨面 上下両端に各2ヶ所の打痕
388-8		SK552	凹石類	凝灰質砂岩	84.5	両面に敲打痕 下半欠損 風化著しい
388-9		SK552	凹石類	凝灰岩	232.0	大半欠損 表面に敲打痕1ヶ所
388-10		SK552	凹石類	輝石安山岩	337.5	両面磨面
388-11		SK552	凹石類	輝石安山岩	214.6	表面磨面
389-1		SK553	凹石類	輝石安山岩	108.1	下半欠損 両面磨面?
389-2		SK555	凹石類	輝石安山岩	217.6	両面に浅い敲打痕 両面と側面に敲打痕 表裏面磨面
389-3		SK555	凹石類	凝灰質砂岩	679.7	両面に浅い盲孔状敲打痕
389-4		SK572	凹石類	輝石安山岩	150.1	下半欠損 表面盲孔状敲打痕1ヶ所 裏面浅い敲打痕?
389-5		SK576	凹石類	凝灰質砂岩	258.5	半分欠損 表裏面に敲打痕
389-6		SK598	凹石類	石英斑岩	1972.6	表面中央に盲孔 明瞭な敲打痕不明 台石の可能性
389-7		SK3026	凹石類	珪質頁岩	224.3	表面に浅い敲打痕
389-8		SK3126A	凹石類	輝石安山岩	601.7	表面浅い敲打痕と磨面 裏面浅い敲打痕 石皿の転用か
389-9		SK3129	凹石類	輝石安山岩	305.6	表裏面に盲孔状の敲打痕
389-10		SK3157	凹石類	輝石安山岩	423.8	表面に浅い敲打痕
389-11		SK3188	凹石類	凝灰岩	78.9	半分欠損 表面に敲打痕
390-1		SR49	凹石類	シルト岩	272.4	角柱状礫素材 両面に盲孔状敲打痕各1ヶ所
390-2		SR169	凹石類	凝灰岩	120.4	表面中央に加撃によるくぼみ作出?後に一部敲打痕 裏面分割面
390-3		SR257	凹石類	安山岩	321.3	表面3ヶ所、裏面1ヶ所の盲孔状敲打痕
390-4		SR570	凹石類	凝灰岩	188.9	裏半分および下半欠損 表面に敲打痕 一部は盲孔状
390-5		SR3005	凹石類	凝灰岩	457.0	表裏面に敲打痕 裏面の敲打痕は盲孔状
390-6		SR3228	凹石類	輝石安山岩	407.0	表面磨面
390-7		SN101	凹石類	粗粒砂岩	1141.2	両面に敲打痕
390-8		SN101	凹石類	凝灰岩	966.8	両面に浅い敲打痕 上端に剥離痕
391-1		SQ450	凹石類	輝石安山岩	750.1	両面に浅い敲打痕各2ヶ所
391-2		SQ450	凹石類	凝灰岩	502.2	表面に浅い敲打痕2ヶ所
391-3		SQ3181	凹石類	石英斑岩	206.6	両面に浅い敲打痕 上端被熱痕
391-4		SQ3181	凹石類	凝灰岩	334.8	表面上半に盲孔状敲打痕
391-5		SQ3181	凹石類	輝石安山岩	476.3	表面敲打と若干の研磨により凹面 側面·裏面敲打痕と若干の研磨痕 岩版の一種か
391-6		SQ3184	凹石類	輝石安山岩	485.6	両面に浅い敲打痕と磨面 被熱痕あり
391-7		SQ3184	凹石類	斑状デイサイト	312.4	両面に浅い敲打痕と磨面 被熱痕あり
391-8		SQ3205	凹石類	凝灰岩	885.9	表裏面盲孔状敲打痕1ヶ所 右側面盲孔状敲打痕2ヶ所 上面溝条のくぼみと線状痕ある低面
391-9		SQ3205	凹石類	安山岩	1427.4	表裏面盲孔状敲打痕各1ヶ所 被熱痕あり
392-1		SQ3205	凹石類	輝石安山岩	1167.0	表面盲孔状敲打痕 裏面敲打による剥離痕か
392-2		SQ3291	凹石類	輝石安山岩	746.0	表裏面に敲打痕
392-3		SKP184	凹石類	角閃石輝石安山岩	424.7	両面磨面 左側面上下端に剥離痕あるが使用痕かは不明

第152表 南調査区遺構出土石器類観察表(14)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
392-4		SKP185	凹石類	凝灰岩	552.2	右側を打ち欠きにより整形か　両面に浅い敲打痕
392-5		SKP190	凹石類	斑状デイサイト	572.9	両面に磨面
392-6		SKP208	凹石類	輝石安山岩	441.3	半分欠損　表裏面に浅い敲打痕
392-7		SKP221	凹石類	輝石安山岩	200.7	下端欠　両面に浅い敲打痕
392-8		SKP229	凹石類	輝石安山岩	554.9	表裏面･側面に磨面
392-9		SKP282	凹石類	輝石安山岩	503.3	両面に盲孔状敲打痕と磨面
392-10		SKP282	凹石類	輝石安山岩	416.8	表裏面･左側面に盲孔状敲打痕各1ヶ所　右側面浅い敲打痕
393-1		SKP309	凹石類	輝石安山岩	313.7	表面に浅い敲打痕　裏面に磨面
393-2		SKP581	凹石類	凝灰岩	100.5	両面に浅い盲孔状敲打痕
393-3		SKP609A	凹石類	輝石安山岩	743.8	表面磨面
393-4		SKP637	凹石類	凝灰質砂岩	583.1	表面8ヶ所前後の敲打痕　裏面4ヶ所前後の敲打痕
393-5		SKP674	凹石類	輝石安山岩	445.0	両面に敲打痕
393-6		SKP683	凹石類	凝灰岩	701.5	表面線状痕ある磨面と浅い敲打痕2ヶ所
393-7		SKP720	凹石類	輝石安山岩	1337.0	表裏面浅い敲打痕と磨面　両側面･上下面平坦な磨面
393-8		SKP730	凹石類	斑状デイサイト	522.8	裏面被熱痕顕著　表裏面･上端部の一部に被熱による?剥離痕　表面に浅い敲打痕1ヶ所
393-9		SKP3218	凹石類	安山岩	662.9	表面盲孔状敲打痕1ヶ所　上端･両側面に剥落痕あるが、使用痕かは不明
393-10		SKP3238	凹石類	輝石安山岩	1638.5	表面･右側面に磨面　被熱痕あり
393-11		SKP3254	凹石類	凝灰岩	142.3	左･下側折断によりほぼ正方形平面に整形　表裏面に浅い盲孔状敲打痕各1ヶ所　表裏面および右側面に浅い敲打痕　被熱痕あり
394-1		SI431	石皿	輝石安山岩	2098.7	表面磨面?
394-2		SI617	石皿	輝石安山岩	2963.1	両面磨面　被熱痕あり　破片4点接合(一部欠失)
394-3		SK203	石皿	流紋岩	1110.5	扁平礫素材　表面にかすかな磨面と浅い敲打痕　裏面短線状痕
394-4		SK226	石皿	砂岩	1313.2	表面が緩くくぼむ磨面
394-5		SK358	石皿	輝石安山岩	3030.0	表面浅くくぼんだ磨面?　裏面平坦な磨面?　下端に被熱痕
394-6		SK495	石皿	輝石安山岩	3040.0	表面平坦な磨面　裏面くぼんだ磨面?
395-1		SK496	石皿	凝灰岩	2488.2	表面磨面と浅い敲打痕　裏面浅い敲打痕
395-2		SR3009	石皿	輝石安山岩	2841.0	表面緩くくぼむ磨面　裏面全面磨面
395-3		SQ3205	石皿	輝石安山岩	1548.5	周囲･裏面欠損　表面磨面
395-4		SKP65	石皿	輝石安山岩	4500.0	表面緩くくぼむ磨面
395-5		SKP3143A	石皿	輝石安山岩	947.2	表面一部のみ遺存　被熱後欠損か
395-6		SI431	台石	凝灰岩	1789.6	両面敲打痕　中央部が盲孔状をなす
395-7		SQ3184	台石	凝灰岩	2621.1	表面中央に盲孔状の敲打痕2ヶ所　周囲に浅い敲打痕　裏面浅い敲打痕と磨面
396-1	③-4	SK110	小玉	ひすい	0.7	片面穿孔
396-2	③-3	SK558	小玉	変質流紋岩	0.2	片面穿孔　風化著しい
396-3		SKP721	石製耳飾	凝灰岩	20.3	両端側がかすかに太くなる円柱形　全面研磨面　一部線状痕残る
396-4	③-18	SR72	有孔石製品	凝灰質砂岩	2.5	小形扁平円礫をそのまま利用か　中央やや上寄りに裏面から回転穿孔施す　表面上端に短線刻
396-5		SK202	円盤状石製品	凝灰岩	8.6	表面自然面残す剥片素材?　周囲を打ち欠いて、不整円盤状に整形
396-6		SK477	円盤状石製品	不明	26.8	扁平礫?の周囲を打ち欠き、円盤状に整形　礫素材でない可能性あり
396-7		SK524	円盤状石製品	輝石安山岩	92.2	三角形の扁平礫素材　表裏面の周縁に剥離痕
396-8		SR405	円盤状石製品	凝灰岩	31.5	小扁平円礫素材　周縁部を平坦に研磨?
396-9		SR3005	円盤状石製品	凝灰岩	1.5	全面研磨　側面の研磨痕明瞭
396-10		SKP528	円盤状石製品	輝石安山岩	58.2	円形の扁平礫が素材　表裏面の周縁を加工
396-11		SK297	有孔礫	凝灰岩	181.2	生痕?の貫通孔あり　右側面敲打痕か
396-12		SB430P2	球礫	凝灰質砂岩	61.9	両端および表面右側面に浅い敲打痕
397-1		SI388	線刻礫	凝灰岩	300.5	亜角礫素材　全体非整形　表裏面に不整の線刻　表面中央やや上方に敲打による不整の浅い盲孔
397-2		SI388	線刻礫	凝灰岩	50.4	亜角礫素材　上端のみ遺存　表面不整の線刻
397-3		SI388	線刻礫	凝灰岩	220.6	円礫素材　全体非整形　表面浅い敲打痕と不整の線刻　裏面一部に浅い敲打痕
397-4		SI388	線刻礫	凝灰岩	1968.4	表面不整線状痕と浅い敲打痕　裏面明瞭な加工痕なし　下端欠損
397-5		SI617	線刻礫	凝灰岩	395.6	中央が大きくくぼんだ円礫素材　くぼみ部に部分的に敲打と研磨を加えた後、擦痕状の線刻を施す
398-1		SK215	線刻礫	凝灰質砂岩	54.9	楕円形の扁平礫が素材　表裏面に線刻　裏面に研磨痕
398-2		SK250	線刻礫	凝灰岩	25.7	破片　片面に一条の線刻　被熱

第153表　南調査区遺構出土石器類観察表(15)

図版番号	写真番号	遺構番号	器　種	石　質	重量(g)	特　　徴
398-3		SK297	線刻礫	砂岩	119.9	扁平円礫素材　表面中央にほぼ縦位の短線群刻み　裏面明瞭な加工痕なし
398-4		SK326	線刻礫	珪質頁岩	763.6	楕円形の扁平礫が素材　表面に擦痕
398-5		SK403	線刻礫	凝灰岩	86.3	一部のみ残　表面･右側面に縦方向の線状痕
398-6		SK403	線刻礫	凝灰岩	20.8	下半欠損　丸棒状　全面幅5mm前後の縦方向の線状痕伴うケズリ痕跡
399-1		SK500	線刻礫	凝灰岩	163.7	楕円形の扁平礫が素材　表裏面に磨面　表面に擦痕　側面に加工痕
399-2		SK660	線刻礫	凝灰岩	107.0	全面に擦痕　表裏面中央部は磨面　表面上端に盲孔
399-3		SQ3184	線刻礫	凝灰岩	382.6	全面研磨か　上部に不整に短い線刻を施す
399-4		SKP188	線刻礫	凝灰岩	45.4	表面上端に盲孔　全面研磨
400-1	㊿-9	SB430P4	石剣類	玄武岩	2.5	先端部の破片か　全面摩滅著しい　被熱か
400-2	㊿-14	SK60	石剣類	凝灰岩(グリーンタフ)	44.4	中央部片?　研磨痕明瞭
400-3	㊿-17	SK61	石剣類	ホルンフェルス	30.0	中央部片?　研磨痕明瞭
400-4	㊿-15	SK546	石剣類	デイサイト	100.1	全面研磨　両端折損
400-5	㊿-8	SK547	石剣類	溶結凝灰岩	4.4	先端部片?　研磨痕顕著
400-6	㊿-12	SR3020	石剣類	菫青石ホルンフェルス	50.6	中央部片?　研磨痕明瞭
400-7	㊿-16	SR3061	石剣類	ホルンフェルス	53.7	破片　表面研磨面　縦横方向の線状痕残る
400-8	㊿-18	SR3231	石剣類	粘板岩	102.9	基部破片　両側に瘤状突出部　敲打痕一部残る　ほぼ全面長軸方向の研磨時の線状痕
400-9	㊿-13	SQ3181	石剣類	デイサイト	71.3	両端･裏面欠損　表面全面磨面
400-10	㊿-11	SKP69	石剣類	細粒砂岩	8.1	小破片　表面全面研磨　基軸にほぼ平行した線状痕あり
400-11	㊿-10	SKP258	石剣類	菫青石ホルンフェルス	2.4	小破片　表面全面研磨

第154表　南調査区遺構出土石器類観察表(16)

図版番号	写真番号	名称·部位	出土区	出土層位	大きさ(cm)	重さ(g)	その他の特徴·備考
423-1	⑩⑧－1	耳飾	LL42	Ⅳ	径5.8	49.0	沈線による三叉状文に刻み目　内面は沈線文
423-2	⑩⑧－4	耳飾	LL42	Ⅲ	径(6.3)	(10.8)	入組文
423-3	⑩⑧－5	耳飾	LQ41	Ⅲ	径4.3	(16.9)	菊花状文
423-4	⑩⑧－6	耳飾	LM43	Ⅳ	径4.2	23.0	中央の孔を囲む4個の渦巻文
423-5	⑩⑧－9	耳飾	LO43	Ⅳ	径4.7	32.3	中央の孔に隆帯が入り組む
423-6		耳飾	LK44	Ⅲ	径6.3	102.6	粗いナデの痕跡
423-7	⑩⑧－15	耳飾	LK41	Ⅲ	径3.0	17.5	両面の周縁に細い刻み目
423-8		耳飾	LO48	Ⅱ	径3.2	20.2	両面に3重の刻み目列　両面に赤色塗彩
423-9	⑩⑧－13	耳飾	LM44	Ⅲ	径2.8	11.3	片面に円形刺突
423-10		耳飾	LN47	Ⅱ	径2.1	6.9	ミガキ痕跡明瞭で光沢あり
423-11		耳飾	LM43	Ⅳ	径2.0	6.3	ケズリ痕跡明瞭
423-12		耳飾	LM44	Ⅲ	径(7.9)	12.9	内外面に細い単位のミガキ痕跡
423-13		耳飾	LK44	Ⅲ	径(8.4)	(8.9)	内外面に細い単位にミガキ痕跡
423-14		耳飾	LM42	Ⅱ	径(6.3)	(8.6)	内外面に細い単位のミガキ痕跡
423-15		土偶·右肩～頭部	LN47	Ⅳ	高さ(9.0)	(190.8)	顔面に赤色塗彩　首に2条の沈線
423-16		土偶·頭部	LN47	Ⅳ	高さ(6.6)	(66.8)	頭部にアスファルト付着
423-17		土偶·頭部	LN47	Ⅲ	高さ(5.8)	(79.5)	顔面に赤色塗彩
423-18		土偶·右脚部	LL43	Ⅲ	高さ(9.1)	(254.5)	ミガキ痕跡明瞭　折損面にアスファルト付着
423-19		土偶·腹部	LM43	Ⅲ	高さ(8.8)	(257.6)	LR縄文　腹部の折損面にアスファルト付着
424-1	⑩⑨－3	土偶·頭部	LN47	Ⅲ	高さ(7.8)	(236.1)	LR縄文　右腕折損面にアスファルト付着
424-2	⑩⑨－4	土偶·頭部	LO44	Ⅳ	高さ(9.0)	(128.4)	LR縄文　全面に赤色塗彩
424-3		土偶·肩部	LM43	Ⅳ	高さ(7.3)	(147.8)	胎土分析試料4
424-4		土偶·左腕部	LP44	Ⅲ	高さ(5.8)		胎土分析試料5
424-5	⑩⑨－1	土偶	LJ43	Ⅱ	高さ(18.0)	(225.2)	全面に赤色塗彩　胎土分析試料1
424-6	⑩⑨－2	土偶	LN43	Ⅲ	高さ(16.2)	(217.2)	光沢あり
424-7		土偶·肩～脚部	LP41	Ⅲ	高さ(7.6)	(51.4)	
424-8		土偶·胸～脚部	LN43·44	Ⅱ	高さ(8.1)	(70.4)	光沢あり
424-9		土偶·左肩～頭部	LO43	Ⅱ	高さ(7.5)		胎土分析試料2
424-10		土偶·左脚部	LK44	Ⅱ	高さ(4.9)		胎土分析試料6
424-11		土偶·肩部	LP44	Ⅳ	高さ(5.4)		胎土分析試料3
424-12	⑩⑨－5	異形土製品·頭部	LL42	Ⅲ	高さ(5.4)	(36.5)	LR縄文
424-13		異形土製品·頭部	LP45	Ⅳ	高さ(5.1)	36.5	
424-14	⑩⑨－6	異形土製品	LN43	Ⅲ	長さ(7.7)	23.9	短沈線による入組文

第155表　遺構外出土土製品観察表

図版番号	写真番号	出土区	層位	器種	石　質	重量(g)	特　　徴
425-1		LL43Cｳ	Ⅱ	石鏃	珪質頁岩	0.9	基部抉りの浅い凹基鏃　両面全面二次加工
425-2		LP42Bｲ	Ⅳ	石鏃	玉髄	1.1	基部抉りの浅い凹基鏃　両面中央素材面残す　素材末端側に尖頭部作出か
425-3		LL42C7	Ⅳ	石鏃	珪質頁岩	1.3	基部抉りの深い凹基鏃　両面全面二次加工
425-4		LO42Cｳ	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	1.1	菱形の一端に小さな抉りを入れた形状の凹基鏃　器体中央部に黒色物質遺存　根挟み装着か
425-5		LO43Bｴ	Ⅱ	石鏃	珪質頁岩	1.4	平基鏃　両面全面二次加工
425-6		LJ45	Ⅱ	石鏃	珪質頁岩	1.7	細身の平基鏃　両面全面二次加工
425-7		LL43		石鏃	珪質頁岩	2.8	円基鏃　両面全面二次加工　基部に素材折断面?残る
425-8		LN46C7	Ⅳ	石鏃	珪質頁岩	10.2	大形円基鏃　両面全面二次加工
425-9		LM45Dｳ	Ⅱ	石鏃	珪質頁岩	2.4	基部端尖り気味の円基鏃　両面中央に素材面残す　打面側に尖頭部作出
425-10		LK40Bｲ	Ⅳ	石鏃	珪質頁岩	4.9	尖基鏃　両面素材面残す　素材両側縁側に尖頭部と基部作出
425-11		LI45Aｳ	Ⅳ	石鏃	珪質頁岩	1.3	細身の尖基鏃　両面中央に素材面残る
425-12		LO46Bｲ	Ⅳ	石鏃	珪質頁岩	2.6	やや不整の尖基鏃　縦長剥片?の周縁部にのみ二次加工を施す
425-13		LM43Bｳ	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	0.3	小形の有茎鏃　両面全面二次加工
425-14		LM43D7	Ⅳ	石鏃	珪質頁岩	0.1	小形の有茎鏃　剥片剥離時に破砕した小形の剥片(砕片)素材か主に表面に二次加工を施し茎部作出
425-15		LM43Dｴ	Ⅱ	石鏃	珪質頁岩	0.8	小形の有茎属　両面全面二次加工
425-16		LM43Bｲ	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	0.6	小形の有茎鏃　両面全面二次加工
425-17		ME55	Ⅰ	石鏃	珪質頁岩	1.1	有茎鏃　両面全面二次加工
425-18		LN43C7	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	1.5	有茎鏃　両面全面二次加工
425-19		LM43Dｲ	Ⅱ	石鏃	珪質頁岩	3.3	大形の有茎鏃　両面素材面残す　横長剥片素材の側縁側に尖頭部作出か
425-20		LN48	Ⅰ	石鏃	玉髄	1.4	有茎鏃　両面全面二次加工
425-21		LM43D7	Ⅱ	石鏃	珪質頁岩	2.1	有茎鏃　両面中央に素材面残す
425-22		LM45Bｴ	Ⅱ	石鏃	玉髄	3.6	有茎鏃未成品　横長剥片素材か　素材側縁側?に二次加工施し茎部作出　尖頭部はほとんど未加工
425-23		LM48B7	Ⅳ	石鏃	珪質頁岩	3.6	石鏃未成品　縦長剥片素材か　素材打面側に二次加工施し、尖頭部作出　基部側は端部に素材の折断面を残し、整形未完
426-1		LO45Aｳ	Ⅱ	石匙	珪質頁岩	22.6	縦長剥片素材　線状打面残す　打面側両側に浅い抉りを入れてつまみ部作出　右側縁に細かい二次加工　左側縁に微小剥離痕
426-2		LK44Dｲ	Ⅱ	石匙	珪質頁岩	24.6	縦長剥片素材　単剥離面打面残す　打面側両側に抉り入れてつまみ部作出　両側縁に細かい二次加工痕　つまみ部に黒色物質かすかに残る
426-3		LM44Aｳ	Ⅱ	石匙	珪質頁岩	19.3	打面側につまみ部作出　表面全面二次加工　裏面つまみ部と末端側に二次加工　末端右側は尖頭状
426-4		LJ43Bｳ	Ⅳ	石匙	珪質頁岩	26.6	縦長剥片素材　単剥離面打面?残す　左側面自然面残す　素材末端側につまみ部作出　右縁両面に細かい二次加工施し刃部作出　裏面右側縁にも細かい二次加工痕
426-5		LK43Aｳ	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	9.2	縦長剥片素材　節理面打面残　尖頭状の素材末端側に抉りを入れてつまみ部作出　両側縁に微小剥離痕
426-6		LK40Bｲ	Ⅱ	石匙	珪質頁岩	22.4	横長剥片素材　複剥離面打面残　素材側縁側につまみ部作出　裏面側縁～末端縁に細かい二次加工痕　つまみ部黒色物質付着
426-7		LN42Bｴ	Ⅱ	石匙	珪質頁岩	18.3	つまみ部上端素材面残　両面全面二次加工施し、身部尖頭状に整形
426-8		LO43Bｲ	Ⅱ	石匙	珪質頁岩	2.6	末端尖頭状の縦長剥片素材　打面折損　打面側両側に抉りを入れてつまみ部作出　両側縁かすかに微小剥離痕
426-9		LK45A7	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	5.2	縦長剥片素材　末端自然面残　末端縁側に表面への二次加工によりつまみ部作出　右側縁に急角度の二次加工

第156表　遺構外出土石器類観察表(1)

図版番号	写真番号	出土区	層位	器種	石　質	重量(g)	特　　徴
427-1		LK42Dｲ	Ⅳ	石匙	珪質頁岩	7.4	素材単剥離面打面残　素材側縁側につまみ部作出　刃部かすかに微小剥離痕　左側折損
427-2		LR43	Ⅰ	石匙	珪質頁岩	18.8	素材単剥離面打面残　素材一側縁の一部のみ二次加工施し、棒状のつまみ部作出　素材の相対する側縁に細かい二次加工痕　つまみ部黒色物質残る
427-3		LM44Aｴ	Ⅱ	石匙	珪質頁岩	8.5	横長剥片素材か　単剥離面打面残　素材側縁側につまみ部作出　相対する側縁の表面に二次加工施し刃部作出
427-4		LM44Dｲ	Ⅱ	石匙	珪質頁岩	4.5	素材側縁側につまみ部作出　身部のほぼ全周に両面から細かい二次加工施し刃部作出
427-5		LJ45	Ⅱ	石匙	珪質頁岩	15.8	横長剥片素材か　打面側につまみ部作出　身部全周に両面から細かい二次加工施し左右両端を尖頭状に整形
427-6		LN43Aｲ	Ⅱ	石匙	珪質頁岩	56.9	縦長剥片素材　単剥離面打面残　素材末端付近の側縁につまみ部作出　相対する側縁に微小剥離痕
427-7		LK45Bｳ	Ⅱ	石匙	珪質頁岩	105.2	素材側縁側に両面からの二次加工によりつまみ部作出　相対する側縁～末端縁表面に二次加工施し撥形の身部整形　つまみ部黒色物質残る
428-1		LO44Dｳ	Ⅱ	石錐	松脂岩	2.6	錐部針状　つまみ部両側に抉り　両面全面二次加工　錐部先端かすかに摩耗か
428-2		LI45	Ⅰ	石錐	玉髄	5.3	錐部針状　つまみ部半円形　両面全面二次加工　錐部先端かすかに摩耗か
428-3		LK41Dｴ	Ⅳ	石錐	珪質頁岩	1.9	横長剥片素材か　錐部短針状　つまみ部楕円形に整形　両面一部に素材面残す
428-4		LM45Aｴ	Ⅲ	石錐	珪質頁岩	2.5	横長剥片素材　単剥離面打面残　素材側縁に両面から細かい二次加工施し短針状の錐部作出　つまみ部はほとんど未加工
428-5		LN42Dｲ	Ⅱ	石錐	松脂岩	2.7	錐部針状　つまみ部小三角形状に整形　ほぼ全面二次加工　錐部先端かすかに摩耗か
428-6		LM43Bｳ	Ⅱ	石錐	珪質頁岩	3.8	錐部針状　つまみ部扇形　両面全面二次加工
428-7		LL43Cｳ	Ⅲ	石錐	玉髄	3.9	錐部針状　つまみ部小円形状　ほぼ両面全面二次加工　錐部先端かすかに摩耗か
428-8		LJ44Bｳ	Ⅰ	石錐	珪質頁岩	9.8	横長剥片素材か　素材側縁側に針状錐部作出　素材打面側と末端縁側に細かい二次加工施しつまみ部作出　錐部先端かすかに摩耗か
428-9		LO42Aｲ	Ⅱ	石錐	珪質頁岩	18.6	素材打面折損　素材側縁側に短針状錐部作出　つまみ部はほとんど未加工
428-10		LK40Dｲ	Ⅱ	石錐	珪質頁岩	44.3	縦長剥片素材　単剥離面打面残　末端側に針状錐部作出　つまみ部左側縁に細かい二次加工痕　錐部先端摩耗痕
428-11		LM44Cｴ	Ⅲ	石錐	珪質頁岩	0.8	短棒状　両面全面二次加工　先端部摩耗痕か　基部かすかに黒色物質残る
428-12		LK45Aｳ	Ⅱ	石錐	変質流紋岩	0.4	針状　両面全面二次加工　先端部摩耗痕　基部黒色物質残る
428-13		LL43Cｲ	Ⅲ	石錐	珪質頁岩	0.9	短棒状　両面全面二次加工　先端部摩耗痕　基部黒色物質残る
428-14		LM43Aｴ	Ⅲ	石錐	珪質頁岩	1.4	短棒状　両面全面二次加工　両端部摩耗痕
428-15		MD58	Ⅰ	石錐	流紋岩	2.9	短棒状　両面全面二次加工　両端部摩耗痕
428-16		LK42Aｲ	Ⅲ	石錐	変質流紋岩	1.7	細身の有茎石鏃状　両面全面二次加工　先端部右側縁に偏った摩耗痕　茎部摩耗痕　茎部側縁に黒色物質残
428-17		LO46	Ⅰ	石錐	玉髄	1.9	針状　両面全面二次加工　両端部摩耗痕
428-18		LN44Dｲ	Ⅲ	石錐	珪質頁岩	1.7	針状　両面全面二次加工　先端部摩耗痕
428-19		LL41B7	Ⅱ	石錐	珪質頁岩	3.9	角棒状　全面二次加工　先端部摩耗痕
428-20		LM44Aｳ	Ⅲ	石錐	玉髄	3.3	針状　両面わずかに素材面残す　両端部摩耗痕
428-21		LM43A7	Ⅲ	石錐	珪質頁岩	4.2	針状　両面全面二次加工　両端尖頭状　先端部かすかに摩耗痕
429-1	(111)－6	ME62C	Ⅳ	石篦(A)	頁岩	66.4	裏面刃部付近を除きほぼ全面二次加工　表面へ急角度の細かい二次加工施し円刃片刃作出　基部右側は裏面への二次加工後表面に二次加工施す　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
429-2	(111)－11	LI46	Ⅰ	石篦(A)	頁岩	27.3	表面全面二次加工　裏面基部側縁に二次加工　素材側縁側に刃部作出　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
429-3	(111)－18	MK56	Ⅰ	石篦(A)	頁岩	38.1	表面全面二次加工　裏面体部周縁に細かい二次加工　素材表面末端側へ急角度の二次加工施し片刃作出　刃部使用痕不明　刃部再生か　側縁敲打痕なし
429-4	(111)－16	LI44	Ⅰ	石篦(A)	頁岩	46.8	表面全面二次加工　裏面基部側に荒い二次加工　素材打面側に刃部作出　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし

第157表　遺構外出土石器類観察表(2)

図版番号	写真番号	出土区	層位	器種	石　質	重量(g)	特　　徴
429-5	⑪1-22	LO46		石篦(A)	頁岩	146.2	単剥離面打面残　縦長剥片素材か　素材裏面縁辺への細かい二次加工後表面ほぼ全面二次加工　素材末端縁に刃部作出　刃部表裏面縦方向の線状痕?と顕著な摩耗痕　側縁敲打痕なし
429-6	⑪1-4	MB40	Ⅰ	石篦(A)	頁岩	45.6	表面ほぼ全面二次加工　裏面ほとんど未加工　打面脇に刃部作出　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
429-7	⑪1-12	LO46Bｳ	Ⅱ	石篦(A)	頁岩	23.8	裏面一部を除きほぼ全面二次加工　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-1	LP46Aｳ	Ⅱ	石篦(A)	頁岩	16.3	単剥離面打面残　表裏面素材面残　素材末端側表面に二次加工施し刃部作出　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-2	LK35	Ⅱ	石篦(A)	頁岩	48.3	表面全面二次加工　裏面素材面残　素材側縁側に刃部作出か　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-3	MN57	Ⅰ	石篦(A)	頁岩	60.8	両面全面二次加工か　表面への急角度の二次加工により片刃作出　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-5	LL44		石篦(A)	頁岩	66.2	表面全面二次加工　裏面基部両側縁に二次加工　素材打面側に刃部作出　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-7	LP42Aｳ	Ⅲ	石篦(A)	頁岩	36.2	表面全面二次加工　裏面基部両側縁に二次加工　素材側縁側に刃部作出　刃縁かすかに摩耗痕　側縁敲打痕なし
	⑪1-8	LQ43Bｱ	Ⅳ	石篦(A)	頁岩	28.2	表面全面二次加工　裏面基部側の一部に二次加工　素材側縁側に刃部作出　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-9	ME62Aｱ	Ⅰ	石篦(A)	頁岩	36.1	表面全面二次加工　裏面刃部から基部中央に素材面残　素材末端側に刃部作出か　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-10		Ⅱ	石篦(A)	頁岩	31.3	表面全面二次加工　裏面一部に不連続な二次加工　素材末端側に刃部作出か　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-13	LM43Cｴ	Ⅳ	石篦(A)	頁岩	14.9	表裏面素材面残　素材側縁が刃部になるよう周囲を整形　刃部ほとんど未加工　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-14	LN42Aｴ	Ⅲ	石篦(A)	頁岩	93.3	横長剥片素材か　表面全面二次加工　裏面体部両側縁に二次加工　素材側縁側に刃部作出　刃部両面縦～斜め方向の線状痕と顕著な摩耗痕　側縁敲打痕なし
	⑪1-15	MD62Aｳ	Ⅰ	石篦(A)	頁岩	56.5	表面全面二次加工　裏面体部両側縁に二次加工　素材末端側に刃部作出　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-17	LN42Bｳ	Ⅱ	石篦(A)	頁岩	35.4	表面ほぼ全面二次加工　裏面ほとんど未加工　素材打面側に刃部作出か　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-19	MG47	Ⅱ	石篦(A)	頁岩	80.2	横長剥片素材　両面周縁に二次加工施す　素材表面側縁に二次加工施し刃部作出　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-20	MJ54	Ⅱ	石篦(A)	頁岩	100.0	表面全面二次加工　裏面体部両側縁二次加工　素材側縁側に刃部作出　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
	⑪1-21	MK56	Ⅰ	石篦(A)	頁岩	97.5	両面に素材面残　素材末端側に刃部作出か　刃部使用痕不明　側縁敲打痕なし
430-1	⑫1-5	LK45Aｴ	Ⅱ	石篦(B)	頁岩	29.5	素材複剥離面打面残?　素材打面側と末端縁側両面に二次加工施し基部整形　刃部表面細かい二次加工　刃部裏面顕著な摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
430-2	⑫1-15	LN47Aｴ	Ⅳ	石篦(B)	頁岩	79.3	素材打面側と末端側両面に二次加工施し基部整形　刃部未加工の素材一側縁　刃部使用痕不明　基部側縁かすかに敲打痕?
430-3	⑫1-2	LP44Aｳ	Ⅲ	石篦(B)	頁岩	45.2	素材複剥離面打面残　素材表面打面･一側縁に二次加工施し基部整形　刃部ほとんど未加工　刃部表面斜方向線状痕　刃部両面顕著な摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
430-4	⑫1-1	LO45Cｳ	Ⅱ	石篦(B)	頁岩	18.2	素材打面側両面に二次加工施し基部整形　刃部未加工の素材末端縁　刃部微小剥離痕残　基部側縁敲打痕なし
430-5	⑬1-3	LL42Dｲ	Ⅲ	石篦(B)	頁岩	130.3	ほぼ両面全面二次加工　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕なし
	⑫1-3	MD48	Ⅱ	石篦(B)	頁岩	69.3	素材打面側と末端側に両面二次加工施し基部整形　刃部両縁に細かい二次加工　刃部裏面縦方向の線状痕　刃部表面一部と裏面に顕著な摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
	⑫1-4	LJ40Cｱ	Ⅱ	石篦(B)	頁岩	40.0	表面自然面残　基端素材自然面打面残?　素材打面両側に二次加工施し基部整形　刃部両面二次加工部分的に二次加工?　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕なし
	⑫1-6	LQ43Aｱ	Ⅳ	石篦(B)	頁岩	16.4	素材単剥離面打面残　表面自然面残　素材両側に細かい二次加工施し基部整形　刃部両縁に不整の細かい二次加工　刃部両縁顕著な摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
	⑫1-7	LP43Dｱ	Ⅳ	石篦(B)	頁岩	64.3	表面自然面残　素材両側縁に両面から二次加工施し基部整形　刃部裏面縁辺二次加工　刃部縁辺両面縦方向の線状痕と摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
	⑫1-8	LM44Bｴ	Ⅱ	石篦(B)	頁岩	81.0	素材単剥離面打面残　表面自然面残　素材打面側と末端側に二次加工施し基部整形　素材表面一側縁に二次加工施し刃部作出　刃部両面摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
	⑫1-9	LK35	Ⅰ	石篦(B)	頁岩	111.5	表面一部自然面残　素材両側縁両面に二次加工施し基部整形　素材表面末端縁に二次加工施し刃部作出　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕なし
	⑫1-10	LO44Dｱ	Ⅱ	石篦(B)	頁岩	26.5	素材単剥離面打面残?　打面側と末端側両面に二次加工施し基部整形　素材表面一側縁に二次加工施し刃部作出　刃部両縁摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
	⑫1-11	LM44Cｳ	Ⅱ	石篦(B)	頁岩	46.9	表面自然面残　素材打面側と末端側両面に二次加工施し基部整形か　刃部未加工の素材側縁　刃縁微小剥離痕　刃部両縁摩耗痕?　基部裏面中央にかすかに黒色付着物　基部側縁敲打痕なし
	⑫1-12	LL42Dｴ	Ⅲ	石篦(B)	頁岩	57.4	素材単剥離面打面残　素材打面側と末端側一部に抉り状の二次加工施し基部整形　素材一側縁両縁に細かい二次加工施し刃部作出　刃部両縁摩耗痕　基部側縁敲打痕なし

第158表　遺構外出土石器類観察表(3)

図版番号	写真番号	出土区	層位	器種	石　質	重量(g)	特　　徴
	⑫-13	LM43D7	Ⅱ	石篦(B)	頁岩	68.3	素材打面側と末端側両面に二次加工施し基部整形　刃部未加工の素材一側縁　刃部微小剥離痕　基部側縁敲打痕なし
	⑫-14	LN44Aｳ	Ⅲ	石篦(B)	頁岩	83.7	素材自然面打面残?　素材打面側と末端側両面に二次加工施し基部整形　素材表面一側縁にわずかに二次加工施し刃部作出　刃部縦方向の線状痕と顕著な摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
	⑫-16	ME63Bｳ	Ⅳ	石篦(B)	頁岩	70.4	縦長剥片素材　素材複剥離面打面残　素材両側両面に二次加工施し基部整形　素材表面末端側に細かい二次加工施し刃部作出　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕なし
	⑫-17	LM44A7	Ⅱ	石篦(B)	凝灰岩	90.2	表面自然面残　素材両側縁表面に急角度の二次加工施し基部整形　刃部未加工の素材末端縁　刃縁微小剥離痕　基部側縁敲打痕なし
	⑬-1	LQ45D7	Ⅱ	石篦(B)	デイサイト	37.4	素材自然面打面残　表面自然面残　打面両側縁両面に二次加工施し基部整形　刃部未加工の素材末端縁　刃部微小剥離痕　基部側縁敲打痕なし
	⑬-2	LQ42Bｳ	Ⅱ	石篦(B)	頁岩	77.4	表面自然面残　素材両側縁両面に二次加工施し基部整形　刃部裏面摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
	⑬-4	LN43Bｳ	Ⅱ	石篦(B)	頁岩	107.5	表面自然面残　裏面全面二次加工　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕なし
	⑬-5	LM46	Ⅰ	石篦(B)	頁岩	55.4	素材打面側と末端側裏面に主に二次加工施し基部整形　素材裏面一側縁に細かい二次加工施し刃部作出　刃部使用痕不明　基端縁微小剥離痕　基部側縁敲打痕なし
	⑬-6	LQ46Aｳ	Ⅱ	石篦(B)	頁岩	108.8	複剥離面打面?残　素材両側縁両面に二次加工施し基部整形　素材末端縁両面に二次加工施し刃部作出　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕なし
431-1	⑭-3	LK43Cｴ	Ⅱ	打製石斧	珪質頁岩	415.6	ほぼ両面全面二次加工　表面刃部中央に自然面残　表面刃部にかすかに摩耗痕　裏面の相対的に初期の剥離面に摩耗痕残　基部両側縁と表面中央部との下半に部分的に敲打痕　刃部再生か
431-2	⑬-12	LM49 LM50	Ⅲ	打製石斧	デイサイト	362.7	刃部破片と基部破片接合　刃部両面自然面残　主として刃部自然面に縦方向の線状痕と摩耗痕　基部側縁敲打痕
431-3	⑬-7	MC49	Ⅱ	打製石斧	緑泥石片岩	117.8	表裏面自然面残?　刃部急角度の二次加工により鋸歯状　刃部使用痕不明　基部左側縁一部摩耗痕　再加工後廃棄か
431-4	⑬-9	LN43Cｴ	Ⅱ	打製石斧	輝緑凝灰岩	138.0	剥片素材か　刃部表面縦方向の線状痕と摩耗痕　刃部裏面縁辺にかすかに摩耗痕　基部側縁敲打痕
432-1	⑮-1	LM43Cｲ	Ⅲ	打製石斧	珪質頁岩	352.5	ほぼ両面全面二次加工か　基端部の一部に自然面残　刃部左端縁摩耗痕　基部両側縁敲打痕
432-2	⑮-10	MD49	Ⅰ	打製石斧	珪質頁岩	491.0	両面自然面残　刃部表面縦方向の線状痕と顕著な摩耗痕　刃縁は使用痕不明　基部左側縁敲打痕　刃部再加工か
432-3	⑬-8	LP45Cｳ	Ⅱ	打製石斧	片状ホルンフェルス	190.4	表面自然面残　剥片素材か　刃部裏面かすかに摩耗痕　刃部表面自然面に縦方向の線状痕　表裏面基部側の一部に摩耗痕　基部表面自然面に縦方向の線状痕　基部側縁敲打痕　当初基部側を刃部とした大形の打製石斧を再加工か
433-1	⑬-10	LS54	Ⅰ	打製石斧	ホルンフェルス	383.6	刃部表面部分的に縦方向の線状痕と摩耗痕　刃部裏面一部摩耗痕　基部裏面一部摩耗痕　基部側縁敲打痕
433-2	⑬-13	LL44Dｳ LP44A7	Ⅱ	打製石斧	安山岩	204.3	刃部破片と基部破片とが接合　両面全面二次加工か　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕
433-3	⑬-11	LN47Dｳ	Ⅳ	打製石斧	デイサイト	311.1	両面自然面残　刃縁摩耗痕　基部側縁敲打痕
434-1	⑭-8	LK41	Ⅱ	打製石斧	流紋岩	460.9	横長剥片素材か　刃部裏面光沢　基部側縁敲打痕
434-2	⑭-1	LM43Cｲ	Ⅱ	打製石斧	凝灰岩	447.9	ほぼ両面全面二次加工　刃部表面一部に摩耗痕　基部側縁一部に敲打痕
435-1	⑭-2	MD49	Ⅱ	打製石斧	珪質頁岩	617.6	ほぼ両面全面二次加工　刃部表面縦方向の線状痕と摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
435-2	⑭-6	LJ46	Ⅱ	打製石斧	粘板岩	304.5	ほぼ両面全面二次加工　表面および右側面にわずかに自然面残　刃部右端両面にかすかに摩耗痕　基部両側縁下半にかすかに敲打痕
436-1	⑭-5			打製石斧	珪質頁岩	348.1	両面全面二次加工か　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕なし
436-2	⑭-4	LF43	Ⅰ	打製石斧	頁岩	1017.5	両面全面二次加工　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕なし
437-1	⑮-13	LM44Cｳ	Ⅱ	打製石斧	珪質頁岩	231.9	表面風化面残　横長剥片素材　表面刃部先端の一部に縦方向の線状痕と摩耗痕　基部側縁かすかに敲打痕
437-2	⑭-7	LM43Bｲ	Ⅱ	打製石斧	凝灰岩	244.7	両面全面二次加工　刃部裏面中央に摩耗痕残　基部左側縁に敲打痕　刃部再加工後廃棄か
437-3	⑯-1	LO41 LO42	Ⅲ	打製石斧	凝灰岩	250.7	表面自然面残　裏面にもわずかに自然面残　刃部裏面かすかに斜方向の線状痕と顕著な摩耗痕　刃部表面右端摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
437-4	⑯-3	LM43D7	Ⅲ	打製石斧	安山岩	446.6	紡錘形平面の円礫素材　一端に両面から二次加工施し刃部作出　裏面刃部～器体中央摩耗痕
438-1	⑯-4	LL42Dｴ	Ⅲ	打製石斧	凝灰岩	468.8	有肩形の扁平円礫素材　刃部のみ両面から二次加工　表面刃部中央に1ヶ所、裏面刃部中央と基部側とに各1ヶ所の浅い盲孔状敲打痕　刃部使用痕不明　凹石類との併用石器
438-2	⑯-2	LN46Dｴ	Ⅳ	打製石斧	凝灰岩	274.0	棒状円礫素材　表面に二次加工施し刃部作出　刃部使用痕不明

第159表　遺構外出土石器類観察表(4)

図版番号	写真番号	出土区	層位	器種	石　質	重量(g)	特　　徴
438-3	⑮－12	LK42Aｱ	Ⅲ	打製石斧	珪質頁岩	391.5	ほぼ両面全面二次加工　上下両端尖頭状　器体両側に抉り　上下端の使用痕不明　抉り部には敲打痕なし
	⑬－14	LM43	Ⅰ	打製石斧	安山岩質凝灰岩	228.7	両面風化面残　刃部折損　側縁～基端縁敲打痕
	⑭－9	LM45Bｴ	Ⅱ	打製石斧	頁岩	310.6	基部欠損　表面自然面残　裏面主剥離面か　刃部使用痕不明
	⑭－10	LM45Bｳ	Ⅲ	打製石斧	デイサイト	270.5	表面自然面残　基部欠損　刃部表面摩耗痕?
	⑮－2	MF62Bｲ	Ⅳ	打製石斧	斑状デイサイト	256.5	表面自然面残　刃部折損　基部縁敲打痕
	⑮－3	LK46Aｱ	Ⅱ	打製石斧	輝石安山岩	389.1	両面自然面残　刃部折損　基部側縁敲打痕
	⑮－4	LK42Cｴ	Ⅲ	打製石斧	凝灰岩	254.0	表面自然面残　被熱後刃部折損　表面の自然面の刃部側に縦方向の線状痕と摩耗痕　基部側縁敲打痕なし
	⑮－5	ME62		打製石斧	流紋岩	373.5	円礫素材　基部折損　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕
	⑮－6	LM45Cｲ	Ⅳ	打製石斧	珪質頁岩	247.0	刃部折断?　表面自然面残　基部断面方形　基部側縁敲打痕
	⑮－7	LL47Cｲ	Ⅱ	打製石斧	珪質頁岩	178.8	横長剥片素材　表面自然面残　刃部荒い二次加工により不整形　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕　刃部再加工後廃棄か
	⑮－8	LO46		打製石斧	凝灰岩	292.5	刃部欠損　表裏面･右側面自然面残　左側縁敲打痕なし
	⑮－9	LM44Cｲ	Ⅲ	打製石斧	珪質頁岩	204.3	刃部折損　全面両面二次加工　側縁敲打痕なし
	⑮－11	LN42 LN43		打製石斧	安山岩	600.4	両面自然面残　右側面折面　周縁に荒い二次加工　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕なし　未成品か
	⑮－14	LP44Dｳ	Ⅳ	打製石斧	安山岩質凝灰岩	503.1	基部折損　両面全面二次加工　刃部使用痕不明　基部側縁敲打痕
	⑮－15	MF62Bｲ	Ⅳ	打製石斧	珪質頁岩	112.3	刃部破片　表面自然面残　刃部両面縦方向の線状痕と摩耗痕
	⑯－5	LN42Cｴ	Ⅱ	打製石斧	珪質頁岩	159.3	刃部折損　基部ほぼ両面全面二次加工　側縁一部敲打痕
	⑯－6	LL43Dｴ	Ⅲ	打製石斧	粘板岩	166.7	両面自然面残　刃部折損　側縁敲打痕
	⑰－1	LM43Cｲ	Ⅳ	磨製石斧	微閃緑岩	125.0	撥形　両刃　側面ほぼ平坦　基部敲打痕あり
	⑰－2			磨製石斧	砂岩	215.4	撥形　両刃　側面平坦　基端部平坦　刃部刃こぼれあり
	⑰－3	LJ45Aｱ	Ⅰ	磨製石斧	砂岩	211.1	撥形　刃部両刃　側面平坦　刃部刃こぼれあり
	⑰－4	MD49Bｱ	Ⅱ	磨製石斧	凝灰岩	244.6	撥形　両刃　側面平坦　刃部使用による剥離痕あり　基部被熱によるはじけあり
	⑰－5	LM43Cｴ	Ⅰ	磨製石斧	水中破砕玄武岩	155.5	撥形　基部破片　側面平坦
	⑰－6	LL43Cｱ	Ⅲ	磨製石斧	玄武岩	198.3	短冊形　両刃　側面平坦　基端部剥離痕あり
	⑰－7	LQ47Bｴ	Ⅱ	磨製石斧	輝緑岩	118.7	短冊形　両刃　側面平坦　基部再加工か
	⑰－8	MK50	Ⅳ	磨製石斧	緑色岩	72.6	短冊形　刃部破片　刃部両刃　刃縁正面観湾曲　側面狭小な平坦面
	⑰－9	MC48Aｱ	Ⅱ	磨製石斧	輝緑岩	232.3	撥形　刃部再加工か　側面平坦　基端部敲打痕あり
	⑰－10	LP42Bｴ	Ⅲ	磨製石斧	輝緑岩	203.9	短冊形　刃部欠損　側面平坦
	⑰－11	LM43Aｳ	Ⅱ	磨製石斧	凝灰岩	278.7	短冊形　刃部再加工か　側面平坦
	⑰－12	MK55	Ⅰ	磨製石斧	安山岩	377.9	表面一部自然面残?　短冊形　ほぼ全面二次加工を施し基部を敲打整形　研磨痕なし　未成品か
	⑰－13	LJ45Aｲ	Ⅱ	磨製石斧	輝緑岩	260.2	短冊形　刃部･基部欠損　側面平坦
	⑰－14			磨製石斧	輝緑岩	178.8	刃部･基端部再加工後敲打　敲打具への転用例
	⑰－15	LM45Cｱ	Ⅱ	磨製石斧	凝灰質砂岩	67.7	刃部破片　両刃　側面平坦
	⑱－1			磨製石斧	変輝緑岩	87.9	撥形　両刃偏刃　側面平坦

第160表　遺構外出土石器類観察表(5)

図版番号	写真番号	出土区	層位	器種	石　質	重量(g)	特　　徴
	⑪⑧－2	LK45C7	Ⅱ	磨製石斧	変輝緑岩	110.5	撥形　両刃　側面平坦　刃部刃こぼれあり
	⑪⑧－3	LM44Aｳ	Ⅱ	磨製石斧	輝緑岩	159.0	刃部･基部欠損　両刃か　側面平坦
	⑪⑧－4	LM43Dｳ	Ⅱ	磨製石斧	菫青石ホルンフェルス	188.2	撥形　両刃　全面風化著しい
	⑪⑧－5	LK39	Ⅰ	磨製石斧	砂岩	175.3	撥形　刃部両刃か　側面平坦　刃部使用による剥離痕あり
	⑪⑧－6	LO44Cｴ	Ⅲ	磨製石斧	斑れい岩	141.8	撥形　刃部欠損　側面平坦
	⑪⑧－7	LK43A7	Ⅲ	磨製石斧	輝緑岩	113.5	撥形　両刃　側面平坦　基部欠損　刃部刃こぼれあり
	⑪⑧－8	LN46Aｳ	Ⅳ	磨製石斧	変輝緑岩	71.1	短冊形　刃部破片　両刃　側面平坦　刃部使用による剥離痕あり
	⑪⑧－9	LI48	Ⅰ	磨製石斧	斑れい岩	60.0	撥形　両刃　側面平坦　刃部刃こぼれあり　基端部再加工か
	⑪⑧－10	LP42		磨製石斧	輝緑岩	117.4	撥形　刃部欠損　側面平坦
	⑪⑧－11	LN44Aｳ	Ⅳ	磨製石斧	火山礫凝灰岩	128.3	撥形　刃部再加工か　側面平坦　基端部敲打痕あり
	⑪⑧－12	LM45Cｳ	Ⅱ	磨製石斧	玄武岩	156.3	撥形　両刃　側面平坦　刃部使用による剥離痕あり　基部被熱によるはじけあり
	⑪⑧－13	LM43Dｳ	Ⅳ	磨製石斧	輝緑岩	25.6	撥形　基部破片　側面平坦
	⑪⑧－14	LM46Dｲ	Ⅲ	磨製石斧	砂岩	45.9	撥形　基部破片　側面平坦
	⑪⑧－15	LN43B7	Ⅲ	磨製石斧	輝緑岩	205.1	撥形　両刃　側面平坦　刃部刃こぼれあり
	⑪⑧－16	LP42Cｴ	Ⅱ	磨製石斧	輝緑岩	159.6	短冊形　両刃　側面平坦　刃部刃こぼれあり　基部再加工か
	⑪⑧－17	LN44	Ⅳ	磨製石斧	輝緑岩	82.5	撥形　両刃　側面ほぼ平坦　刃部使用による剥離痕あり　基部再加工か
	⑪⑧－18	LP45Cｴ	Ⅱ	磨製石斧	絹雲母片岩	56.9	撥形　刃部欠損　側面平坦
	⑪⑧－19			磨製石斧	微斑れい岩	15.4	刃部破片　両刃
	⑪⑧－20	LM45Bｲ	Ⅳ	磨製石斧	輝緑岩	47.1	刃部破片　両刃　側面平坦
	⑪⑨－1	LM43C7	Ⅰ	磨製石斧	変質岩	4.8	撥形　両刃　側面平坦
	⑪⑨－2	ME48	Ⅱ	磨製石斧	滑石	7.6	撥形　両刃　側面平坦　基部再加工か
	⑪⑨－3	LO43A7	Ⅱ	磨製石斧	変質岩	14.0	撥形　両刃　側面平坦
	⑪⑨－4	LL42Dｲ	Ⅲ	磨製石斧	変質岩	11.7	撥形　両刃　側面平坦
	⑪⑨－5	LP45Bｴ	Ⅱ	磨製石斧	変質岩	11.8	撥形　両刃　側面平坦
	⑪⑨－6	LM43Aｳ	Ⅲ	磨製石斧	滑石	12.0	撥形　両刃　側面平坦
	⑪⑨－7	LP46B7	Ⅱ	磨製石斧	曹長岩	2.0	基部破片　側面平坦
	⑪⑨－8	LN47	Ⅰ	磨製石斧	変質岩	11.0	基部破片　側面平坦
	⑪⑨－9	LN46	Ⅰ	磨製石斧	変質岩	10.0	撥形　刃部欠損　側面平坦
	⑪⑨－10	LM43Cｳ	Ⅱ	磨製石斧	滑石	1.4	撥形　基部破片　側面平坦
	⑪⑨－11	LM47Dｳ	Ⅱ	磨製石斧	変質岩	6.6	撥形　基部破片　側面平坦
	⑪⑨－12	LL42Cｴ	Ⅲ	磨製石斧	輝緑岩	5.6	撥形　基部破片　側面平坦
	⑪⑨－13	LL44	Ⅰ	磨製石斧	滑石	4.0	短冊形　刃部両刃　扁平で側面丸み　刃部刃こぼれあり　基部欠損

第161表　遺構外出土石器類観察表(6)

図版番号	写真番号	出土区	層位	器種	石　質	重量(g)	特　　徴
	⑪⑨－14	LM45C7	Ⅱ	磨製石斧	滑石	3.7	短冊形　側面平坦　基部欠損
	⑪⑨－15	LM43A7	Ⅰ	磨製石斧	滑石	6.7	短冊形　両刃　側面平坦　基部欠損
	⑪⑨－16	LM44Cｳ	Ⅳ	磨製石斧	蛇紋岩	8.4	撥形　両刃　側面平坦　基部欠損
	⑪⑨－17	LM42B7	Ⅲ	磨製石斧	蛇紋岩	9.4	撥形　両刃　側面平坦　基部欠損
	⑪⑨－18	LL42Dｳ	Ⅱ	磨製石斧	砂岩	15.5	撥形　両刃　側面平坦
	⑪⑨－19	LJ43	Ⅳ	台石	凝灰岩	1764.6	大形円礫素材　裏面欠損　表面左下に盲孔3個縦に並ぶ　表面中央～上半にも敲打による浅い盲孔点在する
	⑪⑨－20	LK45		台石	凝灰岩	2688.3	大形円礫素材　裏面剥離面　表面長軸上に盲孔4個並ぶ
	⑫⓪－1	LM45Aｳ	Ⅱ	石皿	凝灰質砂岩	11500.0	表面平坦な磨面　赤色顔料付着　裏面は未加工で使用痕なし　被熱
	⑫⓪－2	LI45	Ⅱ	石皿	デイサイト	597.0	一部のみの破片　表裏面磨面　周縁部がかすかに高くなる　表面赤色顔料付着　破損後被熱
	⑫⓪－3	LK41	Ⅱ	石皿	輝石安山岩	2473.9	大形扁平円礫素材　表面平坦な磨面　裏面も磨面か
	⑫⓪－4	LK41	Ⅱ	石皿	安山岩	2261.5	大形扁平円礫素材　表裏面に敲打痕と磨面
	⑫⓪－5	MI55 MI56	Ⅱ	石皿	砂岩	578.8	一部のみの破片　全面を敲打により皿形に整形か　表面内面には磨痕なく、製作時の破損品か
	⑫⓪－6	LM44 LM43		石皿	デイサイト	3040.0	上下端･左側欠損　中央部平坦な磨面　右側縁辺は高まる　裏面未加工で使用痕なし
	⑫⓪－7	LM43Cｴ	Ⅰ	石皿	砂岩	2952.3	表裏面かすかにくぼんだ磨面　両側面も磨面か　砥石としても使用した可能性あり
439-1	⑪⑩－11	LJ44Bｴ	Ⅳ	ナイフ形石器	珪質頁岩	7.1	石刃状縦長剥片素材　基部側表面への急角度二次加工　その後右側→左側の順で各2枚の樋状剥離痕　右側縁細かい二次加工痕　左側縁大部分被熱によるはじけと後世の剥離痕　裏面先端部二次加工痕
439-2	⑪⑩－10	LM45D7	Ⅱ	ナイフ形石器	珪質頁岩	2.0	石刃状縦長剥片素材　基部･先端部の一部に表面への急角度の二次加工　両側縁に微小剥離痕残る
439-3	⑪⑩－1	LM43Bｳ	Ⅳ	異形石器	珪質頁岩	42.5	ほぼ両面全面二次加工　先端尖頭状に整形　基部側に2対の抉り施す
439-4	⑪⑩－2	LM48Bｳ	Ⅳ	異形石器	珪質頁岩	10.7	体部尖頭状　体部下半両側突起状に突出　基部茎状　両面中央に素材剥離面残る　石槍の一種か
439-5	⑪⑩－4	LK44	Ⅱ	異形石器	黒曜石	0.8	アメリカ式石鏃状　両面全面二次加工
439-6	⑪⑩－5	LM43Cｲ	Ⅱ	異形石器	流紋岩	1.1	ほぼ両面全面二次加工施し先端尖頭状･両側縁鋸歯状に整形
439-7	⑪⑩－7	LP43A7	Ⅳ	異形石器	赤玉	2.6	素材剥片の周辺に両面から二次加工施し上下左右に計6ヶ所の突出部作出
439-8	⑪⑩－3	LM45Aｳ	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	1.6	有茎石鏃状　体部下半両側に抉りあり　ほぼ両面全面二次加工
439-9	⑪⑩－6	LM43Aｲ	Ⅲ	異形石器	赤玉	1.6	両面全面二次加工施し先端つまみ状･下端凹基石鏃状に整形
439-10	⑪⑩－8	LL42	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	1.0	両面全面二次加工施しL字状に整形　両端部尖頭状
439-11	⑪⑩－9	LM44･46	Ⅰ	異形石器	赤玉	11.4	両端尖頭状　中央上方に突起作出　両面全面二次加工
439-12	⑪⑩－12	LO48Cｴ	Ⅰ	三脚石器	凝灰岩	16.2	厚手剥片素材　両面から比較的急角度の二次加工施し脚部作出　裏面素材剥離面残る　縄文後期前葉に属するか
440-1	③-10			小玉	安山岩	0.6	玉状の小円礫素材か　ほぼ片面穿孔
440-2	③-9			小玉	砂岩	0.6	一部欠損　両面穿孔
440-3	③-8	LK42Bｴ	Ⅱ	小玉	滑石	1.4	両面中央平坦面をなす　両面穿孔
440-4	③-14			小玉	滑石	0.5	両面平坦面をなす　厚さ不均等　片面穿孔か
440-5	③-5	LM43Aｴ	Ⅰ	小玉	凝灰岩	0.2	やや扁平で両面中央平坦面をなす　両面穿孔　風化著しい

第162表　遺構外出土石器類観察表(7)

図版番号	写真番号	出土区	層位	器種	石　質	重量(g)	特　　徴
440-6	③-6	LN42Aｲ	Ⅱ	小玉	ひすい	0.5	片面穿孔　赤色顔料付着
440-7	③-12	LM43Cｲ	Ⅲ	小玉	滑石	0.2	やや扁平で両面中央平坦面をなす　両面穿孔
440-8	③-13	LM43Bｴ	Ⅱ	小玉	ひすい	0.3	ほぼ片面穿孔　赤色顔料付着
440-9	③-11	LM43Bｳ	Ⅲ	小玉	滑石	0.1	両面平坦面をなす　片面穿孔か
440-10	③-7	LM44D7	Ⅱ	小玉	ひすい	0.6	楕円形平面　両面中央平坦面をなす　片面穿孔
440-11	③-16	LM42Dｲ	Ⅱ	小玉	滑石	0.5	勾玉状平面　両面穿孔
440-12	③-17	LN44	Ⅱ	小玉	ひすい	1.5	不整長方形平面　表面に回転穿孔痕　小玉未成品
440-13	③-15	LM45Bｳ	Ⅱ	異形石製品	ひすい	0.8	両端が尖ったC字形平面　両面全面二次加工痕　研磨痕不明
	⑫①-1	LL42Cｴ	Ⅲ	有孔石製品	凝灰岩	3.7	一端欠損　全面研磨施し弧状に整形　両端に両面からの回転穿孔各1ヶ所　穿孔を中心とする渦巻状の線刻施す
	⑫①-2	LM44Bｴ	Ⅱ	有孔石製品	凝灰岩	4.8	全面研磨し三角形平面に整形　中軸線上2ヶ所を両面から回転穿孔　両面～側面に弧線状･刻み目状線刻施す　下面両端は刻み目ある瘤状を呈する　線刻にわずかに赤色顔料残る
	⑫①-3	LL41	Ⅲ	有孔石製品	凝灰岩	6.4	扁平円礫素材か　両面研磨により平坦に整形　両面からの回転穿孔3ヶ所　他に表面2ヶ所の穿孔痕跡あり
	⑫①-4	LM46Dｴ	Ⅲ	有孔石製品	凝灰岩	3.6	全面研磨し方形平面に整形　左右両端各1ヶ所を回転穿孔　右端はほとんど片面穿孔
	⑫①-5	LK41	Ⅰ	有孔石製品	珪質頁岩	15.3	不整三日月形平面の扁平円礫素材　中央に両面からの回転穿孔2ヶ所
	⑫①-6	LM43C7		有孔石製品	流紋岩	10.4	不整三日月形平面の扁平円礫素材　中央に両面からの回転穿孔2ヶ所
	⑫①-7	LN42Bｲ	Ⅱ	有孔石製品	凝灰岩	6.9	全面研磨により三日月形平面に整形か　一端欠損　裏面凹線状にくぼむ　中央に両面からの回転穿孔2ヶ所
	⑫①-8	LM43Dｳ	Ⅱ	有孔石製品	頁岩	7.7	半円形平面の扁平円礫素材か　一端欠損　中央に両面からの回転穿孔2ヶ所
	⑫①-9	LN52Aｴ	Ⅱ	有孔石製品	凝灰質頁岩	17.7	全面研磨し三日月形平面に整形　中央に両面からの回転穿孔2ヶ所
	⑫①-10	LM44D7	Ⅲ	有孔石製品	凝灰岩	34.0	反り気味の棒状円礫素材　裏面のみ研磨面あり　両面からの回転穿孔2ヶ所　表面と下面に回転穿孔痕各2ヶ所　凹部にわずかに赤色顔料残る
	⑫①-11	MD49	Ⅱ	有孔石製品	風化安山岩	13.8	楕円形平面の扁平円礫素材　表面研磨か　中央に両面からの回転穿孔2ヶ所
	⑫①-12	MB50	Ⅱ	有孔石製品	風化安山岩	10.4	不整半円形平面の扁平円礫素材　一端欠損　裏面剥離面　中央に両面からの回転穿孔2ヶ所
	⑫①-13	LP44Aｳ	Ⅱ	有孔石製品	頁岩	19.8	板状礫素材か　中央に両面からの回転穿孔2ヶ所
	⑫①-14	LM44Cｳ	Ⅲ	有孔石製品	流紋岩	25.7	台形平面の扁平礫素材か　全面風化著しい　中央に両面からの回転穿孔2ヶ所
	⑫②-1	LP42		盲孔石製品	凝灰岩	22.3	全面研磨により楕円形平面に整形　表面斜格子状線刻　中心に浅い盲孔　裏面全体くぼむ　中心浅い盲孔状
	⑫②-2	LN43	Ⅱ	盲孔石製品	凝灰岩	33.9	下半欠損　円礫素材か　表面中心盲孔　周囲に同心円状の線刻か　裏面不整線状痕伴う深い盲孔
	⑫②-3	LJ43A	Ⅲ	石製品	凝灰岩	140.9	下半欠損　円形平面に整形か　表面中心敲打による浅い盲孔　中央水平沈線線刻　その下に垂直沈線8条線刻　左右に側面と裏面からの穿孔痕各1ヶ所　裏面ほぼ平坦に整形　全面不整線状痕残る
	⑫②-4	LL41	Ⅱ	盲孔石製品	凝灰岩	105.4	円礫素材　表面中央敲打により水平凹線施す　凹線内線状痕あり　上端敲打痕残る　下端敲打痕と磨痕あり　裏面全面敲打により浅い盲孔状に整形　一部線状痕あり
	⑫②-5	LL43A7	Ⅲ	盲孔石製品	凝灰岩	43.9	全面研磨し楕円形平面に整形　表裏面中心に盲孔と三叉状?線刻施す
	⑫②-6	LN43Dｲ	Ⅲ	盲孔石製品	凝灰岩	10.1	小円礫素材　表面未加工　裏面不整線状痕伴う盲孔あり
	⑫②-7	LO45Dｳ	Ⅱ	盲孔石製品	凝灰岩	38.3	扁平円礫素材　両面中央に不整線状痕伴うきわめて浅い盲孔あり
	⑫②-8	LN43Aｲ	Ⅱ	盲孔石製品	凝灰岩	37.7	円礫素材　表面未加工　裏面浅いくぼみ状の盲孔?　不整同心円状線状痕残る
	⑫②-9	LN47Aｴ	Ⅳ	石製品	凝灰岩	118.6	円礫素材　表面未加工　裏面敲打により浅いくぼみ状に整形
	⑫②-10	LK42Dｴ	Ⅳ	盲孔石製品	凝灰岩	17.4	扁平円礫素材　表面ほとんど未加工　側面一部研磨面　裏面研磨面　中央浅い盲孔　盲孔内不整線状痕残る
	⑫②-11	LM43A7		盲孔石製品	石英斑岩	112.1	円礫素材　表面･側面の一部研磨痕　裏面全面敲打により浅い盲孔状を呈す

第163表　遺構外出土石器類観察表(8)

図版番号	写真番号	出土区	層位	器種	石　質	重量(g)	特　　徴
	㉒-12	MO56	Ⅰ	盲孔石製品	凝灰岩	138.3	円礫素材　表面剥離痕　側面線状痕残る研磨面　裏面中央浅くくぼみ中心に盲孔　下端抉り　全面線状痕著しい
	㉒-13	LO44	Ⅳ	盲孔石製品	凝灰岩	66.6	円礫素材　表面風化著しい　裏面浅いくぼみ状の盲孔　不整線状痕残る
	㉓-1	LL43D7		磨製円盤状石製品	凝灰岩	2.4	全面研磨し不整円盤状に整形　側面平坦
	㉓-2	LI44C1	Ⅳ	磨製円盤状石製品	凝灰質砂岩	7.7	全面研磨し円盤状に整形　側面平坦
	㉓-3	LN46B1	Ⅲ	磨製円盤状石製品	凝灰岩	8.0	全面研磨し円盤状に整形　一部線状痕残る　側面平坦　表面下端剥離痕残る?
	㉓-4	LQ44D1	Ⅱ	磨製円盤状石製品	凝灰岩	33.3	全面研磨し円盤状に整形　側面平坦
	㉓-5	LP44Aｳ		石製耳飾	凝灰岩	20.4	低円柱状　表面･側面全面研磨　表面中央と上下両端に盲孔　盲孔起点にC字･逆C字文線刻する　周辺に弧状沈線3ヶ所線刻する　裏面不整線状痕伴うくぼみ状の盲孔
	㉓-6	LL43Dｳ		円柱状石製品	凝灰岩	56.1	全面研磨し低円柱状に整形　表面中央かすかにくぼむ　裏面中央不整円形線刻　側面線刻2条めぐる
	㉓-7	LM44C1	Ⅲ	円柱状石製品	凝灰岩	28.1	低円柱状　全面研磨か　表面中央不整線状痕伴う盲孔あり
	㉓-8	LM44Cｲ	Ⅲ	円柱状石製品	凝灰岩	12.7	全面研磨により低円柱状に整形　表面中央に不整盲孔　側面中央部かすかにくぼむ　側面部分的に短沈線状線刻めぐる
	㉓-9	LM43	Ⅰ	異形垂飾品	凝灰岩	1.8	上端のみの破片　現状は角柱状　上端薄くなり縦方向の刻み目施す　中央部に2状の線刻めぐらすが、表面側でずれる　下端側にも線刻施す
	㉓-10	LS42	Ⅱ	不明石製品	凝灰岩	64.4	上端のみ遺存　方形平面か　表面方形平面の抉り　抉り部は一部線状痕残るが、極めて平滑　上面剥離痕残る　両側面平坦な研磨面　裏面研磨面　上半上端に向かって傾斜する
	㉓-11	LP44	Ⅱ	円柱状石製品	凝灰岩	9.4	全面研磨により円柱状に整形　上下面かすかに凸面状
	㉓-12	LM43B1	Ⅲ	円柱状石製品	凝灰岩	7.6	上下端欠損　現状で円柱状をなす　全面縦方向の線状痕残る
	㉓-13	LO43	Ⅱ	石皿形石製品	凝灰岩	8.2	皿部上面観楕円形　内面線状痕残る　裏面4本の脚部作出　木製容器を模したものか
	㉓-14	LM43C7		石棒状石製品	凝灰岩	102.9	棒状円礫素材か　基端部に二次加工痕と研磨痕･先端部敲打痕あり　基部短弧状沈線と斜行沈線による線刻施す　本来入組三叉文意匠か
440-14	③-1	LL42B7	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	147.8	下半欠損　方形平面の板状に整形か　側面･上面線状痕残る　上面中央盲孔　表面上端の盲孔から正中線垂下　左右に逆C字･C字文線刻　空間に三叉文線刻充填　裏面左右非相称のC字状･入組三叉状線刻
440-15	㉗-2	LO43	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	54.9	右半欠損　方形平面の板状に整形か　全面線状痕残る　表面正中線あり　左側に末端が渦巻き状の逆C字文と三角形文様を線刻　裏面にも細線刻による同一文様施す
440-16	③-2	LN43	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	110.2	上半欠損　方形平面の板状に整形か　全面線状痕残る　表面中央に正中線　左右に末端が渦巻状に噛み合うC字状文線刻　裏面左右非相称の末端渦巻状に噛み合うC字状文線刻　下面･両側面両端二股に分かれた短沈線線刻
	㉔-1	LM42B1	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	7.6	小形岩偶状　両面縦方向の線状痕あり　上半に削りによる盲孔　両側･下端に刻み状の線刻施し、人形に整形
	㉔-2	LO42Aｳ	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	8.2	小形岩偶状　全体人形に整形　ほぼ全面に縦方向基調の線状痕残る
	㉔-3	LL43D1		線刻礫	凝灰岩	4.7	長楕円形に整形　側面平坦　上端側両側に刻み状の抉り施す　表面下半に下開きの弧状沈線と垂直の短沈線線刻する　人物意匠か
	㉔-4	LL41Cｲ	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	13.0	下端のみ　表裏面の一部のみ研磨　表面下半に下開きの弧状沈線線刻　裏面水平沈線線刻
	㉔-5	LM42B1	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	114.7	上半欠損　ほぼ全面研磨か　両面下半の水平沈線より上位を抉り気味に整形　下端に半円状の抉り施す
	㉔-6	LM43A7		線刻礫	凝灰岩	69.2	上端扇形、体部下端に抉りある方形に整形　ほぼ全面に縦方向基調の線状痕残る　表面上端に同心円様の線状痕残る盲孔あり　左右に弧状沈線線刻　裏面長軸上に不整の正中線状線刻
	㉔-7	LM41		線刻礫	凝灰岩	46.7	小判形平面円礫素材　表面のみ部分的に研磨痕と線状痕　表面上端不整の浅い盲孔　抉り状の短沈線･弧状沈線･垂直沈線線刻により人物意匠表現か　裏面斜格子状線刻
	㉕-1	LO41Dｳ	Ⅲ	線刻礫	砂岩	10.9	全面研磨し、楕円形平面に整形　両側面上半･中央･下端に抉り　表面上下には三角形文様線刻　中央の水平線刻の1本は裏面にもめぐる
	㉕-2	LM43A1	Ⅲ	線刻礫	軽石	6.3	上端?のみの破片　上端側に水平沈線めぐる　上面中央刻み状の線刻
	㉕-3	LM44A1	Ⅳ	線刻礫	軽石	3.7	下半欠損か　全体を角柱状に整形か　中央やや上位に凹線状線刻めぐる　表面下半にV字状?の線刻
	㉕-4	LN43D7	Ⅱ	線刻礫	砂岩	15.9	不整小円礫素材　中央に凹線状線刻めぐる　凹線内線状痕顕著
	㉕-5	LJ44	Ⅳ	線刻礫	凝灰岩	17.9	楕円形平面円礫素材　研磨痕不明　両側面に線刻伴う抉り作出
	㉕-6	LL46Aｲ	Ⅱ	線刻礫	シルト岩	13.6	全面研磨し　楕円形平面に整形　上下端と右側面に刻み目状の線刻

第164表　遺構外出土石器類観察表(9)

図版番号	写真番号	出土区	層位	器種	石　質	重量(g)	特　　徴
	㉕－7	LN43	Ⅲ	線刻礫	凝灰質砂岩	18.7	棒状礫素材か　下半欠損　整形痕は不明　中央に線刻めぐる　被熱か
	㉕－8	LK42C7	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	20.1	三角柱状に整形か　上下両端に各1条の線刻めぐる　表面中央の稜部に斜位の線刻状の線状痕残る
	㉕－9	LO43Bｴ	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	12.0	不定形の扁平円礫素材　右側縁に抉り作出か　抉りから水平に細線刻めぐる
	㉕－10	LL42	Ⅲ	線刻礫	砂岩	42.9	不定形小円礫素材　下端一部に敲打痕残る以外整形痕不明　表面中央に凹線状線刻　裏面は細沈線状となり、途中で消失　表面中央に縦方向の線刻あり
	㉖－1	LK40Bｲ	Ⅱ	線刻礫	凝灰質シルト岩	32.6	体部一部のみの破片　全面研磨により楕円形平面に整形か　全面線状痕残る　上端に弧状沈線状線刻めぐる　表面上端に回転穿孔痕　未貫通か
	㉖－2	LM45Aｴ	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	16.7	下半欠損　全面研磨し、長楕円形平面に整形か　上端側に水平沈線めぐる　表面上端に盲孔　水平線刻下に正中線　両面･上面にC字文状の線刻施す
	㉖－3	LM44Dｲ	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	107.4	全面研磨し、卵形に整形　中央に水平沈線めぐる　表面下半に垂直短沈線と弧状沈線線刻
	㉖－4	LM43Aｲ	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	198.1	異形の岩偶状　水平凹線で区画し、横長方形平面の頭部整形　頭部表面中央と両面両端に盲孔施す　体部両側に刻み目ある突出部作出　下端中央に抉り　体部両面に曲線文様の線刻　全面風化著しい
	㉖－5	LP42	Ⅰ	線刻礫	凝灰岩	102.4	全面研磨により扁平な棒状に整形　体部縦方向の線刻状の線状痕顕著に残る　上端側水平線刻めぐる　表面上端中央に盲孔
	㉖－6	LM44C7	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	117.2	上端部のみの破片　全体卵形に整形か　表面･側面に盲孔計3ヶ所　曲線状の線刻施す
	㉗－1	LL43C7	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	111.0	半球礫素材　表面加工痕不明　周縁に細線刻めぐる　上端の瘤状突出部の基部に細線刻めぐる　裏面平坦な自然面
	㉘－1 ㉚－1	LN46A7	Ⅳ	線刻礫	輝石安山岩	491.1	ほぼ全面を研磨し台形に近い楕円形に整形　上半中央に貫通孔　左右･下半に弧状凹線を基調とした線刻を施す　凹線間に1字状の線刻、弧状凹線に刻み目をそれぞれ施す　本来は人物意匠か　線刻にはなぞりの痕跡ほとんどなく、刻み目は鋭利な工具による　裏面は全面研磨面
	㉙－1	LL43	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	868.1	大形扁平円礫素材　表面下半に細線刻による不整のパンツ形文　裏面不整の細線刻あり
	㉙－2 ㉚－3	LJ42	Ⅳ	線刻礫	凝灰岩	1456.3	大形亜円礫素材　表裏面一部にかすかな敲打痕残る　表面中央に線状痕状の線刻を充填したパンツ形文
	㉙－3 ㉚－2	LK42 LN46	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	723.2	10数m離れて出土した破片同士が接合し、ほぼ完形　大形棒状円礫素材　表面研磨か　表面下半に複数の細線刻でパンツ形文表出　上半の一部に不整の細線刻　裏面右側縁二次加工か
	㉛－1	LM43Aｳ		線刻礫	凝灰岩	50.7	楕円形平面扁平円礫素材　研磨痕不明　表面下半にパンツ形文表出　裏面上半にもパンツ形文表出か
	㉛－2	LM45D7	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	69.6	楕円形平面扁平円礫素材　研磨痕不明　両面下半に細線刻でパンツ形文表出
	㉛－3	LM43A7		線刻礫	凝灰岩	41.1	楕円形平面扁平礫素材か　上半欠損　両面中央研磨面　両面に複数の線状痕でパンツ形文表出か
	㉛－4	LP45	Ⅰ	線刻礫	凝灰岩	12.6	一端のみの破片　楕円形平面の扁平円礫素材か　表裏面研磨か　表面に細線刻でパンツ形文表出か
	㉛－5	MD63 ME63	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	165.2	楕円形平面に整形　全面に縦方向基調の線状痕残る　表面下半にパンツ形文線刻　左側縁下半抉り
	㉜－1			線刻礫	凝灰岩	31.8	楕円形平面　両面ほぼ長軸上に正中線　両面不整の線刻施す　表面正中線上に回転穿孔による盲孔2ヶ所あり
	㉜－2	LN44		線刻礫	凝灰岩	110.8	上半欠損　楕円形平面か　縦方向に線状痕　表面長軸上に正中線　表面不整線刻施す　裏面中央末端が渦巻状のC字文?　周辺から側面にかけて不整の線刻施す
	㉜－3	LN45Aｳ	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	123.2	上端欠損　長楕円形平面円礫素材か　表面研磨面　縦方向基調の不整線刻施す　側面部分的に線状痕あり　裏面かすかに線状痕あり
	㉜－4	LK45B7	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	136.1	不整円形平面　両面に斜格子状線刻施す　表面上半に回転穿孔による盲孔3ヶ所あり
	㉜－5	LM44Aｳ	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	107.4	下端欠損　長楕円形平面か　両面～両側面縦方向の線状痕あり　表面上半敲打痕あり
	㉝－1	LM45Aｴ	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	1.7	扁平小円礫素材　表面下半に不整の線刻あり
	㉝－2	LK43Cｲ	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	15.2	中央に貫通孔ある扁平小円礫素材　表裏面に不整の細線刻
	㉝－3	LM43C7		線刻礫	凝灰岩	57.1	楕円形平面扁平円礫素材　両面に縦方向の線状痕あり
	㉝－4	LL43C7		線刻礫	凝灰岩	93.3	楕円形平面扁平円礫素材　両面に縦方向の線状痕あり
	㉝－5	LO44D7	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	125.9	楕円形平面扁平円礫素材　周縁一部に二次加工痕　両面に研磨痕と不整の線状痕あり
	㉝－6	LP43Aｴ	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	4.8	上端部のみの破片　全面研磨し、木の葉形に整形か　側面平坦　表面上端側に盲孔
	㉝－7	LL43Cｴ	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	27.0	楕円形平面円礫素材　表面上半研磨面か　表面上半側に盲孔　表面下端中央に縦方向の線状痕か

第165表　遺構外出土石器類観察表(10)

図版番号	写真番号	出土区	層位	器種	石　質	重量(g)	特　　徴
	⑬③ - 8	LM42B7	Ⅳ	線刻礫	砂岩	108.2	扁平円礫素材　表裏面かすかな敲打痕と線状痕残る　側面部分的に線刻状の線状痕あり　表面上端側に盲孔
	⑬③ - 9	LM43C1	Ⅲ	線刻礫	凝灰岩	55.0	楕円形平面扁平円礫素材　下端欠損　表面上端～右側縁敲打痕残る　表面中央研磨面か　表面上端側に盲孔
	⑬③ - 10	LN43	Ⅱ	線刻礫	凝灰岩	72.5	円形平面円礫素材　表面上半側に盲孔　中央に敲打痕と不整の線刻　裏面不整の線刻あり
	⑬④ - 1	MD61 ME61	Ⅱ	石剣類	粘板岩	17.0	薄手破片　両面研磨面　表面格子状線刻施す
	⑬④ - 2	LP46	Ⅰ	石剣類	粘板岩	4.5	薄手破片　両面研磨面
	⑬④ - 3	MA52	Ⅰ	石剣類	粘板岩	3.0	薄手破片　両面研磨面
	⑬④ - 4	LK40	Ⅰ	石剣類	粘板岩	3.3	薄手破片?　両面･上面･右側面研磨面　表裏面格子状線刻施す
	⑬④ - 5	LK38	Ⅰ	石剣類	粘板岩	3.9	薄手破片?　両面･下面研磨面　表裏面格子状?線刻施す
	⑬④ - 6	LL40	Ⅰ	石剣類	粘板岩	5.0	薄手　両面･上下面･両側面研磨面　表裏面格子条線刻施す
	⑬④ - 7	LS44	Ⅰ	石剣類	粘板岩	1.7	薄手破片?　両面研磨面　表面格子状?線刻施す
	⑬④ - 8	ME59	Ⅰ	石剣類	粘板岩	0.9	薄手破片　両面研磨面　表面格子状?線刻施す
	⑬⑤ - 1	MO57	Ⅰ	石剣類	堇青石ホルンフェルス	204.5	先端部破片　先端部尖る　先端部片側縁に刻み状の横方向の短線刻数条　横断面楕円形
	⑬⑤ - 2	LN44C1	Ⅳ	石剣類	堇青石ホルンフェルス	204.2	先端部～体部破片　先端部尖る　横断面楕円形
	⑬⑤ - 3	LK41	Ⅱ	石剣類	堇青石ホルンフェルス	261.4	先端部～体部破片　先端部尖る　横断面楕円形
	⑬⑤ - 4	LO34		石剣類	堇青石ホルンフェルス	168.7	先端部～体部破片　先端部尖る　先端端面狭小な平坦面なす　横断面楕円形
	⑬⑤ - 5	LN43Dｳ	Ⅳ	石剣類	堇青石ホルンフェルス	336.3	基部欠損　先端部尖る　両面中央部平坦面をなす　横断面短辺弧状の方形をなす
	⑬⑤ - 6	LN47 LO43Aｳ	Ⅲ	石剣類	輝緑岩	173.3	尖頭部破片　尖頭部尖る　横断面楕円形
	⑬⑤ - 7	LN43Dｲ	Ⅱ	石剣類	ホルンフェルス	281.5	先端部～体部破片　先端部尖る　先端端部狭小な平坦面なす　横断面楕円形
	⑬⑤ - 8	LM44Cｲ LM44C1	Ⅲ	石剣類	輝緑岩	154.4	先端部破片　先端部尖る　横断面楕円形
	⑬⑤ - 9	LO42		石剣類	粘板岩	278.4	基部欠損　先端部尖る　先端端部狭小な平坦面なす　横断面楕円形
	⑬⑤ - 10	LM43Cｲ		石剣類	堇青石ホルンフェルス	47.7	先端部破片　端部基軸に斜めの小平坦面をなす　横断面楕円形
	⑬⑤ - 11	LN43		石剣類	堇青石ホルンフェルス	578.8	基部欠損　先端尖る　側面観湾曲　横断面楕円形
	⑬⑤ - 12	LN44C1	Ⅳ	石剣類	輝緑凝灰岩	50.2	先端部破片　端部尖る　横断面楕円形
	⑬⑤ - 13	LN44		石剣類	堇青石ホルンフェルス	944.5	先端～体部破片と基部破片とが接合し、ほぼ完形　先端端部狭小な平坦なす　基端部剥離痕残す?　ほぼ全面研磨面で線刻なし
	⑬⑤ - 14	MM57	Ⅰ	石剣類	堇青石ホルンフェルス	248.4	基部側破片　端部欠損　中央部に約10mm間隔の線刻2条　横断面扁平楕円形
	⑬⑤ - 15	LK40		石剣類	凝灰岩	130.2	基部破片か　端部狭小な平坦面　横断面扁平楕円形
	⑬⑤ - 16	LN43A7	Ⅱ	石剣類	ホルンフェルス	11.3	線刻間敲打痕帯
	⑬⑤ - 17	LJ45	Ⅱ	石剣類	堇青石ホルンフェルス	41.1	2条1組線刻　敲打痕帯
	⑬⑤ - 18	LJ45	Ⅰ	石剣類	堇青石ホルンフェルス	141.5	体部破片　下端側に敲打痕帯残る　横断面楕円形
	⑬⑤ - 19	LO44C7	Ⅱ	石剣類	砂岩	126.2	基部破片　横断面楕円形　上端側に2条の平行沈線様の不整線刻施す
	⑬⑤ - 20	LN43C1	Ⅱ	石剣類	ホルンフェルス	17.5	基部破片か　平行線刻間に不整線状痕多数施す
	⑬⑤ - 21	LO43C1	Ⅱ	石剣類	ホルンフェルス	89.2	扁平で側面観湾曲する　両側敲打痕残る　台形平面の把頭部かもしくは刃関ある石刀の可能性

第166表　遺構外出土石器類観察表(11)

図版番号	写真番号	出土区	層位	器種	石　質	重量(g)	特　　徴
	⑬⑤－22	LN45Bｳ	Ⅲ	石剣類	菫青石ホルンフェルス	177.0	基部破片　端部基軸に斜めの平坦面なす　上端側2条1組の線刻3組?　上方2組の線刻間は抉り様に整形
	⑬⑤－23	MH52	Ⅰ	石剣類	菫青石ホルンフェルス	197.9	基部破片　端部かすかに凸面状をなす　両側面敲打痕残る　約95mm間隔の線刻間の両側を敲打により抉るように整形　台形把頭部作出形態の前段階例か
	⑬⑤－24	LO45Cｴ	Ⅱ	石剣類	菫青石ホルンフェルス	168.6	基部破片　上端側に線刻1条と敲打痕残る　横断面楕円形⑬⑨-25と同一個体か
	⑬⑤－25	LN43Cｲ LN43Dｱ	Ⅱ	石剣類	菫青石ホルンフェルス	291.5	体部破片　下端側に線刻1条と敲打痕残る　横断面楕円形⑬⑨-24と同一個体か
	⑬⑤－26	LI38	Ⅱ	石剣類	菫青石ホルンフェルス	127.9	基部破片　端部平坦面なす　上端側線刻2条と敲打痕残る　横断面楕円形
	⑬⑤－27	LP43Aｳ LL43Aｱ	Ⅲ	石剣類	ホルンフェルス	518.0	先端部欠損　基端部狭小な平坦面なす　基部側約10mm間隔で線刻2条施す　線刻間抉り様の敲打痕残る
	⑬⑤－28	LM43Dｱ	Ⅲ	石剣類	菫青石ホルンフェルス	729.5	先端部･基端部欠損　基部側15mm間隔で浅い線刻2条施す　裏面線刻間に二股状の線刻
	⑬⑥－1	LN41Cｲ	Ⅱ	石剣類	溶結凝灰岩	50.4	破片再加工　石鏃か　裏面摩耗痕
	⑬⑥－2	LK41Cｱ	Ⅱ	石剣類	凝灰岩	100.0	基部破片　無文
	⑬⑥－3	LP43Aｲ LO45Bｳ	Ⅳ	石剣類	ホルンフェルス	73.1	基部破片か　部分的に横方向の不整線状痕多数
	⑬⑥－4	LK42	Ⅰ	石剣類	菫青石ホルンフェルス	15.6	先端部破片　端部欠損　両側面ほぼ平坦　横断面隅丸方形
	⑬⑥－5	LK43Cｴ LK41Dｴ	Ⅱ	石剣類	溶結凝灰岩	94.5	基部破片?　基部丸み　線刻なし
	⑬⑥－6	MF48	Ⅰ	石剣類	輝緑凝灰岩	122.6	先端部破片
	⑬⑥－7	LO47	Ⅰ	石剣類	溶結凝灰岩	17.5	破片転用品か　縦長の破片の両側縁に二次加工施し長方形平面に整形
	⑬⑥－8	MD50	Ⅰ	石剣類	溶結凝灰岩	115.4	先端部破片　横断面扁平な楕円形　先端部平面丸み
	⑬⑥－9	MK54	Ⅱ	石剣類	菫青石ホルンフェルス	154.0	体部破片　横断面楕円形
	⑬⑥－10	LO42Dｳ	Ⅲ	石剣類	粘板岩	12.2	縦長破片　両側縁に微小剥離痕
	⑬⑥－11	MH60	Ⅲ	石剣類	溶結凝灰岩	115.4	先端部破片か　端部小平坦面をなす　先端に横方向の線刻2条施す
	⑬⑥－12	LN46	Ⅰ	石剣類	菫青石ホルンフェルス	99.1	先端部破片　横断面ほぼ円形
	⑬⑥－13	LP43Bｱ		石剣類	輝緑岩	31.3	小形扁平棒状礫素材か　両端部研磨痕顕著
	⑬⑥－14			石剣類	輝緑凝灰岩	283.8	先端部破片　先端部尖る　端部は極小平坦面をなす　横断面楕円形
	⑬⑥－15	LN44Cｲ	Ⅱ	石剣類	菫青石ホルンフェルス	18.1	扁平で先端尖り気味の先端部破片
	⑬⑥－16	LM43Bｳ	Ⅰ	石剣類	菫青石ホルンフェルス	77.1	体部小破片　横断面楕円形　ほとんど研磨痕不明　再加工品か
	⑬⑥－17	LJ44Cｳ	Ⅱ	石剣類	ホルンフェルス	541.7	体部～基部破片か　基端部丸み　線刻なし　横断面楕円形
	⑬⑥－18	LK41 LP43Cｳ LN45Cｱ	Ⅳ	石剣類	溶結凝灰岩	967.0	基部?欠損　先端部?端部平坦面なす　横断面楕円形

第167表　遺構外出土石器類観察表(12)

報告書抄録

ふりがな	むしないいちいせき
書名	虫内Ⅰ遺跡
副書名	東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書
巻次	ⅩⅩⅢ
シリーズ名	秋田県文化財調査報告書
シリーズ番号	第274集
編著者名	榮一郎・高橋忠彦・板垣直俊・山崎京美・西谷忠師・肥塚隆保・西田泰民・松谷暁子
編集機関	秋田県埋蔵文化財センター
所在地	〒014-0802　秋田県仙北郡仙北町払田字牛嶋20番地　TEL0187-69-3331
発行年月日	西暦1998年3月25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
むしないいち 虫内Ⅰ	あきたけんひらかぐん 秋田県平鹿郡 さんないむらつちぶち 山内村土淵 あざむしない 字虫内	54446	63－4	39°15′35″	140°36′49″	19910520 ～ 19911207 19920420 ～ 19920930 19930712 ～ 19931015	3,280㎡	道路（東北横断自動車道秋田線）建設に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
虫内Ⅰ	墓 集落	縄文 （早期末 後期前葉 ～ 後期中葉 後期後葉 ～ 晩期前葉）	竪穴住居跡6軒 建物跡5棟 土坑241基 土器埋設遺構204基 焼土遺構18基 配石遺構14基 柱穴1013基	縄文土器 石器	縄文時代後期後葉から晩期前葉にかけての多数の土坑墓、土器埋設遺構、土器、石器を検出した。

秋田県文化財調査報告書第274集

虫内Ⅰ遺跡

——東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書XXIII——

図版・写真編

1998・3

秋田県教育委員会

虫内（むしない）Ⅰ遺跡

——東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書ⅩⅩⅢ——

図版・写真編

1998・3

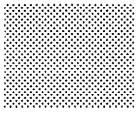
秋田県教育委員会

図版・写真編凡例

1　遺構実測図中の「●」は土器類、「■」は石器類、「▲」は骨を示す。

また、遺構実測図では以下のスクリーントーンによって、細部を表現した。

　焼土

 　グライ化範囲

この他の場合には、個別に凡例を付した。

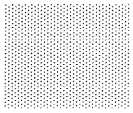
2　図版掲載の土器類実測図の縮尺は原則として1/3である。石器類実測図の縮尺は主として器種に応じて変更し、実測図中に縮尺を記載した。

3　土器実測図では、破片から径を推定して復元図を作成したものについては、原則として中軸線を一点鎖線で表現した。

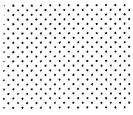
4　石器実測図では、剥片石器の場合、素材の属性が明らかな例は、素材の表面側を左、主剥離面側を右に配置した。石鏃等の全体を整形した器種以外は、素材の打面側を上に配置した。ただし、必ずしも完全に統一はできなかった。
主な石器類の実測図縮尺は原則として以下の通りである。

剥片石器2/3
礫石器1/2
（凹石類は1/3、石皿・台石等の大形石器は1/4）
小玉1/1

5　石器実測図では、縁辺部に微小剥離痕もしくは敲打痕がある場合は、その範囲を平面外形に沿って矢印で示した。
また、石器実測図には以下のスクリーントーンによって、器表状態を示した。
ただし、実測図の縮小率の違いから、一部に表現の差が生じている。



磨面(凹石類・石皿など)



摩耗使用痕(石篦・打製石斧など)

黒色物質付着範囲

6　図版および写真掲載遺物には、各頁ごとに1〜の通し番号を付した。同一個体と判断した土器については、通し番号は共通とし、a〜のアルファベットを付加した。本文および図版等では、特に断りのない場合、例えば図版1中の1番の遺物を指示するには、1-1、写真1中の1番の遺物を指示するには、①-1のように略記する。

7　写真は、原則として、カラー写真、北調査区遺跡写真、同区遺構出土遺物写真、南調査区遺跡写真、同区遺構出土遺物写真、遺構外出土遺物写真、その他の分析報告等関連写真の順に掲載した。

8　遺物写真の縮尺は任意である。

図版・写真編目次

図版・写真編凡例 ---------- i
図版目次 ---------- iii
写真目次 ---------- xv
付図一覧 ---------- xxv

図版目次

図版 1　北調査区遺構(1)（SI4054）
図版 2　北調査区遺構(2)（SB2025A・B(1)）
図版 3　北調査区遺構(3)（SB2025A・B(2)）
図版 4　北調査区遺構(4)（SB2025A・B(3)）
図版 5　北調査区遺構(5)（SB4086・SK2001・2002）
図版 6　北調査区遺構(6)（SK2006・2011・2013・2018・SKP2005・2021・2022）
図版 7　北調査区遺構(7)（SK2040・2042・2046A・B・C・SKP2047）
図版 8　北調査区遺構(8)（SK2046L・2059・2060・2067A・B・SKP2046D・E・F・H・I）
図版 9　北調査区遺構(9)（SK2088・2105A・2111・2112・2116・SKP2089・2105B・C）
図版 10　北調査区遺構(10)（SK2118・2119・2121・2128・2136）
図版 11　北調査区遺構(11)（SK2142・2144・2150・2158B・2167A・2226・SKP2158A・2167B）
図版 12　北調査区遺構(12)（SK3032・4001・4004・4021・4022）
図版 13　北調査区遺構(13)（SK4032・4036・4042・4050）
図版 14　北調査区遺構(14)（SR1038・2066・2072・2104・4003・4005）
図版 15　北調査区遺構(15)（SR4006・4007・4008）
図版 16　北調査区遺構(16)（SR4009・4010・SK4041）
図版 17　北調査区遺構(17)（SR4011・4012・4013）
図版 18　北調査区遺構(18)（SR4014・4015）
図版 19　北調査区遺構(19)（SR4016・4017・4018・4019・4040）
図版 20　北調査区遺構(20)（SN2073・SQ2065・2098・2165・2265・4049）
図版 21　北調査区遺構(21)（SKP2004・2008・2009・2024・2036・2038）
図版 22　北調査区遺構(22)（SKP2044・2045・2050・2053）
図版 23　北調査区遺構(23)（SKP2054・2079・2080・2082）
図版 24　北調査区遺構(24)（SKP2085・2087B・2090・2091・2092・2094A・B・2101）
図版 25　北調査区遺構(25)（SKP2096・2097・2108・2113・2126・2131・2133A・B）
図版 26　北調査区遺構(26)（SKP2134・2137・2146・2147・2148・2149・2151・2152・2153）
図版 27　北調査区遺構(27)（SKP2155・2156・2157・2159・2160・2163・2183・2185・2186・2210）
図版 28　北調査区遺構(28)（SKP2211・2216・2220・2221・2222・2263A～F）
図版 29　北調査区遺構(29)（SKP2266・2290・2295・2296・3049・SE2020）
図版 30　北調査区遺構(30)（柱穴等配置図）
図版 31　北調査区遺構(31)（柱穴等配置図）